JAEA-Review
2020-019
DOI:10.11484/jaea-review-2020-019

JAEA-Review

アニュアルレポート「原子力機構 2019」環境報告関連データのまとめ

Environmental Performance Data in
Annual Report “Japan Atomic Energy Agency 2019”

安全・環境課

Safety and Environmental Management Section

安全・核セキュリティ統括部

Safety and Nuclear Security Administration Department

November 2020

Japan Atomic Energy Agency

日本原子力研究開発機構

本レポートは国立研究開発法人日本原子力研究開発機構が不定期に発行する成果報告書です。
本レポートの入手並びに著作権利用に関するお問い合わせは、下記あてにお問い合わせ下さい。
なお、本レポートの全文は日本原子力研究開発機構ホームページ（https://www.jaea.go.jp）
より発信されています。

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 研究連携成果展開部 研究成果管理課
〒319-1195 茨城県那珂郡東海村大字白方 2 番地4
電話 029-282-6387, Fax 029-282-5920, E-mail:ird-support@jaea.go.jp

This report is issued irregularly by Japan Atomic Energy Agency.
Inquiries about availability and/or copyright of this report should be addressed to
Institutional Repository Section,
Intellectual Resources Management and R&D Collaboration Department,
Japan Atomic Energy Agency.
2-4 Shirakata, Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki-ken 319-1195 Japan
Tel +81-29-282-6387, Fax +81-29-282-5920, E-mail:ird-support@jaea.go.jp

© Japan Atomic Energy Agency, 2020

JAEA-Review 2020-019

アニュアルレポート「原子力機構 2019」環境報告関連データのまとめ

日本原子力研究開発機構
安全・核セキュリティ統括部
安全・環境課※

(2020 年 7 月 30 日受理)

日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）は、2018 年度の原子力機構の活動を総合的に報告するレポートであるアニュアルレポート「原子力機構 2019」を作成した。その中で 2018 年度の環境配慮活動について取りまとめた結果を掲載しており、この環境配慮活動報告の部分は「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律」に基づき 2019 年 9 月に原子力機構ホームページで公表した。

本報告書は、環境報告の信頼性を高めるためにその情報の検証可能性を確保し、また、原子力機構における環境配慮活動の取組を推進する手段として、アニュアルレポート「原子力機構 2019」に掲載した環境報告の部分、その追加情報に記載した環境関連情報の根拠となる 2018 年度の環境報告関連データ及び他のさまざまな環境配慮活動の関連情報を取りまとめたものである。

本部：〒319-1184　茨城県那珂郡東海村大字舟石川 765-1
※　編集担当（環境チーム）　鈴木 百合奈、菅 巧、立邊　和明
（現 ： 核燃料サイクル工学研究所　放射線管理部　環境監視課）金井 克太

JAEA-Review 2020-019

Environmental Performance Data in Annual Report "Japan Atomic Energy Agency 2019"

Safety and Environmental Management Section※

Safety and Nuclear Security Administration Department
Japan Atomic Energy Agency
Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki-ken

(Received July 30, 2020)

We have prepared Annual Report "Japan Atomic Energy Agency 2019" as a means for comprehensively reporting on the activities of the Japan Atomic Energy Agency (JAEA). In September 2019, Japan Atomic Energy Agency published results of environmental activity as a part of Annual Report "Japan Atomic Energy Agency 2019" concerning the activities of FY 2018 under "Law Concerning the Promotion of Business Activities with Environmental Consideration by Specified Corporations, etc., by Facilitating Access to Environmental Information, and Other Measures".

This report has been edited to show detailed environmental performance data in FY 2018 as the base of Annual Report "Japan Atomic Energy Agency 2019" and its additional informations. This report would not only ensure traceability of the data in order to enhance the reliability of the environmental report, but also make useful measures for promotion of environment-conscious activities in JAEA.

Keywords : Environmental Report, Environmental Performance, Environment- conscious Activities

---

※(Eds.) : (Environmental Team) Yurina SUZUKI, Takumi SUGA, Kazuaki TATEBE
(Present Affiliation : Environmental Protection Section, Radiation Protection Department, Nuclear Fuel Cycle Engineering Laboratories) Katsuta KANAI

目　　次

緒言 …… 1

1. 環境配慮活動の取組に関する詳細データ…… 3
2. 環境報告の詳細データ…… 37

付録：電気事業者別の CO_2 排出係数…… 187

Contents

Introduction ……1

1. Detailed Data about Environment-conscious Activities ……3
2. Detailed Data about Environmental Report ……37

Appendix : Carbon Dioxide Emission Coefficients for Each Power Companies ……187

報告対象拠点等の名称とその略称 （2018 年度）

（ ）内は本報告書中での略称を示す。

【国立研究開発法人日本原子力研究開発機構】
◎幌延深地層研究センター（幌延）
◎青森研究開発センター（青森）
　むつ地区：（むつ）
◎福島県内にある地区を総称した呼び名（福島拠点）
　いわき事務所：（いわき）
　楢葉遠隔技術開発センター：（楢葉）
　福島環境安全センター：（三春）[注 1)]
　廃炉環境国際共同研究センター：（富岡）
　大熊分析・研究センター：（大熊）
◎主たる事務所（本部）
◎原子力科学研究所及び J-PARC センター（原科研(J-PARC を含む)）
　原子力科学研究所：（原科研）、J-PARC センター：（J-PARC）
◎核燃料サイクル工学研究所 （サイクル研）
◎大洗研究所（大洗）[注 2)]
◎原子力緊急時支援・研修センター（NEAT）
　支援・研修センター（茨城）：（NEAT 茨城）、福井支所：（NEAT 福井）
◎東京事務所：（東京）及びシステム計算科学センター：（柏）（東京地区）
◎東濃地科学センター（東濃）
◎敦賀事業本部（敦賀）[注 3)]
◎高速増殖原型炉もんじゅ（もんじゅ）[注 3)]
◎新型転換炉原型炉ふげん（ふげん）[注 3)]
◎敦賀総合研究開発センター・白木地区（敦総研（白木地区：旧も運研））[注 3)]
◎播磨事務所（関西播磨）[注 4)]
◎人形峠環境技術センター（人形）

【2016 年 4 月より国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構へ移管された拠点】
◎青森研究開発センター（青森）
　六ヶ所地区：（六ヶ所）
◎那珂核融合研究所（那珂）
◎高崎量子応用研究所（高崎）
◎関西光科学研究所（関西研）
　木津地区：（関西木津）

注 1）2015 年度までは福島と略称。
注 2）2018 年 4 月 1 日付けで、大洗研究所と改称した。

注 3）2018 年 4 月 1 日付けで、これらの拠点を対象に、次のとおり組織改編が行われた。
敦賀事業本部、敦賀廃止措置実証本部（敦賀）、高速増殖原型炉もんじゅ（もんじゅ）、
新型転換炉原型炉ふげん（ふげん）、敦賀総合研究開発センター・白木地区（敦総研）
注 4）2019 年 4 月 1 日付けで、播磨事務所から播磨放射光 RI ラボラトリーと改称した。

This is a blank page.

緒言

原子力機構では、事業運営に当たり環境への配慮を優先事項と位置付け、組織全体で環境配慮活動に取り組むため「環境配慮管理規程」を制定し、これに基づき各拠点・事務所で環境配慮活動を展開している。環境配慮活動の推進・チェック等を目的に安全・核セキュリティ統括担当理事を委員長とする「環境委員会」を設置している。理事長は毎年度、環境基本方針を定め、環境基本方針に基づき毎年度環境目標を設定し、年度計画を立案している。各拠点等（「報告対象拠点等の名称とその略称」を参照）においても、これに基づく環境目標と年度計画を立案し、積極的に取り組んでいる。各拠点等に環境配慮活動の担当課長を定め、この環境配慮活動担当課長からなる「環境配慮活動に係る担当課長会議」等を活用して計画的・組織的な環境配慮活動に取り組んでいる。

また省エネルギーや地球温暖化対策等に関する事項については、各拠点等のエネルギー管理員等から構成する「省エネ法・温対法対応専門会議」にて専門的に確認・取りまとめを行っている。

2019 年度においては、原子力機構の 2018 年度の事業活動の総合的報告書としてアニュアルレポート「原子力機構 2019」を作成し、この中でまとめた環境配慮活動報告に関する部分を 2019 年 9 月に原子力機構ホームページ※で公表した。

この環境報告部分については、ページ数の制約から結果の概要のみとなったため、追加情報もホームページで公開している。この作成にあたっては、環境配慮活動の一環と位置付け、各担当部署でのデータの入念な確認に加え、「環境配慮活動に係る担当課長会議」で原稿案を審議・検討し、「環境委員会」で総合的にチェックする体制とし、原子力機構を挙げて取り組んでいる。

「環境報告のための解説書～環境報告ガイドライン 2018 年版対応～」（2019 年 5 月、環境省）によると、環境報告は、「環境報告の開示情報が対象となる「事象」を忠実に表現しているかどうかを客観的に検証できない場合は、利用者が環境報告を信頼できなくなるリスクが高まり、環境報告の有用性は著しく低下します。それを防ぐためには、環境報告の記載事項について、前提条件、集計範囲、算定方法、原データ等の作成プロセスに関する情報を開示し、前提条件からの論理的な推論や再計算等によって、作成結果の妥当性を検証できるようにすることが必要です。」とされている。

この要求を含め、原子力機構における環境配慮活動の取組を推進する一助とするため、アニュアルレポート「原子力機構 2019」に掲載した環境報告の部分、その追加情報に記載した環境関連情報の根拠となる 2018 年度の環境報告関連データ及び他のさまざまな環境配慮活動の関連情報を取りまとめた。

なお、2016 年 4 月から一部の拠点等が量子科学技術研究開発機構へ移管されたため、2016 年度データから移管された拠点等のデータは含まれていないが、年度推移を示すデータ等の 2015 年度以前の年度データには移管された拠点等のデータが含まれている。

※詳細はこちらの原子力機構ホームページを参照。
https://www.jaea.go.jp/about_JAEA/environment/

This is a blank page.

1．環境配慮活動の取組に関する詳細データ

表　リ　ス　ト

表 1-1-1　各拠点等でのエネルギーの使用に係る原単位算出の比較（2018 年度）・・・・・・ 6
表 1-1-2　各拠点等での電気需要平準化評価原単位算出の比較（2018 年度）・・・・・・・・・・ 7
表 1-1-3　エネルギーの使用に係る原単位が前年度に比べ改善できなかった場合の理由と過去 5 年間の原単位が年平均 1%以上改善できなかった場合の理由（2018 年度）・・ 8
表 1-1-4　電気需要平準化評価原単位が前年度に比べ改善できなかった場合の理由（2018 年度）・・ 9
表 1-1-5　総エネルギー投入量拠点別割合と年度推移（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
表 1-1-6　電気使用量拠点別割合と年度推移（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
表 1-1-7　化石エネルギー投入量拠点別割合と年度推移（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・ 12
表 1-1-8　各拠点等でのエネルギーの使用に係る原単位の年度推移　・・・・・・・・・・・・・・ 13

表 1-2-1　水資源投入量拠点別種類別割合と年度推移（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
表 1-2-2　水資源投入量の年度推移　・・・ 15
表 1-2-3　水資源増減の理由及び取組内容（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
表 1-2-4　コピー用紙投入量の拠点別割合と年度推移（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

表 1-3-1　廃棄物・再生利用物・有価物の排出量の年度推移　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
表 1-3-2　主要な PCB 廃棄物等（微量な PCB で汚染された物を含む）の 2018 年度末時点保管量と 2018 年度の処分済み実績量（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

表 1-4-1　総温室効果ガス排出量拠点別割合と年度推移（フロン排出抑制法に基づき集計したフロン漏えい量を含む）（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
表 1-4-2　エネルギー起源 CO_2 排出量拠点別内訳（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
表 1-4-3　代替フロン等 4 ガスの拠点別割合と年推移（2018 年）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
表 1-4-4　代替フロン等 4 ガス増減の理由及び取組内容（2018 年）・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
表 1-4-5　総温室効果ガス放出量の放出源別年度推移　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
表 1-4-6　拠点別フロン排出抑制法に基づくフロン漏えい量（2018 年度）・・・・・・・・・・・ 26
表 1-4-7　フロン排出抑制法に基づくフロン漏えい量拠点別割合と年度推移（2018 年度）・・ 27
表 1-4-8　拠点別フロン排出抑制法に基づくフロン漏えい量と漏えい理由、削減の取組（2018 年度）・・ 28

表 1-5　ISO14001 認証取得状況（2019 年 3 月末時点）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
表 1-6　環境マネジメントシステム（EMS）の構築、運用状況（2018 年度）・・・・・・・・・・ 29
表 1-7　環境に配慮したサプライチェーンマネジメントの状況（2018 年度）・・・・・・・・・ 29
表 1-8　清掃活動等のボランティア等への参加・貢献状況（2018 年度）　・・・・・・・・・・・・ 30
表 1-9　緑化・植林・植樹・花壇の整備等の取組（2018 年度）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
表 1-10　環境に関する拠点等の独自の活動、地道な取組等（2018 年度）　・・・・・・・・・・・ 33
表 1-11　2018 年度環境目標の結果と評価　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35

注記）

※1　表中の数値は四捨五入による端数処理をして表記した。そのため、個々の数値を合算した数値と表記されている合計値とが一致しない場合がある。

表1-1-1 各拠点等でのエネルギーの使用に係る原単位算出の比較（2018年度）

番号	拠点名	エネルギーの使用に係る原単位の算出方法	エネルギーの使用量（原油換算kℓ） A = C	Cの構成割合 % D	エネルギーの使用量と密接な関係を持つ値 E	エネルギーの使用に係る原単位 F=A/E	エネルギーの使用に係る前年度の原単位 G	エネルギーの使用に係る原単位の対前年度比（%） H=F/G×100	エネルギーの使用に係る原単位の対前年度比の寄与度（%） I=D×H/100	備考
1	三春	エネルギー使用量/床面積	209	0.13	2,702	0.07735	0.07223	107.1	0.1	Eについて精査した結果、2,275m^2（設計時の面積）から2,702m^2（使用許可に関する面積）に変更
	楢葉	エネルギー使用量/床面積	186	0.12	11,508	0.01616	0.01799	89.8	0.1	
	富岡	エネルギー使用量/床面積	52	0.03	2,115	0.02459	0.02175	113.0	0.0	
	大熊	エネルギー使用量/床面積	213	0.14	4,785	0.04451	0.005225	851.9	1.2	
	サイクル研	エネルギー使用量/床面積	36,827	23.62	394,824	0.09327	0.09393	99.3	23.5	
	人形	エネルギー使用量/床面積	3,471	2.23	71,614	0.04847	0.04623	104.8	2.3	
	ふげん	エネルギー使用量/床面積	6,047	3.88	42,820	0.1412	0.1425	99.1	3.8	
	むつ	エネルギー使用量/床面積	473	0.30	17,828	0.02653	0.02825	93.9	0.3	
	東濃	エネルギー使用量/床面積	352	0.23	6,433	0.05472	0.05427	100.8	0.2	
	幌延	エネルギー使用量/床面積	167	0.11	6,446	0.02591	0.02730	94.9	0.1	
	NEAT	エネルギー使用量/床面積	192	0.12	5,245	0.03661	0.03489	104.9	0.1	
	敦総研（白木地区）	エネルギー使用量/床面積	312	0.20	9,565	0.03262	0.04976	65.6	0.1	
	関西播磨	エネルギー使用量/床面積	82	0.05	1,086	0.07551	0.07643	98.8	0.1	
	小　計	—	48,583	31.16	576,971	0.08420	0.08444	99.7	① 31.1	
2	原科研（J-PARC含む）	エネルギー使用量/（床面積×係数） 基準原単位は、基準年度を平成21年度、建家名を「NUCEF」とし、その生産数量等の単位は延床面積（m^2）とする。NUCEFの換算係数は基準となるため“1”とする。 ①エネルギー使用量が施設の運転/停止による影響が大で、運転状況によってエネルギー使用量が大きく変動する施設 →　生産数量等：運転時間（hr） ②エネルギー使用量が施設の運転状況による影響が比較的少ない施設またはエネルギー使用量が少ない施設 →　生産数量等：延床面積（m^2） ③生産する処理水量がエネルギー使用量に直接影響する施設 →　生産数量等：処理水量（m^3） ④計算機設備容量及び運転日数の変化が大きい計算機設備 →　生産数量等：計算機設備容量×運転日数	71,044	45.56	427,757	0.1661	0.1631	101.8	② 46.4	
3	もんじゅ	エネルギー使用量/理論上のエネルギー使用量 理論上のエネルギー使用量を、「あるべき電力量ｋℓ（17,896）」と「あるべき軽油使用量　ｋℓ（1,906）」の合計として、「19,802」とする。	18,607	11.93	19,802	0.9397	1.012	92.9	③ 11.1	
4	大洗	エネルギー使用量/時間 基準年度（H16）の常陽の原単位を「1」として、他施設の原単位との比を求め、この比に当該年度の生産数量を掛けて基準年度の常陽の生産数量（単位は時間）に換算する。換算した生産数量の合計を分母とする。	17,152	11.00	15,898	1.079	1.055	102.3	④ 11.2	
5	いわき	エネルギー使用量/床面積	27	0.02	1,248	0.02163	0.02163	100.0	0.0	いわき事務所と福島事務所を合わせて報告する。 ・エネルギー使用量内訳 いわき事務所：25kℓ、 福島事務所：3kℓ → 合計　28kℓ ・敷地面積内訳 いわき事務所：1,136m^2、 福島事務所：112m^2 → 合計　1,248m^2
	本部	エネルギー使用量/床面積	272	0.17	15,187	0.01791	0.01976	90.6	0.2	
	東京	エネルギー使用量/床面積	44	0.03	1,816	0.02423	0.02189	110.7	0.0	
	柏	エネルギー使用量/床面積	30	0.02	598	0.05017	0.05017	100.0	0.0	
	敦賀	エネルギー使用量/床面積	169	0.11	4,217	0.04008	0.04395	91.2	0.1	
	小　計	—	542	0.35	23,066	0.02350	0.02476	94.9	⑤ 0.3	
合　計		—	155,928	100.00	—	—	—	—	—	
事業者全体								Z=①+②+③+④+⑤ 100.1		

表1-1-2 各拠点等での電気需要平準化評価原単位算出の比較(2018年度)

番号	拠点名	エネルギーの使用に係る原単位の算出方法	エネルギーの使用量(原油換算kℓ) A	電気需要平準化時間帯の買電量(原油換算kℓ) A	C' = A + A'*(1.3 − 1.0)	Cの構成割合 % D	エネルギーの使用量と密接な関係を持つ値 E	電気需要平準化評価原単位 F'=C'/E	前年度の電気需要平準化評価原単位 G'	電気需要平準化評価原単位の対前年度比(%) H'=F'/G'×100	エネルギーの使用に係る原単位の対前年度比の寄与度(%) I'=D×H'/100	備考
1	三春	エネルギー使用量/床面積	209	132	249	0.13	2,702	0.09201	0.08584	107.2	0.1	Eについて精査した結果、2,275m²(設計時の面積)から2,702m²(使用許可に関する面積)に変更
	楢葉	エネルギー使用量/床面積	186	106	218	0.12	11,508	0.01893	0.02182	86.7	0.1	
	富岡	エネルギー使用量/床面積	52	23	59	0.03	2,115	0.02785	0.02586	107.7	0.0	
	大熊	エネルギー使用量/床面積	213	134	253	0.14	4,785	0.052915	0.006792	779.1	1.1	
	サイクル研	エネルギー使用量/床面積	36,827	8,856	39,484	23.62	394,824	0.1000	0.1006	99.4	23.5	
	人形	エネルギー使用量/床面積	3,471	888	3,737	2.23	71,614	0.05219	0.05005	104.3	2.3	
	ふげん	エネルギー使用量/床面積	6,047	2,255	6,724	3.88	42,820	0.1570	0.1588	98.9	3.8	
	むつ	エネルギー使用量/床面積	473	257	550	0.30	17,828	0.03086	0.03279	94.1	0.3	
	東濃	エネルギー使用量/床面積	352	209	415	0.23	6,433	0.06446	0.06395	100.8	0.2	
	幌延	エネルギー使用量/床面積	167	76	190	0.11	6,446	0.02944	0.03093	95.2	0.1	
	NEAT	エネルギー使用量/床面積	192	95	221	0.12	5,245	0.04204	0.03935	106.8	0.1	
	敦総研(白木地区)	エネルギー使用量/床面積	312	135	353	0.20	9,565	0.03685	0.05444	67.7	0.1	
	関西播磨	エネルギー使用量/床面積	82	51	97	0.05	1,086	0.08959	0.09162	97.8	0.1	
	小　計	—	48,583	13,217	52,548	31.16	576,971	0.09108	0.09131	99.7	① 31.1	
2	原科研(J-PARC含む)	エネルギー使用量/（床面積×係数） 基準原単位は、基準年度を平成21年度、建家名を「NUCEF」とし、その生産数量等の単位は延床面積(m²)とする。NUCEFの換算係数は基準となるため“1”とする。 ①エネルギー使用量が施設の運転/停止による影響が大で、運転状況によってエネルギー使用量が大きく変動する施設 → 生産数量等：運転時間(hr) ②エネルギー使用量が施設の運転状況による影響が比較的少ない施設またはエネルギー使用量が少ない施設 → 生産数量等：延床面積（m²） ③生産する処理水量がエネルギー使用量に直接影響する施設 → 生産数量等：処理水量（m³） ④計算機設備容量及び運転日数の変化が大きい計算機設備 → 生産数量等：計算機設備容量×運転日数	71,044	19,899	77,014	45.56	427,757	0.1800	0.1775	101.4	② 46.2	
3	もんじゅ	エネルギー使用量/理論上のエネルギー使用量 理論上のエネルギー使用量を、「あるべき電力量ｋℓ（17,896）」と「あるべき軽油使用量　ｋℓ（1,906）」の合計として、「19,802」とする。	18,607	5,803	20,348	11.93	19,802	1.028	1.113	92.4	③ 11.0	
4	大洗	エネルギー使用量/時間 基準年度（H16)の常陽の原単位を「1」として、他施設の原単位との比を求め、この比に当該年度の生産数量を掛けて基準年度の常陽の生産数量（単位は時間）に換算する。換算した生産数量の合計を分母とする。	17,152	6,108	18,984	11.00	15,898	1.194	1.166	102.4	④ 11.3	
5	いわき	エネルギー使用量/床面積	27	17	32	0.02	1,248	0.02572	0.02572	100.0	0.0	電気需要平準化時間帯の買電量内訳 いわき事務所：15kℓ、福島事務所：2kℓ → 合計 17kℓ
	本部	エネルギー使用量/床面積	272	150	317	0.17	15,187	0.02087	0.02257	92.5	0.2	
	東京	エネルギー使用量/床面積	44	25	52	0.03	1,816	0.02836	0.02518	112.6	0.0	
	柏	エネルギー使用量/床面積	30	19	36	0.02	598	0.05970	0.05920	100.8	0.0	
	敦賀	エネルギー使用量/床面積	169	91	196	0.11	4,217	0.04655	0.05126	90.8	0.1	
	小　計	—	542	302	633	0.35	23,066	0.02743	0.02858	96.0	⑤ 0.3	
合　計		—	155,928	45,329	169,527	100.00	—	—	—	—	—	
事業者全体										Z=①+②+③+④+⑤ 99.9		

表1-1-3 エネルギーの使用に係る原単位が前年度に比べ改善できなかった場合の理由と過去5年間の原単位が年平均1%以上改善できなかった場合の理由（2018年度）

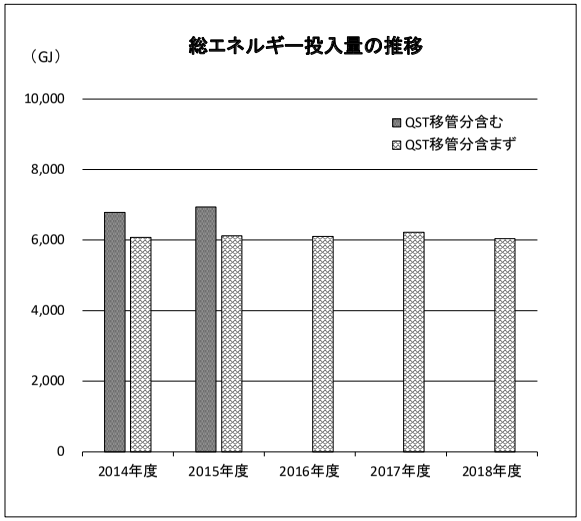
拠点名	エネルギーの使用に係る原単位				エネルギーの使用に係る原単位が前年度に比べ改善できなかった場合の理由	過去5年間のエネルギー使用に係る原単位が年平均1%以上改善できなかった場合の理由
	2017年度	2018年度	対前年度比（%）	5年度間平均原単位変化		
三春	0.07223	0.07735	107.1		温度や湿度に影響される各種実験等の頻度増加に伴い、測定器、エアコン類の稼働時間が増加したため。2017年度と比較し夏から秋にかけて気温の高い日が多かったため。	
楢葉	0.01799	0.01616	89.8		—	
富岡	0.02175	0.02459	113.0		2017年度に比べ2018年度は試験機器及び人員が増加したため。	
大熊	0.005225	0.04451	851.9		大熊分析・研究センター施設管理棟は2018年3月からの運用開始であるため前年度比較は困難である。	
サイクル研	0.09393	0.09327	99.3	99.6	—	2017年度以降の原単位は前年度と比べ減少したが、2016年度の再処理施設のガラス固化処理及びCPFの試験に伴う空調運転によりエネルギー使用量が増加したため、年平均1%以上の改善は達成できなかった。
人形	0.04623	0.04847	104.8	97.5	2017年度は濃縮工学施設へ送水している冷暖房用の熱水配管が損傷し、年間を通して通水することが出来なかったためボイラの負荷熱量が大幅に減少した。2018年度においては、熱水配管の更新工事を実施し熱水の供給を再開することが出来たため、例年の負荷熱量に戻ったものである。2018年度の負荷熱量は、2016年度までの年間負荷熱量と比較して減少しているものの、2017年度の負荷熱量が上記の理由により低かったため、エネルギーの使用に係る原単位が2017年度に比べ削減が達成できなかったものである。	—
ふげん	0.1425	0.1412	99.1	98.1	—	—
むつ	0.02825	0.02653	93.9		—	
東濃	0.05427	0.05472	100.8		電気使用量は年代測定に係る分析施設の電気使用量等が増加したため。化石燃料（LPG）は空調用の燃料として使用しており、例年と比較して猛暑となったことに伴い、空調の使用が増加したため。	
幌延	0.02730	0.02591	94.9		—	
NEAT	0.03489	0.03661	104.9		NEAT従業員が増加したため。	
敦総研(白木)	0.04976	0.03262	65.6		—	
関西播磨	0.07643	0.07551	98.8		—	
原科研（J-PARC含む）	0.1631	0.1661	101.8	98.7	エネルギーの使用量は削減されたが、エネルギー使用量が少ない施設の解体撤去をしたことで、エネルギーの使用量と密接な関係をもつ値が減少したため2017年度より増加した。	—
もんじゅ	1.012	0.9397	92.9	98.8	—	—
大洗	1.055	1.079	102.3	99.3	2018年度は、夏季（7～9月）の外気温が2017年度と比較して平均1.1度高い状況であり、冷房負荷が増加した。 一部の主要施設において実験計画の進捗により施設・設備の運転時間の増加となり使用電力量が2017年度と比較して増加したため原単位も2017年度より増加した。	2018年度は、夏季（7～9月）の外気温が2017年度と比較して平均1.1度高い状況であり、冷房負荷が増加した。 一部の主要施設において実験計画の進捗により施設・設備の運転時間の増加となり使用電力量が過去4年間の平均と比較して増加した。
いわき	0.02163	0.02163	100.0		夏場猛暑によるエアコン稼働時間の増加のため。（いわき・福島事務所） 部門ホームページのリニューアルやサーバの更新、写真データの保存等を夜間に実施したため、電気使用量が増加した。（福島事務所）	
本部	0.01976	0.01791	90.6		—	
東京	0.02189	0.02423	110.7		東京事務所が入居するビルにおいては、照明・コンセントに係る電気使用量は各テナントの実使用量が反映され、この数値については改善しているものの、大部分を占める空調についてはビル全体での使用量を面積按分し算出しているため、機構単体での取組結果が反映されない。	
柏	0.05017	0.05017	100.0		安全衛生委員会の指摘を受け、加湿器を増設し、定常的に使用した。また、入居人数の増加（約10%）の影響が考えられる。	
敦賀	0.04395	0.04008	91.2		—	

表1-1-4　電気需要平準化評価原単位が前年度に比べ改善できなかった場合の理由（2018年度）

拠点名	電気需要平準化評価原単位				電気需要平準化評価原単位が前年度に比べ改善できなかった場合の理由	過去5年間の電気需要平準化評価原単位が年平均1％以上改善できなかった場合の理由
	2017年度	2018年度	対前年度比（%）	5年度間平均原単位変化		
三春	0.08584	0.09201	107.2		温度や湿度に影響される各種実験等の頻度増加に伴い、測定器、エアコン類の稼働時間が増加したため。 2017年度と比較し夏から秋にかけて気温の高い日が多かったため。	
楢葉	0.02182	0.01893	86.7		—	
富岡	0.02586	0.02785	107.7		2017年度に比べ2018年度は試験機器及び人員が増加したため。	
大熊	0.006792	0.05292	779.2		大熊分析・研究センター施設管理棟は2018年3月からの運用開始であるため前年度比較は困難である。	
サイクル研	0.1006	0.1000	99.4	99.6	—	2017年度以降の原単位は前年度と比べ減少したが、2016年度の再処理施設のガラス固化処理及びCPFの試験に伴う空調運転によりエネルギー使用量が増加したため、年平均1%以上の改善は達成できなかった。
人形	0.05005	0.05219	104.3	97.5	2017年度と2018年度における電気需要量はほぼ同じであったが、2018年度は濃縮工学施設の技術管理棟建屋を解体撤去したため、建物延べ床面積が約1%減少した。このため、使用量算出に影響する計算式の分母が減少したことから、電気需要平準化原単位が2017年度に比べ削減が達成できなかったものである。	—
ふげん	0.1588	0.1570	98.9	98.0	—	—
むつ	0.03279	0.03086	94.1		—	
東濃	0.06395	0.06446	100.8		電気使用量は年代測定に係る分析施設の電気使用量等が増加したため。	
幌延	0.03093	0.02944	95.2		—	
NEAT	0.03935	0.04204	106.8		NEAT従業員が増加したため。	
敦総研(白木)	0.05444	0.03685	67.7		—	
関西播磨	0.09162	0.08959	97.8		—	
原科研 （J-PARC含む）	0.1775	0.1800	101.4	98.7	エネルギーの使用量は削減されたが、エネルギー使用量が少ない施設の解体撤去をしたことで、エネルギーの使用量と密接な関係をもつ値が減少したため2017年度より増加した。	—
もんじゅ	1.113	1.028	92.4	98.8	—	—
大洗	1.166	1.194	102.4	99.4	2018年度は、夏季（7～9月）の外気温が2017年度と比較して平均1.1度高い状況であり、冷房負荷が増加した。 一部の主要施設において実験計画の進捗により施設・設備の運転時間の増加となり使用電力量が2017年度と比較して増加したため、原単位も2017年度より増加した。	2018年度は、夏季（7～9月）の外気温が2017年度と比較して平均1.1度高い状況であり、冷房負荷が増加した。 一部の主要施設において実験計画の進捗により施設・設備の運転時間の増加となり使用電力量が過去4年間の平均と比較して増加した。
いわき	0.02572	0.02572	100.0		夏場猛暑によるエアコン稼働時間の増加のため。 （いわき・福島事務所） 部門ホームページのリニューアルやサーバーの更新、写真データの保存等を夜間に実施したため、電気使用量が増加した。 （福島事務所）	
本部	0.02257	0.02087	92.5		—	
東京	0.02518	0.02836	112.6		東京事務所が入居するビルにおいては、照明・コンセントに係る電気使用量は各テナントの実使用量が反映され、この数値については改善しているものの、大部分を占める空調についてはビル全体での使用量を面積按分し算出しているため、機構単体での取組結果が反映されない。	
柏	0.05920	0.05970	100.8		安全衛生委員会の指摘を受け、加湿器を増設し、定常的に使用した。また、入居人数の増加（約10%）の影響が考えられる。	
敦賀	0.05126	0.04655	90.8		—	

表1-1-5 総エネルギー投入量拠点別割合と年度推移（2018年度）

拠点名	2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		対前年度比(%) 2018/2017	
幌延	5,698		6,232		6,255		6,811		6,480		95.14	
青森	218,898		232,301		19,740		19,529		18,325		93.84	
むつ		19,905		18,832		19,740		19,529		18,325		93.84
六ヶ所		198,993		213,469								
福島拠点	2,043		5,768		13,059		19,492		26,633		136.63	
いわき				915		1,064		1,034		1,061		102.56
楢葉				2,674		6,269		8,017		7,212		89.96
三春				2,179		5,726		7,739		8,110		104.80
富岡								1,742		2,009		115.31
大熊								960		8,241		858.37
本部	7,835		10,943		11,640		11,301		10,536		93.23	
原科研(J-PARCを含む)	2,595,547		2,695,814		2,715,741		2,860,029		2,753,643		96.28	
原科研		757,178		751,321		777,723		772,657		752,509		97.39
J-PARC		1,838,369		1,944,493		1,938,018		2,087,372		2,001,134		95.87
サイクル研	1,475,751		1,440,564		1,465,391		1,439,590		1,427,414		99.15	
大洗	686,040		675,715		663,851		644,291		664,800		103.18	
那珂	301,490		386,286									
NEAT	6,647		6,796		7,506		7,092		7,447		105.00	
NEAT茨城		4,547		4,799		5,522		5,126		5,469		106.69
NEAT福井		2,101		1,997		1,984		1,966		1,978		100.58
高崎	143,593		149,789									
東京地区	4,081		3,761		3,254		2,705		2,859		105.70	
東京		2,541		2,286		2,090		1,562		1,712		109.62
柏		1,540		1,475		1,164		1,144		1,148		100.34
東濃	14,886		14,254		14,859		13,680		13,654		99.81	
敦賀	7,359		6,628		6,024		6,099		6,568		107.69	
もんじゅ	814,484		810,118		785,265		801,758		721,215		89.95	
ふげん	253,342		243,049		230,401		236,496		234,375		99.10	
敦総研（白木地区：旧も運研）	14,261		14,701		14,169		18,455		12,099		65.56	
関西研	85,388		80,213		2,485		3,234		3,170		98.00	
関西木津		70,191		66,373								
関西播磨		15,197		13,840		2,485		3,234		3,170		98.00
人形	150,409		157,511		144,758		129,481		134,531		103.90	
合計（GJ）	6,787,751		6,940,442		6,104,399		6,220,045		6,043,750		97.17	



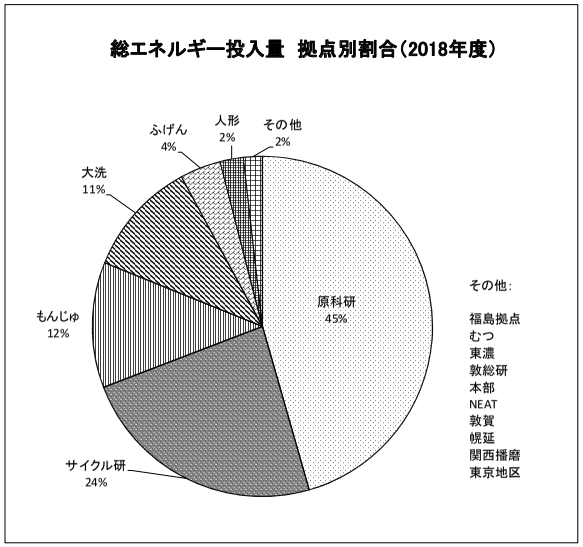
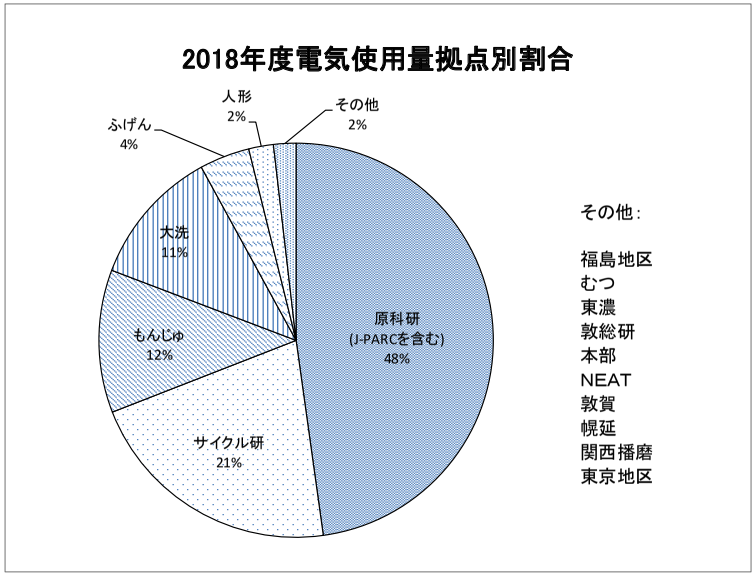


表1-1-6 電気使用量拠点別割合と年度推移(2018年度)

拠点名	2017年度	2018年度	対前年度比(%) 2018/2017	全体に占める割合(%)	電気事業者名
原科研 (J-PARCを含む)	282,496,143	272,679,451	96.5	47.8	東京電力 丸紅新電力
サイクル研	120,181,456	121,307,020	100.9	21.3	東京電力 F-Power 丸紅新電力
もんじゅ	75,152,760	66,829,392	88.9	11.7	北陸電力
大洗	61,690,787	64,196,220	104.1	11.3	東京電力 丸紅新電力 F-Power
ふげん	23,757,120	23,537,160	99.1	4.1	北陸電力
人形	11,555,011	11,551,644	100.0	2.0	中国電力
福島地区	1,930,800	2,664,897	138.0	0.5	東北電力 F-Power
むつ	1,680,232	1,590,802	94.7	0.3	東北電力 エネット
東濃	1,311,435	1,307,775	99.7	0.2	中部電力 丸紅新電力 エネサーブ
敦総研 (白木地区:旧も運研)	1,884,342	1,243,249	66.0	0.2	パネイル
本部	1,155,970	1,070,774	92.6	0.2	東京電力 F-Power
NEAT	719,357	753,552	104.8	0.1	東京電力 パネイル
敦賀	621,363	669,280	107.7	0.1	パネイル
幌延	522,871	493,867	94.5	0.1	北海道電力
関西播磨	324,423	317,928	98.0	0.1	関西電力
東京地区	271,338	286,795	105.7	0.1	東京電力 F-Power
合計(kWh)	585,255,408	570,499,806	97.5	100.0	



原科研(J-PARCを含む) (kWh)

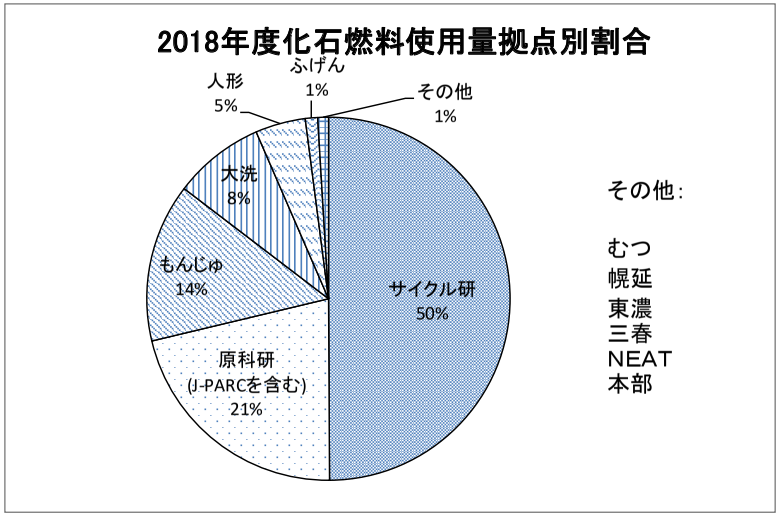
拠点名	2017年度	2018年度	対前年度比(%) 2018/2017	全体に占める割合(%)	電気事業者名
原科研	66,989,996	66,114,050	98.7	11.6	東京電力 丸紅新電力
J-PARC	215,506,147	206,565,401	95.9	36.2	東京電力

福島地区

いわき	103,757	106,411	102.6	0.02	東北電力
楢葉	804,086	732,947	91.2	0.13	F-Power
三春	751,887	792,530	105.4	0.14	東北電力
富岡	174,770	206,397	118.1	0.04	F-Power
大熊	96,300	826,612	858.4	0.14	東京電力

表1-1-7 化石エネルギー投入量拠点別割合と年度推移(2018年度)

拠点名	2017年度	2018年度	対前年度比(%) 2018/2017	全体に占める割合(%)
サイクル研	284,281	261,339	91.9	49.9
原科研 (J-PARCを含む)	123,458	111,853	90.6	21.4
もんじゅ	73,961	73,999	100.1	14.1
大洗	46,288	42,510	91.8	8.1
人形	18,167	23,355	128.6	4.5
ふげん	5,607	5,686	101.4	1.1
むつ	2,777	2,465	88.8	0.5
幌延	1,670	1,624	97.2	0.3
東濃	605	615	101.6	0.1
三春	242	208	86.0	0.04
NEAT	41	60	145.2	0.01
本部	9	10	104.1	0.002
合計(GJ)	557,107	523,725	94.0	100.0



原科研(J-PARCを含む) (GJ)

拠点名	2017年度	2018年度	対前年度比(%) 2018/2017	全体に占める割合(%)
原科研	123,440	111,837	90.6	21.35
J-PARC	17	17	95.1	0.003

NEAT

NEAT茨城	39	52	132.5	0.01
NEAT福井	2	8	401.0	0.0015

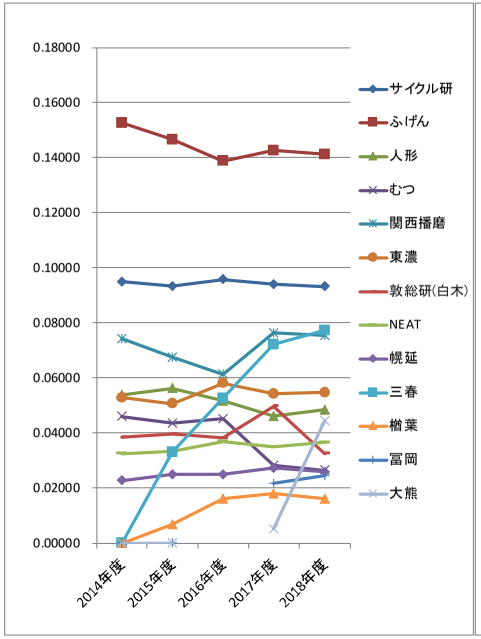
※ いわき、楢葉、富岡、大熊、東京、柏、,敦賀、敦総研(白木地区)、関西播磨については化石燃料使用なし。

表1-1-8 各拠点等でのエネルギーの使用に係る原単位の年度推移

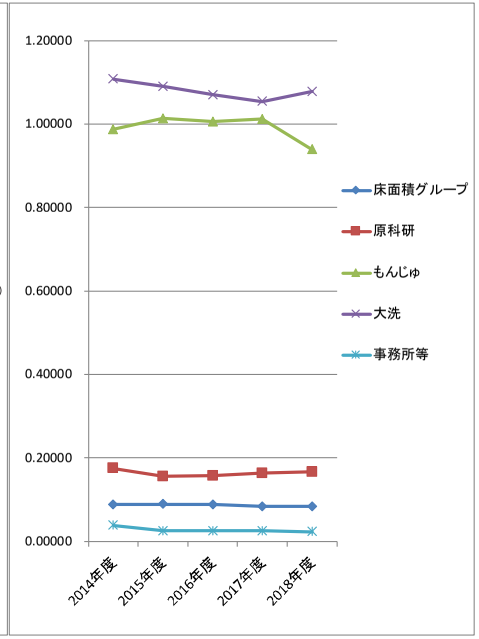
番号	拠点名	エネルギーの使用に係る原単位の算出方法	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
1	サイクル研	エネルギー使用量/床面積	0.09486	0.09330	0.09581	0.09393	0.09327
	ふげん		0.1526	0.1465	0.1388	0.1425	0.1412
	人形		0.05370	0.05624	0.05168	0.04623	0.04847
	むつ		0.04608	0.04357	0.04509	0.02825	0.02653
	関西播磨		0.07421	0.06759	0.06136	0.07643	0.07551
	東濃		0.05289	0.05069	0.05809	0.05427	0.05472
	敦総研(白木)		0.03847	0.03962	0.03826	0.04976	0.03262
	NEAT		0.03260	0.03337	0.03699	0.03489	0.03661
	幌延		0.02280	0.02498	0.02498	0.02730	0.02591
	三春		ー	0.03308	0.05263	0.07223	0.07735
	楢葉		ー	0.006839	0.01606	0.01799	0.01616
	冨岡		ー	ー		0.02175	0.02459
	大熊		ー	ー		0.005225	0.04451
	小　　計	ー	0.08859	0.08936	0.08794	0.08444	0.08420
2	原科研(J-PARC含む)	エネルギー使用量/(床面積×係数)	0.1752	0.1561	0.1574	0.1631	0.1661
3	もんじゅ	エネルギー使用量/理論上のエネルギー使用量	0.9881	1.014	1.007	1.012	0.9397
4	大洗	エネルギー使用量/時間	1.109	1.091	1.070	1.055	1.079
5	敦賀	エネルギー使用量/床面積	0.05319	0.04787	0.04339	0.04395	0.04008
	本部		0.03487	0.01858	0.01982	0.01976	0.01791
	東京		0.03018	0.02698	0.02469	0.02189	0.02423
	柏		0.04464	0.05007	0.05017	0.05017	0.05017
	いわき		ー	0.02113	0.02163	0.02163	0.02163
	福島		0.03131	ー	ー	ー	ー
	小　　計	ー	0.03896	0.02488	0.02480	0.02476	0.02350

機構全体の原単位の対前年度比(%)	99.3	99.6	100.4	100.1
機構の5年度間平均原単位変化 = 99.8				

床面積グループ(1)の原単位の年度推移



原単位の算出方法グループ毎の年度推移



事務所グループ(5)の原単位の年度推移

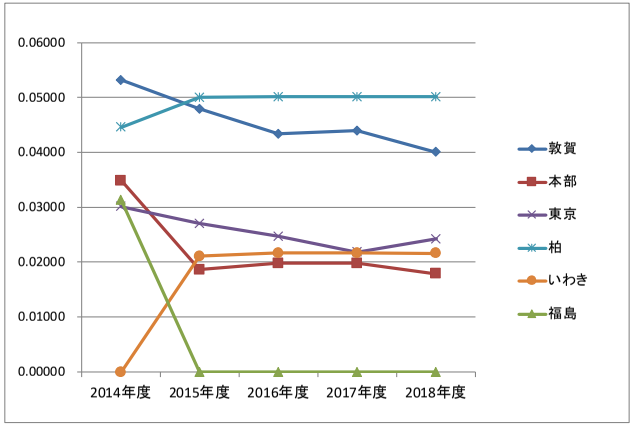
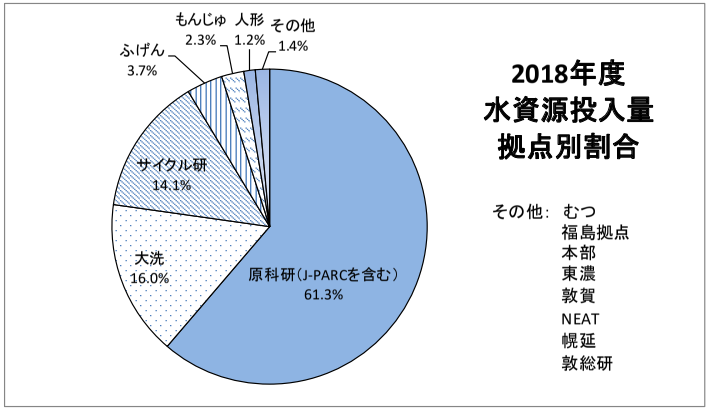


表1-2-1　水資源投入量拠点別種類別割合と年度推移（2018年度）

拠点名/項目	投入量（m^3）			全体に占める割合（%）	上水道（m^3）			工業用水（m^3）			地下水・井戸水（m^3）			河川水・湖沼（m^3）		
	2017年度	2018年度	2018/2017（%）		2017年度	2018年度	2018/2017（%）	2017年度	2018年度	2018/2017（%）	2017年度	2018年度	2018/2017（%）	2017年度	2018年度	2018/2017（%）
原科研（J-PARCを含む）	1,375,226	1,303,339	94.8	61.3	58,780	50,351	85.7	1,316,446	1,252,988	95.2	0	0		0	0	
大洗	280,897	340,282	121.1	16.0	0	0		0	0		261,457	291,682	111.6	19,440	48,600	250.0
サイクル研	298,203	300,370	100.7	14.1	40,807	38,950	95.4	257,396	261,420	101.6	0	0		0	0	
ふげん	96,923	78,903	81.4	3.7	0	0		0	0		0	0		96,923	78,903	81.4
もんじゅ	53,036	48,742	91.9	2.3	0	0		0	0		0	0		53,036	48,742	91.9
人形	28,558	25,008	87.6	1.2	0	0		0			28,558	25,008	87.6	0	0	
むつ	13,229	9,676	73.1	0.5	1,275	1,371	107.5	0	0		11,954	8,305	69.5	0	0	
福島拠点	4,473	4,984	111.4	0.2	2,676	3,383	126.4	1,797	1,601		0	0		0	0	
本部	3,493	3,485	99.8	0.2	3,493	3,485	99.8	0	0		0	0		0	0	
東濃	3,327	3,352	100.8	0.2	3,327	3,352	100.8	0	0		0	0		0	0	
敦賀	1,797	2,939	163.5	0.1	1,797	2,939	163.5	0			0	0		0	0	
NEAT	6,135	2,562	41.8	0.1	1,285	1,188	92.5	0	0		4,850	1,374	28.3	0	0	
幌延	2,137	2,138	100.0	0.1	2,137	2,138	100.0	0	0		0	0		0	0	
敦総研（白木地区：旧も運研）	2,903	1,517	52.3	0.1	346	646	186.7	0	0		0	0		2,557	871	34.1
合計	2,170,337	2,127,296	98.0	100.0	115,923	107,803	93.0	1,575,639	1,516,009	96.2	306,819	326,368	106.4	171,956	177,116	103.0
総量に対する種別の割合(%)	100	100			5.3	5.1		72.6	71.3		14.1	15.3		7.9	8.3	



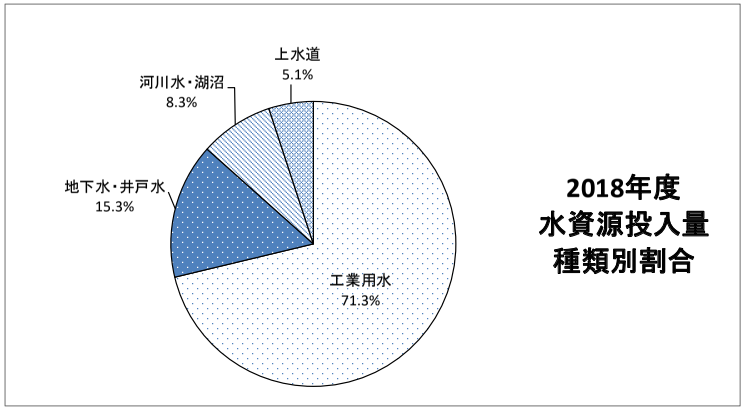
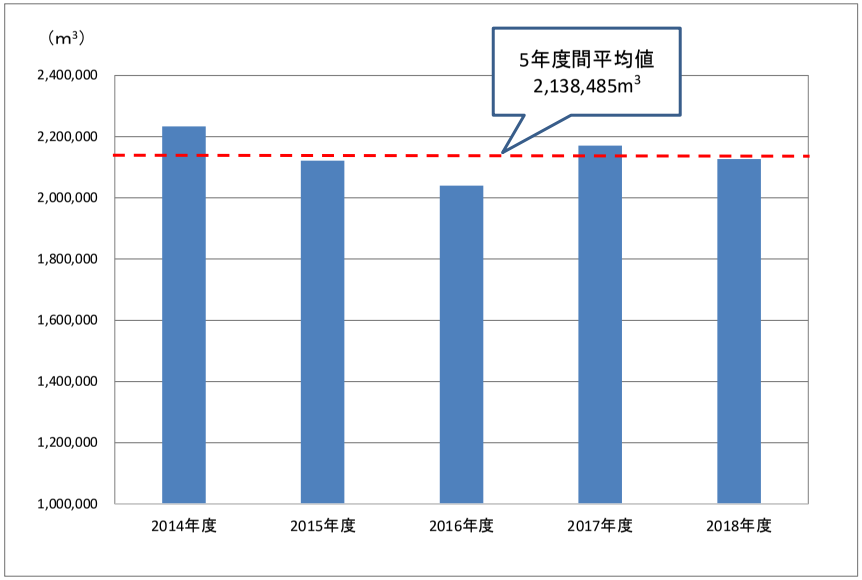


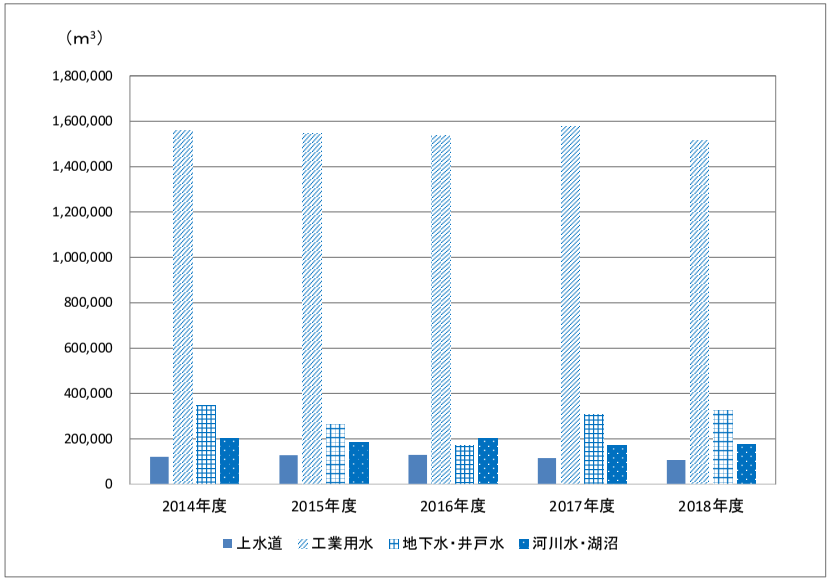
表1-2-2 水資源投入量の年度推移

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	対前年度比(%) 2018/2017	5年度間の平均
上水道	121,516	128,604	130,387	115,923	107,803	93.0	120,846
工業用水	1,560,741	1,544,706	1,536,828	1,575,639	1,516,009	96.2	1,546,784
地下水・井戸水	347,628	263,972	170,319	306,819	326,368	106.4	283,021
河川水・湖沼	203,376	184,533	202,184	171,956	177,116	103.0	187,833
水投入量合計(m^3)	2,233,260	2,121,814	2,039,718	2,170,337	2,127,296	98.0	2,138,485
下水道	26,986	87,951	92,396	96,159	102,328	106.4	81,164
公共用水域	4,210,281	3,846,136	3,757,672	4,006,642	3,446,947	86.0	3,853,536
排水量合計(m^3)	4,237,266	3,934,087	3,850,069	4,102,800	3,549,274	86.5	3,934,699

※年度推移にQSTは含まれていない。



水投入量合計の年度推移



水投入量の内訳

表1-2-3 水資源増減の理由及び取組内容(2018年度)(1/2)

拠点名	投入量増加(前年比)の理由	投入量減少(前年比)の理由	排水量増加(前年比)の理由	排水量減少(前年比)の理由	投入量に対して排水量が少ない場合の理由	投入量に対して排水量が多い場合の理由	備考
幌延	−	−	−	−	−	−	−
むつ	−	冬期における井戸水の使用量が、2017年度に比べて減少したため。 (2018年度は2017年度に比べて降雪量が少なく、消雪及び凍結防止に使用している井戸水が減少したため。)	−	冬期における井戸水の使用量が、2017年度に比べて減少したため排水量も減少した。 (2018年度は2017年度に比べて降雪量が少なく、消雪及び凍結防止に使用している井戸水が減少したため。)	−	−	−
楢葉	楢葉センターの利用者により増減するため。	楢葉センターの利用者により増減するため。	楢葉センターの利用者により増減するため。	楢葉センターの利用者により増減するため。	−	−	−
三春	各種実験等の頻度増加に伴い、容器洗浄等に使用する量が増加した。	−	各種実験等の頻度増加に伴い、容器洗浄等に使用する量が増加した。	−	−	−	−
富岡	2017年度に比べ、人員が増加したためと考えられる。	−	2017年度に比べ、人員が増加したためと考えられる。	−	−	−	現在、国際共同研究棟で使用している主な水資源は、生活用排水であることから、使用量は人員数に左右される。2018年度の計画目標を2017年度実績に設定したが、2018年度の投入量・排水量が2018年度計画目標(2017年度実績)を上回っているのは、人員が増加したためである。 なお、国際共同研究棟は2016年度から使用開始であったことから、今後とも人員、研究設備等の増加が見込まれ、水資源の使用量等も増加が見込まれる。
大熊	−	−	−	−	−	−	2018年3月に施設運用開始のため、3月分のみの比較。
本部	−	−	−	−	−	−	本部総合管理棟の検針は東海村からの委託業者が2ヶ月に1回実施しているため、毎月ごとの投入・排水量は算出されない。そのため、本部総合管理棟の2ヶ月分投入・排水量が奇数月に算出されるため、奇数月の投入・排水量が偶数月と比べて多くなっている。
原科研(J-PARCを含む)	−	処理場地区系統の上水配管(地中埋設)からの漏洩を補修したことにより、上水使用量が減少した。	−	各建家、希釈排水処理などの減少に伴い排水量が減少した。	−	雨水が排水に含まれたため。	−
サイクル研	−	−	−	−	−	−	−
大洗	天候等により地下水・井戸水の投入量が増加した。	−	−	−	−	−	−
NEAT茨城	水使用者が増加したため。	−	水使用者が増加したため。	−	−	−	−

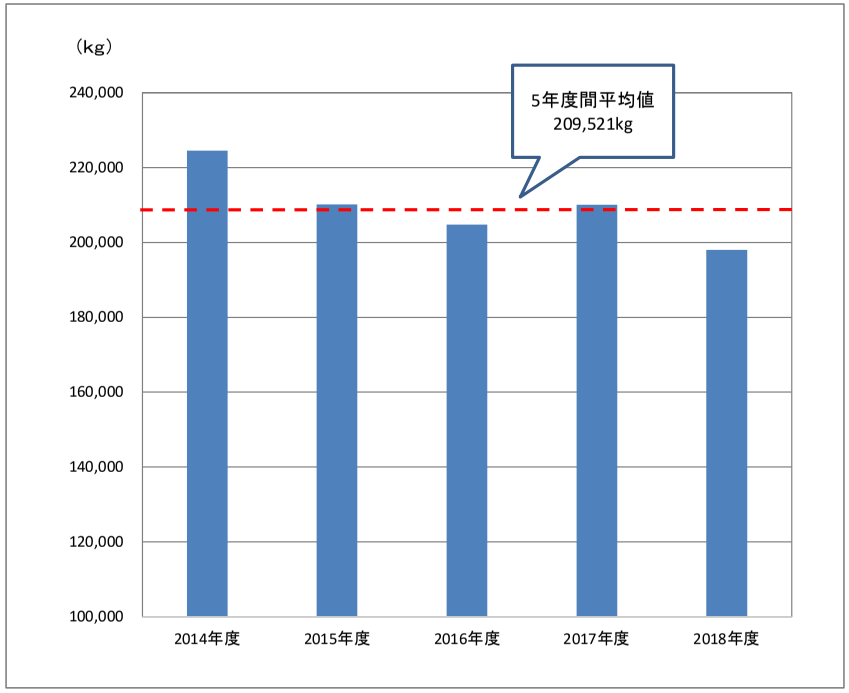
表1-2-3 水資源増減の理由及び取組内容(2018年度)(2/2)

拠点名	投入量増加(前年比)の理由	投入量減少(前年比)の理由	排水量増加(前年比)の理由	排水量減少(前年比)の理由	投入量に対して排水量が少ない場合の理由	投入量に対して排水量が多い場合の理由	備考
NEAT福井	−	2017年度は貯水槽に付属する弁が故障し、満水時に止水できなかったが、2018年度は弁が復旧したことから投入量が減少した。	−	2017年度は貯水槽に付属する弁が故障し、満水時に止水できなかったが、2018年度は弁が復旧したことから排水量が減少した。	−	−	−
東濃	−	−	−	−	−	−	−
敦賀	新規建屋(技術実証試験・交流棟)における水中タンク(満水容量120t)での試験開始に伴う使用量の増加	−	新規建屋(技術実証試験・交流棟)における水中タンク(満水容量120t)での試験開始に伴う使用量の増加	−	−	−	−
もんじゅ	−	荒天による碍子洗浄の頻度が減少したため、投入量が減少した。(2017年度は3,148m^3の使用に対して、2018年度は1,975m^3の使用であった) 水蒸気系設備が廃棄対象設備となり、2018年度から月例のサーベランス(再生塔水置換)を行っていないため、投入量が減少した。	−	水蒸気系設備が廃棄対象設備となり、2018年度から月例のサーベランス(再生塔水置換)を行っていないため、排水量が減少した。	開閉所の碍子洗浄は、敷地散布のため排水量に含めない。	−	−
ふげん	−	2017年度は雑用水タンク水位計不良に伴い連続供給としていたことから投入量が多かったが、2018年度は水位計の不良が復旧したことから投入量が減少した。	−	2017年度は雑用水タンク水位計不良に伴い連続供給としていたことから排水量が多かったが、2018年度は水位計の不良が復旧したことから排水量が減少した。	−	−	−
敦総研(白木地区:旧も運研)	−	2018年4月1日付組織改正に伴い、敦賀総合研究開発センター(白木地区)における人員数が減少したため。	−	2018年4月1日付組織改正に伴い、敦賀総合研究開発センター(白木地区)における人員数が減少したため。	−	−	−
人形	−	全体的に生活による専用水道の利用が減少した。	−	暖冬による積雪量の減少に伴い、雪解け水等による坑水の発生量が少なかったため、2017年度より減少した。	−	−	−

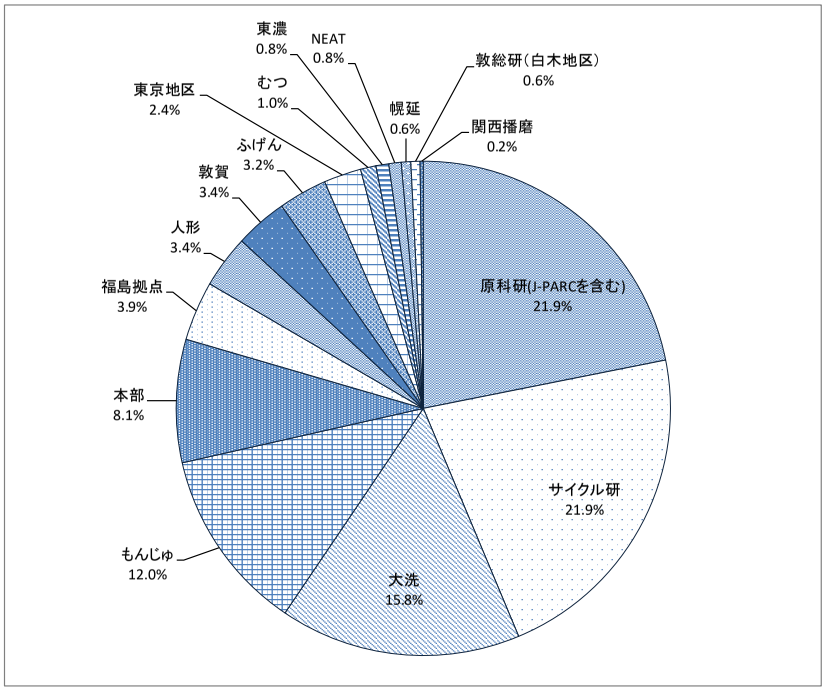
表1-2-4 コピー用紙投入量の拠点別割合と年度推移（2018年度）

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	対前年度比（%）2018/2017	5年度間の平均
コピー用紙投入量（kg）	224,556	210,189	204,752	210,104	198,003	94.2	209,521

※年度推移にQSTは含まれていない。



コピー用紙投入量の年度推移



コピー用紙投入量拠点別割合 （2018年度）

表1-3-1　廃棄物・再生利用物・有価物の排出量の年度推移

（単位：kg）

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
一般廃棄物の量　(a)	281,265	276,045	246,811	258,460	265,953
（うち、再利用した量）(b)	108,427	111,883	96,340	97,349	90,690
産業廃棄物の量　(c)	551,932	641,852	584,360	764,624	307,475
（うち、再利用した量）(d)	31,591	21,550	9,440	0	0
有価物の量　(e)	1,027,136	1,281,738	1,210,979	894,053	818,003
不要物の総量　(f)=(a)+(c)+(e)	1,860,333	2,199,634	2,042,149	1,917,137	1,391,431
再利用した量　(g)=(b)+(d)+(e)	1,167,154	1,415,171	1,316,759	991,402	908,693
再利用率　(h)=(g)/(f)	63%	64%	64%	52%	65%

※年度推移にQSTは含まれていない。

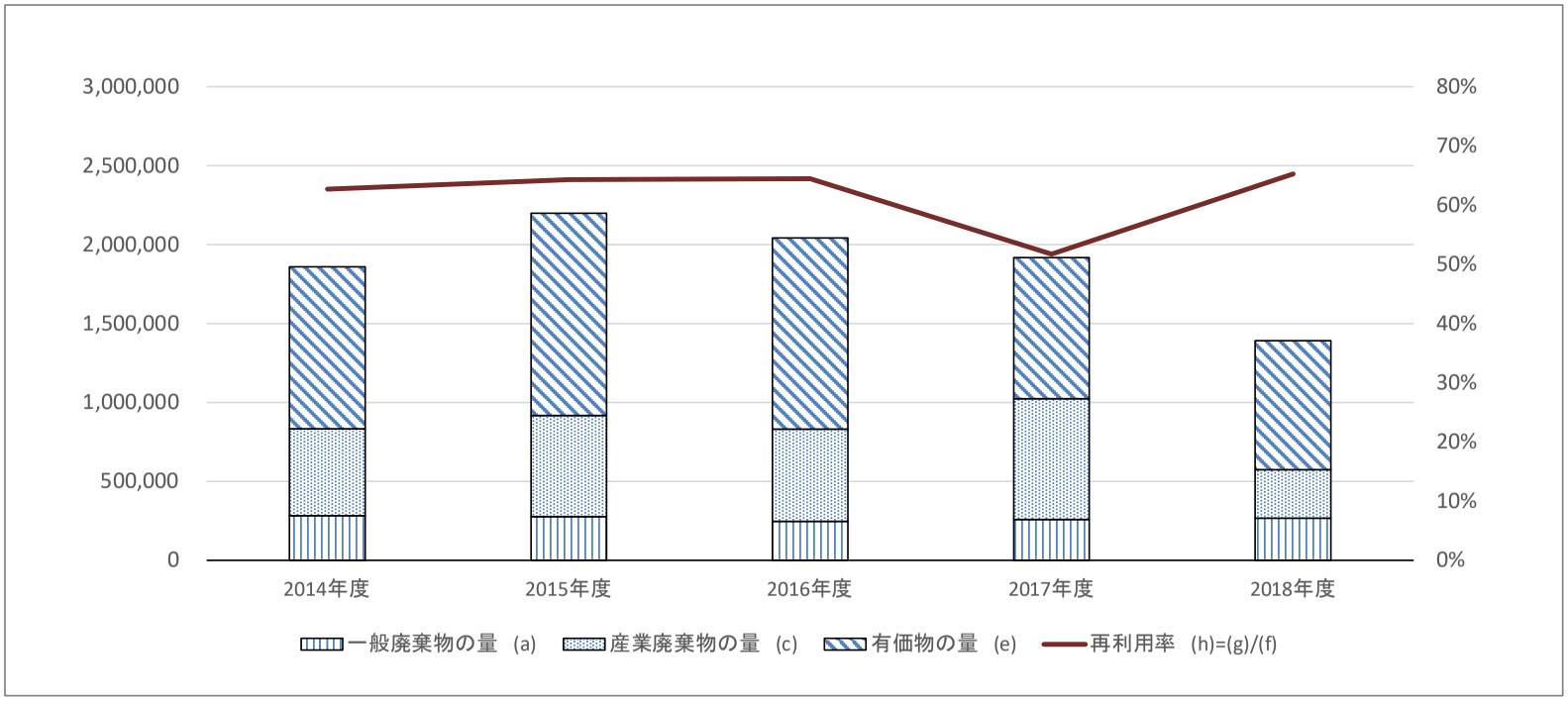


表1-3-2　主要なPCB廃棄物等（微量なPCBで汚染された物を含む）の2018年度末時点保管量と2018年度の処分済み実績量（2018年度）

（単位：台）

拠点名	区分	トランス			コンデンサ			リアクトル			安定器			小計			その他＊			合計（台）		
		高濃度	低濃度	濃度不明	高濃度	低濃度	濃度不明	高濃度	低濃度	濃度不明	高濃度	低濃度	濃度不明	高濃度	低濃度	濃度不明	高濃度	低濃度	濃度不明	高濃度	低濃度	濃度不明
むつ	年度末保管量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4	0	0	0	0	0	4	0	0
	当年度処分量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	146	0	0	146	0	0	0	0	0	146	0	0
原科研（J-PARCを含む）	年度末保管量	0	36	0	0	649	0	0	0	0	1,692	0	0	1,692	685	0	32	48	0	1,724	733	0
	当年度処分量	0	2	0	17	0	0	0	0	0	424	0	0	441	2	0	2	0	0	443	2	0
サイクル研	年度末保管量	0	14	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	25	14	0	0	1	0	25	15	0
	当年度処分量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大洗	年度末保管量	0	67	0	30	127	0	0	0	0	1,249	0	0	1,279	194	0	0	118	0	1,279	312	0
	当年度処分量	0	0	0	34	0	0	0	0	0	501	0	0	535	0	0	4	0	0	539	0	0
人形	年度末保管量	0	3	0	0	7	0	0	1	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	11	0
	当年度処分量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年度末保管量合計		0	120	0	30	783	0	0	1	0	2,970	0	0	3,000	904	0	32	167	0	3,032	1,071	0
当年度処分量合計		0	2	0	51	0	0	0	0	0	1,071	0	0	1,122	2	0	6	0	0	1,128	2	0

＊PCB廃液、PCB付着物など、左記に属さないもの。

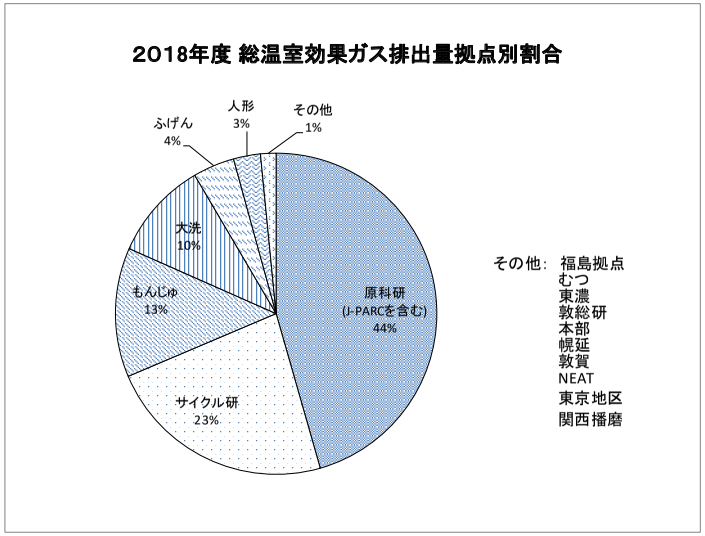
2018年度はむつ、原科研、大洗のPCB廃棄物を処理

注）環境データ管理システムの入力に困難なもの（個数で表記していないもの等）はここでは除いている。

「低濃度」にはPCBに微量に汚染されたものを含む。

表1-4-1　総温室効果ガス排出量拠点別割合と年度推移（フロン排出抑制法に基づき集計したフロン漏えい量を含む）（2018年度）

拠点名	2017年度	2018年度	対前年度比(%) 2018/2017	全体に占める 割合(%)
原科研(J-PARCを含む)	160,603	156,469	97.4	45.6
サイクル研	78,217	79,090	101.1	23.0
もんじゅ	53,532	44,714	83.5	13.0
大洗	33,252	34,011	102.3	9.9
ふげん	15,645	14,371	91.9	4.2
人形	9,230	9,336	101.2	2.7
福島拠点	918	1,334	145.3	0.4
むつ	5,386	908	16.9	0.3
東濃	585	593	101.5	0.2
敦総研（白木地区：旧も運研）	1,206	545	45.2	0.2
本部	466	518	111.1	0.2
幌延	445	441	99.0	0.1
敦賀	471	363	77.1	0.1
NEAT	318	355	111.6	0.1
東京地区	132	139	105.7	0.0
関西播磨	165	138	83.8	0.0
合計（t-CO_2）	360,572	343,324	95.2	100.0



原科研(J-PARCを含む)

拠点名	2017年度	2018年度	対前年度比(%) 2018/2017	全体に占める 割合(%)
原科研	55,564	57,927	104.25	16.87
J-PARC	105,040	98,542	93.81	28.70

福島地区

いわき	57	55	98.04	0.02
楢葉	294	351	119.64	0.10
三春	424	425	100.24	0.12
富岡	95	98	103.14	0.03
大熊	48	403	837.54	0.12

参考：表　電気事業者別二酸化炭素実排出係数（t-CO_2/kWh）

使用年度 / 電気事業者	2016年度実績	2017年度実績	2017/2016実績(%)
北海道電力	0.000632	0.000666	105.4%
東北電力	0.000545	0.000521	95.6%
東京電力ｴﾅｼﾞｰﾊﾟｰﾄﾅｰ（旧：東京電力）	0.000486	0.000475	97.7%
中部電力	0.000485	0.000476	98.1%
北陸電力	0.000640	0.000593	92.7%
関西電力	0.000509	0.000435	85.5%
中国電力	0.000691	0.000669	96.8%
エネット	0.000405	0.000423	104.4%
エネサーブ	0.000493	0.000410	83.2%
丸紅新電力	0.000362	0.000409	113.0%
F-Power		0.000502	
パネイル		0.000438	
平均	0.000525	0.000501	95.5%

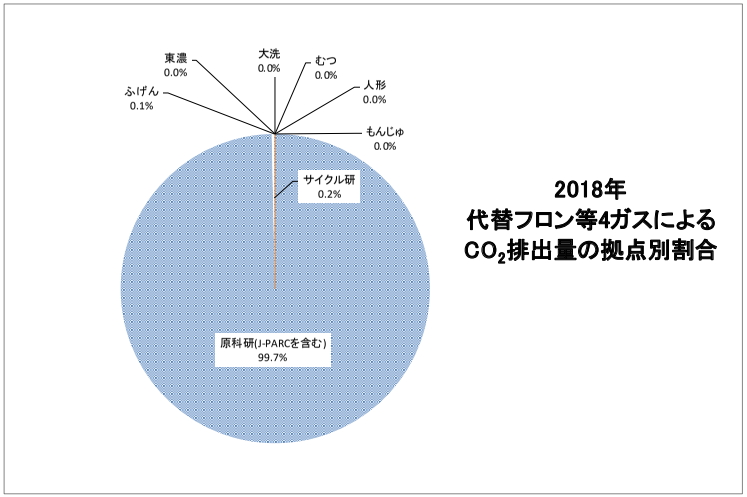
表1-4-2 エネルギー起源CO_2排出量拠点別内訳（2018年度）

分類項目	拠点名	基礎CO_2排出量（t-CO_2）	調整後CO_2排出量（t-CO_2）
工学研究所 7112	原科研(J-PARC含む)	135,106	134,849
	サイクル研	78,971	80,321
	もんじゅ	44,702	43,432
	大洗	33,404	33,372
	ふげん	14,341	13,894
	人形	9,326	9,418
	むつ	905	923
	東濃	575	736
	敦総研（白木地区：旧も運研）	545	635
	幌延	438	444
	三春	425	427
	大熊	402	392
	NEAT	355	369
	楢葉	349	342
	関西研播磨	138	133
	富岡	98	96
	（小　　計）	320,081	319,786
管理、補助的経済活動を行う事業所 7101	本部	518	521
	敦賀	293	342
	東京	82	81
	柏	58	59
	いわき	55	56
	（小　　計）	1,006	1,059
合計（t-CO_2）		321,087	320,845

表1-4-3　代替フロン等4ガスの拠点別割合と年推移（2018年）

拠点名	排出量（t-CO_2）															対前年比（%）2018/2017		
	2014年			2015年			2016年			2017年			2018年					
	代替フロン全体		SF_6のみ	代替フロン全体		SF_6のみ	代替フロン全体		SF_6のみ	代替フロン全体		SF_6のみ	代替フロン全体		SF_6のみ	代替フロン全体		SF_6のみ
むつ	0.19		0.00	0.23		0.00	11.99		11.75	4,418.32		4,418.18	0.11		0.00	0.0		0.0
原科研(J-PARCを含む)	22,898.76			22,026.47			16,474.46			16,346.67			20,395.24			124.8		
原科研		22,847.77	22,774.85		21,810.16	21,722.52		16,350.98	16,022.52		16,144.26	15,908.52		20,196.24	20,196.24		125.1	127.0
J-PARC		50.99	0.004		216.31	0.005		123.47	0.004		202.41	0.004		199.00	0.000		98.3	0.0
サイクル研	34.20		0.00	48.35		0.00	48.35		0.00	48.35		0.00	48.35		0.00	100.0		0.0
大洗	15.91		0.24	0.04		0.00	5.83		0.00	1.23		0.00	0.40		0.00	32.4		0.0
東濃	7.17		7.17	2.85		2.85	2.28		2.28	5.02		5.02	5.02		5.02	100.0		100.0
もんじゅ	160.69		103.49	176.87		98.72	129.48		0.00	142.60		0.00	0.00		0.00	0.0		0.0
ふげん	16.78		16.78	16.01		16.01	16.01		16.01	16.01		16.01	16.01		16.01	100.0		100.0
人形	0.02		0.02	0.14		0.02	0.01		0.01	0.01		0.01	0.01		0.01	100.0		100.0
合計	23,133.71		22,902.54	22,270.95		21,840.12	16,688.41		16,052.58	20,978.21		20,347.74	20,465.13		20,217.28	97.6		98.8

※年度推移にQSTは含まれていません。



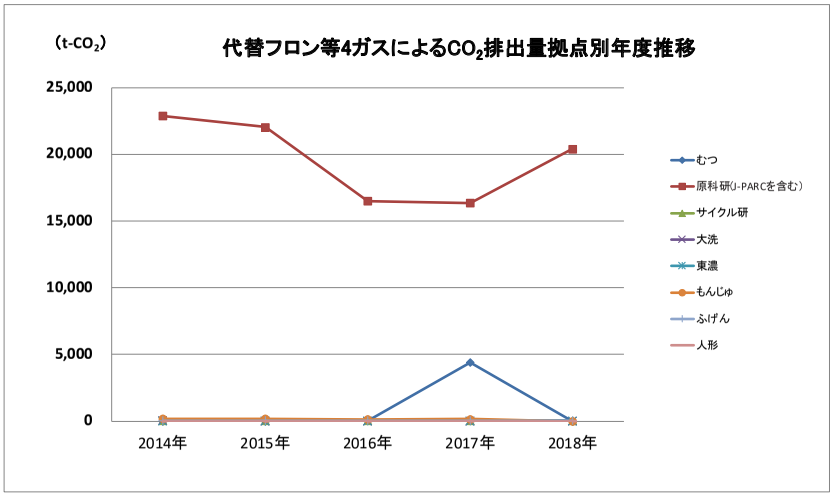


表1-4-4 代替フロン等4ガス増減の理由及び取組内容（2018年）

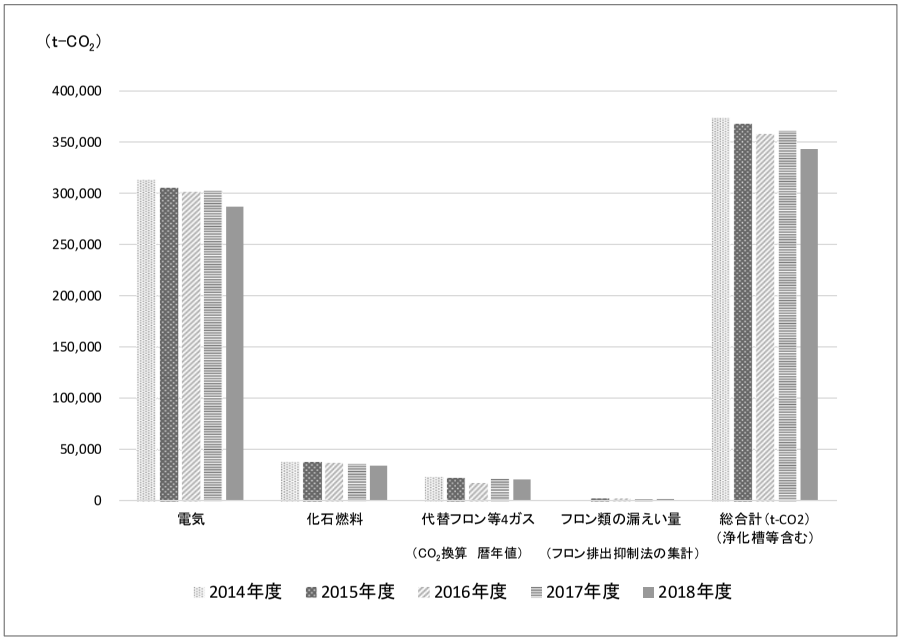
拠点名	増加の理由	減少の理由	削減のための取組み内容（ハード面）	削減のための取組み内容（ソフト面）	備考
むつ	－	2017年は、加速タンクの電源貫通部（ブッシング）からの漏えいがあったが、2018年は漏えい事象等がなかった。	－	－	－
楢葉	－	－	－	－	
三春	－	－	－	－	2017年データの記入ミスが判明 HFC-143欄ではなくHFC134a、HFC-245ca欄ではなくHFC-245fa（入力データは問題なし）
富岡	－	－	－	－	
大熊	－	－	－	－	施設管理棟は2018年3月に運用開始
原科研	－	－	－	－	－
J-PARC	J-PARCリニアック棟において、制御室用空調機故障により漏れがあったため、放出量（R410A：18.63kg）が増加した。修理を行い、再充填（R410A：19kg）を行った。なお、使用している冷媒は、R410A（HFC-32＆125の混合で、その比率は50/50）であるため、R410A量を1/2し、HFC-32＆125の項にそれぞれ記載 また、初期充填量は、工務第2課の管理所掌する空調機以外の機器の総量（配管分含む）で、今回、漏洩した空調機系統のみ総量は、前述の放出量である。	－	－	－
サイクル研	－	－	－	－	－
大洗	－	2017年に比べてエアコンの冷媒充填が少なかったため。	－	－	－
東濃	－	－	－	－	－
もんじゅ	－	該当冷凍機が廃棄対象設備となったため、充填及び排出が無かったため。 なお、設備を完全撤廃するまでの期間、充填及び排出は行わない。	－	－	－
ふげん	－	－	－	－	2008年より増減なし。
人形	－	－	－	－	SF_6は増減なし。

表1-4-5 総温室効果ガス放出量の放出源別年度推移

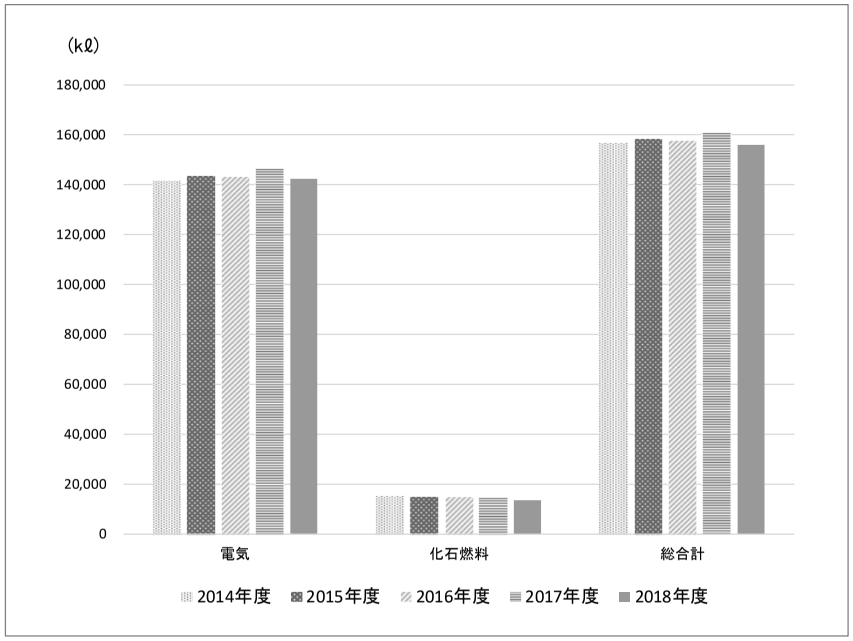
($t-CO_2$)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	対前年度比(%) 2018/2017
電気	313,279	305,429	301,577	302,129	287,063	95.0
化石燃料	37,723	37,288	36,706	36,065	34,023	94.3
代替フロン等4ガス	23,134	22,271	16,688	20,978	20,465	97.6
フロン類の漏えい量	—	2,662	2,327	1,170	1,546	132.2
総合計($t-CO_2$) (浄化槽等含む)	374,341	367,880	357,524	360,572	343,324	95.2

※年度推移にQSTは含まれない。



総温室効果ガス放出量の放出源別年度推移



投入エネルギー量の年度推移(原油換算値kℓ)

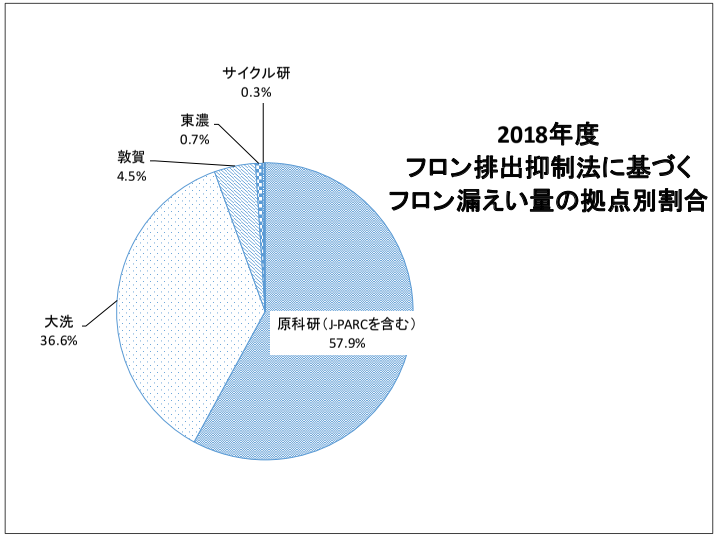
表1-4-6 拠点別フロン排出抑制法に基づくフロン漏えい量（2018年度）

フロン類の種類		R-11		R-22		R-32		R-134a		R-407C		R-410A		合計(t-CO_2)
特定漏えい者全体		算定漏えい量 (t-CO_2)	実漏えい量(kg)	算定漏えい量 (t-CO_2)	実漏えい量(kg)	算定漏えい量 (t-CO_2)	実漏えい量(kg)	算定漏えい量 (t-CO_2)	実漏えい量(kg)	算定漏えい量 (t-CO_2)	実漏えい量(kg)	算定漏えい量 (t-CO_2)	実漏えい量(kg)	算定漏えい量 (t-CO_2)
合計		1037.400	218.400	200.711	110.890	1.890	2.800	68.640	48.000	141.742	80.080	95.847	45.860	1546.230
都道府県	拠点名	算定漏えい量 (t-CO_2)	実漏えい量(kg)	算定漏えい量 (t-CO_2)	実漏えい量(kg)	算定漏えい量 (t-CO_2)	実漏えい量(kg)	算定漏えい量 (t-CO_2)	実漏えい量(kg)	算定漏えい量 (t-CO_2)	実漏えい量(kg)	算定漏えい量 (t-CO_2)	実漏えい量(kg)	算定漏えい量 (t-CO_2)
北海道	幌延	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
青森県	むつ	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
福島県	いわき	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	楢葉	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	三春	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	富岡	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	大熊	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	合計	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
茨城県	原科研(J-PARCを含む)	562.400	118.400	33.485	18.500	0.000	0.000	68.640	48.000	141.742	80.080	89.159	42.660	895.426
	サイクル研	0.000	0.000	4.905	2.710	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	4.905
	大洗	475.000	100.000	90.826	50.180	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	565.826
	本部	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	NEAT茨城	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	合計	1037.400	218.400	129.216	71.390	0.000	0.000	68.640	48.000	141.742	80.080	89.159	42.660	1466.157
千葉県	柏	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
東京都	東京	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
岐阜県	東濃	0.000	0.000	1.810	1.000	1.890	2.800	0.000	0.000	0.000	0.000	6.688	3.200	10.388
福井県	敦賀	0.000	0.000	69.685	38.500	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	69.685
	もんじゅ	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	ふげん	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	敦総研（白木地区：旧も運研）	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	NEAT福井	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	合計	0.000	0.000	69.685	38.500	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	69.685
兵庫県	関西播磨	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
岡山県	人形	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

表1-4-7 フロン排出抑制法に基づくフロン漏えい量拠点別割合と年度推移（2018年度）

都道府県名	拠点名	算定漏えい量（t-CO_2）								対前年比（%） 2018/2017	
		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度			
茨城県	原科研(J-PARCを含む)	1,655.64		1,601.40		762.84		895.43		117.38	
	原科研		1,420.08		1,404.11		674.34		682.49		101.21
	J-PARC		235.55		197.28		88.50		212.93		240.60
	サイクル研	43.09		42.51		14.63		4.91		33.53	
	大洗	185.37		137.72		48.09		565.83		1,176.56	
	茨城県計		1,884.10		1,781.63		825.56		1,466.16		177.596
岐阜県	東濃	0.00		3.01		25.69		10.39		40.43	
	岐阜県計		0.00		3.01		25.69		10.39		40.43
福井県	敦賀	12.67		0.00		73.09		69.69		95.34	
	もんじゅ	425.06		156.52		210.27		0.00		0.00	
	ふげん	236.01		27.09		35.66		0.00		0.00	
	も運研	13.76		78.92		0.00		0.00		－	
	福井県計		687.50		262.53		319.02		69.69		21.84
岡山県	人形	90.50		279.90		0.00		0.00		－	
	岡山県計		90.50		279.90		0.00		0.00		0.00
	合計（t-CO_2）		2,662.09		2,327.06		1,170.27		1,546.23		132.13

※年度推移にQSTは含まれていない。



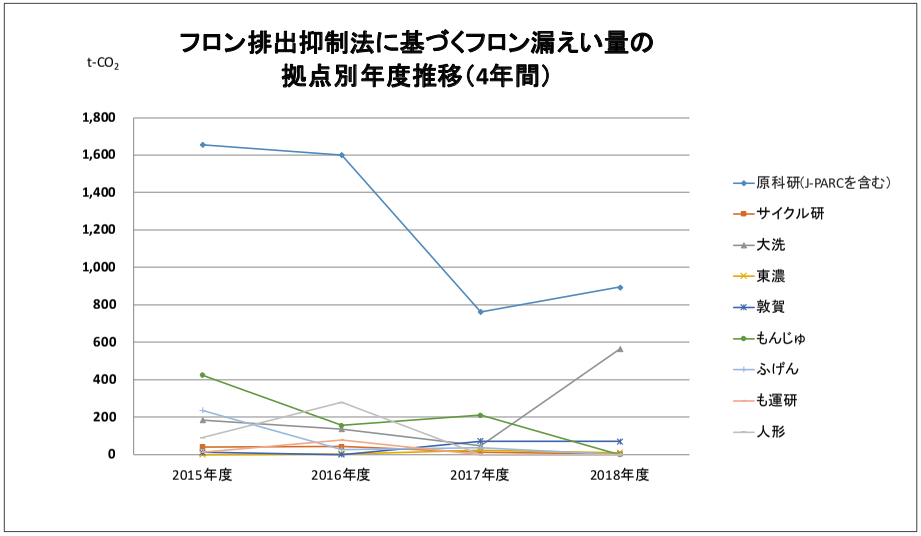


表1-4-8 拠点別フロン排出抑制法に基づくフロン漏えい量と漏えい理由、削減の取組（2018年度）

特定漏えい者全体合計($t-CO_2$)		1170.271	（環境データ管理システムに記載された理由等を転記したもの）			
都道府県	拠点	算定漏えい量($t-CO_2$)	漏えい理由	削減のための取組内容（ハード面）	削減のための取組内容（ソフト面）	備考
北海道	幌延	0.000				2018.6.7　定期点検3件
青森県	むつ	0.000				
福島県	楢葉	0.000				
	三春	0.000				
	富岡	0.000				
	大熊	0.000				施設管理棟は2018年3月から運用開始
	合計	0.000				
茨城県	原科研 （J-PARCを含む）	762.836	陽子加速器開発棟 ・建家空調：電磁弁不調による漏洩、実漏えい量6.1kg ・クリーンルーム空調：熱交換器交換老朽化による漏洩、実漏えい量12.4kg 他の施設：定期点検に伴う自然漏えい（以上、原科研のみ） 定期点検に伴う漏えい ・3GeVシンクロトロン棟、3NBT棟、L3BT棟、MLF、リニアック棟（以上、J-PARC）	機器更新に伴い特定フロンから代替フロンへ切替		-
	サイクル研	14.630	当該冷媒漏洩は経年劣化によるものである。	ろう付け部を再ろう付けした。		-
	大洗	48.092	経年劣化による冷媒配管の破損のため。	予防保全の観点から、低圧ターボ冷凍機の部品交換等を適宜実施する。またパッケージエアコンについては専門業者による定期点検を継続する。 耐塩害仕様の室外機へ更新した。	巡視点検にて、蒸発圧力計、凝縮圧力計、油面及び冷媒の液面を確認し、異常が無いことを確認する。 巡視点検の際に腐食の兆候を発見した場合は、速やかに保修又は更新を行う。	-
	本部	0.000				
	NEAT茨城	0.000				
	合計	825.557				
千葉県	柏	0.000				
東京都	東京	0.000				
岐阜県	東濃	25.691	土岐地球年代学研究所の空調設備の修理（冷媒の回収量と充填量の差分）及び更新に伴う冷媒の回収のため。	新たに冷媒使用機器を導入する際、冷媒の漏えいが、しにくいような新しい機種を優先的に検討する。	冷媒の漏えいに繋がる異常（腐食・錆）が生じていないか、定期点検や簡易点検の際には引き続き確認し、異常を発見したら速やかに修理等の対応を行う。	
福井県	敦賀	73.088	敦賀事業本部（アトムプラザ）のパッケージエアコン（PAH-40G）について、経年劣化により電磁弁が故障したため。（38kg） 敦賀事業本部（アトムプラザ）の氷蓄熱空調機（RT-J113H1）について、経年劣化により圧縮機・基盤交換を行ったため。（0.50kg）	敦賀事業本部（アトムプラザ）の空調機は設置から30年が経過し、経年劣化が著しいため、2019年度中に空調機の一部更新を行うことにより、排出抑制に努める。		-
	もんじゅ	210.272				-
	ふげん	35.663				-
	も運研	0.000				
	NEAT福井	0.000				
	合計	319.022				
兵庫県	関西播磨	0.000				
岡山県	人形	0.000				2017年度及び2018年度においては、フロン類の漏えいは発生していない。

表1-5 ISO14001認証取得状況（2019年3月末時点）

拠点名	業務内容	認証取得日及び更新日		審査年度	審査の種類	総合評価	登録組織の業種	審査登録機関	活動参加人数
東濃	地層科学研究及び関連施設の建設維持	2002年9月25日	認証取得	2002	取得審査	判定結果「合格」	11.核燃料、34.エンジニアリング、研究開発	JACO（日本環境認証機構）	149
				2003	維持審査	判定結果「合格」			
				2004	維持審査	判定結果「合格」			
		2005年8月24日	更新	2005	第1回更新審査	判定結果「合格」			
				2006	維持審査	判定結果「合格」			
				2007	維持審査	判定結果「合格」			
		2008年9月10日	更新	2008	第2回更新審査	判定結果「合格」			
				2009	維持審査	判定結果「合格」			
				2010	維持審査	判定結果「合格」			
		2011年9月7日	更新	2011	第3回更新審査	判定結果「合格」			
				2012	維持審査	判定結果「合格」			
				2013	維持審査	判定結果「合格」			
		2014年8月27日	更新	2014	第4回更新審査	判定結果「合格」			141
				2015	維持審査	判定結果「合格」			
				2016	維持審査	判定結果「合格」			140
		2017年8月30日	更新	2017	第5回更新審査	判定結果「合格」			131
		2018年8月29日	更新	2018	移行審査	判定結果「合格」			124

表1-6 環境マネジメントシステム(EMS)の構築、運用状況（2018年度）

拠点名	環境マネジメントシステム（EMS）の構築、運用状況及びその評価並びにそれをふまえた今後の方向性
東濃	環境管理システム運用開始から16年が経過しシステム改善がさらに進むとともに、外・内部監査によって指摘のあった事項については、環境管理システム運用以外の業務に顕・潜在するリスクの推定にも活かされるなど、他業務への応用も図られている。 品質保証（ルールの策定と順守）は全ての業務に共通する重要事項であり、業務を確度高く進めるうえで有効な手段となるが、環境管理システムはそのーモデルとしても有用と考える。また、同システム導入により取得しているISO14001認証については、東濃地科学センターが遂行する業務が第三者によるチェックを受けているという証左ともなるため、地域の方々の信頼をより得るためにも維持していく。

表1-7 環境に配慮したサプライチェーンマネジメントの状況（2018年度）

拠点名	環境に配慮したサプライチェーンマネジメントの状況 （サプライチェーンマネジメントに関する方針、基準、計画、実績等）
むつ	発注仕様書において、グリーン購入法の推進等を要求している。
東濃	発注仕様書において、グリーン購入法の推進等を要求している。

表1-8 清掃活動等のボランティア等への参加・貢献状況（2018年度）(1/2)

拠点名	タイトル	実施時期	協力者人数	場所	概要
幌延	2018年度「春のクリーン作戦」	2018年5月24日	8	町内公道	町内公道の清掃
	2018年度「秋のクリーン作戦」	2018年10月9日	10	町内公道	町内公道の清掃
むつ	青森研究開発センター周辺環境配慮活動	2018年7月17日	6	青森研究開発センター構内（大湊地区）	青森研究開発センター構内の空き缶、ガラス片、ゴミくず等を清掃した。
	青森研究開発センター周辺環境配慮活動	2018年7月27日	17	青森研究開発センター周辺（関根地区）	青森研究開発センター周辺の空き缶、ガラス片、ゴミくず等を清掃した。
	青森研究開発センター周辺環境配慮活動	2018年11月7日	6	青森研究開発センター構内（大湊地区）	青森研究開発センター構内の落ち葉・松ぼっくり・枯れ枝ひろい及び可燃・不燃ごみひろいを行った。
	青森研究開発センター周辺環境配慮活動	2018年11月27日	25	青森研究開発センター構内（関根地区）	青森研究開発センター構内の落ち葉拾いを行った。
楢葉	楢葉町春のクリーンアップ作戦	2018年6月3日	10	事業所周辺	事業所周辺の清掃
	楢葉町秋のクリーンアップ作戦	2018年10月4日	20	事業所周辺	事業所周辺の清掃
本部	第4回　外来生物除去作戦	2018年5月26日	5	東海村　総合福祉センター「絆」	東海村中心部の貴重な緑地帯を守るため、外来生物（オオキンケイギク、セイタカアワダチソウ）を除去する。
本部 原科研 サイクル研	2018年度「東海村春のクリーン作戦」	2018年5月31日	936	原科研、サイクル研周辺、本部周辺	原子力科学研究所、核燃料サイクル工学研究所 本部周辺の清掃
	2018年度「久慈川水系一斉クリーン作戦」	2018年7月1日	161	久慈川流域	久慈川流域(石神外宿河川敷グラウンド、石神内宿河川敷グラウンド)の清掃
	2018年度「東海村秋のクリーン作戦」	2018年11月15日	891	原科研、サイクル研、本部周辺	原子力科学研究所、核燃料サイクル工学研究所、本部周辺の清掃
大洗	クリーンアップ大洗	2018年7月1日	120	大洗町	夏の海水浴シーズンに備えて海岸の清掃を行うことにより、町の美化に貢献するとともに地域との共生を深めた。
	昼休みボランティア清掃	2018年4月～2019年3月（毎月1回程度）	864	鉾田市、大洗町	大洗研究開発所周辺の清掃活動
NEAT福井	市民総ぐるみ環境美化運動 クリーンアップふくい大作戦	2018年5月31日	6	事務所沿い県道	県道周辺のゴミ拾い
東濃	道の駅「志野・織部」付近の植栽帯における花植作業	2018年6月7日 2018年6月13日 2018年9月10日～9月21日 2018年11月14日 2018年11月21日	81	事務所周辺（道の駅「志野・織部」付近）	植栽帯の土づくり、花植、水やり作業を行った。
	散策路及び植栽の整備	2018年6月4日～ 2018年10月26日	76	事務所周辺（瑞浪超深地層研究所付近）	散策路及び植栽の整備を行った。
	土岐川(狭間川)河川清掃への参加	2018年6月3日	28	事務所周辺（サイエンスワールド付近）	事務所近隣の河川岸の草刈り及びゴミ回収を行った。
	賤洞町内会草刈への参加	2018年8月26日	4	土岐市泉町	東濃鉱山のある賤洞地区の道路周辺の草刈と清掃を行った。
	賤洞町内会側溝清掃への参加	2019年3月10日	4	土岐市泉町	東濃鉱山のある賤洞地区の道路側溝の清掃を行った。
敦賀	クリーンアップふくい大作戦	2018年6月14日	50	本部事務所周辺	本部事務所周辺の清掃
	本部事務所周辺清掃活動	2018年10月2日	50	本部事務所周辺	本部事務所周辺の清掃

表1-8 清掃活動等のボランティア等への参加・貢献状況(2018年度)(2/2)

拠点名	タイトル	実施時期	協力者人数	場所	概要
もんじゅ	第1回クリーン美浜	2018年4月27日	20	美浜町 水晶浜交差点～馬背峠	県道の清掃(水晶浜交差点～馬背峠) 美浜町からの要請
	白木海岸清掃	2018年6月3日	11	敦賀市 白木浜	白木浜の清掃 ボランティア参加
	クリーンアップふくい大作戦in美浜	2018年6月10日	16	美浜町 菅浜城ヶ崎～水晶浜臨時派出所、 水晶浜臨時派出所～丹生トンネル前	菅浜城ヶ崎～水晶浜臨時派出所、水晶浜臨時派出所～丹生トンネル前の清掃 美浜町からの要請
	白木海岸清掃	2018年7月1日	9	敦賀市 白木浜	白木浜の清掃 ボランティア参加
	第2回クリーン美浜	2018年9月12日	23	美浜町 水晶浜交差点～馬背峠	県道の清掃(水晶浜交差点～馬背峠) 美浜町からの要請
	白木海岸清掃	2018年12月9日	8	敦賀市 白木浜	白木浜の清掃 ボランティア参加
	白木海岸清掃	2019年3月24日	11	敦賀市 白木浜	白木浜の清掃 ボランティア参加
ふげん	クリーンアップふくい大作戦	2018年6月3日	31	敦賀市 立石区及び浦底区	職場の周辺公共道路及び海岸を清掃し環境美化に務める。
	県道清掃	2018年6月13日	19	敦賀市 立石区及び浦底区	職場の周辺公共道路を清掃し環境美化に務める。
	水島清掃	2018年6月27日	31	敦賀市 水島	観光名所である水島を清掃し地域環境の保全・美化に貢献するとともに、地域の方々との交流を深める。
	県道清掃	2018年10月23日	17	敦賀市 立石区及び浦底区	職場の周辺公共道路を清掃し環境美化に務める。
人形	第1回ボランティア清掃活動	2018年5月19日	50	センター周辺及びセンターから国道までの町道	センター周辺及びセンターから国道までの町道(3方向)の清掃活動を実施した。
	第2回ボランティア清掃活動	2018年10月20日	50	センター周辺及びセンターから国道までの町道	センター周辺及びセンターから国道までの町道(3方向)の清掃活動を実施した。
原子力機構からの参加者・貢献者の人数		合計	3,674		

表1-9 緑化・植林・植樹・花壇の整備等の取組(2018年度)

拠点名	タイトル	実施時期(開始～終了)	概要
富岡	国際共同研究棟敷地内緑化管理	2018年6月27日～6月30日 2018年10月17日～10月19日	敷地内緑化管理業務として、芝生剪定(1,081m^2)、低木(ツツジ)剪定(421m^2)、消毒、施肥等の作業を実施
本部	構内緑地管理作業	2018年5月～12月	構内環境美化のため、除草作業・除草剤散布を行った。 (対象面積:34,551m^2)
	構内樹木の支柱再編・伐採作業	2018年12月～2019年2月	構内における樹木の倒木等による建屋及び人、電線等への被害防止等のため、樹木の支柱再編・伐採作業を行った。 (支柱再編対象樹木:35本、伐採対象樹木:1本)
原科研	構内花壇整備	2018年4月～2019年3月	構内の花壇の植替え等を行った。(2,620本、322m^2)
	松枯れ対策	2018年4月～2019年3月	松くい虫による松枯れ対策として研究所構内の松枯れ調査を実施し、その結果を基に、枯れ松の伐採及び樹幹注入を行い被害の拡大を防止した。
サイクル研	構内植栽管理作業	2018年5月～12月	構内環境美化のため、樹木・寄植の剪定及び芝刈り並びに除草作業を行った。 (対象面積198,836m^2)
	構内枯れ松の伐採及び植樹作業	2019年3月	構内における枯れ松の倒木及び松くい虫の被害拡大を防ぐため、枯れ松の伐採を行った。(対象樹木本数389本) また、伐採箇所の一部へ抵抗性マツの苗木を植樹した。(植樹本数200本)
	構内樹木樹幹注入作業	2019年3月	構内の松を松くい虫の被害から守るため、薬剤の樹幹注入作業を実施した。 (対象樹木本数4,080本)
大洗	構内芝草刈作業	2018年6月～2019年1月	構内の屋外消防設備周辺や施設周辺の安全等を維持するために、芝草刈作業等を行った。
	花壇整備作業	2018年4月～2019年3月	南門花壇における花の植え替え作業を行った。
	立ち枯れ樹木の伐採及び樹木の枝払い作業	2018年6月	構内における立枯れ樹木の伐採と枝払いを行った。
	松くい虫駆除のための薬剤散布	2018年6月～2018年7月	松くい虫被害拡大を防止するため松くい虫防除薬剤の散布を行った。
	樹木の植樹等作業	2018年11月～2019年3月	過年度までに行った枯松伐採作業により木々が疎らに存在している箇所について、森林部再生のため植樹作業を行った。
	立ち枯れ樹木の伐採及び樹木の枝払い作業	2018年11月～2019年1月	構内における立枯れ樹木の伐採と枝払いを行った。
	枯松等の伐採作業	2019年2月～2019年3月	構内における枯松等の伐採を行った。
NEAT茨城	支援・研修センター敷地内の植栽・緑化・花壇整備	2018年4月～2019年3月	樹木、芝の定期的な剪定、刈りこみの実施 敷地内の環境美化の一環として花壇を整備 夏にはグリーンイノベーションとしてゴーヤのカーテンによる遮熱
人形	第11回「とっとり共生の森事業」森林保全活動	2018年5月19日	2012年7月12日、鳥取県からの要請によりレンガ加工場跡地を「とっとり共生の森事業」として参画することとなった。センターの安全等連絡協議会が主催し、レンガ加工場跡地に植樹された樹木について、積雪により倒れた木を起こす作業及び施肥と水やり作業を実施した。
	第12回「とっとり共生の森事業」森林保全活動	2018年10月20日	2012年7月12日、鳥取県からの要請によりレンガ加工場跡地を「とっとり共生の森事業」として参画することとなった。センターの安全等連絡協議会が主催し、レンガ加工場跡地に植樹された樹木について、森林の環境保全のための下草刈り作業を実施した。

表1-10 環境に関する拠点等の独自の活動、地道な取組等(2018年度)(1/2)

拠点名	タイトル	概要
幌延	電力デマンド管理と制御	使用する電力のデマンド管理(設定値以上の使用の場合には警報発報し、また電力デマンドデータを取得)を行っており、これと連動して設定値以上となったピーク時においては空調設備の部分的な停止を自動的に行う制御を導入している。この管理等により電力使用のピーク抑制対策を行っている。
	胆振東部地震による節電要請への対応	胆振東部地震の発生により北海道内の電力不足となったことによる節電要請を受け、節電要請期間中は主に以下の節電対策を実施した。 窓側照明の消灯、空調の部分運転、敷地内街灯の消灯、その他可能な電気機器の電源OFF
むつ	照明器具のLED化	大湊施設研究棟の照明器具をLED化して節電に努めている。 測定室、トイレ等の照明器具をLEDに交換することにより、前年度比5%の節電に努めた。
	照明器具のLED化	大湊施設事務棟の照明器具をLED化して節電に努めている。 旧所長室、廊下、トイレ等の照明器具をLEDに交換することにより、前年度比5%の節電に努めた。
いわき	昼休み時の照明の消灯	昼休み時の居室内の消灯を徹底して行い、節電に努めている。
大熊	施設管理棟の人感センサー照明	居室・会議室以外の場所(廊下・共用部屋)には人感センサー式照明を導入し、節電に努めている。
楢葉	クールビズ及びウォームビズの実施	クールビズは、日頃からノーネクタイ等の軽装を推奨しており、会議等も軽装での参加としている。ウォームビズは、重ね着等により暖房に頼らないワークスタイルを心掛けている。
	冷暖房温度の適正化	環境省の推奨する室温に準じて、日頃から夏は28度・冬は20度の設定を心掛けている。
	昼休みの消灯及び不在時消灯の励行	昼休みの休憩時間を利用して、事務室の照明を消灯して節電に努めている。また、会議室等の不在時は消灯の励行をしている。
	印刷時の省資源活動	原則白黒で両面印刷を促進している。また、裏紙利用の活用や会議等のペーパーレス化も併せて促進している。
本部	ペーパーレス会議の拡大	更なるペーパーレス会議利用推進のため、2018年度においてはiPad Proを新規購入した。また、iPad及びBIG PADの操作方法についてJDPブログを通じて原子力機構大に取組を紹介した。
サイクル研	技術管理棟1階男女トイレ照明及び換気扇の自動化	技術管理棟1階男女トイレに人感センサーを設置、照明及び換気扇を自動化し、節電に努めている。
	蛍光灯からLED照明への切替	居室の蛍光灯のLED化を行い、省エネに貢献している。
	遮光ネット設置により居室内温度上昇を軽減	日差しが強くなる時期(6月～9月)において、直射日光による居室内温上昇を軽減するため、第三開発室(2階)ベランダに遮光ネットを設置し省エネに貢献している。
	室内照明のLED化	第三開発室管理区域内の各工程室照明を随時、蛍光灯からLEDランプに交換し、消費電力、CO_2排出量の低減に努めている。残りの蛍光灯についても、随時、LEDに交換していく計画

表1-10 環境に関する拠点等の独自の活動、地道な取組等（2018年度）（2/2）

拠点名	タイトル	概要
NEAT茨城	お昼休みの照明の消灯	日中のお昼休みの時間帯で照明を消灯して節電に努めている。
	グリーンカーテンを育成	日差しの強い支援棟1F居室窓側にゴーヤのグリーンカーテンを栽培し、遮断になるよう夏の節電対策とした。
東京	ペーパーレス会議の拡大	更なるペーパーレス会議利用推進のため、2018年度においてはタブレットやノートPCと無線で接続可能な大画面ディスプレイを設置した。また、事務所員向けの操作方法に関する説明会を開催するとともに、JDPブログを通じて機構大に取組を紹介した。
人形	「業務目標（省資源・省エネ）」による管理	2013年度から「業務目標（省資源・省エネ）」の管理に移行し、「省エネ法に基づく定期報告書の過去5年間のエネルギー消費原単位の変化状況」により年平均1%削減の管理を実施している。 2014年度を基準年度とし、2015年度から2018年度の4年間では、年平均2.5%の減少となった。 2018年度の活動は、センターの熱水供給のうち、2017年8月にEEF側の配管に腐食が見つかり、以降はEEF側への熱水の供給を停止した。2018年12月末に配管の修理が完了し、同時期から熱水の供給を再開したため、2017年度に比べ重油の使用量が増加した。また、エネルギー原単位では、2017年度に比べて4.9%増加した。
	「温室効果ガス排出の抑制等の実施計画」による管理	「温室効果ガス排出の抑制等の実施計画」は、再設定時期に当たり、2017年度を基準年度とすると最低の基準年度となり改善の見込みがたたないため、過去5年間（2013年度～2017年度）の平均値を用いた実施計画を策定した。 再設定は2013年度～2017年度の5年間の平均値を基準年度とし、年平均1%（5%/5年）の削減管理を実施した。 5ヶ年計画の初年度（1年目）の活動を実施し、2018年度は過去5年間の平均と比べて11.4%の削減となった。 要因は、センターの熱水供給のうち、2017年8月にEEF側の配管に腐食が見つかり、以降はEEF側への熱水の供給を停止した。2018年12月末に配管の修理が完了し、同時期から熱水の供給を再開した。このため、通常の熱水供給量（過去5年間平均）とEEF側の停止期間との差により重油の使用量が22%:減少した。また、電気の使用量は滞留ウラン回収作業の終了等に伴い、過去5年間の平均と比べて3.2%減少した。

表1-11 2018年度環境目標の結果と評価(1/2)

環境目標 活動施策	環境目標項目 【拠点等における評価指標】	目標・評価指標に対して取り組むべき内容(計画)	2018年度の実施結果	各拠点の実施結果の妥当性 (結果の分析)	評価	今後の方策
省エネルギーの推進	2014年度を開始年度とし2018年度末に、エネルギー消費原単位を年平均1%以上削減、または電気需要平準化評価原単位を、2014年度を開始年度とし、2018年度末に年平均1%以上削減すること。 各拠点相互間の情報交換等を活用し、電気及び化石燃料の効率的・効果的な使用、電気平準化等に関する新たな方策を見出して実施すること。 【拠点等における評価指標】 昨年度まで実施していなかった省エネ、電気需要平準化、設備改善につながる取組み等の新たな方策を1 つ以上取り入れ、実施すること。	各拠点において、電力や化石燃料の使用量の削減及び電気需要平準化のための施策を計画した。 ・昼休みや使わない会議室等の照明のこまめな消灯の徹底 ・空調温度の適正設定 ・クールビズ、ウォームビズの推進 ・照明設備のLED化の計画的推進 ・省エネパトロールの実施 ・暖房、融雪設備等の合理的使用 ・設備の定期点検時期を夏・冬のピーク時期に設定 ・低公害、低燃費等の環境配慮型自動車の導入、アイドリングストップの推進等 ・夏・冬の一斉休暇期間中の設備機器の運転停止 ・省エネポスターの掲示やイントラへのエネルギー使用量の見える化等の省エネ意識の啓発など	機構全体で省エネルギー推進のため不要な照明や昼休みの消灯、空調温度の適正化に努めた。また拠点においては新たな方策として、安全上、業務実施上支障のない範囲で空調稼働時間の変更や窓側照明の消灯、受変電設備の定期点検を夏期に実施し電気需要平準化に向けた取組みなどを実施した。 目標の5年度間での原単位は年平均約0.2%の削減、平準化原単位は年平均約0.2%の削減となり、どちらも目標の1%削減には届かず、目標は達成できなかった。 (電気の使用量) 2018年度の対前年度比:約98% (化石燃料の使用量) 2018年度の対前年度比:約94%	原単位を拠点別に見ると、原科研は、エネルギーの使用量は低減したが、エネルギー使用量の少ない施設の解体撤去をしたことで、「エネルギーの使用量と密接な関係を持つ値」が減少したことにより、原単位算出の分母が小さくなったため、原単位が増加している。また、大洗においては主要施設の実験計画の進捗により運転時間が増加し、エネルギー使用量が増加した。 目標達成のためには、業務の遂行に伴い原単位が増加する拠点については、原単位の設定の見直しを検討する必要がある。また、令和元年度においては使用電力のうち、生活電力を把握し、省エネ活動との関係性を調査しているところである。 なお、2018年度においては、電気の使用量及び化石燃料の使用量については、対前年度比でどちらも1%以上の削減を達成している。	未達成	エネルギー使用量の削減努力を継続する。 また、省エネ活動の結果を明確にするため、研究開発等で使用するエネルギーとは別に生活電力等の新たな指標を策定を検討する。
省資源の推進	水、コピー用紙等の投入資源を削減すること。 【拠点等における評価指標】 水またはコピー用紙使用量が直近5 年度間の平均使用量を下回ること。	各拠点において、水資源及びコピー用紙等の投入量の削減のための施策を計画した。 ・水の使用状況を確認し、節水に関する啓蒙活動を実施 ・JAEAダイエット・プロジェクトのペーパーダイエットを推進する ・電子媒体を用いるなどのペーパーレス会議の推進 ・コピー用紙使用状況の視覚化および使用量削減の呼び掛けを実施	機構全体において、各資源の投入量削減計画に基づき、水資源及びコピー用紙の投入資源量を5年度間平均使用量よりも削減することができた。 【水資源】 ○2018年度の対前年度比:約98% ○2018年度の過去5年度間平均値の比:約99% 【コピー用紙等】 ○2018年度の対前年度比:約94% ○2018年度の過去5年度間平均値の比:約95%	節水及びコピー使用量削減のための啓蒙活動については、ポスター掲示やJAEAダイエットプロジェクトに併せ、各拠点で実施しているため良好と判断する。	達成	拠点にさらなる節水を呼びかけ、節水意識の向上を図る。 投入資源の削減努力をJAEAダイエットプロジェクトと併せて工夫して継続する。

表1-11 2018年度環境目標の結果と評価(2/2)

環境目標 活動施策	環境目標項目 【拠点等における評価指標】	目標・評価指標に対して取り組むべき内容(計画)	2018年度の実施結果	各拠点の実施結果の妥当性 (結果の分析)	評価	今後の方策
廃棄物の低減	・一般廃棄物の排出量の低減を推進すること。 ・分別回収を徹底するとともに、有価物を回収すること。 【拠点等における評価指標】 ・一般廃棄物排出量が直近5年度間の平均を下回ること。 ・有価物としての販売額が0を上回ること。	各拠点において、一般廃棄物の排出量削減のための施策を計画した。 ・分別回収の徹底による混合廃棄物の低減及び有価物回収の推進 ・古紙リサイクルの一層の徹底 ・ポスター掲示等による啓蒙活動の実施	機構全体において、一般廃棄物の排出量が対前年度比で約3%増加したが、5年度間平均との比ではほぼ同程度となった。有価物の回収を含む資源の再利用率についても昨年度より上昇しており、目標を達成している。 (廃棄物の発生量) 一般廃棄物の2018年度の対前年度比:約103% 一般廃棄物の2018年度の過去5年度間平均値の比:約100% 2018年度の廃棄物の再利用率:約65%	・再利用した比率が対前年度比で増加し、また各拠点において、再利用が可能な不要物については再利用する努力を行っている(良好) ・拠点、建屋等ごとに分別回収箱を設置し、回収を実施している(良好) ・拠点における定期的分別回収が定着している(良好)	達成	更なるリサイクルに向けて努力を継続する。
環境保全に関する情報発信の推進	効果的な環境保全に関する情報発信の方策の検討と推進を行うこと。 【拠点等における評価指標】 拠点等の公開ホームページまたは広報誌に環境配慮活動情報を掲載していない場合は新たに1 項目以上掲載する。 掲載情報は年間1回以上更新すること。	各拠点において、環境保全に関する情報発信及び情報共有化の方法を検討した。 ・電力等エネルギー料金や使用量のイントラ掲載 ・水質モニタリング結果の公開データの掲載 ・環境配慮活動データの拠点内周知 ・環境保全に関する活動実績の掲載	・本部、各拠点でもイントラへの環境配慮活動情報を掲載 ・「原子力機構2018」の発行 (2018年11月)	・情報のイントラへの掲載は随時実施している(良好) ・環境報告書を発行し、広く一般への公表情報を発信した(良好) ・各拠点で環境配慮情報等のページは各種環境情報や電気使用量等の省エネ情報が見える化されており、わかりやすい(良好)	達成	更なる効果的な情報発信方法を検討して実施

2. 環境報告の詳細データ

表　リ　ス　ト

表 2-1-1　エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ（2018 年度）・・・41
表 2-1-2　電気使用量増減の理由及び取組内容（2018 年度）・・・69
表 2-1-3　化石燃料使用量増減の理由及び取組内容（2018 年度）・・・71
表 2-1-4　総エネルギー投入量種類別割合（2018 年度）・・・73
表 2-1-5　総エネルギー投入量拠点別割合（2018 年度）・・・74
表 2-1-6　総エネルギー投入量種類別推移（2018 年度）・・・75
表 2-1-7　総エネルギー投入量拠点別推移（2018 年度）・・・76
表 2-1-8　電気使用量拠点別推移（2018 年度）・・・77
表 2-1-9　化石エネルギー投入量拠点別推移（2018 年度）・・・78

表 2-2-1　総温室効果ガス拠点別排出量（2018 年度）・・・79
表 2-2-2　調整後総温室効果ガス拠点別排出量（2018 年度）・・・80
表 2-2-3　総温室効果ガス排出量拠点別推移（2018 年度）・・・81
表 2-2-4　調整後総温室効果ガス排出量拠点別推移（2018 年度）・・・82
表 2-2-5　電気使用に伴う CO_2 排出量拠点別推移（2018 年度）・・・83
表 2-2-6　電気使用に伴う調整後 CO_2 排出量拠点別推移（2018 年度）・・・84
表 2-2-7　エネルギー起源 CO_2 排出量種類別推移（2018 年度）・・・85
表 2-2-8　調整後エネルギー起源 CO_2 排出量種類別推移（2018 年度）・・・86
表 2-2-9　一般・産業廃棄物の焼却に伴う温室効果ガス排出量（2018 年度）・・・87
表 2-2-10　代替フロン等 4 ガス集計表（2018 年）・・・88
表 2-2-11　代替フロン等 4 ガスによる温室効果ガス排出量の種類別推移（2018 年）・・・96
表 2-2-12　代替フロン等 4 ガスによる温室効果ガス排出量の拠点別推移（2018 年）・・・97
表 2-2-13　拠点別フロン排出抑制法に基づくフロン漏えい量（2018 年度）・・・98
表 2-2-14　フロン排出抑制法に基づくフロン漏えい量拠点別推移（2018 年度）・・・99

表 2-3-1　輸送量（トンキロ）総計表（2018 年度）・・・100
表 2-3-2　輸送量（トンキロ）（核燃料物質等）と（その他）（2018 年度）・・・101

表 2-4　コピー用紙投入量（2018 年度）・・・106

表 2-5　特定調達品目（物品・役務）調達実績集計表（2018 年度）・・・109

表 2-6　特定調達品目（公共工事）調達実績集計表（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 122

表 2-7　大気汚染物質の測定結果（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 123

表 2-8　ダイオキシン類の測定結果（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 125

表 2-9　水資源投入量及び排水量（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 126

表 2-10-1　水質測定結果（水素イオン濃度等）（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 127
表 2-10-2　水質測定結果（カドミウム等）（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 133

表 2-11　PRTR 法対象化学物質の排出・移動量（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 138

表 2-12　PCB 廃棄物保管量増減の理由及び取組内容（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 139

表 2-13-1　一般・産業廃棄物拠点別集計データ（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 140
表 2-13-2　拠点別廃棄物分類別集計表（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 162
表 2-13-3　拠点別一般廃棄物集計表（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 163
表 2-13-4　拠点別特別管理一般廃棄物集計表（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 164
表 2-13-5　拠点別産業廃棄物集計表（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 165
表 2-13-6　拠点別特別管理産業廃棄物集計表（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 166
表 2-13-7　産業廃棄物区分別割合（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 167
表 2-13-8　産業廃棄物管理票（マニフェスト）の状況（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 168
表 2-13-9　廃棄物増減の理由及び取組内容（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 169

表 2-14　有価物の払い出し量（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 171

表 2-15　建設リサイクル集計表（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 172

表 2-16-1　騒音規制法に基づく測定（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 173
表 2-16-2　振動規制法に基づく測定（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 174

表 2-17　水銀等貯蔵状況（2018 年度）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 175

表 2-18　環境データ拠点別比較　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 176

注記）

※1　表中の数値は四捨五入による端数処理をして表記した。そのため、個々の数値を合算した数値と表記されている合計値とが一致しない場合がある。

図　リ　ス　ト

図 2-1　総エネルギー投入量の拠点別比較（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 181
図 2-2　水資源投入量の拠点別比較（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 182
図 2-3　コピー用紙投入量の拠点別比較（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 183
図 2-4　総温室効果ガス排出量の拠点別比較（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 184
図 2-5　一般・産業廃棄物発生量の拠点別比較（2018 年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 185

注記）

※　2015 年度までのデータには、「むつ」については「六ヶ所」が含まれ、「関西播磨」については「関西木津」が含まれる。

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ （幌延）（2018年度）（1/28）

拠点	項目			単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数（GJ/各単位）	エネルギー量（GJ）	エネルギー量原油換算値（kℓ）	基礎排出・換算係数	基礎温室効果ガス排出量（t-CO_2）	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量（t-CO_2）	備考
幌延	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)	108,149	288,151	396,300	0.00997	3,951	102	0.000666	264	0.000678	269	北海道電力
			夜間買電		37,042	60,525	97,567	0.00928	905	23		65		66	北海道電力
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		電気需要平準化時間帯のみの合計			50,554	246,356	296,910	0.00997	2,960	76					
		自家発電			0	0	0	0.00976							
	小計（1）及び間接温室効果ガス排出量						493,867		4,857	125		329		335	
	化石燃料	ガソリン		(kℓ)	0.16	0.04	0.20	34.6000	7	0	0.0671	0			
		灯油		(kℓ)	6.94	36.13	43.07	36.7000	1,581	41	0.0678	107			
		軽油		(kℓ)	0.17	0.00	0.17	37.7000	7	0	0.0686	0			
		A重油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	39.1000	0	0	0.0693	0			
		LPG		(t)	0.00	0.00	0.00	50.8000	0	0	0.0590	0			
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0			
		天然ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス		(Nm^3)	200.74	459.26	660.00	0.0448	30	1	0.0499	1			
		その他		-	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
	小計（2）								1,624	42		110			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO_2排出量								6,480	167		438		444	
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)							-	0.000			
		PFC		(kg)							-	0.000			
		SF_6		(kg)							22,800	0.000			
		NF_3		(kg)							17,200	0.000			
	小計（3）											0.00			
	廃棄物焼却	CO_2		(t)	焼却量		0					0.000			
		CH_4						排出係数tCH_4/t	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/t	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		298				
	小計（4）											0.000			
	浄化槽	CH_4		（人）	人数		59	排出係数tCH_4/人	CH_4排出量		CO_2換算	1.623			
								0.0011	0.06		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/人	N_2O排出量		CO_2換算	0.457			
								0.000026	0.00		298				
	小計（5）											2.080			
	直接温室効果ガス排出量											112			
	総合計（総温室効果ガス排出量）											441		446	
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											0			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											441		446	

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ （むつ）(2018年度)(2/28)

拠点	項目			単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数（GJ/各単位）	エネルギー量（GJ）	エネルギー量原油換算値（kℓ）	基礎排出・換算係数	基礎温室効果ガス排出量（t-CO_2）	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量（t-CO_2）	備考
むつ	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)	266,849	358,975	625,824	0.00997	6,239	161	0.000521	326	0.000523	327	東北電力
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0		0		0	
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)		395,213	569,765	964,978	0.00997	9,621	248	0.000423	408	0.000441	426	エネット
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		電気需要平準化時間帯のみの合計			323,280	674,278	997,558	0.00997	9,946	257					
		自家発電			0	0	0	0.00976							
	小計（1）及び間接温室効果ガス排出量						1,590,802		15,860	409		734		753	
	化石燃料	ガソリン		(kℓ)	0.09	0.09	0.18	34.6000	6	0	0.0671	0			
		灯油		(kℓ)	0.60	4.30	4.90	36.7000	180	5	0.0678	12			
		軽油		(kℓ)	0.22	0.32	0.54	37.7000	21	1	0.0686	1			
		A重油		(kℓ)	4.68	52.96	57.65	39.1000	2,254	58	0.0693	156			
		LPG		(t)	0.04	0.05	0.09	50.8000	5	0	0.0590	0			
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0			
		天然ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
		その他		－	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
	小計（2）								2,465	64		171			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO_2排出量								18,325	473		905		923	
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)			0.079				－	0.105			
		PFC		(kg)			0.000				－	0.000			
		SF_6		(kg)			0.000				22,800	0.000			
		NF_3		(kg)			0.000				17,200	0.000			
	小計（3）											0.11			
	廃棄物焼却	CO_2		(t)	焼却量		0					0.000			
		CH_4						排出係数tCH_4/t	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/t	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		298				
	小計（4）											0.000			
	浄化槽	CH_4		（人）	人数		87	排出係数tCH_4/人	CH_4排出量		CO_2換算	2.393			
								0.0011	0.10		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/人	N_2O排出量		CO_2換算	0.674			
								0.000026	0.00		298				
	小計（5）											3.067			
	直接温室効果ガス排出量											174			
	総合計（総温室効果ガス排出量）											908		927	
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											0			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											908		927	

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ （福島拠点）(2018年度)(3/28)

拠点	項目			単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数（GJ/各単位）	エネルギー量（GJ）	エネルギー量原油換算値（kℓ）	基礎排出・換算係数	基礎温室効果ガス排出量（t-CO_2）	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量（t-CO_2）	備考
福島拠点	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)	804,776	920,777	1,725,553	0.00997	17,204	444	—	870	—	862	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0		0		0	
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)		272,422	458,310	730,732	0.00997	7,285	188	—	447	—	439	
			夜間買電		91,366	117,246	208,612	0.00928	1,936	50					
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	—	0	—	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		電気需要平準化時間帯のみの合計			592,267	1,012,811	1,605,078	0.00997	16,003	413					
		自家発電			0	0	0	0.00976							
	小計(1)及び間接温室効果ガス排出量						2,664,897		26,425	682		1,317		1,301	
	化石燃料	ガソリン		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	34.6000	0	0	0.0671	0			
		灯油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	36.7000	0	0	0.0678	0			
		軽油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	37.7000	0	0	0.0686	0			
		A重油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	39.1000	0	0	0.0693	0			
		LPG		(t)	2.04	2.06	4.10	50.8000	208	5	0.0590	12			
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0			
		天然ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
		その他		-	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
	小計(2)								208	5		12			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO_2排出量								26,633	687		1,330		1,313	
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)			0.000				—	0.000			
		PFC		(kg)			0.000				—	0.000			
		SF_6		(kg)			0.000				22,800	0.000			
		NF_3		(kg)			0.000				17,200	0.000			
	小計(3)											0.00			
	廃棄物焼却	CO_2		(t)	焼却量		0					0.000			
		CH_4						排出係数tCH_4/t	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/t	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		298				
	小計(4)											0.000			
	浄化槽	CH_4		(人)	人数		116	排出係数tCH_4/人	CH_4排出量		CO_2換算	3.190			
								0.0011	0.13		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/人	N_2O排出量		CO_2換算	0.899			
								0.000026	0.00		298				
	小計(5)											4.089			
	直接温室効果ガス排出量											16			
	総合計(総温室効果ガス排出量)											1,334		1,317	
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											0			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											1,334		1,317	

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ （いわき）(2018年度)(4/28)

拠点	項目			単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数（GJ/各単位）	エネルギー量（GJ）	エネルギー量原油換算値（kℓ）	基礎排出・換算係数	基礎温室効果ガス排出量（t-CO_2）	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量（t-CO_2）	備考
いわき	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)	53,284	53,127	106,411	0.00997	1,061	27	0.000521	55	0.000523	56	東北電力
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0		0		0	
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		電気需要平準化時間帯のみの合計			29,256	36,563	65,819	0.00997	656	17					
		自家発電			0	0	0	0.00976							
	小計（1）及び間接温室効果ガス排出量						106,411		1,061	27		55		56	
	化石燃料	ガソリン		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	34.6000	0	0	0.0671	0			
		灯油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	36.7000	0	0	0.0678	0			
		軽油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	37.7000	0	0	0.0686	0			
		A重油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	39.1000	0	0	0.0693	0			
		LPG		(t)	0.00	0.00	0.00	50.8000	0	0	0.0590	0			
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0			
		天然ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
		その他		－	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
	小計（2）								0	0		0			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO_2排出量								1,061	27		55		56	
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)							－	0.000			
		PFC		(kg)							－	0.000			
		SF_6		(kg)							22,800	0.000			
		NF_3		(kg)							17,200	0.000			
	小計（3）											0.00			
	廃棄物焼却	CO_2		(t)	焼却量		0					0.000			
		CH_4						排出係数tCH_4/t	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/t	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		298				
	小計（4）											0.000			
	浄化槽	CH_4		（人）	人数			排出係数tCH_4/人	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.00						
		N_2O						排出係数tN_2O/人	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.00						
	小計（5）											0.000			
	直接温室効果ガス排出量											0			
	総合計（総温室効果ガス排出量）											55		56	
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											0			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											55		56	

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ （楢葉）（2018年度）（5/28）

拠点	項目			単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数（GJ/各単位）	エネルギー量（GJ）	エネルギー量原油換算値（kℓ）	基礎排出・換算係数	基礎温室効果ガス排出量（t-CO_2）	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量（t-CO_2）	備考
楢葉	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)	0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0		0		0	
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)		211,717	383,106	594,823	0.00997	5,930	153	0.000502	349	0.000513	342	F-Power
			夜間買電		61,551	76,573	138,124	0.00928	1,282	33					
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		電気需要平準化時間帯のみの合計			128,935	284,981	413,916	0.00997	4,127	106					
		自家発電			0	0	0	0.00976							
	小計（1）及び間接温室効果ガス排出量						732,947		7,212	186		349		342	
	化石燃料	ガソリン		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	34.6000	0	0	0.0671	0			
		灯油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	36.7000	0	0	0.0678	0			
		軽油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	37.7000	0	0	0.0686	0			
		A重油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	39.1000	0	0	0.0693	0			
		LPG		(t)	0.00	0.00	0.00	50.8000	0	0	0.0590	0			
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0			
		天然ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
		その他		-	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
	小計（2）								0	0		0			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO_2排出量								7,212	186		349		342	
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)			0.000				ー	0.000			
		PFC		(kg)			0.000				ー	0.000			
		SF_6		(kg)			0.000				22,800	0.000			
		NF_3		(kg)			0.000				17,200	0.000			
	小計（3）											0.00			
	廃棄物焼却	CO_2		(t)	焼却量		0					0.000			
		CH_4						排出係数tCH_4/t	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/t	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		298				
	小計（4）											0.000			
	浄化槽	CH_4		（人）	人数		66	排出係数tCH_4/人	CH_4排出量		CO_2換算	1.815			
								0.0011	0.07		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/人	N_2O排出量		CO_2換算	0.511			
								0.000026	0.00		298				
	小計（5）											2.326			
	直接温室効果ガス排出量											2			
	総合計（総温室効果ガス排出量）											351		345	
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											0			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											351		345	

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ （三春）（2018年度）(6/28)

拠点	項目			単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数（GJ/各単位）	エネルギー量（GJ）	エネルギー量原油換算値（kℓ）	基礎排出・換算係数	基礎温室効果ガス排出量（t-CO_2）	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量（t-CO_2）	備考
三春	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)	333,992	458,538	792,530	0.00997	7,902	204	0.000521	413	0.000523	414	東北電力
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0		0		0	
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		電気需要平準化時間帯のみの合計			169,405	344,551	513,956	0.00997	5,124	132					
		自家発電			0	0	0	0.00976							
	小計（1）及び間接温室効果ガス排出量						792,530		7,902	204		413		414	
	化石燃料	ガソリン		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	34.6000	0	0	0.0671	0			
		灯油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	36.7000	0	0	0.0678	0			
		軽油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	37.7000	0	0	0.0686	0			
		A重油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	39.1000	0	0	0.0693	0			
		LPG		(t)	2.04	2.06	4.10	50.8000	208	5	0.0590	12			
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0			
		天然ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
		その他		-	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
	小計（2）								208	5		12			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO_2排出量								8,110	209		425		427	
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)			0.000				ー	0.000			
		PFC		(kg)			0.000				ー	0.000			
		SF_6		(kg)			0.000				22,800	0.000			
		NF_3		(kg)			0.000				17,200	0.000			
	小計（3）											0.00			
	廃棄物焼却	CO_2		(t)	焼却量		0					0.000			
		CH_4						排出係数tCH_4/t	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/t	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		298				
	小計（4）											0.000			
	浄化槽	CH_4		（人）	人数			排出係数tCH_4/人	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.00						
		N_2O						排出係数tN_2O/人	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.00						
	小計（5）											0.000			
	直接温室効果ガス排出量											12			
	総合計（総温室効果ガス排出量）											425		427	
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											0			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											425		427	

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ （富岡）（2018年度）（7/28）

拠点	項目			単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数（GJ/各単位）	エネルギー量（GJ）	エネルギー量原油換算値（kℓ）	基礎排出・換算係数	基礎温室効果ガス排出量（t-CO_2）	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量（t-CO_2）	備考
富岡	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)	0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0		0		0	
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)		60,705	75,204	135,909	0.00997	1,355	35	0.000502	98	0.000513	96	F-Power
			夜間買電		29,815	40,673	70,488	0.00928	654	17					F-Power
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		電気需要平準化時間帯のみの合計			35,571	55,704	91,275	0.00997	910	23					
		自家発電			0	0	0	0.00976							
	小計（1）及び間接温室効果ガス排出量						206,397		2,009	52		98		96	
	化石燃料	ガソリン		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	34.6000	0	0	0.0671	0			
		灯油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	36.7000	0	0	0.0678	0			
		軽油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	37.7000	0	0	0.0686	0			
		A重油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	39.1000	0	0	0.0693	0			
		LPG		(t)	0.00	0.00	0.00	50.8000	0	0	0.0590	0			
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0			
		天然ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
		その他		－	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
	小計（2）								0	0		0			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO_2排出量								2,009	52		98		96	
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)			0.000				－	0.000			
		PFC		(kg)			0.000				－	0.000			
		SF_6		(kg)			0.000				22,800	0.000			
		NF_3		(kg)			0.000				17,200	0.000			
	小計（3）											0.00			
	廃棄物焼却	CO_2		(t)	焼却量		0				CO_2換算	0.000			
		CH_4						排出係数tCH_4/t	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/t	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		298				
	小計（4）											0.000			
	浄化槽	CH_4		（人）	人数			排出係数tCH_4/人	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.00						
		N_2O						排出係数tN_2O/人	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.00						
	小計（5）											0.000			
	直接温室効果ガス排出量											0			
	総合計（総温室効果ガス排出量）											98		96	
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											0			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											98		96	

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ （大熊）（2018年度）(8/28)

拠点	項目			単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数（GJ/各単位）	エネルギー量（GJ）	エネルギー量原油換算値（kℓ）	基礎排出・換算係数	基礎温室効果ガス排出量（t-CO_2）	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量（t-CO_2）	備考
大熊	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)	417,500	409,112	826,612	0.00997	8,241	213	0.000475	402	0.000474	392	東京電力
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0		0		0	
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		電気需要平準化時間帯のみの合計			229,100	291,012	520,112	0.00997	5,186	134					
		自家発電			0	0	0	0.00976							
	小計（1）及び間接温室効果ガス排出量						826,612		8,241	213		402		392	
	化石燃料	ガソリン		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	34.6000	0	0	0.0671	0			
		灯油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	36.7000	0	0	0.0678	0			
		軽油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	37.7000	0	0	0.0686	0			
		A重油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	39.1000	0	0	0.0693	0			
		LPG		(t)	0.00	0.00	0.00	50.8000	0	0	0.0590	0			
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0			
		天然ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
		その他		－	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
	小計（2）								0	0		0			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO_2排出量								8,241	213		402		392	
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)			0.000				－	0.000			
		PFC		(kg)			0.000				－	0.000			
		SF_6		(kg)			0.000				22,800	0.000			
		NF_3		(kg)			0.000				17,200	0.000			
	小計（3）											0.00			
	廃棄物焼却	CO_2		(t)	焼却量		0					0.000			
		CH_4						排出係数tCH_4/t	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/t	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		298				
	小計（4）											0.000			
	浄化槽	CH_4		（人）	人数		50	排出係数tCH_4/人	CH_4排出量		CO_2換算	1.375			
								0.0011	0.06		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/人	N_2O排出量		CO_2換算	0.387			
								0.000026	0.00		298				
	小計（5）											1.762			
	直接温室効果ガス排出量											2			
	総合計（総温室効果ガス排出量）											403		394	
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											0			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											403		394	

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ （本部）（2018年度）（9/28）

拠点	項目			単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数（GJ/各単位）	エネルギー量（GJ）	エネルギー量原油換算値（kℓ）	基礎排出・換算係数	基礎温室効果ガス排出量（t-CO_2）	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量（t-CO_2）	備考
本部	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)	243,718	286,871	530,589	0.00997	5,290	136	0.000475	252	0.000474	251	東京電力
			夜間買電		92,908	123,441	216,349	0.00928	2,008	52		103		103	東京電力
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)		151,715	172,121	323,836	0.00997	3,229	83	0.000502	163	0.000513	166	F-Power
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000512	0	0.000512	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		電気需要平準化時間帯のみの合計			239,917	344,893	584,810	0.00997	5,831	150					
		自家発電			0	0	0	0.00976							
	小計（1）及び間接温室効果ガス排出量						1,070,774		10,526	272		517		520	
	化石燃料	ガソリン		(kℓ)	0.00	0.01	0.01	34.6000	0	0	0.0671	0			
		灯油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	36.7000	0	0	0.0678	0			
		軽油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	37.7000	0	0	0.0686	0			
		A重油		(kℓ)	0.12	0.12	0.24	39.1000	9	0	0.0693	1			
		LPG		(t)	0.00	0.00	0.00	50.8000	0	0	0.0590	0			
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0			
		天然ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
		その他		-	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
	小計（2）								10	0		1			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO_2排出量								10,536	272		518		521	
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)							ー	0.000			
		PFC		(kg)							ー	0.000			
		SF_6		(kg)							22,800	0.000			
		NF_3		(kg)							17,200	0.000			
	小計（3）											0.00			
	廃棄物焼却	CO_2		(t)	焼却量		0					0.000			
		CH_4						排出係数tCH_4/t	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/t	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		298				
	小計（4）											0.000			
	浄化槽	CH_4		（人）	人数			排出係数tCH_4/人	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.00						
		N_2O						排出係数tN_2O/人	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.00						
	小計（5）											0.000			
	直接温室効果ガス排出量											1			
	総合計（総温室効果ガス排出量）											518		521	
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											0			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											518		521	

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ （原科研(J-PARCを含む)）(2018年度）(10/28)

拠点	項目			単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数（GJ/各単位）	エネルギー量（GJ）	エネルギー量原油換算値（kℓ）	基礎排出・換算係数	基礎温室効果ガス排出量（t-CO_2）	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量（t-CO_2）	備考
原科研(J-PARCを含む)	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)	72,055,257	89,649,945	161,705,202	0.00997	1,612,201	41,595	—	76,810	—	76,648	
			夜間買電		48,868,536	61,926,710	110,795,246	0.00928	1,028,180	26,527		52,628		52,517	
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)		60,664	80,689	141,353	0.00997	1,409	36	—	58	—	74	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	—	0	—	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		電気需要平準化時間帯のみの合計			19,632,614	57,726,297	77,358,911	0.00997	771,268	19,899					
		自家発電			22,596	15,054	37,650	0.00976							
	小計（1）及び間接温室効果ガス排出量						272,679,451		2,641,790	68,158		129,496		129,239	
	化石燃料	ガソリン		(kℓ)	1.02	1.05	2.07	34.6000	72	2	0.0671	5			
		灯油		(kℓ)	0.50	0.35	0.85	36.7000	31	1	0.0678	2			
		軽油		(kℓ)	2.32	2.66	4.98	37.7000	188	5	0.0686	13			
		A重油		(kℓ)	48.83	31.76	80.59	39.1000	3,151	81	0.0693	218			
		LPG		(t)	5.13	7.04	12.17	50.8000	618	16	0.0590	36			
		LNG		(t)	353.94	1,620.30	1,974.24	54.6000	107,793	2,781	0.0495	5,336			
		天然ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
		その他		-	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
	小計（2）								111,853	2,886		5,610			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO_2排出量								2,753,643	71,044		135,106		134,849	
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)			118.574				—	199.000			
		PFC		(kg)			0.000				—	0.000			
		SF_6		(kg)			885.800				22,800	20,196.240			
		NF_3		(kg)			0.000				17,200	0.000			
	小計（3）											20,395.24			
	廃棄物焼却	CO_2		(t)	焼却量		0					0.000			
		CH_4						排出係数tCH_4/t	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/t	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		298				
	小計（4）											0.000			
	浄化槽	CH_4		（人）	人数		2,046	排出係数tCH_4/人	CH_4排出量		CO_2換算	56.265			
								0.0011	2.25		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/人	N_2O排出量		CO_2換算	15.852			
								0.000026	0.05		298				
	小計（5）											72.117			
	直接温室効果ガス排出量											26,078			
	総合計（総温室効果ガス排出量）											155,573		155,317	
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											895			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											156,469		156,212	

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ （原科研）（2018年度）（11/28）

拠点	項目			単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数（GJ/各単位）	エネルギー量（GJ）	エネルギー量原油換算値（kℓ）	基礎排出・換算係数	基礎温室効果ガス排出量（t-CO_2）	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量（t-CO_2）	備考
原科研	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)	21,266,842	18,423,361	39,690,203	0.00997	395,711	10,209	0.000475	18,853	0.000474	18,813	東京電力
			夜間買電		13,584,325	12,660,524	26,244,849	0.00928	243,552	6,284		12,466		12,440	東京電力
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)		60,664	80,689	141,353	0.00997	1,409	36	0.000409	58	0.000522	74	丸紅新電力
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		電気需要平準化時間帯のみの合計			12,210,445	12,012,344	24,222,789	0.00997	241,501	6,231					
		自家発電			22,591	15,054	37,645	0.00976							
	小計（1）及び間接温室効果ガス排出量						66,114,050		640,673	16,529		31,377		31,327	
	化石燃料	ガソリン		(kℓ)	1.02	1.05	2.07	34.6000	72	2	0.0671	5			
		灯油		(kℓ)	0.50	0.35	0.85	36.7000	31	1	0.0678	2			
		軽油		(kℓ)	2.32	2.66	4.98	37.7000	188	5	0.0686	13			
		A重油		(kℓ)	48.57	31.59	80.17	39.1000	3,135	81	0.0693	217			
		LPG		(t)	5.13	7.04	12.17	50.8000	618	16	0.0590	36			
		LNG		(t)	353.94	1,620.30	1,974.24	54.6000	107,793	2,781	0.0495	5,336			
		天然ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
		その他		-	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
	小計（2）								111,837	2,885		5,609			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO_2排出量								752,509	19,415		36,986		36,936	
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)			0.000				ー	0.000			
		PFC		(kg)			0.000				ー	0.000			
		SF_6		(kg)			885.800				22,800	20,196.240			
		NF_3		(kg)			0.000				17,200	0.000			
	小計（3）											20,196.24			
	廃棄物焼却	CO_2		(t)	焼却量		0					0.000			
		CH_4						排出係数tCH_4/t	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/t	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		298				
	小計（4）											0.000			
	浄化槽	CH_4		（人）	人数		1,752	排出係数tCH_4/人	CH_4排出量		CO_2換算	48.180			
								0.0011	1.93		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/人	N_2O排出量		CO_2換算	13.574			
								0.000026	0.05		298				
	小計（5）											61.754			
	直接温室効果ガス排出量											25,867			
	総合計（総温室効果ガス排出量）											57,244		57,194	
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											682			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											57,927		57,877	

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ （J-PARC）（2018年度）（12/28）

拠点	項目			単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数（GJ/各単位）	エネルギー量（GJ）	エネルギー量原油換算値（kℓ）	基礎排出・換算係数	基礎温室効果ガス排出量（t-CO_2）	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量（t-CO_2）	備考
J-PARC	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)	50,788,415	71,226,584	122,014,999	0.00997	1,216,490	31,385	0.000475	57,957	0.000474	57,835	東京電力
			夜間買電		35,284,211	49,266,186	84,550,397	0.00928	784,628	20,243		40,161		40,077	東京電力
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		電気需要平準化時間帯のみの合計			7,422,169	45,713,953	53,136,122	0.00997	529,767	13,668					
		自家発電			5	0	5	0.00976							
	小計（1）及び間接温室効果ガス排出量						206,565,401		2,001,117	51,629		98,119		97,912	
	化石燃料	ガソリン		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	34.6000	0	0	0.0671	0			
		灯油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	36.7000	0	0	0.0678	0			
		軽油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	37.7000	0	0	0.0686	0			
		A重油		(kℓ)	0.25	0.17	0.43	39.1000	17	0	0.0693	1			
		LPG		(t)	0.00	0.00	0.00	50.8000	0	0	0.0590	0			
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0			
		天然ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
		その他		-	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
	小計（2）								17	0		1			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO_2排出量								2,001,134	51,629		98,120		97,913	
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)			118.574				ー	199.000			
		PFC		(kg)			0.000				ー	0.000			
		SF_6		(kg)			0.000				22,800	0.000			
		NF_3		(kg)			0.000				17,200	0.000			
	小計（3）											199.00			
	廃棄物焼却	CO_2		(t)	焼却量		0					0.000			
		CH_4						排出係数tCH_4/t	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/t	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		298				
	小計（4）											0.000			
	浄化槽	CH_4		（人）	人数		294	排出係数tCH_4/人	CH_4排出量		CO_2換算	8.085			
								0.0011	0.32		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/人	N_2O排出量		CO_2換算	2.278			
								0.000026	0.01		298				
	小計（5）											10.363			
	直接温室効果ガス排出量											211			
	総合計（総温室効果ガス排出量）											98,329		98,123	
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											213			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											98,542		98,335	

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ （サイクル研）(2018年度)(13/28)

拠点	項目			単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数（GJ/各単位）	エネルギー量（GJ）	エネルギー量原油換算値（kℓ）	基礎排出・換算係数	基礎温室効果ガス排出量（t-CO_2）	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量（t-CO_2）	備考
サイクル研	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)	9,803	10,941	20,744	0.00997	207	5	0.000475	10	0.000474	10	東京電力
			夜間買電		524	604	1,128	0.00928	10	0		1		1	東京電力
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)		30,318,624	27,976,592	58,295,216	0.00997	581,203	14,995	0.000502	60,807	0.000513	62,139	F-Power
			夜間買電		32,355,176	30,478,112	62,833,288	0.00928	583,093	15,044					F-Power
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)		80,407	76,237	156,644	0.00997	1,562	40	0.000409	64	0.000522	82	丸紅新電力
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		電気需要平準化時間帯のみの合計			16,247,766	18,182,916	34,430,682	0.00997	343,274	8,856					
		自家発電			0	0	0	0.00976							
	小計（1）及び間接温室効果ガス排出量						121,307,020		1,166,075	30,085		60,881		62,231	
	化石燃料	ガソリン		(kℓ)	0.34	0.89	1.22	34.6000	42	1	0.0671	3			
		灯油		(kℓ)	25.83	29.66	55.49	36.7000	2,036	53	0.0678	138			
		軽油		(kℓ)	19.36	23.87	43.23	37.7000	1,630	42	0.0686	112			
		A重油		(kℓ)	3,047.28	3,500.58	6,547.86	39.1000	256,021	6,605	0.0693	17,742			
		LPG		(t)	15.08	16.59	31.67	50.8000	1,609	42	0.0590	95			
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0			
		天然ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
		その他		－	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
	小計（2）								261,339	6,743		18,090			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO_2排出量								1,427,414	36,827		78,971		80,321	
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)			33.810				－	48.348			
		PFC		(kg)			0.000				－	0.000			
		SF_6		(kg)			0.000				22,800	0.000			
		NF_3		(kg)			0.000				17,200	0.000			
	小計（3）											48.35			
	廃棄物焼却	CO_2		(t)	焼却量		0.96					0.000			
		CH_4						排出係数tCH_4/t	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
								0	0.000		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/t	N_2O排出量		CO_2換算	0.003			
								0.00001	0.000		298				
	小計（4）											0.003			
	浄化槽	CH_4		（人）	人数		1,879	排出係数tCH_4/人	CH_4排出量		CO_2換算	51.673			
								0.0011	2.07		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/人	N_2O排出量		CO_2換算	14.558			
								0.000026	0.05		298				
	小計（5）											66.231			
	直接温室効果ガス排出量											18,204			
	総合計（総温室効果ガス排出量）											79,085		80,436	
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											5			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											79,090		80,440	

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ （大洗）（2018年度）（14/28）

拠点	項目			単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数（GJ/各単位）	エネルギー量（GJ）	エネルギー量原油換算値（kℓ）	基礎排出・換算係数	基礎温室効果ガス排出量（t-CO_2）	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量（t-CO_2）	備考
大洗	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)	20,616,466	17,853,289	38,469,755	0.00997	383,543	9,895	0.000475	18,273	0.000474	18,235	東京電力
			夜間買電		13,443,645	11,908,165	25,351,810	0.00928	235,265	6,070		12,042		12,017	東京電力
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)		92,103	112,788	204,891	0.00997	2,043	53	0.000409	113	0.000522	144	丸紅新電力
			夜間買電		27,497	44,393	71,890	0.00928	667	17					丸紅新電力
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)		26,611	16,515	43,126	0.00997	430	11	0.000502	40	0.000513	41	F-Power
			夜間買電		18,435	18,431	36,866	0.00928	342	9					F-Power
		電気需要平準化時間帯のみの合計			11,807,974	11,938,863	23,746,837	0.00997	236,756	6,108					
		自家発電			11,712	6,170	17,882	0.00976							
	小計（1）及び間接温室効果ガス排出量						64,196,220		622,290	16,055		30,469		30,437	
	化石燃料	ガソリン		(kℓ)	0.25	0.23	0.48	34.6000	17	0	0.0671	1			
		灯油		(kℓ)	0.34	0.57	0.92	36.7000	34	1	0.0678	2			
		軽油		(kℓ)	1.24	1.92	3.16	37.7000	119	3	0.0686	8			
		A重油		(kℓ)	150.25	906.46	1,056.72	39.1000	41,318	1,066	0.0693	2,863			
		LPG		(t)	5.60	14.54	20.14	50.8000	1,023	26	0.0590	60			
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0			
		天然ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
		その他		-	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
	小計（2）								42,510	1,097		2,935			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO_2排出量								664,800	17,152		33,404		33,372	
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)			0.191				ー	0.399			
		PFC		(kg)			0.000				ー	0.000			
		SF_6		(kg)			0.000				22,800	0.000			
		NF_3		(kg)			0.000				17,200	0.000			
	小計（3）											0.40			
	廃棄物焼却	CO_2		(t)	焼却量		0				0	0.000			
		CH_4						排出係数tCH_4/t	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
								0.000076	0.000		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/t	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
								0.0000724	0.000		298				
	小計（4）											0.000			
	浄化槽	CH_4		（人）	人数		1,155	排出係数tCH_4/人	CH_4排出量		CO_2換算	31.763			
								0.0011	1.27		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/人	N_2O排出量		CO_2換算	8.949			
								0.000026	0.03		298				
	小計（5）											40.711			
	直接温室効果ガス排出量											2,976			
	総合計（総温室効果ガス排出量）											33,445		33,413	
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											566			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											34,011		33,979	

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ （NEAT）（2018年度）（15/28）

拠点	項目			単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数（GJ/各単位）	エネルギー量（GJ）	エネルギー量原油換算値（kℓ）	基礎排出・換算係数	基礎温室効果ガス排出量（t-CO_2）	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量（t-CO_2）	備考
NEAT	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)	197,674	175,662	373,336	0.00997	3,722	96	—	177	—	177	
			夜間買電		94,276	88,370	182,646	0.00928	1,695	44		87		87	
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)		111,451	86,119	197,570	0.00997	1,970	51	—	87	—	101	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	—	0	—	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		電気需要平準化時間帯のみの合計			182,514	186,498	369,012	0.00997	3,679	95					
		自家発電			0	0	0	0.00976							
	小計（1）及び間接温室効果ガス排出量						753,552		7,387	191		351		364	
	化石燃料	ガソリン		(kℓ)	0.03	0.03	0.07	34.6000	2	0	0.0671	0			
		灯油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	36.7000	0	0	0.0678	0			
		軽油		(kℓ)	0.13	1.19	1.32	37.7000	50	1	0.0686	3			
		A重油		(kℓ)	0.11	0.09	0.20	39.1000	8	0	0.0693	1			
		LPG		(t)	0.00	0.00	0.00	50.8000	0	0	0.0590	0			
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0			
		天然ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
		その他		-	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
	小計（2）								60	2		4			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO_2排出量								7,447	192		355		369	
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)							—	0.000			
		PFC		(kg)							—	0.000			
		SF_6		(kg)							22,800	0.000			
		NF_3		(kg)							17,200	0.000			
	小計（3）											0.00			
	廃棄物焼却	CO_2		(t)	焼却量		0					0.000			
		CH_4						排出係数tCH_4/t	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/t	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		298				
	小計（4）											0.000			
	浄化槽	CH_4		（人）	人数			排出係数tCH_4/人	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.00						
		N_2O						排出係数tN_2O/人	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.00						
	小計（5）											0.000			
	直接温室効果ガス排出量											4			
	総合計（総温室効果ガス排出量）											355		369	
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											0			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											355		369	

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ （NEAT茨城）(2018年度)(16/28)

拠点	項目			単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数（GJ/各単位）	エネルギー量（GJ）	エネルギー量原油換算値（kℓ）	基礎排出・換算係数	基礎温室効果ガス排出量（t-CO_2）	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量（t-CO_2）	備考
NEAT茨城	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)	197,674	175,662	373,336	0.00997	3,722	96	0.000475	177	0.000474	177	東京電力
			夜間買電		94,276	88,370	182,646	0.00928	1,695	44		87		87	東京電力
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		電気需要平準化時間帯のみの合計			115,680	127,484	243,164	0.00997	2,424	63					
		自家発電			0	0	0	0.00976							
	小計（1）及び間接温室効果ガス排出量						555,982		5,417	140		264		264	
	化石燃料	ガソリン		(kℓ)	0.03	0.03	0.07	34.6000	2	0	0.0671	0			
		灯油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	36.7000	0	0	0.0678	0			
		軽油		(kℓ)	0.13	1.19	1.32	37.7000	50	1	0.0686	3			
		A重油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	39.1000	0	0	0.0693	0			
		LPG		(t)	0.00	0.00	0.00	50.8000	0	0	0.0590	0			
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0			
		天然ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
		その他		－	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
	小計（2）								52	1		4			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO_2排出量								5,469	141		268		267	
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)							－	0.000			
		PFC		(kg)							－	0.000			
		SF_6		(kg)							22,800	0.000			
		NF_3		(kg)							17,200	0.000			
	小計（3）											0.00			
	廃棄物焼却	CO_2		(t)	焼却量		0					0.000			
		CH_4						排出係数tCH_4/t	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/t	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		298				
	小計（4）											0.000			
	浄化槽	CH_4		（人）	人数			排出係数tCH_4/人	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.00						
		N_2O						排出係数tN_2O/人	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.00						
	小計（5）											0.000			
	直接温室効果ガス排出量											4			
	総合計（総温室効果ガス排出量）											268		267	
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											0			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											268		267	

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ （NEAT福井）(2018年度)(17/28)

拠点	項目			単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数（GJ/各単位）	エネルギー量（GJ）	エネルギー量原油換算値（kℓ）	基礎排出・換算係数	基礎温室効果ガス排出量（t-CO_2）	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量（t-CO_2）	備考
NEAT福井	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)	0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0		0		0	
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)		111,451	86,119	197,570	0.00997	1,970	51	0.000438	87	0.000511	101	パネイル
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		電気需要平準化時間帯のみの合計			66,834	59,014	125,848	0.00997	1,255	32					
		自家発電			0	0	0	0.00976							
	小計（1）及び間接温室効果ガス排出量						197,570		1,970	51		87		101	
	化石燃料	ガソリン		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	34.6000	0	0	0.0671	0			
		灯油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	36.7000	0	0	0.0678	0			
		軽油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	37.7000	0	0	0.0686	0			
		A重油		(kℓ)	0.11	0.09	0.20	39.1000	8	0	0.0693	1			
		LPG		(t)	0.00	0.00	0.00	50.8000	0	0	0.0590	0			
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0			
		天然ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
		その他		－	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
	小計（2）								8	0		1			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO_2排出量								1,978	51		87		102	
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)							－	0.000			
		PFC		(kg)							－	0.000			
		SF_6		(kg)							22,800	0.000			
		NF_3		(kg)							17,200	0.000			
	小計（3）											0.00			
	廃棄物焼却	CO_2		(t)	焼却量		0					0.000			
		CH_4						排出係数tCH_4/t	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/t	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		298				
	小計（4）											0.000			
	浄化槽	CH_4		（人）	人数			排出係数tCH_4/人	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.00						
		N_2O						排出係数tN_2O/人	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.00						
	小計（5）											0.000			
	直接温室効果ガス排出量											1			
	総合計（総温室効果ガス排出量）											87		102	
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											0			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											87		102	

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ （東京地区）(2018年度)(18/28)

拠点	項目			単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数（GJ/各単位）	エネルギー量（GJ）	エネルギー量原油換算値（kℓ）	基礎排出・換算係数	基礎温室効果ガス排出量（t-CO_2）	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量（t-CO_2）	備考
東京地区	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)	81,078	90,619	171,697	0.00997	1,712	44	—	82	—	81	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0		0		0	
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)		59,590	55,508	115,098	0.00997	1,148	30	—	58	—	59	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	—	0	—	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		電気需要平準化時間帯のみの合計			71,233	98,881	170,114	0.00997	1,696	44					
		自家発電			0	0	0	0.00976							
	小計（1）及び間接温室効果ガス排出量						286,795		2,859	74		139		140	
	化石燃料	ガソリン		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	34.6000	0	0	0.0671	0			
		灯油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	36.7000	0	0	0.0678	0			
		軽油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	37.7000	0	0	0.0686	0			
		A重油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	39.1000	0	0	0.0693	0			
		LPG		(t)	0.00	0.00	0.00	50.8000	0	0	0.0590	0			
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0			
		天然ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
		その他		-	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
	小計（2）								0	0		0			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO_2排出量								2,859	74		139		140	
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)							—	0.000			
		PFC		(kg)							—	0.000			
		SF_6		(kg)							22,800	0.000			
		NF_3		(kg)							17,200	0.000			
	小計（3）											0.00			
	廃棄物焼却	CO_2		(t)	焼却量		0					0.000			
		CH_4						排出係数tCH_4/t	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/t	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		298				
	小計（4）											0.000			
	浄化槽	CH_4		（人）	人数			排出係数tCH_4/人	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.00						
		N_2O						排出係数tN_2O/人	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.00						
	小計（5）											0.000			
	直接温室効果ガス排出量											0			
	総合計（総温室効果ガス排出量）											139		140	
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											0			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											139		140	

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ （東京）（2018年度）（19/28）

拠点	項目			単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数（GJ/各単位）	エネルギー量（GJ）	エネルギー量原油換算値（kℓ）	基礎排出・換算係数	基礎温室効果ガス排出量（t-CO_2）	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量（t-CO_2）	備考
東京	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)	81,078	90,619	171,697	0.00997	1,712	44	0.000475	82	0.000474	81	東京電力
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0		0		0	
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		電気需要平準化時間帯のみの合計			37,795	60,274	98,069	0.00997	978	25					
		自家発電			0	0	0	0.00976							
	小計（1）及び間接温室効果ガス排出量						171,697		1,712	44		82		81	
	化石燃料	ガソリン		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	34.6000	0	0	0.0671	0			
		灯油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	36.7000	0	0	0.0678	0			
		軽油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	37.7000	0	0	0.0686	0			
		A重油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	39.1000	0	0	0.0693	0			
		LPG		(t)	0.00	0.00	0.00	50.8000	0	0	0.0590	0			
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0			
		天然ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
		その他		－	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
	小計（2）								0	0		0			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO_2排出量								1,712	44		82		81	
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)							－	0.000			
		PFC		(kg)							－	0.000			
		SF_6		(kg)							22,800	0.000			
		NF_3		(kg)							17,200	0.000			
	小計（3）											0.00			
	廃棄物焼却	CO_2		(t)	焼却量		0					0.000			
		CH_4						排出係数tCH_4/t	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/t	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		298				
	小計（4）											0.000			
	浄化槽	CH_4		（人）	人数			排出係数tCH_4/人	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.00						
		N_2O						排出係数tN_2O/人	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.00						
	小計（5）											0.000			
	直接温室効果ガス排出量											0			
	総合計（総温室効果ガス排出量）											82		81	
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											0			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											82		81	

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ （柏）（2018年度）（20/28）

拠点	項目			単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数（GJ/各単位）	エネルギー量（GJ）	エネルギー量原油換算値（kℓ）	基礎排出・換算係数	基礎温室効果ガス排出量（t-CO_2）	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量（t-CO_2）	備考
柏	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)	0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0		0		0	
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)		59,590	55,508	115,098	0.00997	1,148	30	0.000502	58	0.000513	59	F-Power
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		電気需要平準化時間帯のみの合計			33,438	38,607	72,045	0.00997	718	19					
		自家発電			0	0	0	0.00976							
	小計（1）及び間接温室効果ガス排出量						115,098		1,148	30		58		59	
	化石燃料	ガソリン		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	34.6000	0	0	0.0671	0			
		灯油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	36.7000	0	0	0.0678	0			
		軽油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	37.7000	0	0	0.0686	0			
		A重油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	39.1000	0	0	0.0693	0			
		LPG		(t)	0.00	0.00	0.00	50.8000	0	0	0.0590	0			
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0			
		天然ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
		その他		－	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
	小計（2）								0	0		0			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO_2排出量								1,148	30		58		59	
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)							－	0.000			
		PFC		(kg)							－	0.000			
		SF_6		(kg)							22,800	0.000			
		NF_3		(kg)							17,200	0.000			
	小計（3）											0.00			
	廃棄物焼却	CO_2		(t)	焼却量		0					0.000			
		CH_4						排出係数tCH_4/t	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/t	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		298				
	小計（4）											0.000			
	浄化槽	CH_4		（人）	人数			排出係数tCH_4/人	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.00						
		N_2O						排出係数tN_2O/人	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.00						
	小計（5）											0.000			
	直接温室効果ガス排出量											0			
	総合計（総温室効果ガス排出量）											58		59	
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											0			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											58		59	

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ （東濃）（2018年度）（21/28）

拠点	項目			単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数（GJ/各単位）	エネルギー量（GJ）	エネルギー量原油換算値（kℓ）	基礎排出・換算係数	基礎温室効果ガス排出量（t-CO_2）	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量（t-CO_2）	備考
東濃	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)	29,603	30,124	59,727	0.00997	595	15	0.000476	28	0.000472	28	中部電力
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0		0		0	
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)		538,508	547,887	1,086,395	0.00997	10,831	279	0.000409	444	0.000522	567	丸紅新電力
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)		75,580	86,073	161,653	0.00997	1,612	42	0.000410	66	0.000645	104	エネサーブ
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		電気需要平準化時間帯のみの合計			354,468	457,970	812,438	0.00997	8,100	209					
		自家発電			0	0	0	0.00976							
	小計（1）及び間接温室効果ガス排出量						1,307,775		13,039	336		539		700	
	化石燃料	ガソリン		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	34.6000	0	0	0.0671	0			
		灯油		(kℓ)	0.00	0.25	0.25	36.7000	9	0	0.0678	1			
		軽油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	37.7000	0	0	0.0686	0			
		A重油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	39.1000	0	0	0.0693	0			
		LPG		(t)	6.02	5.91	11.93	50.8000	606	16	0.0590	36			
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0			
		天然ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
		その他		-	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
	小計（2）								615	16		36			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO_2排出量								13,654	352		575		736	
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)			0.000				ー	0.000			
		PFC		(kg)			0.000				ー	0.000			
		SF_6		(kg)			0.220				22,800	5.016			
		NF_3		(kg)			0.000				17,200	0.000			
	小計（3）											5.02			
	廃棄物焼却	CO_2		(t)	焼却量		0					0.000			
		CH_4						排出係数tCH_4/t	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/t	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		298				
	小計（4）											0.000			
	浄化槽	CH_4		（人）	人数		70	排出係数tCH_4/人	CH_4排出量		CO_2換算	1.925			
								0.0011	0.08		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/人	N_2O排出量		CO_2換算	0.542			
								0.000026	0.00		298				
	小計（5）											2.467			
	直接温室効果ガス排出量											44			
	総合計（総温室効果ガス排出量）											583		743	
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											10			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											593		754	

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ （敦賀）（2018年度）（22/28）

拠点	項目			単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数（GJ/各単位）	エネルギー量（GJ）	エネルギー量原油換算値（kℓ）	基礎排出・換算係数	基礎温室効果ガス排出量（t-CO_2）	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量（t-CO_2）	備考
敦賀	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)	0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0		0		0	
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)		262,444	254,857	517,301	0.00997	5,157	133	0.000438	293	0.000511	342	パネイル
			夜間買電		75,388	76,591	151,979	0.00928	1,410	36					パネイル
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		電気需要平準化時間帯のみの合計			165,621	188,979	354,600	0.00997	3,535	91					
		自家発電			0	0	0	0.00976							
	小計（1）及び間接温室効果ガス排出量						669,280		6,568	169		293		342	
	化石燃料	ガソリン		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	34.6000	0	0	0.0671	0			
		灯油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	36.7000	0	0	0.0678	0			
		軽油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	37.7000	0	0	0.0686	0			
		A重油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	39.1000	0	0	0.0693	0			
		LPG		(t)	0.00	0.00	0.00	50.8000	0	0	0.0590	0			
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0			
		天然ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
		その他		-	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
	小計（2）								0	0		0			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO_2排出量								6,568	169		293		342	
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)							ー	0.000			
		PFC		(kg)							ー	0.000			
		SF_6		(kg)							22,800	0.000			
		NF_3		(kg)							17,200	0.000			
	小計（3）											0.00			
	廃棄物焼却	CO_2		(t)	焼却量		0					0.000			
		CH_4						排出係数tCH_4/t	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/t	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		298				
	小計（4）											0.000			
	浄化槽	CH_4		（人）	人数			排出係数tCH_4/人	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.00						
		N_2O						排出係数tN_2O/人	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.00						
	小計（5）											0.000			
	直接温室効果ガス排出量											0			
	総合計（総温室効果ガス排出量）											293		342	
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											70			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											363		412	

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ （もんじゅ）（2018年度）（23/28）

拠点	項目			単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数（GJ/各単位）	エネルギー量（GJ）	エネルギー量原油換算値（kℓ）	基礎排出・換算係数	基礎温室効果ガス排出量（t-CO_2）	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量（t-CO_2）	備考
もんじゅ	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)	21,164,928	18,021,756	39,186,684	0.00997	390,691	10,080	0.000593	23,238	0.000574	22,493	北陸電力
			夜間買電		14,919,720	12,722,988	27,642,708	0.00928	256,524	6,618		16,392		15,867	北陸電力
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		電気需要平準化時間帯のみの合計			11,396,376	11,165,448	22,561,824	0.00997	224,941	5,803					
		自家発電			0	0	0	0.00976							
	小計（1）及び間接温室効果ガス排出量						66,829,392		647,216	16,698		39,630		38,360	
	化石燃料	ガソリン		(kℓ)	0.10	0.30	0.40	34.6000	14	0	0.0671	1			
		灯油		(kℓ)	3.28	3.75	7.03	36.7000	258	7	0.0678	17			
		軽油		(kℓ)	782.28	1,162.89	1,945.17	37.7000	73,333	1,892	0.0686	5,031			
		A重油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	39.1000	0	0	0.0693	0			
		LPG		(t)	3.94	3.83	7.77	50.8000	395	10	0.0590	23			
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0			
		天然ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
		その他		-	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
	小計（2）								73,999	1,909		5,072			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO_2排出量								721,215	18,607		44,702		43,432	
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)			0.000				ー	0.000			
		PFC		(kg)			0.000				ー	0.000			
		SF_6		(kg)			0.000				22,800	0.000			
		NF_3		(kg)			0.000				17,200	0.000			
	小計（3）											0.00			
	廃棄物焼却	CO_2		(t)	焼却量		45.94				0	0.000			
		CH_4						排出係数tCH_4/t	CH_4排出量		CO_2換算	0.087			
								0.000076	0.003		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/t	N_2O排出量		CO_2換算	0.991			
								0.0000724	0.003		298				
	小計（4）											1.078			
	浄化槽	CH_4		（人）	人数		298	排出係数tCH_4/人	CH_4排出量		CO_2換算	8.195			
								0.0011	0.33		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/人	N_2O排出量		CO_2換算	2.309			
								0.000026	0.01		298				
	小計（5）											10.504			
	直接温室効果ガス排出量											5,084			
	総合計（総温室効果ガス排出量）											44,714		43,444	
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											0			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											44,714		43,444	

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ （ふげん）(2018年度)(24/28)

拠点	項目			単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数（GJ/各単位）	エネルギー量（GJ）	エネルギー量原油換算値（kℓ）	基礎排出・換算係数	基礎温室効果ガス排出量（t-CO_2）	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量（t-CO_2）	備考
ふげん	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)	7,650,720	7,224,120	14,874,840	0.00997	148,302	3,826	0.000593	8,821	0.000574	8,538	北陸電力
			夜間買電		4,448,880	4,213,440	8,662,320	0.00928	80,386	2,074		5,137		4,972	北陸電力
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		電気需要平準化時間帯のみの合計			3,931,920	4,833,000	8,764,920	0.00997	87,386	2,255					
		自家発電			0	0	0	0.00976							
	小計（1）及び間接温室効果ガス排出量						23,537,160		228,688	5,900		13,958		13,510	
	化石燃料	ガソリン		(kℓ)	1.59	1.61	3.20	34.6000	111	3	0.0671	7			
		灯油		(kℓ)	72.04	68.99	141.02	36.7000	5,176	134	0.0678	351			
		軽油		(kℓ)	1.98	2.94	4.91	37.7000	185	5	0.0686	13			
		A重油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	39.1000	0	0	0.0693	0			
		LPG		(t)	2.17	2.07	4.23	50.8000	215	6	0.0590	13			
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0			
		天然ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
		その他		－	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
	小計（2）								5,686	147		384			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO_2排出量								234,375	6,047		14,341		13,894	
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)			0.000				―	0.000			
		PFC		(kg)			0.000				―	0.000			
		SF_6		(kg)			0.702				22,800	16.006			
		NF_3		(kg)			0.000				17,200	0.000			
	小計（3）											16.01			
	廃棄物焼却	CO_2		(t)	焼却量		0					0.000			
		CH_4						排出係数tCH_4/t	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/t	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		298				
	小計（4）											0.000			
	浄化槽	CH_4		（人）	人数		376	排出係数tCH_4/人	CH_4排出量		CO_2換算	10.340			
								0.0011	0.41		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/人	N_2O排出量		CO_2換算	2.913			
								0.000026	0.01		298				
	小計（5）											13.253			
	直接温室効果ガス排出量											413			
	総合計（総温室効果ガス排出量）											14,371		13,923	
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											0			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											14,371		13,923	

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ （敦総研(白木地区)）(2018年度）(25/28)

拠点	項目			単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数（GJ/各単位）	エネルギー量（GJ）	エネルギー量原油換算値（kℓ）	基礎排出・換算係数	基礎温室効果ガス排出量（t-CO_2）	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量（t-CO_2）	備考
敦総研(白木地区:旧も運研)	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)	0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0		0		0	
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)		400,272	413,520	813,792	0.00997	8,114	209	0.000438	545	0.000511	635	パネイル
			夜間買電		217,156	212,301	429,457	0.00928	3,985	103					パネイル
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		電気需要平準化時間帯のみの合計			232,764	293,988	526,752	0.00997	5,252	135					
		自家発電			0	0	0	0.00976							
	小計（1）及び間接温室効果ガス排出量						1,243,249		12,099	312		545		635	
	化石燃料	ガソリン		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	34.6000	0	0	0.0671	0			
		灯油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	36.7000	0	0	0.0678	0			
		軽油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	37.7000	0	0	0.0686	0			
		A重油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	39.1000	0	0	0.0693	0			
		LPG		(t)	0.00	0.00	0.00	50.8000	0	0	0.0590	0			
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0			
		天然ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
		その他		－	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
	小計（2）								0	0		0			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO_2排出量								12,099	312		545		635	
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)							－	0.000			
		PFC		(kg)							－	0.000			
		SF_6		(kg)							22,800	0.000			
		NF_3		(kg)							17,200	0.000			
	小計（3）											0.00			
	廃棄物焼却	CO_2		(t)	焼却量		0					0.000			
		CH_4						排出係数tCH_4/t	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/t	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		298				
	小計（4）											0.000			
	浄化槽	CH_4		（人）	人数			排出係数tCH_4/人	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.00						
		N_2O						排出係数tN_2O/人	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.00						
	小計（5）											0.000			
	直接温室効果ガス排出量											0			
	総合計（総温室効果ガス排出量）											545		635	
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											0			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											545		635	

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ （関西播磨）(2018年度)(26/28)

拠点	項目			単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数（GJ/各単位）	エネルギー量（GJ）	エネルギー量原油換算値（kℓ）	基礎排出・換算係数	基礎温室効果ガス排出量（t-CO_2）	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量（t-CO_2）	備考
関西播磨	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)	183,949	133,979	317,928	0.00997	3,170	82	0.000435	138	0.000418	133	関西電力
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0		0		0	
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		電気需要平準化時間帯のみの合計			108,515	88,858	197,373	0.00997	1,968	51					
		自家発電			0	0	0	0.00976							
	小計（1）及び間接温室効果ガス排出量						317,928		3,170	82		138		133	
	化石燃料	ガソリン		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	34.6000	0	0	0.0671	0			
		灯油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	36.7000	0	0	0.0678	0			
		軽油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	37.7000	0	0	0.0686	0			
		A重油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	39.1000	0	0	0.0693	0			
		LPG		(t)	0.00	0.00	0.00	50.8000	0	0	0.0590	0			
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0			
		天然ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
		その他		－	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
	小計（2）								0	0		0			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO_2排出量								3,170	82		138		133	
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)							－	0.000			
		PFC		(kg)							－	0.000			
		SF_6		(kg)							22,800	0.000			
		NF_3		(kg)							17,200	0.000			
	小計（3）											0.00			
	廃棄物焼却	CO_2		(t)	焼却量		0					0.000			
		CH_4						排出係数tCH_4/t	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/t	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		298				
	小計（4）											0.000			
	浄化槽	CH_4		（人）	人数			排出係数tCH_4/人	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.00						
		N_2O						排出係数tN_2O/人	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.00						
	小計（5）											0.000			
	直接温室効果ガス排出量											0			
	総合計（総温室効果ガス排出量）											138		133	
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											0			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											138		133	

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ （人形）(2018年度)(27/28)

拠点	項目			単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数（GJ/各単位）	エネルギー量（GJ）	エネルギー量原油換算値（kℓ）	基礎排出・換算係数	基礎温室効果ガス排出量（t-CO_2）	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量（t-CO_2）	備考
人形	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)	2,790,768	2,972,856	5,763,624	0.00997	57,463	1,483	0.000669	3,856	0.000677	3,902	中国電力
			夜間買電		2,702,880	3,085,140	5,788,020	0.00928	53,713	1,386		3,872		3,918	中国電力
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
			夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
		電気需要平準化時間帯のみの合計			1,406,873	2,044,073	3,450,946	0.00997	34,406	888					
		自家発電			0	0	0	0.00976							
	小計（1）及び間接温室効果ガス排出量						11,551,644		111,176	2,868		7,728		7,820	
	化石燃料	ガソリン		(kℓ)	0.63	1.44	2.07	34.6000	72	2	0.0671	5			
		灯油		(kℓ)	1.56	1.37	2.92	36.7000	107	3	0.0678	7			
		軽油		(kℓ)	0.11	0.96	1.08	37.7000	41	1	0.0686	3			
		A重油		(kℓ)	74.60	466.30	540.90	39.1000	21,149	546	0.0693	1,466			
		LPG		(t)	13.20	25.90	39.10	50.8000	1,986	51	0.0590	117			
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0			
		天然ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス		(Nm^3)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
		その他		-	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
	小計（2）								23,355	603		1,598			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO_2排出量								134,531	3,471		9,326		9,418	
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)			0.000				ー	0.000			
		PFC		(kg)			0.000				ー	0.000			
		SF_6		(kg)			0.001				22,800	0.015			
		NF_3		(kg)			0.000				17,200	0.000			
	小計（3）											0.01			
	廃棄物焼却	CO_2		(t)	焼却量		0					0.000			
		CH_4						排出係数tCH_4/t	CH_4排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/t	N_2O排出量		CO_2換算	0.000			
									0.000		298				
	小計（4）											0.000			
	浄化槽	CH_4		（人）	人数		302	排出係数tCH_4/人	CH_4排出量		CO_2換算	8.305			
								0.0011	0.33		25				
		N_2O						排出係数tN_2O/人	N_2O排出量		CO_2換算	2.340			
								0.000026	0.01		298				
	小計（5）											10.645			
	直接温室効果ガス排出量											1,608			
	総合計（総温室効果ガス排出量）											9,336		9,429	
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											0			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											9,336		9,429	

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ （全体）（2018年度）（28/28）

拠点	項目			単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数（GJ/各単位）	エネルギー量（GJ）	エネルギー量原油換算値（kℓ）	基礎排出・換算係数	基礎温室効果ガス排出量（t-CO_2）	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量（t-CO_2）	備考
全体	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)			264,221,803		2,634,291	67,965	—	133,145	—	131,955	
			夜間買電				178,737,794		1,658,687	42,794		90,326		89,547	
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)				63,391,162		632,010	16,306	—	63,422	—	65,092	
			夜間買電				63,695,226		591,092	15,250					
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)				361,423		3,603	93	—	171	—	227	
			夜間買電				36,866		342	9					
		電気需要平準化時間帯のみの合計					176,228,765		1,757,001	45,331					
		自家発電					55,532								
	小計（1）及び間接温室効果ガス排出量						570,499,806		5,520,025	142,417		287,063		286,821	
	化石燃料	ガソリン		(kℓ)			9.89		342	9		23			
		灯油		(kℓ)			256.46		9,412	243		638			
		軽油		(kℓ)			2,004.57		75,572	1,950		5,184			
		A重油		(kℓ)			8,284.15		323,910	8,357		22,447			
		LPG		(t)			131.20		6,665	172		393			
		LNG		(t)			1,974.24		107,793	2,781		5,336			
		天然ガス		(Nm^3)			0.00		0	0		0			
		都市ガス		(Nm^3)			660.00		30	1		1			
		その他		-			0.00		0	0		0			
	小計（2）								523,725	13,512		34,023			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO_2排出量								6,043,750	155,929		321,086		320,844	
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)			152.654				—	247.852			
		PFC		(kg)			0.000				—	0.000			
		SF_6		(kg)			886.723				22,800	20,217.276			
		NF_3		(kg)			0.000				17,200	0.000			
	小計（3）											20,465.13			
	廃棄物焼却	CO_2		(t)	焼却量		46.9					0.000			
		CH_4						排出係数tCH_4/t	CH_4排出量		CO_2換算	0.087			
											25				
		N_2O						排出係数tN_2O/t	N_2O排出量		CO_2換算	0.994			
											298				
	小計（4）											1.081			
	浄化槽	CH_4		（人）	人数		6,388	排出係数tCH_4/人	CH_4排出量		CO_2換算	175.670			
									0.00						
		N_2O						排出係数tN_2O/人	N_2O排出量		CO_2換算	49.494			
									0.00						
	小計（5）											225.164			
	直接温室効果ガス排出量											54,714			
	総合計（総温室効果ガス排出量）											341,778		341,535	
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											1,546			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											343,324		343,082	

表2-1-2　電気使用量増減の理由及び取組内容（2018年度）（1/2）

拠点名	増加の理由	減少の理由	省エネの取組内容(ハード面)	省エネの取組内容(ソフト面)	備考
幌延	—	—	—	—	—
むつ	—	—	—	—	—
いわき	夏場猛暑によるエアコン稼働時間の増加及び部門ホームページのリニューアルやサーバーの更新、写真データの保存等を夜間に実施したため、電気使用量が増加した。	—	—	昼休みの消灯の徹底 室温の目安を夏は28度、冬は20度に設定している。	昼休みの消灯、退勤後の消灯、エアコンのON・OFFによる操作等を徹底することで、更なる電気使用量の削減に努める。 また、冷暖房の稼働が多い7～8月、1～2月については、無理のない範囲で、体調を考慮しながら、設定温度の調整をし省エネに努める。
楢葉	—	実験等の装置に対する電気供給量減のため。	休憩時間中の照明消灯	クールビズ、ウォームビズの推進	楢葉センターでは、施設利用による電気設備等の使用状況により使用量は増減するため、計画目標の省エネ等に対する対応は困難である。 2018年度計画目標値は、2018年度の電気受給契約時の仕様書作成の段階で計画目標値を設定して仕様書へ記載しているデータを引用している。
三春	温度や湿度に影響される各種実験等の頻度増加に伴い、測定器、エアコン類の稼働時間も増加した。また、2018年度は2017年度と比較し、夏から秋にかけて気温の高い日が多かったことも影響し、7月～11月の電気使用量が増加した。	—	クールビズ、ウォームビズの導入	夏季及び冬季における空調設定温度の周知	—
富岡	2017年度に比べ、試験機器並びに人員が増加したためと考えられる。	—	電力量のオンデマンドモニタリングによる節電 会議室等不在時の消灯 パソコンの省エネモードの設定の推進 冷暖房温度の適正化	クールビズ、ウォームビズの推奨	2018年度計画目標を2017年度実績に設定した。 2018年度の電気使用量が2018年度計画目標（2017年度実績）を上回っているのは、2017年度に比べ、試験機器並びに人員が増加したためと考えられる。 今後も同様の取組を継続するが、国際共同研究棟は2016年度から使用開始であり、継続的に新たな試験機器も設置が計画されていることから、電気使用量の増加が見込まれる。
大熊	2017年度実績なし。	2017年度実績なし。	照明に人感センサを取り入れている。	夜間の建家内給気量を減らしている。	施設管理棟は2018年3月15日に運用を開始したため、2017年度実績がなく2018年度計画目標を設定することは困難である。
本部	—	省エネの取組み（ハード面、ソフト面）により前年度比約7%減となった。	温度設定、電源ON・OFFなどのこまめな空調の管理 昼休みの消灯の徹底 使用していない居室の空調機の停止、消灯の徹底	業務時間外の消灯、PC機器等の省電力モード設定の推奨 クールビズ・ウォームビズ等の省エネ活動の励行	—
原科研	—	—	建物付属設備（照明、空調機等）の更新、新設時には高効率機器を採用した。	各部、センター、部門毎に省エネパトロールを実施し省エネ活動状況を確認した。 2018年度エネルギー管理実施計画に基づいて省エネ活動を実施した。 適切な温度管理並びに不使用機器の電源「断」を徹底した。 昼休みの冷房、暖房停止を実施した。	—
J-PARC	—	J-PARCの運転日数が当初予定より減少したため。	J-PARCに設置されている電磁石、加速空洞等は、世界最先端の機器であり、納入時点で最も省エネルギー効果の高いものを使用している。また、建屋、ビームダクト等は極めて機密性の高く、空調や真空引きの際に無駄な電力を発生しない構造となっている。さらに制御系システムも省エネルギー効果が最大限となるよう、熟慮して製作している。	—	—
サイクル研	—	（放射線管理部）せいかい給電設備について、常時給電から使用時のみの給電に変更したため。	—	—	東京電力：箕輪駐車場外灯、所外MP、MST、せいかい給電設備 F-POWER：核燃料サイクル工学研究所 丸紅新電力：東海分室

表2-1-2　電気使用量増減の理由及び取組内容（2018年度）（2/2）

拠点名	増加の理由	減少の理由	省エネの取組内容(ハード面)	省エネの取組内容(ソフト面)	備考
大洗	—	—	省エネ型機器への交換等	消灯の徹底、空調・OA機器の省エネ運転、冷暖房温度設定の適正化、クールビズ・ウオームビズの推進、休日における換気設備や冷凍機の停止、試験時間の調整による電力消費等	—
NEAT茨城	電気使用者が増えたため。	—	—	節電の掲示により注意喚起を行った。	—
NEAT福井	—	—	—	—	—
東京	—	クールビズ、ウォームビズ等の省エネ活動の励行 複合機、PCの省電力モードの設定促進 居室削減に伴う電気使用量の減少	ブラインドの有効活用 温度設定、電源のON・OFFなどのこまめな空調の管理	業務時間外の消灯、PC機器等の省電力モード設定推奨	電気使用量：東京事務所が入居する富国生命ビルは、一括して管理を行っているためビルから提供されてデータ（財団法人省エネルギーセンターの空調エネルギー推計ツールを用いて算出）に基づく数値である。 電気使用量は機構の賃貸借スペース面積按分となる。 電気需要平準化時間帯使用量：東京事務所が入居する富国生命ビルは、一括管理を行っているため、東京事務所のみの使用量を算出することは不可能。財団法人省エネルギーセンターの空調エネルギーツールを使用して算出することも不可能。 よって、平準化時間帯使用量は全時間使用量（昼間買電量）と同値とした。
柏	—	特になし。 （電気使用量については、入居している東大柏の葉キャンパス駅前サテライトの建物全体の電気使用量を、入居している各団体組織の占有面積の比により割り出している。増減理由については、原子力機構のみで明確になるものではないため。）	—	不在の居室等は、照明をOFFとする。帰宅時及び使用していない会議室の照明等の消し忘れのないよう注意喚起を行った。	—
東濃	—	—	—	—	—
敦賀	2018年4月1日組織改正により、敦賀事業本部事務所内の人員増により、使用電力量が増加したものと推測 新規建屋（技術実証試験・交流棟）の利用開始に伴い、レーザー実験装置等の利用による使用電力が増加したものと推測	—	—	—	—
もんじゅ	—	2次系ナトリウム全ドレンにより予熱ヒータ及びポニーモータを停止したため。	最終退室者による個別エアコン停止及び照明消灯の徹底 原子炉施設の安全確保に影響を及ぼさない範囲で照明の消灯、換気系の1台停止等の安全上問題のない範囲での合理化策を抽出して実施	エネルギー使用状況推移の所内掲示 エネルギー使用に係る目標、方策等を所員へメール配信	—
ふげん	—	非常用ガス処理系及び焼却設備の定期点検が前年度より長かったことにより1月～2月の電気使用量が減少した。	—	停止しても業務上問題無い機器の停止を積極的に実施	—
敦総研 （白木地区：旧も運研）	—	2018年4月1日付組織改正に伴い、敦賀総合研究開発センター（白木地区）における人員数が減少したため。	—	—	—
関西播磨	—	—	—	—	—
人形	—	エアコンの利用において、冬期の暖房よりも夏期の冷房の方がわずかに減少した。	—	昼休憩時間の居室等の消灯、退勤時におけるパソコン・電気ポット・プリンター等の機器の電源OFFの徹底 各部屋に基準温度計を設置し、室温を夏は28度以上、冬は20度以下でエアコンの省エネ運転の徹底、啓発を継続	—

表2-1-3 化石燃料使用量増減の理由及び取組内容(2018年度)(1/2)

拠点名	増加の理由	減少の理由	省エネの取組内容(ハード面)	省エネの取組内容(ソフト面)	備考
幌延	—	—	—	—	—
むつ	—	暖冬の影響により、2017年度に比べて2018年度の灯油の使用量が減少している。 船舶の給油実績がないため、軽油の使用量が減少している。	—	—	—
楢葉	—	—	—	—	—
三春	—	福島環境安全センター内のグループ体制が5課グループから4課グループに統廃合され、実験等での温水使用量も減少したため。	—	—	LPGの請求書が2018年度から3月末となったため、年間使用量を均等割とした。 2018年度は簡易型発電機の使用がなかったため、ガソリン及び軽油の使用量を「0」とした。
富岡	—	—	—	—	—
大熊	—	—	—	—	施設管理棟は2018年3月から運用開始
本部	—	—	—	—	—
原科研	—	—	—	—	—
J-PARC	—	—	—	—	—
サイクル研	(再処理センター)ガソリン、軽油:2018年度はナンバー付き公用車の燃料を除いた計算ができなかったため。 (再処理センター)灯油:IFの運転が増加したため。	(プルセンター)【灯油】焼却量が減少したため。 また、第2難燃物焼却炉において、計画に基づき放射性固体廃棄物の焼却実証運転試験の条件を変えていること、運転日数が減少したことにより2017年度と比較して使用量が減少した。 (プルセンター)【軽油】放射性廃棄物の運搬量が減少した。 (放射線管理部)ガソリン、軽油ともに、非発の残量に見合った給油量減少のため。	—	—	(再処理センター)【前処理施設課】軽油:パワーショベル、ショベルローダーの燃料／LPガス:発電機の燃料 【化学処理施設課】軽油:ボイラーの燃料 (再処理センター)【施設保全第1課】ガソリン:トラック、排水運搬車、フォークリフトの燃料／軽油:トラクター、移動式クレーンの燃料 【施設保全第2課】軽油:移動式発電機の燃料 (再処理センター)【環境管理課】ガソリン:小型発電機の月例点検／軽油:カスクトラックの月例点検 (再処理センター)【処理第2課】灯油:焼却施設の燃料 (プルセンター)【灯油】産業廃棄物処理施設(焼却炉)の燃料、第2難燃物焼却炉の燃料に使用している。 (プルセンター)【軽油】ドライバン積載トラック及びエンジン式フォークリフト(7t)、非常用機材(非常用発電機、高所作業車)に使用している。 (プルセンター)【LPG】産業廃棄物処理施設(焼却炉)の着火に使用する。
大洗	—	—	—	—	—
NEAT茨城	—	—	—	—	—
NEAT福井	増加理由は、発電機点検時に昨年度より長く運転したため。	—	—	—	—

表2-1-3 化石燃料使用量増減の理由及び取組内容(2018年度)(2/2)

拠点名	増加の理由	減少の理由	省エネの取組内容(ハード面)	省エネの取組内容(ソフト面)	備考
東濃	LPGは2%増加 瑞浪地科学研究館で空調用の燃料として使用しており、例年と比較して夏が猛暑となったことに伴い、空調の使用が増えたため。	灯油は27%減少 土岐地球年代学研究所で車両の高圧洗浄機の燃料として使用している。特に冬季は除雪剤の影響を受けないよう使用量が増える。 2018年度は2017年度と比べ、晴天が多く降雪が少ない等の理由で、高圧洗浄機を使用する頻度が少なかった。	—	空調機使用時の適切な設定等の取組	—
もんじゅ	—	消費量削減によりガソリン、LPGは使用量が減少した。	原子炉施設の安全確保に影響を及ぼさない範囲で照明の消灯、換気系の1台停止等の安全上問題のない範囲での合理化策を抽出して実施している。	エネルギー使用状況推移の所内掲示	—
ふげん	灯油については、事務本館エアコン更新作業により、暖房用として灯油ストーブを使用したことにより使用量が増加した。 軽油については、廃棄物運搬車両の使用頻度が2017年度に比べ増えたので使用量が増加した。	—	—	—	—
人形	A重油:2017月8月より濃縮工学施設の熱水暖房を停止していたが、配管工事終了に伴い2018月12月末に再稼働したため増加した。	ガソリン・軽油:除雪機の利用が少なかったため。また、9月の給油所工事のため減少した。 灯油:廃棄物焼却施設の運転、会議室における利用が少なかったため。 LPG:工務棟の利用減少、EEF・総合管理棟(安管課)のエアコンの仕様をLPGから電気に変更。開発試験棟のエアコンは省エネタイプへ変更したため。	総合管理棟の気象観測室に設置しているエアコンは、LPG使用から電気使用に変更(2018年7月) 総合管理棟の安管課居室・放射能測定室及び排水管理室・環境管理室に設置しているエアコンは、LPG使用から電気使用に変更(2018月11月)	各部屋に基準温度計を設置し、室温を夏は28度以上、冬は20度以下でエアコンの省エネ運転の徹底、啓発を継続	—

表2-1-4　総エネルギー投入量種類別割合（2018年度）

種類別投入量(GJ)			割合（%）	用　途
電気		5,520,025	91.33	
化石燃料	ガソリン	342	0.01	公用車、船舶、除雪
	灯油	9,412	0.16	ボイラー、焼却施設
	軽油	75,572	1.25	公用車、通勤バス、船舶、除雪、非常用発電機
	A重油	323,910	5.36	ボイラー、非常用発電機
	LPG	6,665	0.11	食堂、焼却炉、高減容処理施設
	LNG	107,793	1.78	ボイラー
	天然ガス	0	0.00	
	都市ガス	30	0.00	食堂、給湯
	その他	0	0.00	
	小計	523,725	8.67	
合計(GJ)		6,043,750	100.00	

表2-1-5 総エネルギー投入量拠点別割合（2018年度）

拠点名	電気(GJ)		割合（%）		化石燃料(GJ)		割合（%）		総エネルギー投入量(GJ)		割合（%）	
幌延	4,857		0.09		1,624		0.31		6,480		0.11	
むつ	15,860		0.29		2,465		0.47		18,325		0.30	
福島拠点	26,425		0.48		208		0.04		26,633		0.44	
いわき		1,061		0.02		0		0.00		1,061		0.02
楢葉		7,212		0.13		0		0.00		7,212		0.12
三春		7,902		0.14		208		0.04		8,110		0.13
富岡		2,009		0.04		0		0.00		2,009		0.03
大熊		8,241		0.15		0		0.00		8,241		0.14
本部	10,526		0.19		10		0.00		10,536		0.17	
原科研(J-PARCを含む)	2,641,790		47.86		111,853		21.36		2,753,643		45.56	
原科研		640,673		11.61		111,837		21.35		752,509		12.45
J-PARC		2,001,117		36.25		17		0.00		2,001,134		33.11
サイクル研	1,166,075		21.12		261,339		49.90		1,427,414		23.62	
大洗	622,290		11.27		42,510		8.12		664,800		11.00	
NEAT	7,387		0.13		60		0.01		7,447		0.12	
NEAT茨城		5,417		0.10		52		0.01		5,469		0.09
NEAT福井		1,970		0.04		8		0.00		1,978		0.03
東京地区	2,859		0.05		0		0.00		2,859		0.05	
東京		1,712		0.03		0		0.00		1,712		0.03
柏		1,148		0.02		0		0.00		1,148		0.02
東濃	13,039		0.24		615		0.12		13,654		0.23	
敦賀	6,568		0.12		0		0.00		6,568		0.11	
もんじゅ	647,216		11.72		73,999		14.13		721,215		11.93	
ふげん	228,688		4.14		5,686		1.09		234,375		3.88	
敦総研（白木地区：旧も運研）	12,099		0.22		0		0.00		12,099		0.20	
関西播磨	3,170		0.06		0		0.00		3,170		0.05	
人形	111,176		2.01		23,355		4.46		134,531		2.23	
合計（GJ）	5,520,025		100.00		523,725		100.00		6,043,750		100.00	

表2-1-6 総エネルギー投入量種類別推移(2018年度)

種類		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	対前年度比(%) 2018/2017
電気		6,169,641	6,331,262	5,538,677	5,662,938	5,520,025	97.48
化石燃料	ガソリン	472	457	431	395	342	86.69
	灯油	15,364	13,836	9,450	9,372	9,412	100.42
	軽油	74,222	83,605	65,323	75,759	75,572	99.75
	A重油	395,158	389,211	363,854	343,157	323,910	94.39
	LPG	8,094	7,980	7,378	7,121	6,665	93.60
	LNG	124,301	113,554	119,255	121,274	107,793	88.88
	天然ガス	0	0	0	0	0	0.00
	都市ガス	498	538	32	30	30	99.83
	その他	0	0	0	0	0	0.00
	小計	618,110	609,179	565,722	557,107	523,725	94.01
合計(GJ)		6,787,751	6,940,442	6,104,399	6,220,045	6,043,750	97.17

表2-1-7 総エネルギー投入量拠点別推移(2018年度)

拠点名	2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		対前年度比(%) 2018/2017	
幌延	5,698		6,232		6,255		6,811		6,480		95.14	
青森	218,898		232,301		19,740		19,529		18,325		93.84	
むつ		19,905		18,832		19,740		19,529		18,325		93.84
六ヶ所		198,993		213,469								
福島拠点	2,043		5,768		13,059		19,492		26,633		136.63	
いわき				915		1,064		1,034		1,061		102.56
楢葉				2,674		6,269		8,017		7,212		89.96
三春				2,179		5,726		7,739		8,110		104.80
富岡								1,742		2,009		115.31
大熊								960		8,241		858.37
本部	7,835		10,943		11,640		11,301		10,536		93.23	
原科研(J-PARCを含む)	2,595,547		2,695,814		2,715,741		2,860,029		2,753,643		96.28	
原科研		757,178		751,321		777,723		772,657		752,509		97.39
J-PARC		1,838,369		1,944,493		1,938,018		2,087,372		2,001,134		95.87
サイクル研	1,475,751		1,440,564		1,465,391		1,439,590		1,427,414		99.15	
大洗	686,040		675,715		663,851		644,291		664,800		103.18	
那珂	301,490		386,286									
NEAT	6,647		6,796		7,506		7,092		7,447		105.00	
NEAT茨城		4,547		4,799		5,522		5,126		5,469		106.69
NEAT福井		2,101		1,997		1,984		1,966		1,978		100.58
高崎	143,593		149,789									
東京地区	4,081		3,761		3,254		2,705		2,859		105.70	
東京		2,541		2,286		2,090		1,562		1,712		109.62
柏		1,540		1,475		1,164		1,144		1,148		100.34
東濃	14,886		14,254		14,859		13,680		13,654		99.81	
敦賀	7,359		6,628		6,024		6,099		6,568		107.69	
もんじゅ	814,484		810,118		785,265		801,758		721,215		89.95	
ふげん	253,342		243,049		230,401		236,496		234,375		99.10	
敦総研(白木地区:旧も運研)	14,261		14,701		14,169		18,455		12,099		65.56	
関西研	85,388		80,213		2,485		3,234		3,170		98.00	
関西木津		70,191		66,373								
関西播磨		15,197		13,840		2,485		3,234		3,170		98.00
人形	150,409		157,511		144,758		129,481		134,531		103.90	
合計(GJ)	6,787,751		6,940,442		6,104,399		6,220,045		6,043,750		97.17	

表2-1-8 電気使用量拠点別推移(2018年度)

拠点名	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	対前年度比(%) 2018/2017	電気事業者別の排出係数*1 ($kg\text{-}CO_2/kWh$)	
幌延	461,239	514,210	508,570	522,871	493,867	94.45	北海道電力	0.666
むつ	1,714,146	1,613,613	1,686,589	1,680,232	1,590,802	94.68	東北電力 エネット	0.521 0.423
六ヶ所	20,249,918	21,688,049						
福島	178,927							
いわき		91,759	106,730	103,757	106,411	102.56	東北電力	0.521
楢葉		268,231	626,717	804,086	732,947	91.15	F-Power	0.502
三春		191,500	563,600	751,887	792,530	105.41	東北電力	0.521
富岡				174,770	206,397	118.10	F-Power	0.502
大熊				96,300	826,612	858.37	東京電力	0.475
本部	801,950	1,104,475	1,174,533	1,155,970	1,070,774	92.63	東京電力 F-Power	0.475 0.502
原科研	65,061,836	65,566,740	67,793,402	66,989,996	66,114,050	98.69	東京電力 丸紅新電力	0.475 0.409
J-PARC	189,748,507	200,755,827	200,491,938	215,506,147	206,565,401	95.85	東京電力	0.475
サイクル研	123,864,475	121,179,277	122,046,507	120,181,456	121,307,020	100.94	東京電力 F-Power 丸紅新電力	0.475 0.502 0.409
大洗	65,327,191	64,442,553	63,289,044	61,690,787	64,196,220	104.06	東京電力 丸紅新電力 F-Power	0.475 0.409 0.502
那珂	28,765,703	37,407,447						
NEAT茨城	463,360	489,284	562,017	522,341	555,982	106.44	東京電力	0.475
NEAT福井	210,234	200,100	197,880	197,016	197,570	100.28	パネイル	0.438
高崎	13,720,681	14,498,848						
東京	254,815	229,239	209,670	156,633	171,697	109.62	東京電力	0.475
柏	154,489	147,944	116,739	114,705	115,098	100.34	F-Power	0.502
東濃	1,435,981	1,377,525	1,429,608	1,311,435	1,307,775	99.72	中部電力 丸紅新電力 エネサーブ	0.476 0.409 0.41
敦賀	748,676	674,315	613,315	621,363	669,280	107.71	パネイル	0.438
もんじゅ	76,597,680	75,306,840	74,487,120	75,152,760	66,829,392	88.92	北陸電力	0.593
ふげん	25,298,640	24,391,800	23,288,400	23,757,120	23,537,160	99.07	北陸電力	0.593
敦総研(白木地区:旧も運研)	1,466,007	1,513,101	1,456,296	1,884,342	1,243,249	65.98	パネイル	0.438
関西木津	7,249,260	6,849,850						
関西播磨	1,578,195	1,437,321	249,284	324,423	317,928	98.00	関西電力	0.435
人形	12,146,709	12,358,932	12,034,804	11,555,011	11,551,644	99.97	中国電力	0.669
合計(kWh)	637,498,619	654,298,780	572,932,763	585,255,408	570,499,806	97.48		

*1 付録:「電気事業者別のCO_2排出係数」(2018年12月環境省公表) 参照

表2-1-9 化石エネルギー投入量拠点別推移(2018年度)

拠点名		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		対前年度比(%) 2018/2017	
幌延		1,099		1,177		1,263		1,670		1,624		97.23	
青森		5,645		6,116		2,925		2,777		2,465		88.77	
	むつ		2,815		2,744		2,925		2,777		2,465		88.77
	六ヶ所		2,830		3,372								
福島拠点		259		270		127		242		208		85.95	
	楢葉				0		20		0		0		0.00
	三春				270		107		242		208		85.95
	富岡								0		0		0.00
	大熊								0		0		0.00
本部				3		5		9		10		104.07	
原科研(J-PARCを含む)		126,506		115,915		121,526		123,458		111,853		90.60	
	原科研		126,486		115,892		121,511		123,440		111,837		90.60
	J-PARC		20		23		15		17		17		95.08
サイクル研		284,866		275,707		292,028		284,281		261,339		91.93	
大洗		52,346		51,117		50,382		46,288		42,510		91.84	
那珂		22,499		23,620									
NEAT		38		39		48		41		60		145.17	
	NEAT茨城		34		37		37		39		52		132.47
	NEAT福井		5		2		11		2		8		401.03
高崎		10,493		9,179									
東濃		570		520		606		605		615		101.64	
もんじゅ		72,662		80,821		63,908		73,961		73,999		100.05	
ふげん		7,507		6,011		4,076		5,607		5,686		101.42	
関西研		214		240									
	関西木津		214		240								
人形		33,406		38,443		28,828		18,167		23,355		128.56	
合計(GJ)		618,110		609,179		565,722		557,107		523,725		94.01	

表2-2-1 総温室効果ガス拠点別排出量(2018年度)

拠点名	間接排出量(t-CO_2)		直接排出量(t-CO_2)					総排出量(t-CO_2)		フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量(t-CO_2)	フロン排出抑制法に基づくフロン排出を加えた総排出量(t-CO_2)		エネルギー起源	
	電気	割合(%)	化石燃料	代替フロン等4ガス	廃棄物焼却	浄化槽	合計	割合(%)					CO_2排出量(t-CO_2)	割合(%)
幌延	329	0.11	110	0	0.000	2	111.62	0.20	441	0.13	0	441	0.13	438	0.14
むつ	734	0.26	171	0	0.000	3	173.67	0.32	908	0.27	0	908	0.26	905	0.28
福島拠点	1,317	0.46	12	0	0.000	4	16.39	0.03	1,334	0.39	0	1,334	0.39	1,330	0.41
いわき	55	0.02	0	0	0.000	0	0.00	0.00	55	0.02	0	55	0.02	55	0.02
楢葉	349	0.12	0	0	0.000	2	2.33	0.00	351	0.10	0	351	0.10	349	0.11
三春	413	0.14	12	0	0.000	0	12.30	0.02	425	0.12	0	425	0.12	425	0.13
富岡	98	0.03	0	0	0.000	0	0.00	0.00	98	0.03	0	98	0.03	98	0.03
大熊	402	0.14	0	0	0.000	2	1.76	0.00	403	0.12	0	403	0.12	402	0.13
本部	517	0.18	1	0	0.000	0	0.62	0.00	518	0.15	0	518	0.15	518	0.16
原科研(J-PARCを含む)	129,496	45.11	5,610	20,395	0.000	72	26,077.81	47.66	155,573	45.52	895	156,469	45.57	135,106	42.08
原科研	31,377	10.93	5,609	20,196	0.000	62	25,867.30	47.28	57,244	16.75	682	57,927	16.87	36,986	11.52
J-PARC	98,119	34.18	1	199	0.000	10	210.50	0.38	98,329	28.77	213	98,542	28.70	98,120	30.56
サイクル研	60,881	21.21	18,090	48	0.003	66	18,204.48	33.27	79,085	23.14	5	79,090	23.04	78,971	24.59
大洗	30,469	10.61	2,935	0	0.000	41	2,976.35	5.44	33,445	9.79	566	34,011	9.91	33,404	10.40
NEAT	351	0.12	4	0	0.000	0	4.15	0.01	355	0.10	0	355	0.10	355	0.11
NEAT茨城	264	0.09	4	0	0.000	0	3.60	0.01	268	0.08	0	268	0.08	268	0.08
NEAT福井	87	0.03	1	0	0.000	0	0.55	0.00	87	0.03	0	87	0.03	87	0.03
東京地区	139	0.05	0	0	0.000	0	0.00	0.00	139	0.04	0	139	0.04	139	0.04
東京	82	0.03	0	0	0.000	0	0.00	0.00	82	0.02	0	82	0.02	82	0.03
柏	58	0.02	0	0	0.000	0	0.00	0.00	58	0.02	0	58	0.02	58	0.02
東濃	539	0.19	36	5	0.000	2	43.88	0.08	583	0.17	10	593	0.17	575	0.18
敦賀	293	0.10	0	0	0.000	0	0.00	0.00	293	0.09	70	363	0.11	293	0.09
もんじゅ	39,630	13.81	5,072	0	1.078	11	5,083.91	9.29	44,714	13.08	0	44,714	13.02	44,702	13.92
ふげん	13,958	4.86	384	16	0.000	13	413.02	0.75	14,371	4.20	0	14,371	4.19	14,341	4.47
敦総研(白木地区：旧も運研)	545	0.19	0	0	0.000	0	0.00	0.00	545	0.16	0	545	0.16	545	0.17
関西播磨	138	0.05	0	0	0.000	0	0.00	0.00	138	0.04	0	138	0.04	138	0.04
人形	7,728	2.69	1,598	0	0.000	11	1,608.37	2.94	9,336	2.73	0	9,336	2.72	9,326	2.90
合計(t-CO_2)	287,063	100.00	34,023	20,465	1.081	225	54,714.27	100.00	341,778	100.00	1,546	343,324	100.00	321,086	100.00
種類別割合(%)	83.99		9.95	5.99	0.00	0.07	16.01		100.00					93.95	

表2-2-2 調整後総温室効果ガス拠点別排出量(2018年度)

拠点名	調整後間接排出量(t-CO_2)		直接排出量(t-CO_2)					調整後総排出量(t-CO_2)		フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量(t-CO_2)		フロン排出抑制法に基づくフロン排出を加えた総排出量(t-CO_2)		エネルギー起源	
	電気	割合(%)	化石燃料	代替フロン等4ガス	廃棄物焼却	浄化槽	合計	割合(%)		割合(%)		割合(%)		調整後CO_2排出量(t-CO_2)	割合(%)
幌延	335	0.12	110	0	0.000	2	111.62	0.20	446	0.13	0	446	0.13	444	0.14
むつ	753	0.26	171	0	0.000	3	173.67	0.32	927	0.27	0	927	0.27	923	0.29
福島拠点	1,301	0.45	12	0	0.000	4	16.39	0.03	1,317	0.39	0	1,317	0.38	1,313	0.41
いわき	56	0.02	0	0	0.000	0	0.00	0.00	56	0.02	0	56	0.02	56	0.02
楢葉	342	0.12	0	0	0.000	2	2.33	0.00	345	0.10	0	345	0.10	342	0.11
三春	414	0.14	12	0	0.000	0	12.30	0.02	427	0.12	0	427	0.12	427	0.13
富岡	96	0.03	0	0	0.000	0	0.00	0.00	96	0.03	0	96	0.03	96	0.03
大熊	392	0.14	0	0	0.000	2	1.76	0.00	394	0.12	0	394	0.12	392	0.12
本部	520	0.18	1	0	0.000	0	0.62	0.001	521	0.15	0	521	0.15	521	0.16
原科研(J-PARCを含む)	129,239	45.06	5,610	20,395	0.000	72	26,077.81	47.66	155,317	45.48	895	156,212	45.53	134,849	42.03
原科研	31,327	10.92	5,609	20,196	0.000	62	25,867.30	47.28	57,194	16.75	682	57,877	16.89	36,936	11.51
J-PARC	97,912	34.14	1	199	0.000	10	210.50	0.38	98,123	28.73	213	98,335	28.67	97,913	30.52
サイクル研	62,231	21.70	18,090	48	0.003	66	18,204.48	33.27	80,436	23.55	5	80,440	23.45	80,321	25.03
大洗	30,437	10.61	2,935	0	0.000	41	2,976.35	5.44	33,413	9.78	566	33,979	9.90	33,372	10.40
NEAT	364	0.13	4	0	0.000	0	4.15	0.01	369	0.11	0	369	0.11	369	0.11
NEAT茨城	264	0.09	4	0	0.000	0	3.60	0.01	267	0.08	0	267	0.08	267	0.08
NEAT福井	101	0.04	1	0	0.000	0	0.55	0.00	102	0.03	0	102	0.03	102	0.03
東京地区	140	0.05	0	0	0.000	0	0.00	0.00	140	0.04	0	140	0.04	140	0.04
東京	81	0.03	0	0	0.000	0	0.00	0.00	81	0.02	0	81	0.02	81	0.03
柏	59	0.02	0	0	0.000	0	0.00	0.00	59	0.02	0	59	0.02	59	0.02
東濃	700	0.24	36	5	0.000	2	43.88	0.08	743	0.22	10	754	0.22	736	0.23
敦賀	342	0.12	0	0	0.000	0	0.00	0.00	342	0.10	70	412	0.12	342	0.11
もんじゅ	38,360	13.37	5,072	0	1.078	11	5,083.91	9.29	43,444	12.72	0	43,444	12.66	43,432	13.54
ふげん	13,510	4.71	384	16	0.000	13	413.02	0.75	13,923	4.08	0	13,923	4.06	13,894	4.33
敦総研(白木地区：旧も運研)	635	0.22	0	0	0.000	0	0.00	0.00	635	0.19	0	635	0.19	635	0.20
関西播磨	133	0.05	0	0	0.000	0	0.00	0.00	133	0.04	0	133	0.04	133	0.04
人形	7,820	2.73	1,598	0	0.000	11	1,608.37	2.94	9,429	2.76	0	9,429	2.75	9,418	2.94
合計(t-CO_2)	286,821	100.00	34,023	20,465	1.081	225	54,714.27	100.00	341,535	100.00	1,546	343,082	100.00	320,844	100.00
種類別割合(%)	83.98		9.96	5.99	0.00	0.07	16.02		100					93.94	

表2-2-3 総温室効果ガス排出量拠点別推移(2018年度)

拠点名	2014年度		2015年度*		2016年度*		2017年度*		2018年度*		対前年度比(%) 2018/2017	
幌延	389		433		428		445		441		98.96	
青森	13,203		13,686		1,017		5,386		908		16.86	
むつ		1,039		992		1,017		5,386		908		16.86
六ヶ所		12,164		12,694								
福島拠点	119		331		731		918		1,334		145.32	
いわき				52		59		57		55		98.04
楢葉				155		352		294		351		119.64
三春				123		320		424		425		100.24
富岡								95		98		103.14
大熊								48		403		837.54
本部	425		470		572		466		518		111.09	
原科研(J-PARCを含む)	164,292		164,020		158,341		160,603		156,469		97.43	
原科研		63,663		62,175		57,763		55,564		57,927		104.25
J-PARC		100,629		101,845		100,578		105,040		98,542		93.81
サイクル研	85,430		80,443		81,393		78,217		79,090		101.12	
大洗	38,209		34,976		35,284		33,252		34,011		102.28	
那珂	17,161		20,903									
NEAT	381		379		408		318		355		111.55	
NEAT茨城		248		250		284		192		268		139.56
NEAT福井		133		130		125		126		87		68.99
高崎	14,923		9,122									
東京地区	217		190		163		132		139		105.66	
東京		135		116		105		76		82		107.14
柏		82		75		58		56		58		103.65
東濃	780		721		718		585		593		101.49	
敦賀	456		434		385		471		363		77.07	
もんじゅ	53,409		54,877		51,381		53,532		44,714		83.53	
ふげん	16,469		16,447		14,930		15,645		14,371		91.85	
敦総研(白木地区:旧も運研)	867		935		992		1,206		545		45.15	
関西研	4,627		4,473		127		165		138		83.75	
関西木津		3,803		3,710								
関西播磨		824		763		127		165		138		83.75
人形	11,033		11,468		10,654		9,230		9,336		101.15	
合計($t-CO_2$)	422,392		414,309		357,524		360,572		343,324		95.22	

*2015年度より、フロン排出抑制法に基づき算出したフロン漏えいによる温室効果ガス排出量を含む。

表2-2-4 調整後総温室効果ガス排出量拠点別推移（2018年度）

拠点名	2014年度		2015年度*		2016年度*		2017年度*		2018年度*		対前年度比（%）2018/2017	
幌延	391		436		431		449		446		99.36	
青森	13,181		13,739		1,042		5,424		927		17.08	
むつ		1,058		1,001		1,042		5,424		927		17.08
六ヶ所		12,123		12,738								
福島拠点	118		332		735		1,019		1,317		129.30	
いわき				53		60		57		56		97.88
楢葉				156		354		392		345		87.81
三春				123		321		426		427		100.08
富岡								96		96		100.64
大熊								47		394		837.03
本部	418		589		473		557		521		93.48	
原科研(J-PARCを含む)	162,004		161,623		155,926		157,233		156,212		99.35	
原科研		63,082		61,585		57,153		54,779		57,877		105.65
J-PARC		98,921		100,038		98,774		102,453		98,335		95.98
サイクル研	84,325		79,353		80,294		76,775		80,440		104.77	
大洗	37,637		33,197		34,723		32,523		33,979		104.48	
那珂	16,903		20,567									
NEAT	376		373		401		379		369		97.23	
NEAT茨城		244		245		279		256		267		104.33
NEAT福井		132		128		122		123		102		82.47
高崎	15,198		8,310									
東京地区	213		187		160		129		140		109.19	
東京		133		114		103		74		81		109.62
柏		80		73		57		54		59		108.60
東濃	774		717		673		707		754		106.62	
敦賀	456		431		377		461		412		89.34	
もんじゅ	53,256		54,350		50,487		52,329		43,444		83.02	
ふげん	16,419		16,276		14,651		15,265		13,923		91.21	
敦総研(白木地区：旧も運研)	870		929		975		1,176		635		54.03	
関西研	4,574		4,407		124		160		133		83.09	
関西木津		3,759		3,655								
関西播磨		814		752		124		160		133		83.09
人形	11,009		11,505		10,690		9,265		9,429		101.77	
合計（t-CO_2）	418,122		407,320		352,163		353,851		343,082		96.96	

*2015年度より、フロン排出抑制法に基づき算出したフロン漏えいによる温室効果ガス排出量を含む。

表2-2-5 電気使用に伴うCO_2排出量拠点別推移（2018年度）

拠点名	2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		対前年度比(%) 2018/2017	
幌延	313		351		340		330		329		99.53	
青森	12,810		13,183		800		773		734		95.03	
むつ		843		799		800		773		734		95.03
六ヶ所		11,968		12,384								
福島拠点	106		315		721		899		1,317		146.44	
いわき				52		59		57		55		98.04
楢葉				153		348		291		349		119.86
三春				109		313		410		413		100.76
富岡								95		98		103.14
大熊								47		402		858.37
本部	425		470		572		466		517		111.12	
原科研(J-PARCを含む)	135,027		134,487		134,137		137,270		129,496		94.34	
原科研		34,461		33,105		33,891		32,534		31,377		96.44
J-PARC		100,567		101,382		100,246		104,736		98,119		93.68
サイクル研	65,615		61,196		61,023		58,408		60,881		104.23	
大洗	34,544		31,224		31,623		29,965		30,469		101.68	
那珂	15,223		18,874									
NEAT	378		377		405		315		351		111.25	
NEAT茨城		246		247		281		189		264		139.67
NEAT福井		132		129		124		126		87		68.63
高崎	5,804		6,582									
東京地区	217		190		163		132		139		105.66	
東京		135		116		105		76		82		107.14
柏		82		75		58		56		58		103.65
東濃	737		685		674		515		539		104.59	
敦賀	456		421		385		398		293		73.72	
もんじゅ	48,257		48,724		46,703		48,098		39,630		82.39	
ふげん	15,938		15,781		14,602		15,205		13,958		91.80	
敦総研(白木地区：旧も運研)	867		921		913		1,206		545		45.15	
関西研	4,608		4,400		127		165		138		83.75	
関西木津		3,784		3,637								
関西播磨		824		763		127		165		138		83.75
人形	8,733		8,725		8,388		7,985		7,728		96.79	
合計($t-CO_2$)	350,058		346,907		301,577		302,129		287,063		95.01	

表2-2-6 電気使用に伴う調整後CO_2排出量拠点別推移(2018年度)

拠点名	2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		対前年度比(%) 2018/2017	
幌延	314		354		344		335		335		100.06	
青森	12,789		13,236		825		811		753		92.78	
むつ		862		809		825		811		753		92.78
六ヶ所		11,927		12,427								
福島拠点	105		316		725		1,000		1,301		130.03	
いわき				53		60		57		56		97.88
楢葉				154		350		390		342		87.77
三春				110		315		412		414		100.60
富岡								96		96		100.64
大熊								46		392		858.37
本部	418		589		473		556		520		93.48	
原科研(J-PARCを含む)	132,739		132,090		131,722		133,899		129,239		96.52	
原科研		33,880		32,515		33,281		31,749		31,327		98.67
J-PARC		98,859		99,575		98,442		102,150		97,912		95.85
サイクル研	64,509		60,105		59,925		56,966		62,231		109.24	
大洗	33,972		29,445		31,062		29,235		30,437		104.11	
那珂	14,965		18,537									
NEAT	373		371		398		376		364		96.87	
NEAT茨城		241		243		276		253		264		104.03
NEAT福井		132		128		122		123		101		82.12
高崎	6,078		5,771									
東京地区	213		187		160		129		140		109.19	
東京		133		114		103		74		81		109.62
柏		80		73		57		54		59		108.60
東濃	731		680		629		638		700		109.68	
敦賀	456		418		377		388		342		88.21	
もんじゅ	48,103		48,196		45,810		46,895		38,360		81.80	
ふげん	15,888		15,611		14,322		14,824		13,510		91.14	
敦総研(白木地区)	870		915		896		1,176		635		54.03	
関西研	4,555		4,334		124		160		133		83.09	
関西木津		3,741		3,582								
関西播磨		814		752		124		160		133		83.09
人形	8,709		8,762		8,424		8,019		7,820		97.52	
合計($t-CO_2$)	345,788		339,917		296,216		295,408		286,821		97.09	

表2-2-7 エネルギー起源CO_2排出量種類別推移（2018年度）

種類		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	対前年度比(%) 2018/2017
電気		350,058	346,907	301,577	302,129	287,063	95.01
化石燃料	ガソリン	32	31	29	27	23	86.72
	灯油	1,042	938	641	635	638	100.42
	軽油	5,092	5,735	4,481	5,197	5,184	99.75
	A重油	27,384	26,972	25,215	23,781	22,447	94.39
	LPG	478	471	435	420	393	93.60
	LNG	6,153	5,621	5,903	6,003	5,336	88.88
	天然ガス	0	0	0	0	0	0.00
	都市ガス	25	27	2	1	1	100.00
	その他	0	0	0	0	0	0.00
	小計	40,205	39,795	36,706	36,065	34,023	94.34
合計（t-CO_2）		390,263	386,702	338,283	338,193	321,086	94.94

表2-2-8 調整後エネルギー起源CO_2排出量種類別推移(2018年度)

種類		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	対前年度比(%) 2018/2017
電気(調整後排出量)		345,788	339,917	296,216	295,408	286,821	97.09
化石燃料	ガソリン	32	31	29	27	23	86.72
	灯油	1,042	938	641	635	638	100.42
	軽油	5,092	5,735	4,481	5,197	5,184	99.75
	A重油	27,384	26,972	25,215	23,781	22,447	94.39
	LPG	478	471	435	420	393	93.60
	LNG	6,153	5,621	5,903	6,003	5,336	88.88
	天然ガス	0	0	0	0	0	0.00
	都市ガス	25	27	2	1	1	100.00
	その他	0	0	0	0	0	0.00
	小計	40,205	39,795	36,706	36,065	34,023	94.34
合計($t-CO_2$)		385,993	379,712	332,922	331,472	320,844	96.79

表2-2-9 一般・産業廃棄物の焼却に伴う温室効果ガス排出量（2018年度）

拠点名	設備名等	①施設の種類	②主な焼却物	焼却量（t）	CO_2		CH_4			N_2O			総CO_2排出量（t）
					③排出係数 tCO_2/t	CO_2排出量（t）	④排出係数 tCH_4/t	CH_4排出量（t）	CO_2換算値 ×25	⑤排出係数 tN_2O/t	N_2O排出量	CO_2換算値 ×298	
サイクル研	産業廃棄物処理施設（焼却炉）	—	焼却物が紙くずの場合	0.960	—	—	—	—	—	0.00001	0.000	0.003	0.003
大洗	一般廃棄物処理施設（焼却炉）	バッチ燃焼式	主な焼却物が紙くずの場合	0.000	—	0.000	0.000076	—	0.000	0.0000724	—	0.000	0.000
もんじゅ	一般廃棄物処理施設（焼却炉）	バッチ燃焼式	主な焼却物が紙くずの場合	45.940	—	0.000	0.000076	0.003	0.087	0.0000724	0.003	0.991	1.078
合　計				46.900		0.000		0.003	0.087		0.003	0.994	1.081

表2-2-10 代替フロン等4ガス集計表（2018年）(1/8)

代替フロン等4ガス			CO_2係数	むつ						福島拠点					
				使用場所	使用目的	(1)保管量（kg）	(2)自然漏洩量（kg）	(3)実測放出量（kg）	CO_2量（kg）	使用場所	使用目的	(1)保管量（kg）	(2)自然漏洩量（kg）	(3)実測放出量（kg）	CO_2量（kg）
ハイドロフルオロカーボン	トリフルオロメタン	HFC-23	14,800						0.000	環境創造センター　研究棟	凍結乾燥、試料保存	0.000		0.000	0.000
	ジフルオロメタン	HFC-32	675						0.000	環境創造センター　研究棟	空調	0.000		0.000	0.000
	フルオロメタン	HFC-41	92						0.000			0.000		0.000	0.000
	1・1・1・2・2-ペンタフルオロエタン	HFC-125	3,500						0.000			0.000		0.000	0.000
	1・1・2・2-テトラフルオロエタン	HFC-134	1,100						0.000			0.000		0.000	0.000
	1・1・1・2-テトラフルオロエタン	HFC-134a	1,430	研究棟プール室、研究棟プール室、研究棟クレーン室、研究棟クレーン室	超低温フリーザー、バイオメディカルフリーザー、冷却水循環装置、空気圧縮機エアードライヤー	4.225	0.072		102.710	環境創造センター　研究棟、大熊公民館	装置冷却、試料保存、薬品保存	0.000		0.000	0.000
	1・1・2-トリフルオロエタン	HFC-143	353	化学実験室3	バイオメディカルフリーザー	0.400	0.007		2.400			0.000		0.000	0.000
	1・1・1-トリフルオロエタン	HFC-143a	4,470						0.000			0.000		0.000	0.000
	1・2-ジフルオロエタン	HFC-152	53						0.000			0.000		0.000	0.000
	1・1-ジフルオロエタン	HFC-152a	124						0.000			0.000		0.000	0.000
	フルオロエタン	HFC-161	12						0.000			0.000		0.000	0.000
	1・1・1・2・3・3・3-ヘプタフルオロプロパン	HFC-227ea	3,220						0.000			0.000		0.000	0.000
	1・1・1・2・2・3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-236cb	1,340						0.000			0.000		0.000	0.000
	1・1・1・2・3・3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-236ea	1,370						0.000			0.000		0.000	0.000
	1・1・1・3・3・3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-236fa	9,810						0.000			0.000		0.000	0.000
	1・1・2・2・3-ペンタフルオロプロパン	HFC-245ca	693						0.000			0.000		0.000	0.000
	1・1・1・3・3-ペンタフルオロプロパン	HFC-245fa	1,030						0.000	環境創造センター　研究棟	試料保存	0.000		0.000	0.000
	1・1・1・3・3-ペンタフルオロブタン	HFC-365mfc	794						0.000			0.000		0.000	0.000
	1・1・1・2・3・4・4・5・5・5-デカフルオロペンタン	HFC-43-10mee	1,640						0.000			0.000		0.000	0.000
パーフルオロカーボン	パーフルオロメタン	PFC-14	7,390						0.000			0.000		0.000	0.000
	パーフルオロエタン	PFC-116	12,200						0.000			0.000		0.000	0.000
	パーフルオロプロパン	PFC-218	8,830						0.000			0.000		0.000	0.000
	パーフルオロブタン	PFC-31-10	8,860						0.000			0.000		0.000	0.000
	パーフルオロシクロブタン	PFC-c318	10,300						0.000			0.000		0.000	0.000
	パーフルオロペンタン	PFC-41-12	9,160						0.000			0.000		0.000	0.000
	パーフルオロヘキサン	PFC-51-14	9,300						0.000			0.000		0.000	0.000
	パーフルオロデカリン	PFC-91-18	7,500						0.000			0.000		0.000	0.000
	パーフルオロシクロプロパン		17,340						0.000			0.000		0.000	0.000
六フッ化硫黄		SF_6	22,800	研究棟クレーン室、研究棟クレーン室、加速器質量分析装置室	SF6回収タンク（10リューベ）、SF6貯蔵タンク（5リューベ）、加速タンク	519.850	0.000		0.000			0.000		0.000	0.000
三フッ化窒素		NF_3	17,200						0.000			0.000		0.000	0.000
合計									105.110						0.000

(1) 保管量＝ボンベ、機器等に封入(貯蔵)されている量。

(2)漏洩量（自然漏洩量の計算値又は実測値）
①（計算値）＝ボンベ、機器等に取り付けられているメーター等が無く、実測により漏洩量が把握できない場合、保管量をもとに計算により算出した値を記載したか。（計算値＝初期充填量×排出係数）
②（実測値）＝ボンベ、機器等に取り付けられているメーター等の読取値、実測により算出した量。

(3)放出量＝充填作業時等の排出など明らかに漏洩した量が把握できる場合。

表2-2-10 代替フロン等4ガス集計表（2018年）(2/8)

代替フロン等4ガス			CO_2係数	楢葉						三春					
				使用場所	使用目的	(1)保管量（kg）	(2)自然漏洩量（kg）	(3)実測放出量（kg）	CO_2量（kg）	使用場所	使用目的	(1)保管量（kg）	(2)自然漏洩量（kg）	(3)実測放出量（kg）	CO_2量（kg）
ハイドロフルオロカーボン	トリフルオロメタン	HFC-23	14,800			0.000		0.000	0.000	環境創造センター　研究棟	凍結乾燥、試料保存	0.000		0.000	0.000
	ジフルオロメタン	HFC-32	675			0.000		0.000	0.000	環境創造センター　研究棟	空調	0.000		0.000	0.000
	フルオロメタン	HFC-41	92			0.000		0.000	0.000						0.000
	1・1・1・2・2-ペンタフルオロエタン	HFC-125	3,500			0.000		0.000	0.000						0.000
	1・1・2・2-テトラフルオロエタン	HFC-134	1,100			0.000		0.000	0.000						0.000
	1・1・1・2-テトラフルオロエタン	HFC-134a	1,430			0.000		0.000	0.000	環境創造センター　研究棟、大熊公民館	装置冷却、試料保存、薬品保存	0.000		0.000	0.000
	1・1・2-トリフルオロエタン	HFC-143	353			0.000		0.000	0.000						0.000
	1・1・1-トリフルオロエタン	HFC-143a	4,470			0.000		0.000	0.000						0.000
	1・2-ジフルオロエタン	HFC-152	53			0.000		0.000	0.000						0.000
	1・1-ジフルオロエタン	HFC-152a	124			0.000		0.000	0.000						0.000
	フルオロエタン	HFC-161	12			0.000		0.000	0.000						0.000
	1・1・1・2・3・3・3-ヘプタフルオロプロパン	HFC-227ea	3,220			0.000		0.000	0.000						0.000
	1・1・1・2・2・3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-236cb	1,340			0.000		0.000	0.000						0.000
	1・1・1・2・3・3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-236ea	1,370			0.000		0.000	0.000						0.000
	1・1・1・3・3・3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-236fa	9,810			0.000		0.000	0.000						0.000
	1・1・2・2・3-ペンタフルオロプロパン	HFC-245ca	693			0.000		0.000	0.000						0.000
	1・1・1・3・3-ペンタフルオロプロパン	HFC-245fa	1,030			0.000		0.000	0.000	環境創造センター　研究棟	試料保存	0.000		0.000	0.000
	1・1・1・3・3-ペンタフルオロブタン	HFC-365mfc	794			0.000		0.000	0.000						0.000
	1・1・1・2・3・4・4・5・5・5-デカフルオロペンタン	HFC-43-10mee	1,640			0.000		0.000	0.000						0.000
パーフルオロカーボン	パーフルオロメタン	PFC-14	7,390			0.000		0.000	0.000						0.000
	パーフルオロエタン	PFC-116	12,200			0.000		0.000	0.000						0.000
	パーフルオロプロパン	PFC-218	8,830			0.000		0.000	0.000						0.000
	パーフルオロブタン	PFC-31-10	8,860			0.000		0.000	0.000						0.000
	パーフルオロシクロブタン	PFC-c318	10,300			0.000		0.000	0.000						0.000
	パーフルオロペンタン	PFC-41-12	9,160			0.000		0.000	0.000						0.000
	パーフルオロヘキサン	PFC-51-14	9,300			0.000		0.000	0.000						0.000
	パーフルオロデカリン	PFC-91-18	7,500			0.000		0.000	0.000						0.000
	パーフルオロシクロプロパン		17,340			0.000		0.000	0.000						0.000
六フッ化硫黄		SF_6	22,800			0.000		0.000	0.000						0.000
三フッ化窒素		NF_3	17,200			0.000		0.000	0.000						0.000
合計									0.000						0.000

(1) 保管量＝ボンベ、機器等に封入(貯蔵)されている量。

(2)漏洩量（自然漏洩量の計算値又は実測値）
①（計算値）＝ボンベ、機器等に取り付けられているメーター等が無く、実測により漏洩量が把握できない場合、保管量をもとに計算により算出した値を記載したか。（計算値＝初期充填量×排出係数）
②（実測値）＝ボンベ、機器等に取り付けられているメーター等の読取値、実測により算出した量。

(3)放出量＝充填作業時等の排出など明らかに漏洩した量が把握できる場合。

表2-2-10 代替フロン等4ガス集計表（2018年）(3/8)

代替フロン等4ガス			CO_2係数	富岡						大熊					
				使用場所	使用目的	(1)保管量（kg）	(2)自然漏洩量（kg）	(3)実測放出量（kg）	CO_2量（kg）	使用場所	使用目的	(1)保管量（kg）	(2)自然漏洩量（kg）	(3)実測放出量（kg）	CO_2量（kg）
ハイドロフルオロカーボン	トリフルオロメタン	HFC-23	14,800						0.000						0.000
	ジフルオロメタン	HFC-32	675						0.000						0.000
	フルオロメタン	HFC-41	92						0.000						0.000
	1・1・1・2・2-ペンタフルオロエタン	HFC-125	3,500						0.000						0.000
	1・1・2・2-テトラフルオロエタン	HFC-134	1,100						0.000						0.000
	1・1・1・2-テトラフルオロエタン	HFC-134a	1,430						0.000						0.000
	1・1・2-トリフルオロエタン	HFC-143	353						0.000						0.000
	1・1・1-トリフルオロエタン	HFC-143a	4,470						0.000						0.000
	1・2-ジフルオロエタン	HFC-152	53						0.000						0.000
	1・1-ジフルオロエタン	HFC-152a	124						0.000						0.000
	フルオロエタン	HFC-161	12						0.000						0.000
	1・1・1・2・3・3・3-ヘプタフルオロプロパン	HFC-227ea	3,220						0.000						0.000
	1・1・1・2・2・3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-236cb	1,340						0.000						0.000
	1・1・1・2・3・3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-236ea	1,370						0.000						0.000
	1・1・1・3・3・3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-236fa	9,810						0.000						0.000
	1・1・2・2・3-ペンタフルオロプロパン	HFC-245ca	693						0.000						0.000
	1・1・1・3・3-ペンタフルオロプロパン	HFC-245fa	1,030						0.000						0.000
	1・1・1・3・3-ペンタフルオロブタン	HFC-365mfc	794						0.000						0.000
	1・1・1・2・3・4・4・5・5・5-デカフルオロペンタン	HFC-43-10mee	1,640						0.000						0.000
パーフルオロカーボン	パーフルオロメタン	PFC-14	7,390						0.000						0.000
	パーフルオロエタン	PFC-116	12,200						0.000						0.000
	パーフルオロプロパン	PFC-218	8,830						0.000						0.000
	パーフルオロブタン	PFC-31-10	8,860						0.000						0.000
	パーフルオロシクロブタン	PFC-c318	10,300						0.000						0.000
	パーフルオロペンタン	PFC-41-12	9,160						0.000						0.000
	パーフルオロヘキサン	PFC-51-14	9,300						0.000						0.000
	パーフルオロデカリン	PFC-91-18	7,500						0.000						0.000
	パーフルオロシクロプロパン		17,340						0.000						0.000
六フッ化硫黄		SF_6	22,800						0.000						0.000
三フッ化窒素		NF_3	17,200						0.000						0.000
合計									0.000						0.000

(1) 保管量＝ボンベ、機器等に封入(貯蔵)されている量。

(2)漏洩量（自然漏洩量の計算値又は実測値）
①（計算値）＝ボンベ、機器等に取り付けられているメーター等が無く、実測により漏洩量が把握できない場合、保管量をもとに計算により算出した値を記載したか。（計算値＝初期充填量×排出係数）
②（実測値）＝ボンベ、機器等に取り付けられているメーター等の読取値、実測により算出した量。

(3)放出量＝充填作業時等の排出など明らかに漏洩した量が把握できる場合。

表2-2-10 代替フロン等4ガス集計表（2018年）（4/8）

代替フロン等4ガス			CO_2係数	原科研(J-PARCを含む)						原科研					
				使用場所	使用目的	(1)保管量（kg）	(2)自然漏洩量（kg）	(3)実測放出量（kg）	CO_2量（kg）	使用場所	使用目的	(1)保管量（kg）	(2)自然漏洩量（kg）	(3)実測放出量（kg）	CO_2量（kg）
ハイドロフルオロカーボン	トリフルオロメタン	HFC-23	14,800						0.000						0.000
	ジフルオロメタン	HFC-32	675	J-PARCリニアック棟	空調機用冷媒	105.700	1.057	21.330	15,111.225						0.000
	フルオロメタン	HFC-41	92						0.000						0.000
	1・1・1・2・2-ペンタフルオロエタン	HFC-125	3,500	J-PARCリニアック棟	空調機用冷媒	105.700	1.057	21.330	78,354.500						0.000
	1・1・2・2-テトラフルオロエタン	HFC-134	1,100						0.000						0.000
	1・1・1・2-テトラフルオロエタン	HFC-134a	1,430	リニアック棟、3GeVシンクロトロン棟、3NBT棟、物質・生命科学実験施設	ターボ冷凍機、ターボ冷凍機、ターボ冷凍機、ヒートポンプチラー	2,580.000	25.800	48.000	105,534.000						0.000
	1・1・2-トリフルオロエタン	HFC-143	353						0.000						0.000
	1・1・1-トリフルオロエタン	HFC-143a	4,470						0.000						0.000
	1・2-ジフルオロエタン	HFC-152	53						0.000						0.000
	1・1-ジフルオロエタン	HFC-152a	124						0.000						0.000
	フルオロエタン	HFC-161	12						0.000						0.000
	1・1・1・2・3・3・3-ヘプタフルオロプロパン	HFC-227ea	3,220						0.000						0.000
	1・1・1・2・2・3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-236cb	1,340						0.000						0.000
	1・1・1・2・3・3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-236ea	1,370						0.000						0.000
	1・1・1・3・3・3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-236fa	9,810						0.000						0.000
	1・1・2・2・3-ペンタフルオロプロパン	HFC-245ca	693						0.000						0.000
	1・1・1・3・3-ペンタフルオロプロパン	HFC-245fa	1,030						0.000						0.000
	1・1・1・3・3-ペンタフルオロブタン	HFC-365mfc	794						0.000						0.000
	1・1・1・2・3・4・4・5・5・5-デカフルオロペンタン	HFC-43-10mee	1,640						0.000						0.000
パーフルオロカーボン	パーフルオロメタン	PFC-14	7,390						0.000						0.000
	パーフルオロエタン	PFC-116	12,200						0.000						0.000
	パーフルオロプロパン	PFC-218	8,830						0.000						0.000
	パーフルオロブタン	PFC-31-10	8,860						0.000						0.000
	パーフルオロシクロブタン	PFC-c318	10,300						0.000						0.000
	パーフルオロペンタン	PFC-41-12	9,160						0.000						0.000
	パーフルオロヘキサン	PFC-51-14	9,300						0.000						0.000
	パーフルオロデカリン	PFC-91-18	7,500						0.000						0.000
	パーフルオロシクロプロパン		17,340						0.000						0.000
六フッ化硫黄		SF_6	22,800	タンデム加速器棟、放射線標準施設棟	加速器の運転に使用、加速器の運転に使用	51,314.000	0.000	885.800	20,196,240.000	タンデム加速器棟、放射線標準施設棟	加速器の運転に使用、加速器の運転に使用	51,314.000	0.000	885.800	20,196,240.000
三フッ化窒素		NF_3	17,200						0.000						0.000
合計									20,395,239.725						20,196,240.000

(1) 保管量＝ボンベ、機器等に封入(貯蔵)されている量。

(2)漏洩量（自然漏洩量の計算値又は実測値）
①（計算値）＝ボンベ、機器等に取り付けられているメーター等が無く、実測により漏洩量が把握できない場合、保管量をもとに計算により算出した値を記載したか。（計算値＝初期充填量×排出係数）
②（実測値）＝ボンベ、機器等に取り付けられているメーター等の読取値、実測により算出した量。

(3)放出量＝充填作業時等の排出など明らかに漏洩した量が把握できる場合。

表2-2-10 代替フロン等4ガス集計表（2018年）(5/8)

代替フロン等4ガス			CO_2係数	J-PARC						サイクル研					
				使用場所	使用目的	(1)保管量（kg）	(2)自然漏洩量（kg）	(3)実測放出量（kg）	CO_2量（kg）	使用場所	使用目的	(1)保管量（kg）	(2)自然漏洩量（kg）	(3)実測放出量（kg）	CO_2量（kg）
ハイドロフルオロカーボン	トリフルオロメタン	HFC-23	14,800						0.000						0.000
	ジフルオロメタン	HFC-32	675	J-PARCリニアック棟	空調機用冷媒	105.700	1.057	21.330	15,111.225						0.000
	フルオロメタン	HFC-41	92						0.000						0.000
	1・1・1・2・2-ペンタフルオロエタン	HFC-125	3,500	J-PARCリニアック棟	空調機用冷媒	105.700	1.057	21.330	78,354.500						0.000
	1・1・2・2-テトラフルオロエタン	HFC-134	1,100						0.000						0.000
	1・1・1・2-テトラフルオロエタン	HFC-134a	1,430	リニアック棟、3GeVシンクロトロン棟、3NBT棟、物質・生命科学実験施設	ターボ冷凍機、ターボ冷凍機、ターボ冷凍機、ヒートポンプチラー	2,580.000	25.800	48.000	105,534.000	ブルトニウム転換技術開発施設、ST施設屋上、LWTF G220、AS－1施設屋上、地層処分放射化学研究施設、CPF、応用試験棟、ユーティリティ棟、プル燃付属機械室	冷凍高圧ガス製造施設の冷媒、冷暖房用に使用、プロセス冷凍機の冷媒として使用、冷暖房用に使用、建屋内の空調、業務用冷凍空気調和機、ターボ冷凍機、ターボ冷凍機	3,381.000	33.810		48,348.300
	1・1・2-トリフルオロエタン	HFC-143	353						0.000						0.000
	1・1・1-トリフルオロエタン	HFC-143a	4,470						0.000						0.000
	1・2-ジフルオロエタン	HFC-152	53						0.000						0.000
	1・1-ジフルオロエタン	HFC-152a	124						0.000						0.000
	フルオロエタン	HFC-161	12						0.000						0.000
	1・1・1・2・3・3・3-ヘプタフルオロプロパン	HFC-227ea	3,220						0.000						0.000
	1・1・1・2・2・3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-236cb	1,340						0.000						0.000
	1・1・1・2・3・3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-236ea	1,370						0.000						0.000
	1・1・1・3・3・3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-236fa	9,810						0.000						0.000
	1・1・2・2・3-ペンタフルオロプロパン	HFC-245ca	693						0.000						0.000
	1・1・1・3・3-ペンタフルオロプロパン	HFC-245fa	1,030						0.000						0.000
	1・1・1・3・3-ペンタフルオロブタン	HFC-365mfc	794						0.000						0.000
	1・1・1・2・3・4・4・5・5・5-デカフルオロペンタン	HFC-43-10mee	1,640						0.000						0.000
パーフルオロカーボン	パーフルオロメタン	PFC-14	7,390						0.000						0.000
	パーフルオロエタン	PFC-116	12,200						0.000						0.000
	パーフルオロプロパン	PFC-218	8,830						0.000						0.000
	パーフルオロブタン	PFC-31-10	8,860						0.000						0.000
	パーフルオロシクロブタン	PFC-c318	10,300						0.000						0.000
	パーフルオロペンタン	PFC-41-12	9,160						0.000						0.000
	パーフルオロヘキサン	PFC-51-14	9,300						0.000						0.000
	パーフルオロデカリン	PFC-91-18	7,500						0.000						0.000
	パーフルオロシクロプロパン		17,340						0.000						0.000
六フッ化硫黄		SF_6	22,800						0.000						0.000
三フッ化窒素		NF_3	17,200						0.000						0.000
合計									198,999.725						48,348.300

(1) 保管量＝ボンベ、機器等に封入(貯蔵)されている量。

(2)漏洩量（自然漏洩量の計算値又は実測値）
①（計算値）＝ボンベ、機器等に取り付けられているメーター等が無く、実測により漏洩量が把握できない場合、保管量をもとに計算により算出した値を記載したか。（計算値＝初期充填量×排出係数）
②（実測値）＝ボンベ、機器等に取り付けられているメーター等の読取値、実測により算出した量。

(3)放出量＝充填作業時等の排出など明らかに漏洩した量が把握できる場合。

表2-2-10 代替フロン等4ガス集計表（2018年）(6/8)

代替フロン等4ガス			CO_2係数	大洗						東濃					
				使用場所	使用目的	(1)保管量（kg）	(2)自然漏洩量（kg）	(3)実測放出量（kg）	CO_2量（kg）	使用場所	使用目的	(1)保管量（kg）	(2)自然漏洩量（kg）	(3)実測放出量（kg）	CO_2量（kg）
ハイドロフルオロカーボン	トリフルオロメタン	HFC-23	14,800						0.000						0.000
	ジフルオロメタン	HFC-32	675	ナトリウム分析棟、常陽　端末室、常陽　1階渡り廊下 居室用エアコン、居室用エアコン、居室用エアコン、居室用エアコン	エアコン、除湿乾燥機 居室用エアコンの冷媒として、居室用エアコンの冷媒として、居室用エアコンの冷媒として、居室用エアコンの冷媒として	25.110	0.096		64.564						0.000
	フルオロメタン	HFC-41	92	ナトリウム分析棟	エアコン	3.150			0.000						0.000
	1・1・1・2・2- ペンタフルオロエタン	HFC-125	3,500	ナトリウム分析棟、常陽　端末室、常陽　1階渡り廊下 居室用エアコン、居室用エアコン、居室用エアコン、居室用エアコン	エアコン、除湿乾燥機、冷却循環装置 居室用エアコンの冷媒として、居室用エアコンの冷媒として、居室用エアコンの冷媒として、居室用エアコンの冷媒として	19.640	0.096		334.775						0.000
	1・1・2・2- テトラフルオロエタン	HFC-134	1,100						0.000						0.000
	1・1・1・2- テトラフルオロエタン	HFC-134a	1,430	ナトリウム分析棟	除湿乾燥機、製氷機、冷却循環装置	2.180			0.000						0.000
	1・1・2-トリフルオロエタン	HFC-143	353						0.000						0.000
	1・1・1-トリフルオロエタン	HFC-143a	4,470	ナトリウム分析棟	冷却循環装置	0.930			0.000						0.000
	1・2-ジフルオロエタン	HFC-152	53						0.000						0.000
	1・1-ジフルオロエタン	HFC-152a	124						0.000						0.000
	フルオロエタン	HFC-161	12						0.000						0.000
	1・1・1・2・3・3・3- ヘプタフルオロプロパン	HFC-227ea	3,220						0.000						0.000
	1・1・1・2・2・3- ヘキサフルオロプロパン	HFC-236cb	1,340						0.000						0.000
	1・1・1・2・3・3- ヘキサフルオロプロパン	HFC-236ea	1,370						0.000						0.000
	1・1・1・3・3・3- ヘキサフルオロプロパン	HFC-236fa	9,810						0.000						0.000
	1・1・2・2・3- ペンタフルオロプロパン	HFC-245ca	693						0.000						0.000
	1・1・1・3・3- ペンタフルオロプロパン	HFC-245fa	1,030						0.000						0.000
	1・1・1・3・3- ペンタフルオロブタン	HFC-365mfc	794						0.000						0.000
	1・1・1・2・3・4・4・5・5・5- デカフルオロペンタン	HFC-43-10mee	1,640						0.000						0.000
パーフルオロカーボン	パーフルオロメタン	PFC-14	7,390						0.000						0.000
	パーフルオロエタン	PFC-116	12,200						0.000						0.000
	パーフルオロプロパン	PFC-218	8,830						0.000						0.000
	パーフルオロブタン	PFC-31-10	8,860						0.000						0.000
	パーフルオロシクロブタン	PFC-c318	10,300						0.000						0.000
	パーフルオロペンタン	PFC-41-12	9,160						0.000						0.000
	パーフルオロヘキサン	PFC-51-14	9,300						0.000						0.000
	パーフルオロデカリン	PFC-91-18	7,500						0.000						0.000
	パーフルオロシクロプロパン		17,340						0.000						0.000
六フッ化硫黄		SF_6	22,800						0.000	ペレトロン年代測定棟	加速器電気絶縁	20.000	0.020	0.200	5,016.000
三フッ化窒素		NF_3	17,200						0.000						0.000
合計									399.339						5,016.000

(1)保管量＝ボンベ、機器等に封入(貯蔵)されている量。

(2)漏洩量（自然漏洩量の計算値又は実測値）
①（計算値）＝ボンベ、機器等に取り付けられているメーター等が無く、実測により漏洩量が把握できない場合、保管量をもとに計算により算出した値を記載したか。（計算値＝初期充填量×排出係数）
②（実測値）＝ボンベ、機器等に取り付けられているメーター等の読取値、実測により算出した量。

(3)放出量＝充填作業時等の排出など明らかに漏洩した量が把握できる場合。

表2-2-10 代替フロン等4ガス集計表（2018年）（7/8）

代替フロン等4ガス			CO_2係数	もんじゅ						ふげん					
				使用場所	使用目的	(1)保管量（kg）	(2)自然漏洩量（kg）	(3)実測放出量（kg）	CO_2量（kg）	使用場所	使用目的	(1)保管量（kg）	(2)自然漏洩量（kg）	(3)実測放出量（kg）	CO_2量（kg）
ハイドロフルオロカーボン	トリフルオロメタン	HFC-23	14,800						0.000						0.000
	ジフルオロメタン	HFC-32	675						0.000						0.000
	フルオロメタン	HFC-41	92						0.000						0.000
	1・1・1・2・2-ペンタフルオロエタン	HFC-125	3,500						0.000						0.000
	1・1・2・2-テトラフルオロエタン	HFC-134	1,100						0.000						0.000
	1・1・1・2-テトラフルオロエタン	HFC-134a	1,430						0.000	空再系ターボ冷凍機（廃止済）	同冷凍機用冷媒	3,000.000	0.000	0.000	0.000
	1・1・2-トリフルオロエタン	HFC-143	353						0.000						0.000
	1・1・1-トリフルオロエタン	HFC-143a	4,470						0.000						0.000
	1・2-ジフルオロエタン	HFC-152	53						0.000						0.000
	1・1-ジフルオロエタン	HFC-152a	124						0.000						0.000
	フルオロエタン	HFC-161	12						0.000						0.000
	1・1・1・2・3・3・3-ヘプタフルオロプロパン	HFC-227ea	3,220						0.000						0.000
	1・1・1・2・2・3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-236cb	1,340						0.000						0.000
	1・1・1・2・3・3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-236ea	1,370						0.000						0.000
	1・1・1・3・3・3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-236fa	9,810						0.000						0.000
	1・1・2・2・3-ペンタフルオロプロパン	HFC-245ca	693						0.000						0.000
	1・1・1・3・3-ペンタフルオロプロパン	HFC-245fa	1,030						0.000						0.000
	1・1・1・3・3-ペンタフルオロブタン	HFC-365mfc	794						0.000						0.000
	1・1・1・2・3・4・4・5・5・5-デカフルオロペンタン	HFC-43-10mee	1,640						0.000						0.000
パーフルオロカーボン	パーフルオロメタン	PFC-14	7,390						0.000						0.000
	パーフルオロエタン	PFC-116	12,200						0.000						0.000
	パーフルオロプロパン	PFC-218	8,830						0.000						0.000
	パーフルオロブタン	PFC-31-10	8,860						0.000						0.000
	パーフルオロシクロブタン	PFC-c318	10,300						0.000						0.000
	パーフルオロペンタン	PFC-41-12	9,160						0.000						0.000
	パーフルオロヘキサン	PFC-51-14	9,300						0.000						0.000
	パーフルオロデカリン	PFC-91-18	7,500						0.000						0.000
	パーフルオロシクロプロパン		17,340						0.000						0.000
六フッ化硫黄		SF_6	22,800						0.000	屋外開閉所	ガス遮断器絶縁媒体	702.000	0.702	0.000	16,005.600
三フッ化窒素		NF_3	17,200						0.000						0.000
合計									0.000						16,005.600

(1) 保管量＝ボンベ、機器等に封入(貯蔵)されている量。

(2)漏洩量（自然漏洩量の計算値又は実測値）
①（計算値）＝ボンベ、機器等に取り付けられているメーター等が無く、実測により漏洩量が把握できない場合、保管量をもとに計算により算出した値を記載したか。（計算値＝初期充填量×排出係数）
②（実測値）＝ボンベ、機器等に取り付けられているメーター等の読取値、実測により算出した量。

(3)放出量＝充填作業時等の排出など明らかに漏洩した量が把握できる場合。

表2-2-10 代替フロン等4ガス集計表（2018年）(8/8)

代替フロン等4ガス			CO_2係数	人形					
				使用場所	使用目的	(1)保管量（kg）	(2)自然漏洩量（kg）	(3)実測放出量（kg）	CO_2量（kg）
ハイドロフルオロカーボン	トリフルオロメタン	HFC-23	14,800						0.000
	ジフルオロメタン	HFC-32	675						0.000
	フルオロメタン	HFC-41	92						0.000
	1・1・1・2・2-ペンタフルオロエタン	HFC-125	3,500						0.000
	1・1・2・2-テトラフルオロエタン	HFC-134	1,100						0.000
	1・1・1・2-テトラフルオロエタン	HFC-134a	1,430						0.000
	1・1・2-トリフルオロエタン	HFC-143	353						0.000
	1・1・1-トリフルオロエタン	HFC-143a	4,470						0.000
	1・2-ジフルオロエタン	HFC-152	53						0.000
	1・1-ジフルオロエタン	HFC-152a	124						0.000
	フルオロエタン	HFC-161	12						0.000
	1・1・1・2・3・3・3-ヘプタフルオロプロパン	HFC-227ea	3,220						0.000
	1・1・1・2・2・3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-236cb	1,340						0.000
	1・1・1・2・3・3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-236ea	1,370						0.000
	1・1・1・3・3・3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-236fa	9,810						0.000
	1・1・2・2・3-ペンタフルオロプロパン	HFC-245ca	693						0.000
	1・1・1・3・3-ペンタフルオロプロパン	HFC-245fa	1,030						0.000
	1・1・1・3・3-ペンタフルオロブタン	HFC-365mfc	794						0.000
	1・1・1・2・3・4・4・5・5・5-デカフルオロペンタン	HFC-43-10mee	1,640						0.000
パーフルオロカーボン	パーフルオロメタン	PFC-14	7,390						0.000
	パーフルオロエタン	PFC-116	12,200						0.000
	パーフルオロプロパン	PFC-218	8,830						0.000
	パーフルオロブタン	PFC-31-10	8,860						0.000
	パーフルオロシクロブタン	PFC-c318	10,300						0.000
	パーフルオロペンタン	PFC-41-12	9,160						0.000
	パーフルオロヘキサン	PFC-51-14	9,300						0.000
	パーフルオロデカリン	PFC-91-18	7,500						0.000
	パーフルオロシクロプロパン		17,340						0.000
六フッ化硫黄		SF_6	22,800	ガス絶縁開閉器（構内線柱上）	絶縁ガスとして使用	0.645	0.001		14.706
三フッ化窒素		NF_3	17,200						0.000
合計									14.706

(1) 保管量＝ボンベ、機器等に封入(貯蔵)されている量。

(2)漏洩量（自然漏洩量の計算値又は実測値）
①（計算値）＝ボンベ、機器等に取り付けられているメーター等が無く、実測により漏洩量が把握できない場合、保管量をもとに計算により算出した値を記載したか。（計算値＝初期充填量×排出係数）
②（実測値）＝ボンベ、機器等に取り付けられているメーター等の読取値、実測により算出した量。

(3)放出量＝充填作業時等の排出など明らかに漏洩した量が把握できる場合。

表2-2-11　代替フロン等4ガスによる温室効果ガス排出量の種類別推移（2018年）

種類	排出量（t-CO_2）					対前年比（%） 2018/2017
	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	
HFC	245	446	636	630	248	39.31
PFC	0	0	0	0	0	0.00
SF_6	31,654	24,070	16,053	20,348	20,217	99.36
NF_3	0	0	0	0	0	0.00
合計（t-CO_2）	31,900	24,516	16,688	20,978	20,465	97.55

表2-2-12 代替フロン等4ガスによる温室効果ガス排出量の拠点別推移（2018年）

拠点名	排出量（t-CO_2）										対前年比（%） 2018/2017	
	2014年		2015年		2016年		2017年		2018年			
青森	0		3		12		4,418		0		0.00	
むつ		0		0		12		4,418		0		0.00
六ヶ所		0		3								
福島拠点			0		0		0		0		0.00	
楢葉				0		0		0		0		0.00
福島				0								
三春						0		0		0		0.00
富岡								0		0		0.00
大熊										0		0.00
原科研(J-PARCを含む)	22,899		22,026		16,474		16,347		20,395		124.77	
原科研		22,848		21,810		16,351		16,144		20,196		125.10
J-PARC		51		216		123		202		199		98.31
サイクル研	34		48		48		48		48		100.00	
大洗	16		0		6		1		0		32.42	
那珂	370		353									
高崎	8,387		1,878									
東濃	7		3		2		5		5		100.00	
もんじゅ	161		177		129		143		0		0.00	
ふげん	17		16		16		16		16		100.00	
関西研	8		11									
関西木津		8		11								
人形	0		0		0		0		0		100.00	
合計（t-CO_2）	31,900		24,516		16,688		20,978		20,465		97.55	

表2-2-13 拠点別フロン排出抑制法に基づくフロン漏えい量（2018年度）

フロン類の種類		R-11		R-22		R-32		R-134a		R-407C		R-410A		合計($t-CO_2$)
特定漏えい者全体		算定漏えい量($t-CO_2$)	実漏えい量(kg)	算定漏えい量($t-CO_2$)	実漏えい量(kg)	算定漏えい量($t-CO_2$)	実漏えい量(kg)	算定漏えい量($t-CO_2$)	実漏えい量(kg)	算定漏えい量($t-CO_2$)	実漏えい量(kg)	算定漏えい量($t-CO_2$)	実漏えい量(kg)	算定漏えい量($t-CO_2$)
合計		1037.400	218.400	200.711	110.890	1.890	2.800	68.640	48.000	141.742	80.080	95.847	45.860	1546.230
都道府県	拠点名	算定漏えい量($t-CO_2$)	実漏えい量(kg)	算定漏えい量($t-CO_2$)	実漏えい量(kg)	算定漏えい量($t-CO_2$)	実漏えい量(kg)	算定漏えい量($t-CO_2$)	実漏えい量(kg)	算定漏えい量($t-CO_2$)	実漏えい量(kg)	算定漏えい量($t-CO_2$)	実漏えい量(kg)	算定漏えい量($t-CO_2$)
北海道	幌延	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
青森県	むつ	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
福島県	いわき	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	楢葉	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	三春	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	富岡	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	大熊	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	合計	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
茨城県	原科研(J-PARCを含む)	562.400	118.400	33.485	18.500	0.000	0.000	68.640	48.000	141.742	80.080	89.159	42.660	895.426
	サイクル研	0.000	0.000	4.905	2.710	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	4.905
	大洗	475.000	100.000	90.826	50.180	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	565.826
	本部	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	NEAT茨城	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	合計	1037.400	218.400	129.216	71.390	0.000	0.000	68.640	48.000	141.742	80.080	89.159	42.660	1466.157
千葉県	柏	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
東京都	東京	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
岐阜県	東濃	0.000	0.000	1.810	1.000	1.890	2.800	0.000	0.000	0.000	0.000	6.688	3.200	10.388
福井県	敦賀	0.000	0.000	69.685	38.500	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	69.685
	もんじゅ	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	ふげん	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	敦総研（白木地区：旧も運研）	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	NEAT福井	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	合計	0.000	0.000	69.685	38.500	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	69.685
兵庫県	関西播磨	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
岡山県	人形	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

表2-2-14 フロン排出抑制法に基づくフロン漏えい量拠点別推移（2018年度）

都道府県名	拠点名	算定漏えい量（t-CO_2）								対前年度比（%） 2018/2017	
		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度			
北海道	幌延	0.000		0.000		0.000		0.000		0.00	
青森県	青森	75.240		0.000		0.000		0.000		0.00	
	むつ		0.000		0.000		0.000		0.000		0.00
	六ヶ所		75.240		0.000		0.000		0.000		0.00
福島県	福島拠点	0.000		0.000		0.000		0.000		0.00	
	いわき		0.000		0.000		0.000		0.000		0.00
	楢葉		0.000		0.000		0.000		0.000		0.00
	三春		0.000		0.000		0.000		0.000		0.00
	富岡		0.000		0.000		0.000		0.000		0.00
	大熊		0.000		0.000		0.000		0.000		0.00
茨城県	原科研(J-PARCを含む)	1,655.636		1,601.397		762.836		895.426		117.38	
	原科研		1,420.082		1,404.113		674.336		682.491		101.21
	J-PARC		235.555		197.284		88.500		212.935		240.60
	サイクル研	43.090		42.511		14.630		4.905		33.53	
	大洗	185.370		137.718		48.092		565.826		1,176.56	
	那珂	29.503		0.000		0.000		0.000		0.00	
	本部	0.000		0.000		0.000		0.000		0.00	
	NEAT茨城		0.000		0.000		0.000		0.000		0.00
	茨城県計		1,913.598		1,781.626		825.557		1,466.157		177.596
群馬県	高崎	19.583		0.000		0.000		0.000		0.00	
千葉県	柏		0.000		0.000		0.000		0.000		0.00
東京都	東京		0.000		0.000		0.000		0.000		0.00
岐阜県	東濃	0.000		3.009		25.691		10.388		40.43	
福井県	敦賀	12.670		0.000		73.088		69.685		95.34	
	もんじゅ	425.060		156.520		210.272		0.000		0.00	
	ふげん	236.013		27.091		35.663		0.000		0.00	
	敦総研（白木地区：旧も運研）	13.756		78.916		0.000		0.000		0.00	
	NEAT福井		0.000		0.000		0.000		0.000		0.00
	福井県計		687.499		262.527		319.022		69.685		21.843
	関西研	49.956		0.000		0.000		0.000		0.00	
京都府	関西木津		49.956		0.000		0.000		0.000		0.00
兵庫県	関西播磨		0.000		0.000		0.000		0.000		0.00
岡山県	人形	90.500		279.900		0.000		0.000		0.00	
合計（t-CO_2）			2,836		2,327		1,170		1,546		132.13

表2-3-1　輸送量（トンキロ）総計表（2018年度）

（単位：トンキロ）

項目＼拠点名	幌延	むつ	福島拠点	楢葉	三春	富岡	大熊	本部	原科研（J-PARCを含む）	サイクル研	大洗	NEAT	NEAT茨城
核燃料物質等	0	0	0						3,920	0	19		
						0	0						
一般・産業廃棄物	838	875	860					101	5,788	20,692	16,510	0	
				66	758	8	28						0
その他	0	0	0						0	0	0		
						0	0						
合計	838	875	860					101	9,709	20,692	16,529	0	
				66	758	8	28						0

（単位：トンキロ）　（単位：万トンキロ）

項目＼拠点名	東京地区	東京	柏	東濃	敦賀	もんじゅ	ふげん	敦総研（白木地区：旧も運研）	人形	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
核燃料物質等				0		0	4		27	2.06	0.34	0.31	0.35	0.40
一般・産業廃棄物	94			3,474	360	8,022	289	755	961	13.01	8.80	7.52	10.24	5.96
		92	2											
その他				0		0	0		136	0.17	0.01	0.01	0.01	0.01
合計	94			3,474	360	8,022	292	755	1,124	15.23	9.15	7.84	10.59	6.37
		92	2											

表2-3-2 輸送量(トンキロ)(核燃料物質等)と(その他)(2018年度)(1/5)

1.核燃料物質等

拠点名	種類	輸送項目	重量(kg) (a)	距離(km) (b)	回数 (c)	過去最大輸送回数	輸送量 kg･km (a)×(b)×(c)
原科研(J-PARCを含む)	核燃料物質	L型輸送物	1	270	4		1,080
	核燃料物質	L型輸送物	1	130	1		130
	核燃料物質	L型輸送物	1	650	1		650
	核燃料物質	L型輸送物	1	100	2		200
	核燃料物質	L型輸送物	1	680	1		680
	核燃料物質	L型輸送物	1	7	1		7
	核燃料物質	L型輸送物	1	270	1		270
	核燃料物質	L型輸送物	1	800	1		800
	核燃料物質	L型輸送物	8	137	1		1,096
	核燃料物質	L型輸送物	3	1	1		3
	核燃料物質	L型輸送物	1	130	1		130
	核燃料物質	L型輸送物	4	150	1		600
	核燃料物質	L型輸送物	1	130	1		130
	核燃料物質	L型輸送物	1	663	1		663
	核燃料物質	L型輸送物	1	130	1		130
	核燃料物質	L型輸送物	1	270	1		270
	核燃料物質	L型輸送物	1	760	1		760
	核燃料物質	L型輸送物	1	760	1		760
	核燃料物質	L型輸送物	1	1	1		1
	核燃料物質	L型輸送物	1	100	1		100
	核燃料物質	A型輸送物	6	137	1		822
	核燃料物質	A型輸送物	3	270	1		810
	核燃料物質	A型輸送物	4	270	1		1,080
	核燃料物質	A型輸送物	3	137	1		411
	RI	L型輸送物	1	20	1		20
	RI	L型輸送物	1	140	1		140

表2-3-2 輸送量(トンキロ)(核燃料物質等)と(その他)(2018年度)(2/5)

1.核燃料物質等

拠点名	種類	輸送項目	重量(kg) (a)	距離(km) (b)	回数 (c)	過去最大輸送回数	輸送量 kg･km (a)×(b)×(c)
原科研(J-PARCを含む)	RI	L型輸送物	1	620	1		620
	RI	L型輸送物	1	663	1		663
	RI	L型輸送物	1	180	3		540
	RI	L型輸送物	1	75	1		75
	RI	L型輸送物	2	140	3		840
	RI	L型輸送物	2	130	1		260
	RI	L型輸送物	2	560	2		2,240
	RI	L型輸送物	3	150	1		450
	RI	L型輸送物	5	663	1		3,315
	RI	L型輸送物	8	130	1		1,040
	RI	L型輸送物	8	150	1		1,200
	RI	L型輸送物	8	150	1		1,200
	RI	A型輸送物	48	130	1		6,240
	RI	A型輸送物	72	130	3		28,080
	RI	A型輸送物	96	130	1		12,480
	RI	A型輸送物	120	130	2		31,200
	RI	A型輸送物	144	130	4		74,880
	RI	A型輸送物	168	130	3		65,520
	RI	A型輸送物	175	130	4		91,000
	RI	A型輸送物	192	130	10		249,600
	RI	A型輸送物	216	130	1		28,080
	RI	A型輸送物	240	130	7		218,400
	RI	A型輸送物	264	130	7		240,240
	RI	A型輸送物	288	130	7		262,080
	RI	A型輸送物	312	130	2		81,120
	RI	A型輸送物	350	130	3		136,500

表2-3-2 輸送量(トンキロ)(核燃料物質等)と(その他)(2018年度)(3/5)

1.核燃料物質等

拠点名	種類	輸送項目	重量(kg) (a)	距離(km) (b)	回数 (c)	過去最大輸送回数	輸送量 kg･km (a)×(b)×(c)
原科研(J-PARCを含む)	RI	A型輸送物	24	150	2		7,200
	RI	A型輸送物	70	150	1		10,500
	RI	A型輸送物	72	150	1		10,800
	RI	A型輸送物	98	150	1		14,700
	RI	A型輸送物	120	150	2		36,000
	RI	A型輸送物	144	150	4		86,400
	RI	A型輸送物	146	150	1		21,900
	RI	A型輸送物	152	150	2		45,600
	RI	A型輸送物	168	150	3		75,600
	RI	A型輸送物	170	150	1		25,500
	RI	A型輸送物	192	150	8		230,400
	RI	A型輸送物	216	150	1		32,400
	RI	A型輸送物	240	150	4		144,000
	RI	A型輸送物	242	150	2		72,600
	RI	A型輸送物	248	150	1		37,200
	RI	A型輸送物	264	150	7		277,200
	RI	A型輸送物	280	150	1		42,000
	RI	A型輸送物	288	150	6		259,200
	RI	A型輸送物	290	150	1		43,500
	RI	A型輸送物	312	150	1		46,800
	RI	A型輸送物	328	150	1		49,200
	RI	A型輸送物	530	150	1		79,500
	RI	A型輸送物	1,060	150	1		159,000
	RI	A型輸送物	1,530	150	1		229,500
	RI	A型輸送物	2	130	1		260
	RI	A型輸送物	2	150	1		300

表2-3-2 輸送量(トンキロ)(核燃料物質等)と(その他)(2018年度)(4/5)

1.核燃料物質等

拠点名	種類	輸送項目	重量(kg) (a)	距離(km) (b)	回数 (c)	過去最大輸送回数	輸送量 kg・km (a)×(b)×(c)
原科研(J-PARCを含む)	RI	A型輸送物	15	130	1		1,950
	RI	A型輸送物	15	150	1		2,250
	RI	A型輸送物	17	120	1		2,040
	RI	A型輸送物	20	270	7		37,800
	RI	A型輸送物	35	150	9		47,250
	RI	A型輸送物	50	130	1		6,500
	RI	A型輸送物	70	25	1		1,750
	空輸送容器	空容器	35	135	11		51,975
	空輸送容器	空容器	175	130	8		182,000
	総計						3,920,381
大洗	核燃料物質	A型輸送物	53	158	1		8,390
	核燃料物質	A型輸送物	5	4	1		22
	核燃料物質	A型輸送物	53	158	1		8,390
	核燃料物質	A型輸送物	15	158	1		2,338
	核燃料物質	L型輸送物	0	589	1		5
	核燃料物質	L型輸送物	0	589	1		5
	総計						19,150
ふげん	RI	金属材料試験片	1	628	1	5	628
	RI	金属材料試験片	1	630	4	5	2,520
	RI	金属材料試験片	1	607	1	0	607
	総計						3,755
人形	核燃料物質	酸化ウラン	10	250	1	1	2,500
	核燃料物質	酸化ウラン	10	688	1	1	6,880
	核燃料物質	酸化ウラン	10	892	1	1	8,920
	核燃料物質	酸化ウラン	10	897	1	1	8,970
	総計						27,270

表2-3-2 輸送量(トンキロ)(核燃料物質等)と(その他)(2018年度)(5/5)

2.その他

拠点名	種類	輸送項目	重量(kg) (a)	距離(km) (b)	回数 (c)	過去最大輸送回数	輸送量 kg・km (a)×(b)×(c)
人形	その他	ウラン線源校正	2	679	1	1	1,358
	その他	環境試料送付	3	491	3	0	4,419
	その他	計測器(リーダー)校正	40	517	4	2	82,720
	その他	手足衣服モニタの手部	3	679	1	0	2,037
	その他	放射線測定器校正	10	859	3	3	25,770
	その他	放射線測定器校正	14	859	1	1	12,026
	その他	放射線測定器校正	8	859	1	1	6,872
	その他	絶縁抵抗計校正	1	126	1	1	126
	その他	手足衣服モニタの足部	5	107	1	0	535
	その他	パルス発生器校正	2	107	2	2	428
	その他	オシロスコープ校正	2	25	2	2	100
	総計						136,391

表2-4 コピー用紙投入量(2018年度)(1/3)

2018年度上期

拠点名		A4 1箱の重さ(kg)		A4用紙(枚)		A3用紙(枚)		B5用紙(枚)		B4用紙(枚)		A4換算値(枚)		A4換算値(kg)	
幌延		10.00		154,000		6,500		500		0		167,350		669.00	
むつ		0.00		231,000		7,500		0		0		246,000		984.00	
福島拠点		0.00		886,500		45,500		0		0		977,500		3,910.00	
	いわき		10.00		308,000		24,000		0		0		356,000		1,424.00
	楢葉		10.00		197,500		13,500		0		0		224,500		898.00
	三春		10.00		150,000		4,500		0		0		159,000		636.00
	富岡		10.00		90,000		0		0		0		90,000		360.00
	大熊		10.00		141,000		3,500		0		0		148,000		592.00
本部		11.00		1,566,500		78,500		500		4,500		1,730,150		7,614.00	
原科研(J-PARCを含む)		10.00		5,316,000		0		0		0		5,316,000		21,264.00	
サイクル研		10.00		4,749,000		224,500		10,000		13,500		5,223,900		20,896.00	
大洗		10.00		3,845,000		97,000		500		500		4,040,050		16,160.00	
NEAT		0.00		180,000		10,500		0		0		201,000		804.00	
	NEAT茨城		10.00		172,500		10,500		0		0		193,500		774.00
	NEAT福井		10.00		7,500		0		0		0		7,500		30.00
東京地区		0.00		364,500		0		0		0		364,500		1,604.00	
	東京		11.00		325,000		0		0		0		325,000		1,430.00
	柏		11.00		39,500		0		0		0		39,500		174.00
東濃		11.00		161,000		5,000		0		0		171,000		752.00	
敦賀		11.00		683,500		42,000		0		0		767,500		3,378.00	
もんじゅ		10.70		2,350,000		204,000		0		0		2,758,000		11,804.00	
ふげん		10.70		699,500		25,000		500		0		749,850		3,209.00	
敦総研(白木地区:旧も運研)		10.00		150,000		9,000		0		0		168,000		672.00	
関西播磨		0.00		47,500		0		0		0		47,500		190.00	
人形		11.00		705,500		29,500		0		0		764,500		3,363.00	
合計				22,089,500		784,500		12,000		18,500		23,692,800		97,273.00	

表2-4 コピー用紙投入量(2018年度)(2/3)

2018年度下期

拠点名		A4 1箱の重さ(kg)		A4用紙(枚)		A3用紙(枚)		B5用紙(枚)		B4用紙(枚)		A4換算値(枚)		A4換算値(kg)	
幌延		10.00		133,000		3,500		0		0		140,000		560.00	
むつ		0.00		242,500		8,500		0		0		259,500		1,038.00	
福島拠点		0.00		870,000		35,500		0		0		941,000		3,764.00	
	いわき		10.00		351,500		15,000		0		0		381,500		1,526.00
	楢葉		10.00		110,000		15,000		0		0		140,000		560.00
	三春		10.00		150,000		3,000		0		0		156,000		624.00
	富岡		10.00		60,000		1,500		0		0		63,000		252.00
	大熊		10.00		198,500		1,000		0		0		200,500		802.00
本部		11.00		1,706,000		94,500		0		500		1,895,700		8,340.00	
原科研(J-PARCを含む)		10.00		5,504,000		0		0		0		5,504,000		22,016.00	
サイクル研		10.00		5,125,000		219,500		3,500		18,500		5,592,350		22,370.00	
大洗		10.00		3,448,000		154,500		2,500		1,000		3,760,150		15,041.00	
NEAT		0.00		175,000		10,500		0		0		196,000		784.00	
	NEAT茨城		10.00		165,000		9,000		0		0		183,000		732.00
	NEAT福井		10.00		10,000		1,500		0		0		13,000		52.00
東京地区		0.00		734,000		500		0		1,500		737,100		3,243.00	
	東京		11.00		680,000		0		0		0		680,000		2,992.00
	柏		11.00		54,000		500		0		1,500		57,100		251.00
東濃		11.00		196,500		5,500		0		0		207,500		912.00	
敦賀		11.00		673,000		52,000		0		0		777,000		3,418.00	
もんじゅ		10.70		2,375,000		208,500		0		0		2,792,000		11,950.00	
ふげん		10.70		672,000		23,000		500		0		718,350		3,074.00	
敦総研(白木地区:旧も運研)		10.00		117,500		7,500		0		0		132,500		530.00	
関西播磨		0.00		55,500		0		0		0		55,500		222.00	
人形		11.00		700,000		44,000		0		0		788,000		3,468.00	
合計				22,727,000		867,500		6,500		21,500		24,496,650		100,730.00	

表2-4 コピー用紙投入量(2018年度)(3/3)

2018年度合計

拠点名		A4換算値(枚)		A4換算値(kg)		各拠点の占める割合(%)	
幌延		307,350		1,229		0.62	
むつ		505,500		2,022		1.02	
福島拠点		1,918,500		7,674		3.88	
	いわき		737,500		2,950		1.49
	楢葉		364,500		1,458		0.74
	三春		315,000		1,260		0.64
	富岡		153,000		612		0.31
	大熊		348,500		1,394		0.70
本部		3,625,850		15,954		8.06	
原科研(J-PARCを含む)		10,820,000		43,280		21.86	
サイクル研		10,816,250		43,266		21.85	
大洗		7,800,200		31,201		15.76	
NEAT		397,000		1,588		0.80	
	NEAT茨城		376,500		1,506		0.76
	NEAT福井		20,500		82		0.04
東京地区		1,101,600		4,847		2.45	
	東京		1,005,000		4,422		2.23
	柏		96,600		425		0.21
東濃		378,500		1,664		0.84	
敦賀		1,544,500		6,796		3.43	
もんじゅ		5,550,000		23,754		12.00	
ふげん		1,468,200		6,283		3.17	
敦総研(白木地区:旧も運研)		300,500		1,202		0.61	
関西播磨		103,000		412		0.21	
人形		1,552,500		6,831		3.45	
合計		48,189,450		198,003		100.00	

用紙投入量推移

年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
投入用紙(枚)	59,864,100	55,082,300	49,736,550	51,090,550	48,189,450
投入用紙(kg)	246,921	227,342	204,752	210,104	198,003

※2014年度及び2015年度は QSTを含む。

表2-5 特定調達品目（物品・役務）調達実績集計表（2018年度）（1/13）

分野	品目	①目標値	②総調達量	③特定調達物品等の調達量	④特定調達物品等の調達率 ＝③/②	⑤目標達成率 ＝④/① （一部＝③/①）	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合（プレミアム基準による調達を含む） ⑥調達量 ③の内数	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	判断の基準を満足しない物品等を調達した場合 ⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例	⑩環境への配慮の内容	⑪主な理由	⑫備考
紙類(7)	コピー用紙	100 %	209503.92 kg	209497.92 kg	100 %	100 %	0 kg		6 kg	Forestway色付きコピー用紙A4クリーム	環境基準に近いものを選択	仕様を満たす製品が適合品ではなかったため。	
	フォーム用紙	100 %	6 kg	6 kg	100 %	100 %	0 kg		0 kg				
	インクジェットカラープリンター用塗工紙	100 %	1413.8 kg	1411 kg	100 %	100 %	0 kg		2.8 kg	両面クリア印刷	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
	塗工されていない印刷用紙	100 %	30 kg	30 kg	100 %	100 %	0 kg		0 kg				
	塗工されている印刷用紙	100 %	26.4 kg	26.4 kg	100 %	100 %	0 kg		0 kg				
	トイレットペーパー	100 %	21799.7 kg	21799.7 kg	100 %	100 %	0 kg		0 kg				
	ティッシュペーパー	100 %	4345.8 kg	4345.8 kg	100 %	100 %	0 kg		0 kg				
文具類(83)	シャープペンシル	100 %	2756 本	2756 本	100 %	100 %	0 本		0 本				
	シャープペンシル替芯	100 %	533 個	533 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	ボールペン	100 %	15438 本	15428 本	100 %	100 %	0 本		10 本	LKFB-2SEF-BN	環境基準に近いものを選択	仕様を満たす製品が適合品ではなかったため。	
	マーキングペン	100 %	12769 本	12732 本	100 %	100 %	0 本		37 本	PIN-10324	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
	鉛筆	100 %	3276 本	3276 本	100 %	100 %	0 本		0 本				
	スタンプ台	100 %	35 個	35 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	朱肉	100 %	143 個	143 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	印章セット	100 %	0 個	0 個	%	%	0 個		0 個				
	印箱	100 %	9 個	5 個	56 %	56 %	0 個		4 個	IBS-03	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
	公印	100 %	0 個	0 個	%	%	0 個		0 個				
	ゴム印	100 %	325 個	291 個	90 %	90 %	0 個		34 個	スタンプメーカー交換用／アクリル台木	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
	回転ゴム印	100 %	64 個	62 個	97 %	97 %	0 個		2 個	1885号	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
	定規	100 %	121 個	106 個	88 %	88 %	0 個		15 個	HS320C	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
	トレー	100 %	27 個	27 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	消しゴム	100 %	1182 個	1182 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	ステープラー（汎用型）	100 %	193 個	192 個	99 %	99 %	0 個		1 個	HD-11UFL	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
	ステープラー（汎用型以外）	100 %	92 個	92 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	ステープラー針リムーバー	100 %	43 個	43 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	連射式クリップ（本体）	100 %	20 個	20 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	事務用修正具（テープ）	100 %	312 個	312 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	事務用修正具（液状）	100 %	52 個	52 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	クラフトテープ	100 %	326 個	326 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	粘着テープ（布粘着）	100 %	612 個	592 個	97 %	97 %	0 個		20 個	339000YL	環境基準に近いものを選択	仕様を満たす製品が適合品ではなかったため。	

表2-5 特定調達品目（物品・役務）調達実績集計表（2018年度）(2/13)

分野	品目	①目標値	②総調達量	③特定調達物品等の調達量	④特定調達物品等の調達率 ＝③/②	⑤目標達成率 ＝④/① (一部＝③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合（プレミアム基準による調達を含む） ⑥調達量 ③の内数	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	判断の基準を満足しない物品等を調達した場合 ⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例	⑩環境への配慮の内容	⑪主な理由	⑫備考
文具類(83)	両面粘着紙テープ	100 %	975 個	975 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	製本テープ	100 %	161 個	161 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	ブックスタンド	100 %	82 個	82 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	ペンスタンド	100 %	3 個	3 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	クリップケース	100 %	2 個	2 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	はさみ	100 %	1155 個	1150 個	100 %	100 %	0 個		5 個	34-519 34-515	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
	マグネット（玉）	100 %	674 個	674 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	マグネット（バー）	100 %	493 個	493 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	テープカッター	100 %	10 個	8 個	80 %	80 %	0 個		2 個	Amdohai735317732008	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
	パンチ（手動）	100 %	37 個	37 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	モルトケース（紙めくり用スポンジケース）	100 %	0 個	0 個	%	%	0 個		0 個				
	紙めくりクリーム	100 %	1 個	1 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	鉛筆削（手動）	100 %	4 個	4 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	OAクリーナー（ウエットタイプ）	100 %	278 個	278 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	OAクリーナー（液タイプ）	100 %	5 個	5 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	ダストブロワー	100 %	558 個	558 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	レターケース	100 %	7 個	5 個	71 %	71 %	0 個		2 個	A4R-05B	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
	メディアケース	100 %	764 個	761 個	100 %	100 %	0 個		3 個	6枚収納タイプ	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
	マウスパッド	100 %	200 個	200 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	OAフィルター（枠あり）	100 %	0 個	0 個	%	%	0 個		0 個				
	丸刃式紙裁断機	100 %	9 台	9 台	100 %	100 %	0 台		0 台				
	カッターナイフ	100 %	80 個	70 個	88 %	88 %	0 個		10 個	LTD-01	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
	カッティングマット	100 %	29 個	28 個	97 %	97 %	0 個		1 個	380mm×100mm	環境基準に近いものを選択	仕様を満たす製品が適合品ではなかったため。	
	デスクマット	100 %	43 個	43 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	OHPフィルム	100 %	0 個	0 個	%	%	0 個		0 個				
	絵筆	100 %	0 個	0 個	%	%	0 個		0 個				
	絵の具	100 %	0 個	0 個	%	%	0 個		0 個				
	墨汁	100 %	0 個	0 個	%	%	0 個		0 個				
	のり（液状）（補充用を含む。）	100 %	24 個	23 個	96 %	96 %	0 個		1 個	EA936A-9	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
	のり（澱粉のり）（補充用を含む。）	100 %	10 個	10 個	100 %	100 %	0 個		0 個				

表2-5 特定調達品目（物品・役務）調達実績集計表（2018年度）(3/13)

分野	品目	①目標値	②総調達量	③特定調達物品等の調達量	④特定調達物品等の調達率 ＝③/②	⑤目標達成率 ＝④/① (一部＝③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合（プレミアム基準による調達を含む） ⑥調達量 ③の内数	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	判断の基準を満足しない物品等を調達した場合 ⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例	⑩環境への配慮の内容	⑪主な理由	⑫備考
文具類(83)	のり（固形）（補充用を含む。）	100 %	1363 個	1363 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	のり（テープ）	100 %	391 個	391 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	ファイル	100 %	36101 冊	36101 冊	100 %	100 %	0 冊		0 冊				
	バインダー	100 %	476 冊	476 冊	100 %	100 %	0 冊		0 冊				
	ファイリング用品	100 %	20503 個	20503 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	アルバム（台紙を含む。）	100 %	0 個	0 個	%	%	0 個		0 個				
	つづりひも	100 %	205 個	205 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	カードケース	100 %	3673 個	3673 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	事務用封筒（紙製）	100 %	95135 枚	95115 枚	100 %	100 %	0 枚		20 枚	170×190mm	環境基準に近いものを選択	仕様を満たす製品が適合品ではなかったため。	
	窓付き封筒（紙製）	100 %	7280 枚	7280 枚	100 %	100 %	0 枚		0 枚				
	けい紙・起案用紙	100 %	0 個	0 個	%	%	0 個		0 個				
	ノート	100 %	2311 冊	2311 冊	100 %	100 %	0 冊		0 冊				
	パンチラベル	100 %	3036 個	3036 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	タックラベル	100 %	18126 個	18126 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	インデックス	100 %	7549 個	7549 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	付箋紙	100 %	8501 個	8501 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	付箋フィルム	100 %	386 個	386 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	黒板拭き	100 %	0 個	0 個	%	%	0 個		0 個				
	ホワイトボード用イレーザー	100 %	61 個	61 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	額縁	100 %	136 個	136 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	ごみ箱	100 %	211 個	211 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	リサイクルボックス	100 %	8 個	8 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	缶・ボトルつぶし機（手動）	100 %	1 個	1 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	名札（机上用）	100 %	55 個	55 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	名札（衣服取付型・首下げ型）	100 %	5503 個	5463 個	99 %	99 %	0 個		40 個	NF-967-D NF-968-R NF969-B	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
	鍵かけ(フックを含む。)	100 %	38 個	38 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	チョーク	100 %	0 本	0 本	%	%	0 本		0 本				
	グラウンド用白線	100 %	0 kg	0 kg	%	%	0 kg		0 kg				
	梱包用バンド	100 %	16 個	16 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
オフィス家具等(10)	いす	100 %	545 脚	542 脚	99 %	99 %	0 脚		3 脚	150-SNCL006	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	

表2-5 特定調達品目（物品・役務）調達実績集計表（2018年度）（4/13）

分野	品目				①目標値	②総調達量	③特定調達物品等の調達量	④特定調達物品等の調達率 ＝③/②	⑤目標達成率 ＝④/①（一部＝③/①）	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合（プレミアム基準による調達を含む） ⑥調達量 ③の内数	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	判断の基準を満足しない物品等を調達した場合 ⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例	⑩環境への配慮の内容	⑪主な理由	⑫備考
オフィス家具等 (10)	机				100 %	151 台	148 台	98 %	98 %	0 台		3 台	5089995	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
	棚				100 %	139 連	132 連	95 %	95 %	0 連		7 連	RH-2U40-N1	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
	収納用什器（棚以外）				100 %	195 台	194 台	99 %	99 %	0 台		1 台	CE491-340-0	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
	ローパーティション				100 %	99 台	99 台	100 %	100 %	0 台		0 台				
	コートハンガー				100 %	9 台	9 台	100 %	100 %	0 台		0 台				
	傘立て				100 %	4 台	4 台	100 %	100 %	0 台		0 台				
	掲示板				100 %	5 個	5 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	黒板				100 %	1 個	1 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	ホワイトボード				100 %	37 個	35 個	95 %	95 %	0 個		2 個	31-3500-000	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
画像機器等 (10)	コピー機等	コピー機等合計		購入	100 %	17 台	17 台	100 %	100 %	0 台		0 台				
				リース・レンタル（新規）		2 台	2 台			0 台		0 台				
				リース・レンタル（継続）		48 台	48 台					0 台				
			コピー機	購入		6 台	6 台			0 台		0 台				
				リース・レンタル（新規）		0 台	0 台			0 台		0 台				
				リース・レンタル（継続）		30 台	30 台					0 台				
			複合機	購入		11 台	11 台			0 台		0 台				
				リース・レンタル（新規）		2 台	2 台			0 台		0 台				
				リース・レンタル（継続）		18 台	18 台					0 台				
			拡張性デジタルコピー機	購入		0 台	0 台			0 台		0 台				
				リース・レンタル（新規）		0 台	0 台			0 台		0 台				
				リース・レンタル（継続）		0 台	0 台					0 台				
	プリンタ等	プリンタ等合計		購入	100 %	100 台	100 台	100 %	100 %	0 台		0 台				
				リース・レンタル（新規）		5 台	5 台			0 台		0 台				
				リース・レンタル（継続）		50 台	50 台					0 台				
			プリンタ	購入		90 台	90 台			0 台		0 台				
				リース・レンタル（新規）		5 台	5 台			0 台		0 台				
				リース・レンタル（継続）		44 台	44 台					0 台				
			プリンタ複合機	購入		10 台	10 台			0 台		0 台				
				リース・レンタル（新規）		0 台	0 台			0 台		0 台				
				リース・レンタル（継続）		6 台	6 台					0 台				

表2-5 特定調達品目（物品・役務）調達実績集計表（2018年度）(5/13)

分野	品目		①目標値	②総調達量	③特定調達物品等の調達量	④特定調達物品等の調達率 ＝③/②	⑤目標達成率 ＝④/① (一部＝③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合（プレミアム基準による調達を含む） ⑥調達量 ③の内数	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合（プレミアム基準による調達を含む） ⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	判断の基準を満足しない物品等を調達した場合 ⑧調達量	判断の基準を満足しない物品等を調達した場合 ⑨具体的仕様の主な例	判断の基準を満足しない物品等を調達した場合 ⑩環境への配慮の内容	判断の基準を満足しない物品等を調達した場合 ⑪主な理由	⑫備考
画像機器等 (10)	ファクシミリ	購入	100 %	0 台	0 台	%	%	0 台		0 台				
		リース・レンタル（新規）		0 台	0 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（継続）		6 台	6 台					0 台				
	スキャナ	購入	100 %	30 台	30 台	100 %	100 %	0 台		0 台				
		リース・レンタル（新規）		0 台	0 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（継続）		2 台	2 台					0 台				
	プロジェクタ	購入	100 %	23 台	22 台	96 %	96 %	0 台		1 台	NP-ME401WJL	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
		リース・レンタル（新規）		0 台	0 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（継続）		0 台	0 台					0 台				
	トナーカートリッジ		100 %	1790 個	1764 個	99 %	99 %	0 個		26 個	CRG041	環境基準に近いものを選択	専用インクカートリッジが適合品ではなかったため。	
	インクカートリッジ		100 %	966 個	966 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
電子計算機等 (4)	電子計算機 電子計算機合計	購入	100 %	1006 台	990 台	99 %	99 %	0 台		16 台	PAZ35GB-SNJ	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
		リース・レンタル（新規）		394 台	394 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（継続）		448 台	448 台					0 台				
	電子計算機 サーバ型	購入		125 台	125 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（新規）		7 台	7 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（継続）		69 台	69 台					0 台				
	電子計算機 クライアント型（デスクトップパソコン）	購入		616 台	615 台			0 台		1 台	V530S	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
		リース・レンタル（新規）		374 台	374 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（継続）		326 台	326 台					0 台				
	電子計算機 クライアント型（ノートパソコン）	購入		237 台	222 台			0 台		15 台	PAZ35GB-SNJ	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
		リース・レンタル（新規）		13 台	13 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（継続）		53 台	53 台					0 台				
	電子計算機 クライアント型（その他の電子計算機）	購入		28 台	28 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（新規）		0 台	0 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（継続）		0 台	0 台					0 台				
	磁気ディスク装置	購入	100 %	208 台	192 台	92 %	92 %	0 台		16 台	ZHD-UTX1	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
		リース・レンタル（新規）		0 台	0 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（継続）		0 台	0 台					0 台				

表2-5 特定調達品目（物品・役務）調達実績集計表（2018年度）（6/13）

分野	品目		①目標値	②総調達量	③特定調達物品等の調達量	④特定調達物品等の調達率 ＝③/②	⑤目標達成率 ＝④/① （一部＝③/①）	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合（プレミアム基準による調達を含む） ⑥調達量 ③の内数	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	判断の基準を満足しない物品等を調達した場合 ⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例	⑩環境への配慮の内容	⑪主な理由	⑫備考
電子計算機等 (4)	ディスプレイ	購入	100 %	366 台	349 台	97 %	97 %	0 台		17 台	12インチ	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
		リース・レンタル（新規）		193 台	193 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（継続）		135 台	135 台					0 台				
	記録用メディア		100 %	4776 個	4776 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
オフィス機器等 (5)	シュレッダー	購入	100 %	16 台	15 台	94 %	94 %	0 台		1 台	PSD-M1225	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
		リース・レンタル（新規）		0 台	0 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（継続）		0 台	0 台					0 台				
	デジタル印刷機	購入	100 %	0 台	0 台	%	%	0 台		0 台				
		リース・レンタル（新規）		0 台	0 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（継続）		0 台	0 台					0 台				
	掛時計		100 %	37 個	27 個	73 %	73 %	0 個		10 個	4FYA01-019	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
	電子式卓上計算機		100 %	40 個	40 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	一次電池又は小形充電式電池		100 %	55749 個	55337 個	99 %	99 %	0 個		412 個	TLR03G-P4S	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
		一次電池のうち災害備蓄用品として調達したもの		603 個	603 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
移動電話等 (3)	携帯電話	購入	100 %	0 台	0 台	100 %	100 %	0 台		0 台				
		リース・レンタル（新規）		64 台	64 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（継続）		0 台	0 台					0 台				
	PHS	購入	100 %	28 台	22 台	79 %	79 %	0 台		6 台	UM7700-SET/NB	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
		リース・レンタル（新規）		0 台	0 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（継続）		0 台	0 台					0 台				
	スマートフォン	購入	100 %	0 台	0 台	%	%	0 台		0 台				
		リース・レンタル（新規）		0 台	0 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（継続）		0 台	0 台					0 台				
家電製品 (6)	電気冷蔵庫・冷凍庫・冷凍冷蔵庫	購入	100 %	23 台	21 台	91 %	91 %	0 台		2 台	YRZC09B1WW	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
		リース・レンタル（新規）		0 台	0 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（継続）		1 台	1 台					0 台				
	テレビジョン受信機	購入	100 %	15 台	13 台	87 %	87 %	0 台		2 台	TH-43FX600 4K	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
		リース・レンタル（新規）		0 台	0 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（継続）		0 台	0 台					0 台				

表2-5 特定調達品目（物品・役務）調達実績集計表（2018年度）（7/13）

分野	品目		①目標値	②総調達量	③特定調達物品等の調達量	④特定調達物品等の調達率 ＝③/②	⑤目標達成率 ＝④/①（一部＝③/①）	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合（プレミアム基準による調達を含む） ⑥調達量 ③の内数	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	判断の基準を満足しない物品等を調達した場合 ⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例	⑩環境への配慮の内容	⑪主な理由	⑫備考
家電製品(6)	電気便座	購入	100 %	3 台	3 台	100 %	100 %	0 台		0 台				
		リース・レンタル（新規）		0 台	0 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（継続）		0 台	0 台					0 台				
	電子レンジ	購入	100 %	23 台	16 台	70 %	70 %	0 台		7 台	IMBF1835	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
		リース・レンタル（新規）		0 台	0 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（継続）		0 台	0 台					0 台				
エアコンディショナー等(3)	エアコンディショナー	購入	100 %	52 台	52 台	100 %	100 %	0 台		0 台				
		リース・レンタル（新規）		0 台	0 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（継続）		0 台	0 台					0 台				
	ガスヒートポンプ式冷暖房機	購入	100 %	0 台	0 台	%	%	0 台		0 台				
		リース・レンタル（新規）		0 台	0 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（継続）		0 台	0 台					0 台				
	ストーブ	購入	100 %	2 台	2 台	100 %	100 %	0 台		0 台				
		リース・レンタル（新規）		10 台	10 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（継続）		0 台	0 台					0 台				
温水器等(4)	ヒートポンプ式電気給湯器	購入	100 %	0 台	0 台	%	%	0 台		0 台				
		リース・レンタル（新規）		0 台	0 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（継続）		0 台	0 台					0 台				
	ガス温水機器	購入	100 %	1 台	1 台	100 %	100 %	0 台		0 台				
		リース・レンタル（新規）		0 台	0 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（継続）		0 台	0 台					0 台				
	石油温水機器	購入	100 %	0 台	0 台	%	%	0 台		0 台				
		リース・レンタル（新規）		0 台	0 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（継続）		0 台	0 台					0 台				
	ガス調理機器	購入	100 %	0 台	0 台	%	%	0 台		0 台				
		リース・レンタル（新規）		0 台	0 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（継続）		0 台	0 台					0 台				
照明(4)	LED照明器具	購入	100 %	225 台	222 台	99 %	99 %	0 台		3 台	GDGD-LD101-DK03	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
		リース・レンタル（新規）		0 台	0 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（継続）		0 台	0 台					0 台				

表2-5 特定調達品目（物品・役務）調達実績集計表（2018年度）(8/13)

分野	品目			①目標値	②総調達量	③特定調達物品等の調達量	④特定調達物品等の調達率 ＝③/②	⑤目標達成率 ＝④/① (一部＝③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合（プレミアム基準による調達を含む） ⑥調達量 ③の内数	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	判断の基準を満足しない物品等を調達した場合 ⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例	⑩環境への配慮の内容	⑪主な理由	⑫備考
照明(4)	LEDを光源とした内照式表示灯		購入	100 %	23 台	23 台	100 %	100 %	0 台		0 台				
			リース・レンタル（新規）		0 台	0 台			0 台		0 台				
			リース・レンタル（継続）		0 台	0 台					0 台				
	蛍光ランプ		高周波点灯専用形（Hf）	100 %	636 本	636 本	100 %	100 %	0 本		0 本				
			ﾗﾋﾟｯﾄﾞｽﾀｰﾄ形又はｽﾀｰﾀ形		15499 本	15499 本			0 本		0 本				
	電球形状のランプ		電球形LEDランプ	100 %	79 個	79 個	99 %	99 %	0 個		0 個				
			電球形蛍光ランプ		1468 個	1448 個			0 個		20 個	LW100V57WW2P	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
自動車等(5)	一般公用車合計		購入	100 %	5 台	5 台	100 %	100 %			0 台				
			リース・レンタル（新規）		10 台	10 台					0 台				
			リース・レンタル（継続）		32 台	32 台					0 台				
	一般公用車	電気自動車	購入		0 台	0 台	%								
			リース・レンタル（新規）		0 台	0 台									
			リース・レンタル（継続）		0 台	0 台									
		天然ガス自動車	購入		0 台	0 台	%								
			リース・レンタル（新規）		0 台	0 台									
			リース・レンタル（継続）		0 台	0 台									
		ハイブリッド自動車	購入		0 台	0 台	100 %								
			リース・レンタル（新規）		5 台	5 台									
			リース・レンタル（継続）		5 台	5 台									
		プラグインハイブリッド自動車	購入		0 台	0 台	%								
			リース・レンタル（新規）		0 台	0 台									
			リース・レンタル（継続）		0 台	0 台									
		燃料電池自動車	購入		0 台	0 台	%								
			リース・レンタル（新規）		0 台	0 台									
			リース・レンタル（継続）		0 台	0 台									
		水素自動車	購入		0 台	0 台	%								
			リース・レンタル（新規）		0 台	0 台									
			リース・レンタル（継続）		0 台	0 台									

表2-5 特定調達品目（物品・役務）調達実績集計表（2018年度）（9/13）

分野	品目				①目標値	②総調達量	③特定調達物品等の調達量	④特定調達物品等の調達率 ＝③/②	⑤目標達成率 ＝④/① （一部＝③/①）	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合（プレミアム基準による調達を含む） ⑥調達量 ③の内数	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合（プレミアム基準による調達を含む） ⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	判断の基準を満足しない物品等を調達した場合 ⑧調達量	判断の基準を満足しない物品等を調達した場合 ⑨具体的仕様の主な例	判断の基準を満足しない物品等を調達した場合 ⑩環境への配慮の内容	判断の基準を満足しない物品等を調達した場合 ⑪主な理由	⑫備考
自動車等(5)	一般公用車	一般公用車合計	クリーンディーゼル自動車（乗車定員10人以下の乗用車）	購入		0 台	0 台	%								
				リース・レンタル（新規）		0 台	0 台									
				リース・レンタル（継続）		0 台	0 台									
			乗用車（上記を除くガソリン、LPガス自動車）	購入		5 台	5 台	100 %				0 台				
				リース・レンタル（新規）		5 台	5 台					0 台				
				リース・レンタル（継続）		27 台	27 台					0 台				
	一般公用車以外	一般公用車以外合計		購入	100 %	1 台	1 台	100 %	100 %			0 台				
				リース・レンタル（新規）		0 台	0 台					0 台				
				リース・レンタル（継続）		7 台	7 台					0 台				
			電気自動車	購入		0 台	0 台	%								
				リース・レンタル（新規）		0 台	0 台									
				リース・レンタル（継続）		0 台	0 台									
			天然ガス自動車	購入		0 台	0 台	%								
				リース・レンタル（新規）		0 台	0 台									
				リース・レンタル（継続）		0 台	0 台									
			ハイブリッド自動車	購入		0 台	0 台	%								
				リース・レンタル（新規）		0 台	0 台									
				リース・レンタル（継続）		0 台	0 台									
			プラグインハイブリッド自動車	購入		0 台	0 台	%								
				リース・レンタル（新規）		0 台	0 台									
				リース・レンタル（継続）		0 台	0 台									
			燃料電池自動車	購入		0 台	0 台	%								
				リース・レンタル（新規）		0 台	0 台									
				リース・レンタル（継続）		0 台	0 台									
			水素自動車	購入		0 台	0 台	%								
				リース・レンタル（新規）		0 台	0 台									
				リース・レンタル（継続）		0 台	0 台									
			クリーンディーゼル自動車（乗車定員10人以下の乗用車）	購入		0 台	0 台	%								
				リース・レンタル（新規）		0 台	0 台									
				リース・レンタル（継続）		0 台	0 台									

表2-5 特定調達品目（物品・役務）調達実績集計表（2018年度）（10/13）

分野	品目				①目標値	②総調達量	③特定調達物品等の調達量	④特定調達物品等の調達率 ＝③/②	⑤目標達成率 ＝④/①（一部＝③/①）	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合（プレミアム基準による調達を含む） ⑥調達量 ③の内数	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	判断の基準を満足しない物品等を調達した場合 ⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例	⑩環境への配慮の内容	⑪主な理由	⑫備考
自動車等(5)	一般公用車以外合計	一般公用車以外	乗用車（上記を除くガソリン、LPガス自動車）	購入	100 %	0 台	0 台	%	%			0 台				
				リース・レンタル（新規）		0 台	0 台					0 台				
				リース・レンタル（継続）		2 台	2 台					0 台				
			小型バス（車両総重量3.5t以下）	購入	100 %	0 台	0 台	%	%			0 台				
				リース・レンタル（新規）		0 台	0 台					0 台				
				リース・レンタル（継続）		0 台	0 台					0 台				
			貨物車（車両総重量3.5t以下の軽貨物車、軽量貨物車、中量貨物車）	購入	100 %	1 台	1 台	100 %	100 %			0 台				
				リース・レンタル（新規）		0 台	0 台					0 台				
				リース・レンタル（継続）		3 台	3 台					0 台				
			重量車（車両総重量3.5t超）：路線バス、一般バス	購入	100 %	0 台	0 台	%	%			0 台				
				リース・レンタル（新規）		0 台	0 台					0 台				
				リース・レンタル（継続）		1 台	1 台					0 台				
			重量車（車両総重量3.5t超）：トラック等、トラクタ	購入	100 %	0 台	0 台	%	%			0 台				
				リース・レンタル（新規）		0 台	0 台					0 台				
				リース・レンタル（継続）		1 台	1 台					0 台				
	ETC対応車載器				0 個	0 個	0 個	%	%							調達予定なし
	カーナビゲーションシステム				0 個	0 個	0 個	%	%							調達予定なし
	乗用車用タイヤ				100 %	12 本	12 本	100 %	100 %	0 本		0 本				
	2サイクルエンジン油				100 %	5 リットル	5 リットル	100 %	100 %	0 リットル		0 リットル				
消火器(1)	消火器				100 %	238 本	235 本	99 %	99 %	0 本		3 本	MEA20	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
制服・作業服(4)	制服				100 %	222 着	222 着	100 %	100 %	0 着		0 着				
	作業服				100 %	1536 着	1514 着	99 %	99 %	0 着		22 着	AZ-6060-008	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
	帽子				100 %	4 点	4 点	100 %	100 %	0 点		0 点				
	靴				100 %	273 足	247 足	90 %	90 %	0 足		26 足	EA998VL-24	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
インテリア・寝装寝具(11)	カーテン				100 %	7 枚	7 枚	100 %	100 %	0 枚		0 枚				
	布製ブラインド				100 %	0 枚	0 枚	%	%	0 枚		0 枚				
	金属製ブラインド				100 %	48 点	48 点	100 %	100 %	0 点		0 点				
	タフテッドカーペット				100 %	10800 ㎡	10800 ㎡	100 %	100 %	0 ㎡		0 ㎡				
	タイルカーペット				100 %	507710 ㎡	507710 ㎡	100 %	100 %	0 ㎡		0 ㎡				
	織じゅうたん				100 %	0 ㎡	0 ㎡	%	%	0 ㎡		0 ㎡				

表2-5 特定調達品目（物品・役務）調達実績集計表（2018年度）（11/13）

分野	品目		①目標値	②総調達量	③特定調達物品等の調達量	④特定調達物品等の調達率 ＝③/②	⑤目標達成率 ＝④/① （一部＝③/①）	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合（プレミアム基準による調達を含む） ⑥調達量 ③の内数	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	判断の基準を満足しない物品等を調達した場合 ⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例	⑩環境への配慮の内容	⑪主な理由	⑫備考
インテリア・寝装寝具(11)	ニードルパンチカーペット		100 %	0 ㎡	0 ㎡	%	%	0 ㎡		0 ㎡				
	毛布（災害備蓄用を含む）	購入	100 %	55 枚	55 枚	100 %	100 %	0 枚		0 枚				
		リース・レンタル（新規）		0 枚	0 枚			0 枚		0 枚				
		リース・レンタル（継続）		0 枚	0 枚					0 枚				
	ふとん	購入	100 %	0 枚	0 枚	%	%	0 枚		0 枚				
		リース・レンタル（新規）		0 枚	0 枚			0 枚		0 枚				
		リース・レンタル（継続）		0 枚	0 枚					0 枚				
	ベッドフレーム	購入	100 %	0 台	0 台	%	%	0 台		0 台				
		リース・レンタル（新規）		0 台	0 台			0 台		0 台				
		リース・レンタル（継続）		0 台	0 台					0 台				
	マットレス	購入	100 %	0 個	0 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
		リース・レンタル（新規）		88 個	88 個			0 個		0 個				
		リース・レンタル（継続）		0 個	0 個					0 個				
作業手袋(1)	作業手袋（災害備蓄用を含む）		100 %	2688 組	2688 組	100 %	100 %	0 組		0 組				
その他繊維製品(7)	集会用テント（災害備蓄用を含む）	購入	100 %	1 点	1 点	100 %	100 %	0 台		0 点				
		リース・レンタル（新規）		0 点	0 点			0 台		0 点				
		リース・レンタル（継続）		0 点	0 点					0 点				
	ブルーシート（災害備蓄用を含む）	購入	100 %	0 点	0 点	%	%	0 枚		0 点				
		リース・レンタル（新規）		0 点	0 点			0 枚		0 点				
		リース・レンタル（継続）		0 点	0 点					0 点				
	防球ネット		100 %	0 点	0 点	%	%	0 枚		0 点				
	旗		100 %	8 点	8 点	100 %	100 %	0 枚		0 点				
	のぼり		100 %	0 点	0 点	%	%	0 枚		0 点				
	幕		100 %	0 点	0 点	%	%	0 枚		0 点				
	モップ	購入	100 %	1 点	1 点	100 %	100 %	0 点		0 点				
		リース・レンタル（新規）		0 点	0 点			0 点		0 点				
		リース・レンタル（継続）		0 点	0 点					0 点				
設備(7)	太陽光発電システム		0 kW	0 kW	0 kW	%	%	0 kW		0 kW				調達予定なし
	太陽熱利用システム		0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	%	%	0 ㎡		0 ㎡				調達予定なし
	燃料電池		0 kW	0 kW	0 kW	%	%							調達予定なし

表2-5 特定調達品目（物品・役務）調達実績集計表（2018年度）（12/13）

分野	品目			①目標値	②総調達量	③特定調達物品等の調達量	④特定調達物品等の調達率 ＝③/②	⑤目標達成率 ＝④/①（一部＝③/①）	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合（プレミアム基準による調達を含む） ⑥調達量 ③の内数	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	判断の基準を満足しない物品等を調達した場合 ⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例	⑩環境への配慮の内容	⑪主な理由	⑫備考
設備(7)	エネルギー管理システム			0 件	0 件	0 件	%	%	0 件						調達予定なし
	生ゴミ処理機	食堂事業者が設置		0 台	0 台	0 台	%	%							調達予定なし
		自ら設置	購入		0 台	0 台									
			リース・レンタル（新規）		0 台	0 台									
			リース・レンタル（継続）		0 台	0 台									
	節水機器			0 %	0 個	0 個	%	%	0 個		0 個				調達予定なし
	日射調整フィルム			0 %	0 ㎡	0 ㎡	%	%	0 ㎡		0 ㎡				調達予定なし
災害備蓄用品（15）（既存品目以外の10品目）	ペットボトル飲料水			100 %	862 本	862 本	100 %	100 %	0 本		0 本				
	アルファ化米			100 %	510 個	510 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	保存パン			100 %	0 個	0 個	%	%	0 個		0 個				
	乾パン			100 %	96 個	96 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	レトルト食品等			100 %	444 個	444 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	栄養調整食品			100 %	0 個	0 個	%	%	0 個		0 個				
	フリーズドライ食品			100 %	40 個	40 個	100 %	100 %	0 個		0 個				
	非常用携帯燃料			100 %	0 個	0 個	%	%	0 個		0 個				
	携帯発電機			100 %	1 台	1 台	100 %	100 %	0 台		0 台				
	非常用携帯電源			100 %	0 個	0 個	%	%	0 個		0 個				
公共工事(70)	別途														
役務(20)	省エネルギー診断			0 件	0 件	0 件	%	%							調達予定なし
	印刷			100 %	284 件	284 件	100 %	100 %	0 件		0 件				
	食堂		生ゴミ処理機設置	2 件	0 件	0 件	100 %	100 %							
			処理委託		2 件	2 件									
	自動車専用タイヤ更生		更生タイヤ（リトレッド）	0 件	0 件	0 件	%	%							調達予定なし
			リグルーブ		0 件	0 件									
	自動車整備			100 %	7 件	7 件	100 %	100 %	0 件		0 件				
		部品交換を伴う整備（リユース・リビルド部品）				0 件									
		判断基準を要件として求めて発注したもの				0 件									
		エンジン洗浄				0 件									
	庁舎管理			100 %	33 件	33 件	100 %	100 %	0 件		0 件				
	植栽管理			100 %	23 件	23 件	100 %	100 %	0 件		0 件				

表2-5 特定調達品目(物品・役務)調達実績集計表(2018年度)(13/13)

分野	品目		①目標値	②総調達量	③特定調達物品等の調達量	④特定調達物品等の調達率 =③/②	⑤目標達成率 =④/① (一部=③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合(プレミアム基準による調達を含む) ⑥調達量 ③の内数	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合(プレミアム基準による調達を含む) ⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	判断の基準を満足しない物品等を調達した場合 ⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例	⑩環境への配慮の内容	⑪主な理由	⑫備考
役務(20)	加燻試験		100 %	0 件	0 件	%	%	0 件		0 件				
	清掃		100 %	15 件	15 件	100 %	100 %	0 件		0 件				
	タイルカーペット洗浄		100 %	1 件	1 件	100 %	100 %	0 件		0 件				
	機密文書処理		100 %	1 件	1 件	100 %	100 %	0 件		0 件				
	害虫防除		100 %	3 件	3 件	100 %	100 %	0 件		0 件				
	輸配送		100 %	16 件	16 件	100 %	100 %	0 件		0 件				
	旅客輸送		100 %	0 件	0 件	%	%	0 件		0 件				
	蛍光灯機能提供業務		0 件	0 件	0 件	%	%	0 件		0 件				調達予定なし
	庁舎等において営業を行う小売業務		0 件	0 件	0 件	%	%	0 件		0 件				調達予定なし
	クリーニング		100 %	443 件	23 件	5 %	5 %	0 件		420 件	ウエットクリーニング	ドレンの回収	機能・性能上の必要性	汗等の汚れ除去の為
	飲料自動販売機設置	缶・ボトル飲料自動販売機	100 %	1 台	1 台	100 %	100 %	0 台		0 台				
		紙容器飲料自動販売機		0 台	0 台			0 台		0 台				
		カップ式飲料自動販売機		0 台	0 台			0 台		0 台				
	引越輸送		100 %	6 件	6 件	100 %	100 %	0 件		0 件				
	会議運営		100 %	0 件	0 件	%	%	0 件		0 件				

表2-6 特定調達品目（公共工事）調達実績集計表（2018年度）

	品目名		単位	数量			数量割合（%）	備考
	品目分類	品目名		特定調達物品等	類似品等	合計		
1	盛土材等	建設汚泥から再生した処理土	m^3	0	0	0	0	
2		土工用水砕スラグ	m^3	0				
3		銅スラグを用いたケーソン中詰め材	m^3	0				
4		フェロニッケルスラグを用いたケーソン中詰め材	m^3	0				
5	地盤改良材	地盤改良用製鋼スラグ	m^3	0	0	0	0	
6	アスファルト混合物	再生加熱アスファルト混合物	t	548	0	548	100	
7		鉄鋼スラグ混入アスファルト混合物	t	0				
8		中温化アスファルト混合物	t	0				
9	コンクリート用スラグ骨材	高炉スラグ骨材	m^3	0	0	0	0	
10		フェロニッケルスラグ骨材	m^3	0				
11		銅スラグ骨材	m^3	0				
12		電気炉酸化スラグ骨材	m^3	0				
13	路盤材	鉄鋼スラグ混入路盤材	m^3	0	354	1,488	76	
14		再生骨材等	m^3	1,134				
15	小径丸太	間伐材	m^3	0				
16	混合セメント	高炉セメント	t	0	0	0	0	
17		フライアッシュセメント	t	0				
16-1		生コンクリート（高炉）	m^3	782	0	964	100	
17-1		生コンクリート（フライアッシュ）	m^3	182				
18	セメント	エコセメント	個	0				集計対象は、コンクリート2次製品
19	コンクリート及びコンクリート製品	透水性コンクリート	m^3	0				
19-1		透水性コンクリート2次製品	個	0				
20	鉄鋼スラグ水和固化体	鉄鋼スラグブロック	kg	0	0	0	0	
21	吹付けコンクリート	フライアッシュを用いた吹付けコンクリート	m^3	0	0	0	0	
22	塗料	下塗用塗料（重防食）	kg	0	0	0	0	
23		低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料	m^2	0	0	0	0	
24		高日射反射率塗料	m^2	484	0	484	100	
25	防水	高日射反射率防水	m^2	0	0	0	0	
26	舗装材	再生材料を用いた舗装用ブロック（焼成）	m^2	0	0	0	0	
27		再生材料を用いた舗装用ブロック類（プレキャスト無筋コンクリート製品）	m^2	0				
28	園芸資材	バークたい肥	kg	0	0	0	0	
29		下水汚泥を用いた汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）	kg	0				
30	道路照明	LED道路照明	台	48	0	48	100	
31	中央分離帯ブロック	再生プラスチック製中央分離帯ブロック	個	0	0	0	0	
32	タイル	セラミックタイル	m^2	0	0	0	0	
33	建具	断熱サッシ・ドア	工事数	3				
34	製材等	製材	m^3	0				
35		集成材	m^3	0				
36		合板	m^2	725				
			m^3	0				
37		単板積層材	m^3	0				
38		直交集成板	m^3	0				
39	フローリング	フローリング	m^2	0	0	0	0	
40	再生木質ボード	パーティクルボード	m^2	0	0	0	0	
41		繊維板	m^2	0	0	0	0	
42		木質系セメント板	m^2	0	0	0	0	
43	木材・プラスチック複合材製品	木材・プラスチック複合材製品	m^3	0	0	0	0	
44	ビニル系床材	ビニル系床材	m^2	94	0	94	100	
45	断熱材	断熱材	工事数	31				
46	照明機器	照明制御システム	工事数	23	0	23	100	
47	変圧器	変圧器	台	17	0	17	100	
48	空調用機器	吸収冷温水機	台	0	0	0	0	
49		氷蓄熱式空調機器	台	0	0	0	0	
50		ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機	台	0	0	0	0	
51		送風機	台	2	0	2	100	
52		ポンプ	台	18	0	18	100	
53	配管材	排水・通気用再生硬質ポリ塩化ビニル管	m	446	0	446	100	
54	衛生器具	自動水栓	工事数	0	0	0	0	
55		自動洗浄装置及びその組み込み小便器	工事数	0	0	0	0	
56		洋風便器	工事数	2	0	2	100	
57	コンクリート用型枠	再生材料を使用した型枠	工事数	0				
58		合板型枠	工事数	20				
59	建設機械	排出ガス対策型建設機械	工事数	71	3	74	96	
60		低騒音型建設機械	工事数	56	3	59	95	
61	建設発生土有効利用工法	低品質土有効利用工法	工事数	0	0	0	0	
62	建設汚泥再生処理工法	建設汚泥再生処理工法	工事数	0	0	0	0	
63	コンクリート塊再生処理工法	コンクリート塊再生処理工法	工事数	2	0	2	100	
64	舗装（表層）	路上表層再生工法	工事数	0				
			m^2	0				
65	舗装（路盤）	路上再生路盤工法	工事数	0				
			m^2	0				
66	法面緑化工法	伐採材又は建設発生土を活用した法面緑化工法	工事数	0	0	0	0	
			m^2	0	0	0	0	
67	山留め工法	泥土低減型ソイルセメント柱列壁工法	工事数	0	0	0	0	
68	高機能舗装	排水性舗装	m^2	0				
69		透水性舗装	m^2	917				
70	屋上緑化	屋上緑化	m^2	0				

表2-7 大気汚染物質の測定結果（2018年度）(1/2)

拠点名（台数）	設備名	NOx濃度(ppm)			SOx濃度(Nm^3/h)			ばいじん濃度(g/ Nm^3)			測定日その他	規制値の根拠
		規制値	実測値	実測比率(%)	規制値	実測値	実測比率(%)	規制値	実測値	実測比率(%)		
幌延（1台）	ゆめ地創館ボイラ	180	79	43.89	2.4	<0.01	—	0.3	<0.01	—	2018/12/25	
		180	73		2.4	<0.01		0.3	<0.01		2019/02/12	
むつ（2台）	真空ボイラ1（むつ・動力棟）	180	76	42.22	6.74	0.02	0.3	0.3	0.004	1.33	2019/01/30	
	真空ボイラ2（むつ・保管建屋）	180	107	59.44	1.86	0.01	0.54	0.3	0.007	2.33	2019/01/30	
富岡（1台）	ばい煙発生装置	180	0	0.0	0.15	0	0.0	0.2	0.003	1.5	2019/03/18	
原科研（J-PARCを含む）（6台）	熱媒ボイラ	150	31	26.67	5.14	<0.01	—	0.05	<0.005	—	2018/07/09	
			40			<0.01			<0.005		2019/01/21	
	構内第2ボイラ1	150	50	39.33	5.4	<0.01	—	1	<0.005	—	2018/09/18	
			59			<0.01			<0.005		2019/03/05	
	構内第2ボイラ2	150	49	38.67	5.4	<0.01	—	1	<0.005	—	2018/09/18	
			58			<0.01			<0.005		2019/03/05	
	構内第2ボイラ3	150	51	38.67	5.4	<0.01	—	1	<0.005	—	2018/09/19	
			58			<0.01			<0.005		2019/03/05	
	構内第2ボイラ4	150	48	42.67	5.4	<0.01	—	1	<0.005	—	2018/09/19	
			64			<0.01			<0.005		2019/02/04	
	構内第2ボイラ5	150	43	36.67	5.4	<0.01	—	1	<0.005	—	2018/09/19	
			55			<0.01			<0.005		2019/02/04	
サイクル研（3台）	ボイラ(B-1)	150	40～52	34.67	56.99 *1	0.16～0.3	0.53	0.25	<0.004	—	—	大気汚染防止法 *1:茨城県指導値
	ボイラ(B-2)	150	47～64	42.67	56.99 *1	0.15～0.55	0.97	0.25	<0.005～0.008	3.2	—	
	ボイラ(B-3)	150	57	38.0	56.99 *1	0.15	0.26	0.25	<0.005	—	—	
大洗（11台）	JMTR No.1ボイラ	180	89	61.11	5.6	0.14	2.81	0.3	0.04	13.33	2018/12/21	大気汚染防止法
		180	110		5.7	0.16		0.3	0.01		2019/02/18	
	JMTR No.2ボイラ	180	52	61.11	4.9	0.05	2.12	0.3	0.02	6.67	2018/12/21	
		180	110		5.2	0.11		0.3	0.01		2019/02/18	

表2-7 大気汚染物質の測定結果（2018年度）（2/2）

拠点名（台数）	設備名	NOx濃度(ppm)			SOx濃度(Nm^3/h)			ばいじん濃度(g/ Nm^3)			測定日その他	規制値の根拠
		規制値	実測値	実測比率（%）	規制値	実測値	実測比率（%）	規制値	実測値	実測比率（%）		
大洗（11台）	「常陽」No.1ボイラ	250	30	30.4	7.571	0.043	0.59	0.3	0.015	5.0	2018/06/26	大気汚染防止法
		250	76		8.135	0.048		0.3	0.001		2018/12/17	
	「常陽」No.2ボイラ	250	44	25.6	7.491	0.04	1.71	0.3	0.003	1.0	2018/06/26	
		250	64		8.424	0.144		0.3	0.001		2018/12/17	
	「常陽」No.3ボイラ	250	41	39.6	7.52	0.033	2.45	0.3	0.011	3.67	2018/06/26	
		250	99		8.067	0.198		0.3	0.001		2018/12/17	
	構内 No.1ボイラ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	＊構内 No.1ボイラ及び構内 No.3ボイラは故障により測定不能
	構内 No.2ボイラ	180	102	56.67	6.418	0.135	2.1	0.3	0.001	0.33	2019/02/22	
	構内 No.3ボイラ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	処理棟 No.1ボイラ	180	38	36.11	4.42	0.011	0.55	0.3	0.003	1.0	2018/06/04	
		180	65		4.54	0.025		0.3	0.002		2019/02/18	
	処理棟 No.2ボイラ	180	34	34.44	4.42	0.011	0.7	0.3	0.003	1.0	2018/06/04	
		180	62		4.54	0.032		0.3	0.001		2019/02/18	
	燃研棟ボイラ	180	74	41.11	0.58	0.0073	1.26	0.3	0.005	1.67	2019/02/05	
もんじゅ（2台）	補助ボイラA号機	150	70～78	52.0	18.4～18.8	<0.047～<0.053	－	0.25	0.0011～0.0027	1.08	2018/06/27 2019/02/15	
	補助ボイラB号機	150	65～75	50.0	17.9～18.4	<0.044～<0.047	－	0.25	<0.0010	－	2018/07/27 2018/11/22	
人形（3台）	2号ボイラ	180	87	54.44	4.1	0.45	19.05	0.3	0.01	10.0	2018/05/14	
		180	98		4.2	0.8		0.3	0.03		2018/11/21	
	3号ボイラ	180	77	48.33	4.1	0.39	26.19	0.3	0.02	6.67	2018/05/14	
		180	87		4.2	1.1		0.3	0.02		2018/11/21	
	4号ボイラ	180	97	53.89	4.2	0.47	16.19	0.3	0.02	6.67	2018/05/14	
		180	92		4.2	0.68		0.3	0.02		2018/11/21	

表2-8 ダイオキシン類の測定結果(2018年度)

拠点名	設備名等	主な焼却物	焼却量等(t)	大気(ng-TEQ/Nm^3)		水域(pg-TEQ/ℓ)		焼却能力	測定頻度
				規制値	実測値	規制値	実測値		
サイクル研	一般廃棄物処理施設(焼却炉)	紙くず、雑芥	0	5	−	−	−	焼却能力:500kg/h 火床面積:21m^2 火格子:なし	測定(1回/年)
	一般廃棄物処理施設(溶融炉)	焼却灰	0	5	−	−	−	焼却能力:500kg/h 火床面積:15m^2 火格子:なし	測定(1回/年)
	産業廃棄物処理施設(焼却炉)	紙・布・木材・ゴム・廃プラ等	0.96	10	0.11	10	0.66	焼却能力:62.5kg/h 火床面積:3.3m^2 火格子:なし	測定(1回/年)
大洗	一般廃棄物処理施設(焼却炉)	紙・布・木材・プラスチック等	0	10	0	−	0	焼却能力:30kg/h 火床面積:1.68m^2 火格子:なし	測定(1回/年)
もんじゅ	一般廃棄物処理施設(焼却炉)	紙くず、雑芥	45.94	10	1.6	−	−	焼却能力:70kg/h 火床面積:4.7m^2 火格子:なし	測定(1回/年)
合 計			46.90						

表2-9 水資源投入量及び排水量(2018年度)

拠点名/項目	2018年度 投入量												2018年度 排水量									
	上水道(m^3)		工業用水(m^3)		地下水・井戸水(m^3)		河川水・湖沼(m^3)		投入量(m^3)		各拠点の割合(%)		下水道(m^3)		公共用水域				排水量(m^3)		各拠点の割合(%)	
															非管理区域排水(m^3)		管理区域排水(m^3)					
幌延	2,138.0		0.0		0.0		0.0		2,138.0		0.10		0.0		51,686.0		0.0		51,686.0		1.46	
むつ	1,371.0		0.0		8,305.0		0.0		9,676.0		0.45		9,676.0		0.0		0.0		9,676.0		0.27	
福島拠点	3,383.3		1,601.0		0.0		0.0		4,984.3		0.23		4,013.0		971.3		0.0		4,984.3		0.14	
楢葉		925.0		1,601.0		0.0		0.0		2,526.0		0.12		2,526.0		0.0		0.0		2,526.0		0.07
三春		1,157.0		0.0		0.0		0.0		1,157.0		0.05		1,157.0		0.0		0.0		1,157.0		0.03
富岡		330.0		0.0		0.0		0.0		330.0		0.02		330.0		0.0		0.0		330.0		0.01
大熊		971.3		0.0		0.0		0.0		971.3		0.05		0.0		971.3		0.0		971.3		0.03
本部	3,485.0		0.0		0.0		0.0		3,485.0		0.16	0.00	3,485.0		0.0		0.0		3,485.0		0.10	
原科研(J-PARCを含む)	50,351.0		1,252,988.0		0.0		0.0		1,303,339.0		61.27	0.00	67,974.0		2,205,282.9		5,187.6		2,278,444.5		64.19	
サイクル研	38,950.0		261,420.0		0.0		0.0		300,370.0		14.12	0.00	0.0		184,567.0		8,675.0		193,242.0		5.44	
大洗	0.0		0.0		291,682.0		48,600.0		340,282.0		16.00	0.00	0.0		326,897.8		955.9		327,853.7		9.24	
NEAT	1,188.0		0.0		1,373.7		0.0		2,561.7		0.12	0.00	2,561.7		0.0		0.0		2,561.7		0.07	
NEAT茨城		1,188.0		0.0		0.0		0.0		1,188.0		0.00		1,188.0		0.0		0.0		1,188.0		0.03
NEAT福井		0.0		0.0		1,373.7		0.0		1,373.7		0.00		1,373.7		0.0		0.0		1,373.7		0.04
東濃	3,352.0		0.0		0.0		0.0		3,352.0		0.16		3,035.0		285,045.0		0.0		288,080.0		8.12	
敦賀	2,938.5		0.0		0.0		0.0		2,938.5		0.14		2,938.5		0.0		0.0		2,938.5		0.08	
もんじゅ	0.0		0.0		0.0		48,741.9		48,741.9		2.29		0.0		46,766.9		0.0		46,766.9		1.32	
ふげん	0.0		0.0		0.0		78,903.0		78,903.0		3.71		0.0		76,475.7		2,427.3		78,903.0		2.22	
敦総研(白木地区:旧も運研)	646.0		0.0		0.0		871.0		1,517.0		0.07		1,517.0		0.0		0.0		1,517.0		0.04	
人形	0.0		0.0		25,007.6		0.0		25,007.6		1.18		7,127.3		251,654.9		353.7		259,135.8		7.30	
合計(m^3)	107,802.8		1,516,009.0		326,368.3		177,115.9		2,127,296.0		100.0		102,327.5		3,429,347.5		17,599.5		3,549,274.5		100.0	
総量に対する種別の割合(%)	5.07		71.26		15.34		8.33						2.88		96.62		0.50					
個々の種別の合計	1,623,811.8				503,484.2								102,327.5		3,446,947.0							
個々の種別の割合(%)	76.33				23.67								2.88		97.12							

表2-10-1 水質測定結果(水素イオン濃度等)(2018年度)(1/6)

拠点名	採取箇所	水素イオン濃度 (pH)		生物化学的酸素要求量 (BOD)		化学的酸素要求量 (COD)				浮遊物質量 (SS)				窒 素			
		規制値	実測値	規制値 (mg／ℓ)	実測値 (mg／ℓ)	規制値 (mg／ℓ)	実測値 (mg／ℓ)	総量 規制値 (kg/日)	総量 (kg/日)	規制値 (mg／ℓ)	実測値 (mg／ℓ)	総量 規制値 (kg/日)	総量 (kg/日)	規制値 (mg／ℓ)	実測値 (mg／ℓ)	総量 規制値 (kg/日)	総量 (kg/日)
幌延	排水処理施設の排出管	5.8～8.6	7.3～8.2	160(120)	0.8～1.8	規制対象外水域	0.6～9.0	－	－	200(150)	<1～2	－	－	規制対象外水域	8.9～21	－	－
	管理棟浄化槽排水	5.8～8.6	6.2～7.3	20	3.4～15	規制対象外水域	9～20	－	－	20	2～4	－	－	規制対象外水域	13～40	－	－
むつ	研究棟管理区域排水(大湊)	5.8～8.6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	研究棟非管理区域排水(大湊)	5.8～8.6	7.1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	管理区域排水(関根)	5.8～8.6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	非管理区域排水(関根)	5.8～8.6	7.1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
原科研(J-PARCを含む)	第1排水溝	5.0～9.0(海域)	7.1～8.0	10(15)＊1	<0.5～2.2	10(15)＊1	1.4～8.8	－	－	20(25)＊1	1.1～5.2	－	－	120 (日間平均60)	－	－	－
	第2排水溝	5.0～9.0(海域)	7.4～8.1	10(15)＊1	<0.5～7.8	10(15)＊1	1.8～9.0	－	－	20(25)＊1	1.1～17.0	－	－	120 (日間平均60)	－	－	－
	第3排水溝	5.0～9.0(海域)	7.0～7.7	10(15)＊1	<0.5～1.8	10(15)＊1	1.2～5.4	－	－	20(25)＊1	0.6～1.2	－	－	120 (日間平均60)	－	－	－
サイクル研	第1排水溝	5.8～8.6 ＊1	7.5～7.8	25(20)＊2	<0.5～1.0	20	－	－	－	40(30)＊2	2.4～6.4	－	－	／		／	－
	第2排水溝	海域5.0～9.0 ＊1	6.8～7.7	20	<1.0	20 ＊2	0.6～2.1	－	－	30 ＊2	<1.0～4.0	－	－	100 ＊1	1.0～3.8	／	－
	再処理施設海中放出管	海域5.0～9.0 ＊1	6.9～7.6	20	<1.0	20 ＊2	0.2～1.0	－	－	30 ＊2	<1.0	－	－	／	0.52～1.30	／	－
大洗	一般排水溝	5.0～9.0(海域)	7.6～8.0	25(20)＊1	1.3～11	25(20)＊1	3.6～10	－	－	40(30)＊1	<1～8	－	－	規制対象外水域	0.7～16	－	－

表2-10-1 水質測定結果(水素イオン濃度等)(2018年度)(2/6)

拠点名	採取箇所	リン				大腸菌群数		ノルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油類)		ノルマルヘキサン抽出物質含有量(動植物油脂類)		フェノール類含有量		銅含有量		亜鉛含有量	
		規制値(mg／ℓ)	実測値(mg／ℓ)	総量規制値(kg/日)	総量(kg/日)	規制値(個)	実測値(個)	規制値(mg／ℓ)	実測値(mg／ℓ)	規制値(mg／ℓ)	実測値(mg／ℓ)	規制値(mg／ℓ)	実測値(mg／ℓ)	規制値(mg／ℓ)	実測値(mg／ℓ)	規制値(mg／ℓ)	実測値(mg／ℓ)
幌延	排水処理施設の排出管	規制対象外水域	0.10～0.19	－	－	3000	0	－	<0.5	－	<0.5	－	<0..01	－	<0.01	－	<0.03～0.06
	管理棟浄化槽排水	規制対象外水域	1.8～5.0	－	－	3000	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
むつ	研究棟管理区域排水(大湊)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	研究棟非管理区域排水(大湊)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	管理区域排水(関根)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	非管理区域排水(関根)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
原科研(J-PARCを含む)	第1排水溝	－	<0.1	－	－	3000	0	3(鉱油類)＊2	<1.0	－	－	0.5	<0.005	3	<0.05	5	<0.05～0.10
	第2排水溝	－	<0.1	－	－	3000	0～300	3(鉱油類)＊2	<1.0	－	－	0.5	<0.005	3	<0.05	5	<0.05～0.24
	第3排水溝	－	<0.1	－	－	3000	0	3(鉱油類)＊2	<1.0	－	－	0.5	<0.005	3	<0.05	5	<0.05
サイクル研	第1排水溝	－	－	－	－	3000 ＊1	0	5 ＊2	<1.0	10 ＊2	<1.0		<0.005	3	<0.005	2	0.13～0.63
	第2排水溝	－	－	－	－	－	－	5	<0.5	－	－	－	－	3	<0.007～0.025	2	<0.04～0.043
	再処理施設海中放出管	－	－	－	－	－	－	5	<0.5	－	－	－	－	3	<0.007	2	<0.04～0.042
大洗	一般排水溝	規制対象外水域	0.08～2.7	－	－	3000	<50～650	5	<1	10 ＊1	1		<0.05		<0.01～0.08		0.02～1.6

表2-10-1 水質測定結果(水素イオン濃度等)(2018年度)(3/6)

拠点名	採取箇所	溶解性鉄含有量		溶解性マンガン含有量		クロム含有量		規制値の根拠等
		規制値 (mg／ℓ)	実測値 (mg／ℓ)	規制値 (mg／ℓ)	実測値 (mg／ℓ)	規制値 (mg／ℓ)	実測値 (mg／ℓ)	
幌延	排水処理施設の排出管	－	<0.2	－	<0.1	－	<0.02	・水質汚濁防止法 ・BOD及びSSの規制値の記述法：最大（日間平均）
	管理棟浄化槽排水	－	－	－	－	－	－	・北るもい漁業協同組合との確認書に記載の基準値
むつ	研究棟管理区域排水（大湊）	－	－	－	－	－	－	・自主測定
	研究棟非管理区域排水（大湊）	－	－	－	－	－	－	・自主測定
	管理区域排水（関根）	－	－	－	－	－	－	・自主測定
	非管理区域排水（関根）	－	－	－	－	－	－	・自主測定
原科研（J-PARCを含む）	第１排水溝	10	<0.05～0.07	1	<0.05	1	<0.05	・水質汚濁防止法 ＊1水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例（茨城県条例第11号） ・COD及びSSの規制値の記述法：最大（日間平均） ＊2県条例の規制値には、鉱油類(5)、動植物油脂類(3)があり、規制値のきびしい鉱油類で管理している。
	第２排水溝	10	<0.05～0.34	1	<0.05	1	<0.05	注1)(1)海洋への排水の場合はCODのみ適用。BODは自主測定。県条例第3条(3)に定められている。(2)県央地先水域への排水の場合、窒素、燐は除く。特別の排水基準茨城県公害防止条例において、水質汚濁防止法第3条第3項の規定に基づき国の一律基準にかえて適用される排水基準（上乗せ基準）が定められている。
	第３排水溝	10	0.05	1	<0.05	1	<0.05	注1)(1)海洋への排水の場合はCODのみ適用。BODは自主測定。県条例第3条(3)に定められている。(2)県央地先水域への排水の場合、窒素、燐は除く。特別の排水基準茨城県公害防止条例において、水質汚濁防止法第3条第3項の規定に基づき国の一律基準にかえて適用される排水基準（上乗せ基準）が定められている。
サイクル研	第１排水溝	10	<0.05～0.12	1	<0.05	1	<0.05	＊1水質汚濁防止法＊2水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例（茨城県条例第11号）・BOD、COD及びSSの規制値の記述法：最大（日間平均）
	第２排水溝	10	<0.01～0.029	1	0.0043～0.21	1	<0.007～0.022	＊1水質汚濁防止法＊2水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例（茨城県条例第11号）・BOD、COD及びSSの規制値の記述法：最大（日間平均）
	再処理施設海中放出管	10	<0.001～0.034	1	<0.001～0.0014	1	<0.007	＊1水質汚濁防止法＊2水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例（茨城県条例第11号）・BOD、COD及びSSの規制値の記述法：最大（日間平均）
大洗	一般排水溝		0.06～0.33		<0.01～0.02		<0.01	・水質汚濁防止法（排水基準を定める省令）＊1水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例（茨城県条例第11号）・BOD、COD及びSSの規制値の記述法：最大（日間平均）

表2-10-1 水質測定結果(水素イオン濃度等)(2018年度)(4/6)

拠点名	採取箇所	水素イオン濃度 (pH)		生物化学的酸素要求量 (BOD)		化学的酸素要求量 (COD)				浮遊物質量 (SS)				窒 素			
		規制値	実測値	規制値 (mg／ℓ)	実測値 (mg／ℓ)	規制値 (mg／ℓ)	実測値 (mg／ℓ)	総量規制値 (kg/日)	総量 (kg/日)	規制値 (mg／ℓ)	実測値 (mg／ℓ)	総量規制値 (kg/日)	総量 (kg/日)	規制値 (mg／ℓ)	実測値 (mg／ℓ)	総量規制値 (kg/日)	総量 (kg/日)
東濃	瑞浪超深地層研究所の排水口	6.5～8.5	7.0～7.3	－	－	－	－	－	－	25以下	2以下	－	－	－	－	－	－
	センター総合排水のマンホール	5.8～8.6	6.2～7.5	－	－	20	4.9～32	－	－	90 (日間平均70)	0.2未満～7	－	－	－	－	－	－
	東濃鉱山沈殿池の排水口	5.8～8.6	－	－	－	20	－	－	－	200 (日間平均150)	－	－	－	－	－	－	－
もんじゅ	排水口	5.0～9.0(海域)	7.2～7.3	－	－	≦50	1.6～2.1	2587	<0.10～0.10 ＊1	≦70	<1～1	3621	<0.10 ＊1	－	－	－	－
	排水処理設備出口	5.0～9.0(海域)	6.6	－	－	≦50	1.4～1.7	160	0.18～0.21 ＊1＊2	≦70	4～5	224	0.41～0.42 ＊1 ＊2	－	－	－	－
	廃液モニタタンク	－	－	－	－	≦50	<0.5	160	－	≦70	<0.1	224	－	－	－	－	－
	洗濯廃液モニタタンク	－	－	－	－	≦50	34.5～49.5	160	－	≦70	26.0～45.8	224	－	－	－	－	－
	白木仮設用地浄化槽	5.0～9.0(海域)	－	≦160	－	≦160	－	－	－	≦200	－	－	－	－	－	－	－
ふげん	浦底湾側(取水口側)	5.0～9.0	7.5	－	－	40	3.9	13.7	0.52	90	9	15.3	0.11	120	0.8	－	－
	若狭湾側(放水口側)	5.0～9.0	8.2	－	－	40	0.8	13.7	4.14	90	12	15.3	1.35	－	0.1	－	－
人形	放流水槽	5.8～8.6	6.8～7.8	10 ＊1	0.53～1.4	15 ＊1	0.5～6.2	81.98	0.6～9.3	10 ＊1	0.10～0.60	－	0.12～0.75	20 ＊1	<0.5～1.8	48.56	0.3～2.2
	車庫排水	5.8～8.6	6.9～7.6	3.0 ＊1	0.41～0.93	4.6 ＊1	1.4～3.2	0.12	0.0007～0.0031	15 ＊1	0.4～3.7	－	0.0002～0.0026	1.0 ＊1	<0.5	0.24	< 0.0007
	生活排水	5.8～8.6	7.2～7.6	15 ＊1	0.4 ～6.3	20 ＊1	5.7～17.4	4.5	0.05～0.38	15 ＊1	1.8～7.4	－	0.01～0.19	60 ＊1	6.8～28	4.5	0.08～0.72

表2-10-1 水質測定結果(水素イオン濃度等)(2018年度)(5/6)

拠点名	採取箇所	リン				大腸菌群数		ノルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油類)		ノルマルヘキサン抽出物質含有量(動植物油脂類)		フェノール類含有量		銅含有量		亜鉛含有量	
		規制値(mg／ℓ)	実測値(mg／ℓ)	総量規制値(kg/日)	総量(kg/日)	規制値(個)	実測値(個)	規制値(mg／ℓ)	実測値(mg／ℓ)	規制値(mg／ℓ)	実測値(mg／ℓ)	規制値(mg／ℓ)	実測値(mg／ℓ)	規制値(mg／ℓ)	実測値(mg／ℓ)	規制値(mg／ℓ)	実測値(mg／ℓ)
東濃	瑞浪超深地層研究所の排水口	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	センター総合排水のマンホール	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	東濃鉱山沈殿池の排水口	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
もんじゅ	排水口	－	－	－	－	－	－	5	<0.5	－	－	－	－	－	－	－	－
	排水処理設備出口	－	－	－	－	－	－	5	<0.5～0.6	－	－	－	－	－	－	－	－
	廃液モニタタンク	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	洗濯廃液モニタタンク	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	白木仮設用地浄化槽	－	－	－	－	3000	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ふげん	浦底湾側(取水口側)	16	<0.1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	若狭湾側(放水口側)	－	<0.1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
人形	放流水槽	3 ＊1	<0.1～0.17	4.89	0.06～0.42	3000	<300	1.0 ＊1	<1.0	－	<1.0	－	<0.025	－	<0.05	－	<0.05
	車庫排水	1.0 ＊1	<0.1	0.012	<0.00014	3000	<300	1.0 ＊1	<1.0	－	<1.0	－	<0.025	－	<0.05	－	<0.05～0.06
	生活排水	6 ＊1	0.38～2.45	0.45	0.003～0.05	3000	<300	1.0 ＊1	<1.0	－	<1.0	－	<0.025	－	<0.05	－	<0.05

表2-10-1　水質測定結果(水素イオン濃度等)(2018年度)(6/6)

拠点名	採取箇所	溶解性鉄含有量		溶解性マンガン含有量		クロム含有量		規制値の根拠等
		規制値 (mg／ℓ)	実測値 (mg／ℓ)	規制値 (mg／ℓ)	実測値 (mg／ℓ)	規制値 (mg／ℓ)	実測値 (mg／ℓ)	
東濃	瑞浪超深地層研究所の排水口	－	－	－	－	－	－	・瑞浪超深地層研究所に関わる環境保全協定・水質汚濁防止法に基づく排水基準を定める岐阜県条例(SS)・SSの規制値の記述法：最大(日間平均)
	センター総合排水のマンホール	－	－	－	－	－	－	・水質汚濁防止法・化学的酸素要求量に係る総量規制基準(岐阜県告示)(COD)・水質汚濁防止法に基づく排水基準を定める岐阜県条例(SS)・SSの規制値の記述法：最大(日間平均)・センター総合排水マンホールは排出水量が50立方メートル／日以下のため排水基準が適用されないが、同基準を目安に自主的に管理している。
	東濃鉱山沈殿池の排水口	－	－	－	－	－	－	・鉱山保安法・化学的酸素要求量に係る総量規制基準(岐阜県告示)(COD)・SSの規制値の記述法：最大(日間平均)
もんじゅ	排水口	－	－	－	－	－	－	・pH及びノルマルヘキサン抽出物質含有量：水質汚濁防止法 ・上記以外の項目：福井県公害防止条例(排水基準) ＊1：月間平均値
	排水処理設備出口	－	－	－	－	－	－	・pH及びノルマルヘキサン抽出物質含有量：水質汚濁防止法 ・上記以外の項目：福井県公害防止条例(排水基準) ＊1：月間平均値 ＊2：排水処理設備排水、廃液モニタタンク、洗濯廃液モニタタンク3つの合計値
	廃液モニタタンク	－	－	－	－	－	－	・福井県公害防止条例(排水基準)
	洗濯廃液モニタタンク	－	－	－	－	－	－	・福井県公害防止条例(排水基準)
	白木仮設用地浄化槽	－	－	－	－	－	－	・福井県条例(排水基準)＊1環境基準
ふげん	浦底湾側(取水口側)	－	－	－	－	－	－	福井県公害防止条例
	若狭湾側(放水口側)	－	－	－	－	－	－	福井県公害防止条例
人形	放流水槽	－	<0.1	－	<0.1	－	<0.1	・水質汚濁防止法＊1瀬戸内海環境保全特別措置法(届出値の最大値)
	車庫排水	－	0.2	－	<0.1	－	<0.1	・水質汚濁防止法＊1瀬戸内海環境保全特別措置法(届出値の最大値)
	生活排水	－	0.7～0.8	－	<0.1	－	<0.1	・水質汚濁防止法＊1瀬戸内海環境保全特別措置法(届出値の最大値)

表2-10-2 水質測定結果（カドミウム等）（2018年度）（1/5）

拠点名	採取箇所	カドミウム及びその化合物		シアン化合物		有機燐化合物		鉛及びその化合物		六価クロム化合物		砒素及びその化合物	
		規制値（mg/ℓ）	実測値（mg/ℓ）	規制値（mg/ℓ）	実測値（mg/ℓ）	規制値（mg/ℓ）	実測値（mg/ℓ）	規制値（mg/ℓ）	実測値（mg/ℓ）	規制値（mg/ℓ）	実測値（mg/ℓ）	規制値（mg/ℓ）	実測値（mg/ℓ）
幌延	排水処理施設の排出管	0.03	<0.01	1	<0.1	1	<0.1	0.1	<0..01	0.5	<0.02	0.1	<0.01
原科研（J-PARCを含む）	第１排水溝	0.03	<0.001	0.5	<0.01	1	<0.1	0.1	<0.01	0.5	<0.01	0.1	<0.01
	第２排水溝	0.03	<0.001	0.5	<0.01	1	<0.1	0.1	<0.01	0.5	<0.01	0.1	<0.01
	第３排水溝	0.03	<0.001	0.5	<0.01	1	<0.1	0.1	<0.01	0.5	<0.01	0.1	<0.01
サイクル研	第１排水溝（工務技術室）	0.03 ＊1	<0.001	0.5 ＊2	<0.01	1 ＊1	<0.1	0.1 ＊1	<0.01	0.5 ＊1	<0.01	0.1 ＊1	<0.01
	第２排水溝（Puセンター）	0.03 ＊1	<0.01	0.5 ＊2	<0.01	－	－	0.1 ＊1	<0.07	－	－	0.1 ＊1	<0.001
	再処理施設海中放出管	0.03 ＊1	<0.01	0.5 ＊2	<0.01	－	－	0.1 ＊1	<0.07	－	－	0.1 ＊1	<0.001
大洗	一般排水溝	0.03	<0.003	0.5 ＊1	<0.1	1	<0.1	0.1	<0.01	0.5	<0.01	0.1	<0.005
東濃	瑞浪超深地層研究所の排水口	0.003	0.003未満	検出されないこと	ND	検出されないこと	ND	0.01	0.005未満	0.05	0.02未満	0.01	0.005未満
	センター総合排水のマンホール	0.03	0.01未満	1	0.01未満	－	－	0.1	0.01未満	0.5	0.01未満	0.1	0.005未満
	東濃鉱山沈殿池の排水口	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ふげん	浦底湾側（取水口側）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	若狭湾側（放水口側）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
人形	放流水槽	0.03	<0.003	1	<0.01	1	<0.1	0.1	<0.01	0.5	<0.02	0.1	<0.005
	車庫排水	0.03	<0.003	1	<0.01	1	<0.1	0.1	<0.01	0.5	<0.02	0.1	<0.005
	生活排水	0.03	<0.003	1	<0.01	1	<0.1	0.1	<0.01	0.5	<0.02	0.1	<0.005

表2-10-2 水質測定結果（カドミウム等）（2018年度）（2/5）

拠点名	採取箇所	フッ素及びその化合物		水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物		ポリ塩化ビフェニル		トリクロロエチレン		テトラクロロエチレン		ジクロロメタン	
		規制値（mg/ℓ）	実測値（mg/ℓ）	規制値（mg/ℓ）	実測値（mg/ℓ）	規制値（mg/ℓ）	実測値（mg/ℓ）	規制値（mg/ℓ）	実測値（mg/ℓ）	規制値（mg/ℓ）	実測値（mg/ℓ）	規制値（mg/ℓ）	実測値（mg/ℓ）
幌延	排水処理施設の排出管	8	<0.8	－	不検出	－	<0.0005	－	<0.003	－	<0.001	－	<0.02
原科研（J-PARCを含む）	第1排水溝	8	<0.1	0.005	<0.0005	0.003	<0.0005	0.3	<0.0005	0.1	<0.0005	0.2	<0.001
	第2排水溝	8	<0.1～0.1	0.005	<0.0005	0.003	<0.0005	0.3	<0.0005	0.1	<0.0005	0.2	<0.001
	第3排水溝	8	<0.1～0.1	0.005	<0.0005	0.003	<0.0005	0.3	<0.0005	0.1	<0.0005	0.2	<0.001
サイクル研	第1排水溝（工務技術室）	8 ＊1	<0.1～0.2	0.005	<0.0005	0.003	<0.0005	0.3	<0.0005	0.1	<0.0005	0.2	<0.001
	第2排水溝（Puセンター）	8 ＊1	<0.1～1.0	0.005	<0.0005	－	－	－	－	－	－	－	－
	再処理施設海中放出管	8 ＊1	<0.1	0.005	<0.0005	－	－	－	－	－	－	－	－
大洗	一般排水溝	8 ＊1	<0.2	－	<0.0005	－	<0.0005	－	<0.0002	－	<0.0002	－	<0.0002
東濃	瑞浪超深地層研究所の排水口	0.8	0.6	－	ND	－	ND	－	0.001未満	－	0.0005未満	－	0.002未満
	センター総合排水のマンホール	8	0.05未満～0.79	－	0.0002未満	－	－	－	－	－	－	－	－
	東濃鉱山沈殿池の排水口	8	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ふげん	浦底湾側（取水口側）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	<0.0005	－	－
	若狭湾側（放水口側）	－	－	－	－	－	－	－	－	0.1	<0.0005	－	－
人形	放流水槽	0.5	<0.05～0.11	－	<0.0005	－	<0.0005	－	<0.001	－	<0.0005	－	<0.002
	車庫排水	0.5	<0.05	－	<0.0005	－	<0.0005	－	<0.001	－	<0.0005	－	<0.002
	生活排水	0.5	<0.05	－	<0.0005	－	<0.0005	－	<0.001	－	<0.0005	－	<0.002

表2-10-2 水質測定結果（カドミウム等）（2018年度）（3/5）

拠点名	採取箇所	四塩化炭素		1.2-ジクロロエタン		1.1-ジクロロエチレン		1.2-ジクロロエチレン		1.1.1-トリクロロエタン		1.1.2-トリクロロエタン	
		規制値 (mg/ℓ)	実測値 (mg/ℓ)	規制値 (mg/ℓ)	実測値 (mg/ℓ)	規制値 (mg/ℓ)	実測値 (mg/ℓ)	規制値 (mg/ℓ)	実測値 (mg/ℓ)	規制値 (mg/ℓ)	実測値 (mg/ℓ)	規制値 (mg/ℓ)	実測値 (mg/ℓ)
幌延	排水処理施設の排出管	－	<0.002	－	<0.004	－	<0.02	－	<0.04	－	<0.001	－	<0.006
原科研(J-PARCを含む)	第1排水溝	0.02	<0.0002	0.04	<0.0004	1	<0.001	0.4	<0.001	3	<0.0005	0.06	<0.0006
	第2排水溝	0.02	<0.0002	0.04	<0.0004	1	<0.001	0.4	<0.001	3	<0.0005	0.06	<0.0006
	第3排水溝	0.02	<0.0002	0.04	<0.0004	1	<0.001	0.4	<0.001	3	<0.0005	0.06	<0.0006
サイクル研	第1排水溝（工務技術室）	0.02	<0.0002	0.04	<0.0004	1	<0.001	0.4	<0.001	3	<0.0005	0.06	<0.0006
	第2排水溝（Puセンター）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	再処理施設海中放出管	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
大洗	一般排水溝	－	<0.0002	－	<0.0002	1	<0.0002	－	<0.0002	－	<0.0002	－	<0.0002
東濃	瑞浪超深地層研究所の排水口	－	0.0002未満	－	0.0004未満	－	0.002未満	－	0.004未満	－	0.0005未満	－	0.0006未満
	センター総合排水のマンホール	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	東濃鉱山沈殿池の排水口	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ふげん	浦底湾側（取水口側）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	若狭湾側（放水口側）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
人形	放流水槽	－	<0.0002	－	<0.0004	－	<0.002	－	<0.004	－	<0.0005	－	<0.0006
	車庫排水	－	<0.0002	－	<0.0004	－	<0.002	－	<0.004	－	<0.0005	－	<0.0006
	生活排水	－	<0.0002	－	<0.0004	－	<0.002	－	<0.004	－	<0.0005	－	<0.0006

表2-10-2 水質測定結果（カドミウム等）（2018年度）（4/5）

拠点名	採取箇所	1.3-ジクロロプロペン		テトラメチルチウラム ジスルフィド （別名チウラム）		2-クロロ-4.6-ビス （エチルアミノ）-s-トリアジン （別名シマジン）		S-4-クロロベンジル‖N, N-ジエチルチオカルバマート （別名チオベンカルブ）		ベンゼン		セレン及びその化合物	
		規制値 (mg/ℓ)	実測値 (mg/ℓ)	規制値 (mg/ℓ)	実測値 (mg/ℓ)	規制値 (mg/ℓ)	実測値 (mg/ℓ)	規制値 (mg/ℓ)	実測値 (mg/ℓ)	規制値 (mg/ℓ)	実測値 (mg/ℓ)	規制値 (mg/ℓ)	実測値 (mg/ℓ)
幌延	排水処理施設の排出管	—	<0.002	—	<0.006	—	<0.003	—	<0.02	—	<0.01	—	<0.01
原科研（J-PARCを含む）	第1排水溝	0.02	<0.0002	0.06	<0.001	0.03	<0.001	0.2	<0.001	0.1	<0.001	0.1	<0.01
	第2排水溝	0.02	<0.0002	0.06	<0.001	0.03	<0.001	0.2	<0.001	0.1	<0.001	0.1	<0.01
	第3排水溝	0.02	<0.0002	0.06	<0.001	0.03	<0.001	0.2	<0.001	0.1	<0.001	0.1	<0.01
サイクル研	第1排水溝（工務技術室）	0.02	<0.0002	0.06	<0.001	0.03	<0.001	0.2	<0.001	0.1	<0.001	0.1	<0.001
	第2排水溝（Puセンター）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	再処理施設海中放出管	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大洗	一般排水溝	—	<0.0002	—	<0.001	—	<0.001	—	<0.002	—	<0.0002	—	<0.005
東濃	瑞浪超深地層研究所の排水口	—	0.0002未満	—	0.0006未満	—	0.0003未満	—	0.002未満	—	0.001未満	—	0.002未満
	センター総合排水のマンホール	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	東濃鉱山沈殿池の排水口	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ふげん	浦底湾側（取水口側）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	若狭湾側（放水口側）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
人形	放流水槽	—	<0.0002	—	<0.0006	—	<0.0003	—	<0.002	—	<0.001	—	<0.005
	車庫排水	—	<0.0002	—	<0.0006	—	<0.0003	—	<0.002	—	<0.001	—	<0.005
	生活排水	—	<0.0002	—	<0.0006	—	<0.0003	—	<0.002	—	<0.001	—	<0.005

表2-10-2 水質測定結果（カドミウム等）（2018年度）（5/5）

拠点名	採取箇所	ほう素及びその化合物		アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物		塩化ビニルモノマー		1.4-ジオキサン		規制値の根拠等
		規制値 (mg/ℓ)	実測値 (mg/ℓ)	規制値 (mg/ℓ)	実測値 (mg/ℓ)	規制値 (mg/ℓ)	実測値 (mg/ℓ)	規制値 (mg/ℓ)	実測値 (mg/ℓ)	
幌延	排水処理施設の排出管	－	0.1～1.2	－	6.7～23	－	－	－	<0.05	・水質汚濁防止法
原科研（J-PARCを含む）	第1排水溝	－	<0.05～0.11	100	<0.1～5.9	－	<0.0002	－	<0.05	・茨城県生活環境の保全等に関する条例施行規則第17条及び水質汚濁防止法第3条第1項
	第2排水溝	－	<0.05	100	<0.1～0.8	－	<0.0002	－	<0.05	・茨城県生活環境の保全等に関する条例施行規則第17条及び水質汚濁防止法第3条第1項
	第3排水溝	－	<0.05～0.07	100	<0.1～7.0	－	<0.0002	－	<0.05	・茨城県生活環境の保全等に関する条例施行規則第17条及び水質汚濁防止法第3条第1項
サイクル研	第1排水溝（工務技術室）	10	<0.05	100	3.6～19	－	－	－	<0.05	＊1 水質汚濁防止法 ＊2 水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例（茨城県）
	第2排水溝（Puセンター）	－	－	100	1.0～3.8	－	－	－	－	＊1 水質汚濁防止法 ＊2 水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例（茨城県）
	再処理施設海中放出管	230	<0.02～0.023	100	－	－	－	－	－	＊1 水質汚濁防止法 ＊2 水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例（茨城県）
大洗	一般排水溝	－	<0.02～0.12	－	<1～9	－	－	－	<0.05	＊1：水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例その他は、水質汚濁防止法（排水基準を定める省令）
東濃	瑞浪超深地層研究所の排水口	－	0.57	－	0.39	－	－	－	0.005未満	
	センター総合排水のマンホール	－	0.1未満	－	0.02未満～34	－	－	－	－	
	東濃鉱山沈殿池の排水口	－	－	－	－	－	－	－	－	
ふげん	浦底湾側（取水口側）	－	－	－	－	－	－	－	－	
	若狭湾側（放水口側）	－	－	－	－	－	－	－	－	
人形	放流水槽	－	<0.1	－	<1.0	－	<0.002	－	<0.05	フッ素は岡山県との環境保全協定値、その他は水質汚濁防止法に基づく排水基準値
	車庫排水	－	<0.1	－	<1.0	－	<0.002	－	<0.05	フッ素は岡山県との環境保全協定値、その他は水質汚濁防止法に基づく排水基準値
	生活排水	－	<0.1	－	7.8～8.5	－	<0.002	－	<0.05	フッ素は岡山県との環境保全協定値、その他は水質汚濁防止法に基づく排水基準値

表2-11 PRTR法対象化学物質の排出・移動量（2018年度）

拠点	物質名 注1)	特定第1種	取扱量 [t]	排出量 注2)				移動量 注2)		主な使用、発生用途
				大気	公共用水域	土壌	埋立処分	下水道	その他事業所外への移動	
サイクル研	ダイオキシン類 ■	○		0.0057mg-TEQ	0.00033mg-TEQ	0mg-TEQ	0mg-TEQ	0mg-TEQ	0mg-TEQ	焼却炉運転による
	メチルナフタレン		73	370kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	ボイラーの燃料（A重油）として使用
大洗	メチルナフタレン		12.9	65kg	－	－	－	－	－	A重油（非常発電用、暖房用）の成分 燃焼排ガス中の残留物
もんじゅ	ダイオキシン類 ■	○		0.88mg-TEQ	0.0mg-TEQ	0.0mg-TEQ	0.0mg-TEQ	0.0mg-TEQ	0.060mg-TEQ	一般廃棄物の焼却
ふげん	キシレン		1.6	－	－	－	－	－	－	構内給油所・貫流ボイラー燃料
	1，2，4－トリメチルベンゼン		1.9	－	－	－	－	－	－	構内給油所・貫流ボイラー燃料
人形 注3)	ふっ化水素及びその水溶性塩 ▲			0kg	3.3kg	0kg	0kg	0kg	0kg	
	マンガン及びその化合物 ▲			0kg	74kg	0kg	0kg	0kg	0kg	
	メチルナフタレン		6.047	30kg	0kg	0kg	0kg	0kg	0kg	A重油

注1） ▲：鉱山保安法の対象施設の場合
■：ダイオキシン類対策特別措置法上の特定施設の場合
それ以外は第1種指定化学物質の年間取扱量1t以上の場合。ただし特定第1種指定化学物質の場合は年間取扱量0.5t以上の場合
注2） 単位：kg（ダイオキシンはmg-TEQ）
注3） 人形峠鉱山では、上記以外にも届出を行っているが、排出量、移動量はすべて検出していないことを確認している。

表2-12 PCB廃棄物保管量増減の理由及び取組内容（2018年度）

拠点名	増加の理由	減少の理由	備考
むつ	2018年10月に大湊施設研究棟の廃止済み天井クレーンより安定器4個を撤去したため、現在4個保管している。	2017年度安定器（高濃度）の保管量146個については、2019年2月から4月にかけて産廃処理が終了した。	－
原科研（J-PARCを含む）	その他（高濃度）は、非金属系汚染物の集計相違により17台増加、PCB油の処分により2台減少したため32台 （17＋17－2＝32）	トランス（低濃度）は、課電自然循環洗浄によって2台PCB廃棄物届出対象から除外により36台 （38－2＝36） コンデンサ（高濃度）は、17台処分により0台 （17－17＝0）。 安定器（高濃度）は、424台処分により1,692台 （2,116－424＝1,692）	－
サイクル研	－	－	－
大洗	－	コンデンサ等の高濃度PCB廃棄物を処分したため	安定器は全て「高濃度」に分類した。
人形	－	－	－

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ （幌延）（2018年度）(1/22)

廃棄物の分類	品名等		排出量〔kg〕	処理業者までの距離（km）	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体（市町村）	可燃物	0			
		不燃物	2,785			自治体で焼却処分していないため、すべて不燃物に分類した。
	外部委託	可燃物	0		0	
		不燃物	0		0	
	自治体及び外部委託の総量		2,785		0	
	再生利用	古紙	1,537		0	自治体（幌延町）が回収
		金属類	4		0	自治体（幌延町）が回収
		プラスチック類	258		0	自治体（幌延町）が回収
		その他	321		0	ビン・缶・ペットボトル（自治体（幌延町）が回収）
		再生利用総量	2,120		0	
	一般廃棄物総量		4,905		0	
特別管理一般廃棄物	廃エアコン等に含むPCB使用製品(1号廃棄物)		0		0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)		0		0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)		0		0	
	感染性一般(8号廃棄物)		0		0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量			4,905		0	
産業廃棄物	燃えがら		0		0	
	汚泥		2,395	311	745	地図ソフトを用いて距離を算出しているが、使用するソフトによって距離が異なる。
	廃油		4	311	1	
	廃酸		0	311	0	
	廃アルカリ		0	311	0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		0		0	
	紙くず		0		0	
	木くず		0		0	
	繊維くず		0		0	
	動植物性残さ		0		0	
	動物系固形不要物		0		0	
	ゴムくず		0		0	
	金属くず		100	311	31	
	ガラス及び陶磁器くず		0		0	
	鉱さい		0		0	
	がれき類		0		0	
	ばいじん		0		0	
	その他		0		0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		2,499		777	
	再生利用	金属類			0	
		プラスチック			0	
		その他			0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量			2,499		777	
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油		38	311	12	
	pH2.0以下の廃酸		58	311	18	
	pHが12.5以上の廃アルカリ		100	311	31	
	感染性産業廃棄物		0		0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿）		0		0	
	特定有害産業廃棄物（廃水銀）		0		0	
	特定有害産業廃棄物（廃PCB等）		0		0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿・廃水銀・廃PCB以外）		0		0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		196		61	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量			2,695		838	
全ての廃棄物 排出総量			7,600		838	

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ （むつ）（2018年度）(2/22)

廃棄物の分類	品名等		排出量〔kg〕	処理業者までの距離（km）	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体（市町村）	可燃物	0			
		不燃物	0			
	外部委託	可燃物	10,210	0	0	
		不燃物	450	0	0	
	自治体及び外部委託の総量		10,660		0	
	再生利用	古紙	0	0	0	
		金属類	0	0	0	
		プラスチック類	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		再生利用総量	0		0	
	一般廃棄物総量		10,660		0	
特別管理一般廃棄物	廃エアコン等に含むPCB使用製品(1号廃棄物)		0	0	0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)		0	0	0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)		0	0	0	
	感染性一般(8号廃棄物)		0	0	0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量			10,660		0	
産業廃棄物	燃えがら		0	0	0	
	汚泥		6	1,940	12	
	廃油		344	1,940	668	
	廃酸		87	1,940	169	
	廃アルカリ		8	1,940	15	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		4	1,940	7	
	紙くず		0	0	0	
	木くず		0	0	0	
	繊維くず		0	0	0	
	動植物性残さ		0	0	0	
	動物系固形不要物		0	0	0	
	ゴムくず		0	0	0	
	金属くず		0	0	0	
	ガラス及び陶磁器くず		0	0	0	
	鉱さい		0	0	0	
	がれき類		0	0	0	
	ばいじん		0	0	0	
	その他		3	1,940	5	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		451		875	
	再生利用	金属類	0	0	0	
		プラスチック	0	0	0	
		その他	0	0	0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量			451		875	
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油		0	0	0	
	pH2.0以下の廃酸		0	0	0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ		0	0	0	
	感染性産業廃棄物		0	0	0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿）		0	0	0	
	特定有害産業廃棄物（廃水銀）		0	0	0	
	特定有害産業廃棄物（廃PCB等）		0	0	0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿・廃水銀・廃PCB以外）		0	0	0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量			451		875	
全ての廃棄物　排出総量			11,111		875	

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ （福島拠点）（2018年度）(3/22)

廃棄物の分類	品名等		排出量〔kg〕	処理業者までの距離（km）	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体（市町村）	可燃物	0			
		不燃物	0			
	外部委託	可燃物	11,142	30	100	
		不燃物	250	8	2	
	自治体及び外部委託の総量		11,392		102	
	再生利用	古紙	0	0	0	
		金属類	0	0	0	
		プラスチック類	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		再生利用総量	0		0	
	一般廃棄物総量		11,392		102	
特別管理一般廃棄物	廃エアコン等に含むPCB使用製品(1号廃棄物)		0	0	0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)		0	0	0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)		0	0	0	
	感染性一般(8号廃棄物)		0	0	0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量			11,392		102	
産業廃棄物	燃えがら		0	0	0	
	汚泥		50	0	4	
	廃油		10	90	1	
	廃酸		0	0	0	
	廃アルカリ		360	80	29	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		4,890	0	404	
	紙くず		0	0	0	
	木くず		550	90	50	
	繊維くず		0	0	0	
	動植物性残さ		0	0	0	
	動物系固形不要物		0	0	0	
	ゴムくず		0	0	0	
	金属くず		3,490	0	178	
	ガラス及び陶磁器くず		10	80	1	
	鉱さい		0	0	0	
	がれき類		0	0	0	
	ばいじん		0	0	0	
	その他		0	0	0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		9,360		666	
	再生利用	金属類	0	0	0	
		プラスチック	0	0	0	
		その他	0	0	0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量			9,360		666	
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油		300	80	24	
	pH2.0以下の廃酸		840	80	67	
	pHが12.5以上の廃アルカリ		0	0	0	
	感染性産業廃棄物		0	0	0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿）		0	0	0	
	特定有害産業廃棄物（廃水銀）		0	0	0	
	特定有害産業廃棄物（廃PCB等）		0	0	0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿・廃水銀・廃PCB以外）		0	0	0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		1,140		91	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量			10,500		758	
全ての廃棄物 排出総量			21,892		860	

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ （楢葉）（2018年度）(4/22)

廃棄物の分類	品名等		排出量〔kg〕	処理業者までの距離（km）	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体（市町村）	可燃物				
		不燃物				
	外部委託	可燃物	8,040	8	64	
		不燃物	250	8	2	
	自治体及び外部委託の総量		8,290		66	
	再生利用	古紙			0	
		金属類			0	
		プラスチック類			0	
		その他			0	
		再生利用総量	0		0	
	一般廃棄物総量		8,290		66	
特別管理一般廃棄物	廃エアコン等に含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)				0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0	
	感染性一般(8号廃棄物)				0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量			8,290		66	
産業廃棄物	燃えがら				0	
	汚泥				0	
	廃油				0	
	廃酸				0	
	廃アルカリ				0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)				0	
	紙くず				0	
	木くず				0	
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不要物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず				0	
	ガラス及び陶磁器くず				0	
	鉱さい				0	
	がれき類				0	
	ばいじん				0	
	その他				0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		0		0	
	再生利用	金属類			0	
		プラスチック			0	
		その他			0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量			0		0	
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油				0	
	pH2.0以下の廃酸				0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ				0	
	感染性産業廃棄物				0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃水銀）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃PCB等）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿・廃水銀・廃PCB以外）				0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量			0		0	
全ての廃棄物　排出総量			8,290		66	

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ （三春）（2018年度）(5/22)

廃棄物の分類	品名等		排出量〔kg〕	処理業者までの距離（km）	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体（市町村）	可燃物	0			
		不燃物	0			
	外部委託	可燃物	0		0	
		不燃物	0		0	
	自治体及び外部委託の総量		0		0	
	再生利用	古紙	0		0	
		金属類	0		0	
		プラスチック類	0		0	
		その他	0		0	
		再生利用総量	0		0	
	一般廃棄物総量		0		0	
特別管理一般廃棄物	廃エアコン等に含むPCB使用製品(1号廃棄物)		0		0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)		0		0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)		0		0	
	感染性一般(8号廃棄物)		0		0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量			0		0	
産業廃棄物	燃えがら		0		0	
	汚泥		50	複数あり	4	
	廃油		10	90	1	
	廃酸		0		0	
	廃アルカリ		360	80	29	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		4,890	複数あり	404	
	紙くず		0		0	
	木くず		550	90	50	
	繊維くず		0		0	
	動植物性残さ		0		0	
	動物系固形不要物		0		0	
	ゴムくず		0		0	
	金属くず		3,490	複数あり	178	
	ガラス及び陶磁器くず		10	80	1	
	鉱さい		0		0	
	がれき類		0		0	
	ばいじん		0		0	
	その他		0		0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		9,360		666	
	再生利用	金属類	0		0	
		プラスチック	0		0	
		その他	0		0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量			9,360		666	
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油		300	80	24	
	pH2.0以下の廃酸		840	80	67	
	pHが12.5以上の廃アルカリ		0		0	
	感染性産業廃棄物		0		0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿）		0		0	
	特定有害産業廃棄物（廃水銀）		0		0	
	特定有害産業廃棄物（廃PCB等）		0		0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿・廃水銀・廃PCB以外）		0		0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		1,140		91	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量			10,500		758	
全ての廃棄物 排出総量			10,500		758	

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ （富岡）（2018年度）(6/22)

廃棄物の分類	品名等		排出量〔kg〕	処理業者までの距離（km）	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体（市町村）	可燃物				
		不燃物				
	外部委託	可燃物	1,370	6	8	
		不燃物			0	
	自治体及び外部委託の総量		1,370		8	
	再生利用	古紙			0	
		金属類			0	
		プラスチック類			0	
		その他			0	
		再生利用総量	0		0	
	一般廃棄物総量		1,370		8	
特別管理一般廃棄物	廃エアコン等に含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)				0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0	
	感染性一般(8号廃棄物)				0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量			1,370		8	
産業廃棄物	燃えがら				0	
	汚泥				0	
	廃油				0	
	廃酸				0	
	廃アルカリ				0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)				0	
	紙くず				0	
	木くず				0	
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不要物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず				0	
	ガラス及び陶磁器くず				0	
	鉱さい				0	
	がれき類				0	
	ばいじん				0	
	その他				0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		0		0	
	再生利用	金属類			0	
		プラスチック			0	
		その他			0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量			0		0	
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油				0	
	pH2.0以下の廃酸				0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ				0	
	感染性産業廃棄物				0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃水銀）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃PCB等）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿・廃水銀・廃PCB以外）				0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量			0		0	
全ての廃棄物　排出総量			1,370		8	

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ （大熊）（2018年度）(7/22)

廃棄物の分類	品名等		排出量〔kg〕	処理業者までの距離（km）	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体（市町村）	可燃物				
		不燃物				
	外部委託	可燃物	1,732	16	28	
		不燃物			0	
	自治体及び外部委託の総量		1,732		28	
	再生利用	古紙			0	
		金属類			0	
		プラスチック類			0	
		その他			0	
		再生利用総量	0		0	
	一般廃棄物総量		1,732		28	
特別管理一般廃棄物	廃エアコン等に含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)				0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0	
	感染性一般(8号廃棄物)				0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量			1,732		28	
産業廃棄物	燃えがら				0	
	汚泥				0	
	廃油				0	
	廃酸				0	
	廃アルカリ				0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)				0	
	紙くず				0	
	木くず				0	
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不要物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず				0	
	ガラス及び陶磁器くず				0	
	鉱さい				0	
	がれき類				0	
	ばいじん				0	
	その他				0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		0		0	
	再生利用	金属類			0	
		プラスチック			0	
		その他			0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量			0		0	
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油				0	
	pH2.0以下の廃酸				0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ				0	
	感染性産業廃棄物				0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃水銀）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃PCB等）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿・廃水銀・廃PCB以外）				0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量			0		0	
全ての廃棄物　排出総量			1,732		28	

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ （本部）（2018年度）(8/22)

廃棄物の分類	品名等		排出量〔kg〕	処理業者までの距離（km）	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体（市町村）	可燃物				
		不燃物				
	外部委託	可燃物	6,075	15	91	
		不燃物			0	
	自治体及び外部委託の総量		6,075		91	
	再生利用	古紙			0	
		金属類			0	
		プラスチック類			0	
		その他			0	
		再生利用総量	0		0	
	一般廃棄物総量		6,075		91	
特別管理一般廃棄物	廃エアコン等に含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)				0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0	
	感染性一般(8号廃棄物)				0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量			6,075		91	
産業廃棄物	燃えがら				0	
	汚泥				0	
	廃油				0	
	廃酸				0	
	廃アルカリ				0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		560	13	7	
	紙くず				0	
	木くず				0	
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不要物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず		370	複数あり	2	
	ガラス及び陶磁器くず		30	14	0	
	鉱さい				0	
	がれき類				0	
	ばいじん				0	
	その他				0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		960		10	
	再生利用	金属類			0	
		プラスチック			0	
		その他			0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量			960		10	
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油				0	
	pH2.0以下の廃酸				0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ				0	
	感染性産業廃棄物				0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃水銀）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃PCB等）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿・廃水銀・廃PCB以外）				0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量			960		10	
全ての廃棄物　排出総量			7,035		101	

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ （原科研(J-PARCを含む)）（2018年度）(9/22)

廃棄物の分類	品名等		排出量〔kg〕	処理業者までの距離（km）	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体（市町村）	可燃物				
		不燃物				
	外部委託	可燃物	1,395	4	6	グリーストラップ汚泥
		不燃物	10,824	2	22	浄化槽汚泥
	自治体及び外部委託の総量		12,219		27	
	再生利用	古紙	0	0	0	有価物に入力
		金属類	0	0	0	有価物に入力
		プラスチック類	11,100	7	81	廃プラスチック
		その他	42,115	9	358	伐採草木（36,200kg）、残飯（5,915kg）
		再生利用総量	53,215		439	
	一般廃棄物総量		65,434		466	
特別管理一般廃棄物	廃エアコン等に含むPCB使用製品(1号廃棄物)		0	0	0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)		0	0	0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)		0	0	0	
	感染性一般(8号廃棄物)		0	0	0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量			65,434		466	
産業廃棄物	燃えがら		0	0	0	
	汚泥		5,208	220	1,146	汚泥
	廃油		130	7	1	廃油
	廃酸		294	149	44	廃薬品
	廃アルカリ		243	220	53	廃薬品
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		10,260	7	72	OA機器
	紙くず				0	
	木くず		7,020	7	49	木くず
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不要物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず		14,770	70	1,034	金属くず
	ガラス及び陶磁器くず		920	7	6	蛍光灯、水銀灯、窓ガラス
	鉱さい				0	
	がれき類		290	19	6	
	ばいじん				0	
	その他		1,470	複数あり	51	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		40,605		2,461	
	再生利用	金属類	0	0	0	
		プラスチック	0	0	0	
		その他	0	0	0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量			40,605		2,461	
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油		0	0	0	
	pH2.0以下の廃酸		1,275	220	281	廃薬品
	pHが12.5以上の廃アルカリ		1,239	220	273	廃薬品
	感染性産業廃棄物		0	0	0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿）		0	0	0	
	特定有害産業廃棄物（廃水銀）		0	0	0	
	特定有害産業廃棄物（廃PCB等）		2,402	930	2,234	廃PCB
	特定有害産業廃棄物（廃石綿・廃水銀・廃PCB以外）		335	220	74	有害産業廃棄物
	特別管理産業廃棄物排出総量		5,251		2,861	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量			45,856		5,322	
全ての廃棄物 排出総量			111,290		5,788	

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ （サイクル研）（2018年度）(10/22)

廃棄物の分類	品名等		排出量〔kg〕	処理業者までの距離（km）	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体（市町村）	可燃物				
		不燃物				
	外部委託	可燃物	24,340	7	170	
		不燃物			0	
	自治体及び外部委託の総量		24,340		170	
	再生利用	古紙			0	
		金属類			0	
		プラスチック類			0	
		その他			0	
		再生利用総量	0		0	
	一般廃棄物総量		24,340		170	
特別管理一般廃棄物	廃エアコン等に含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)				0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0	
	感染性一般(8号廃棄物)				0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量			24,340		170	
産業廃棄物	燃えがら				0	
	汚泥		303	1,154	350	
	廃油		312	1,154	360	
	廃酸		361	1,154	417	
	廃アルカリ		1,072	1,154	1,237	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		11,770	1,106	13,018	
	紙くず				0	
	木くず		2,500	7	18	
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不要物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず		170	1,106	188	
	ガラス及び陶磁器くず		1,440	1,106	1,593	
	鉱さい				0	
	がれき類		280	1,106	310	
	ばいじん				0	
	その他		10,720	153	1,640	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		28,928		19,129	
	再生利用	金属類			0	
		プラスチック			0	
		その他			0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量			28,928		19,129	
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油		364	1,154	420	
	pH2.0以下の廃酸		814	1,154	939	
	pHが12.5以上の廃アルカリ		26	1,154	30	
	感染性産業廃棄物				0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃水銀）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃PCB等）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿・廃水銀・廃PCB以外）		3	1,106	3	
	特別管理産業廃棄物排出総量		1,207		1,393	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量			30,135		20,522	
全ての廃棄物 排出総量			54,475		20,692	

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ （大洗）（2018年度）(11/22)

廃棄物の分類	品名等		排出量〔kg〕	処理業者までの距離（km）	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体（市町村）	可燃物	0			
		不燃物	0			
	外部委託	可燃物	35,322	3	106	対前年度比0.66%の減少
		不燃物	0	0	0	
	自治体及び外部委託の総量		35,322		106	
	再生利用	古紙	0	0	0	
		金属類	0	0	0	
		プラスチック類	1,207	10	12	対前年度比4.1%の減少
		その他	428	10	4	対前年度比5.9%の減少
		再生利用総量	1,635		16	
	一般廃棄物総量		36,957		122	
特別管理一般廃棄物	廃エアコン等に含むPCB使用製品(1号廃棄物)		0	0	0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)		0	0	0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)		0	0	0	
	感染性一般(8号廃棄物)		0	0	0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量			36,957		122	
産業廃棄物	燃えがら				0	
	汚泥		102,310	複数あり	11,409	
	廃油		1,186	複数あり	178	
	廃酸				0	
	廃アルカリ				0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		1,650	22	35	
	紙くず		1,320	80	106	
	木くず		580	80	47	
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不要物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず		1,400	30	42	
	ガラス及び陶磁器くず		1,640	複数あり	56	
	鉱さい				0	
	がれき類		12,430	複数あり	561	
	ばいじん				0	
	その他				0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		122,516		12,433	
	再生利用	金属類			0	
		プラスチック			0	
		その他			0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量			122,516		12,433	
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油		697	1,168	814	
	pH2.0以下の廃酸		20	1,168	24	
	pHが12.5以上の廃アルカリ		1	1,168	1	
	感染性産業廃棄物		79	88	7	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿）		60	48	3	
	特定有害産業廃棄物（廃水銀）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃PCB等）		3,278	947	3,105	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿・廃水銀・廃PCB以外）		2	1,168	2	
	特別管理産業廃棄物排出総量		4,137		3,955	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量			126,653		16,388	
全ての廃棄物 排出総量			163,610		16,510	

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ （NEAT）（2018年度）(12/22)

廃棄物の分類	品名等		排出量〔kg〕	処理業者までの距離（km）	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体（市町村）	可燃物	0			
		不燃物	0			
	外部委託	可燃物	9,588	0	0	
		不燃物	0	0	0	
	自治体及び外部委託の総量		9,588		0	
	再生利用	古紙	2,240	0	0	
		金属類	0	0	0	
		プラスチック類	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		再生利用総量	2,240		0	
	一般廃棄物総量		11,828		0	
特別管理一般廃棄物	廃エアコン等に含むPCB使用製品(1号廃棄物)		0	0	0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)		0	0	0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)		0	0	0	
	感染性一般(8号廃棄物)		0	0	0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量			11,828		0	
産業廃棄物	燃えがら		0	0	0	
	汚泥		0	0	0	
	廃油		0	0	0	
	廃酸		0	0	0	
	廃アルカリ		0	0	0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		150	0	0	
	紙くず		0	0	0	
	木くず		0	0	0	
	繊維くず		0	0	0	
	動植物性残さ		0	0	0	
	動物系固形不要物		0	0	0	
	ゴムくず		0	0	0	
	金属くず		10	0	0	
	ガラス及び陶磁器くず		0	0	0	
	鉱さい		0	0	0	
	がれき類		0	0	0	
	ばいじん		0	0	0	
	その他		180	0	0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		340		0	
	再生利用	金属類	0	0	0	
		プラスチック	0	0	0	
		その他	0	0	0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量			340		0	
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油		0	0	0	
	pH2.0以下の廃酸		0	0	0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ		0	0	0	
	感染性産業廃棄物		0	0	0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿）		0	0	0	
	特定有害産業廃棄物（廃水銀）		0	0	0	
	特定有害産業廃棄物（廃PCB等）		0	0	0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿・廃水銀・廃PCB以外）		0	0	0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量			340		0	
全ての廃棄物 排出総量			12,168		0	

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ （NEAT茨城）（2018年度）(13/22)

廃棄物の分類	品名等		排出量〔kg〕	処理業者までの距離（km）	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体（市町村）	可燃物				
		不燃物				
	外部委託	可燃物	9,588		0	
		不燃物			0	
	自治体及び外部委託の総量		9,588		0	
	再生利用	古紙	2,240		0	
		金属類			0	
		プラスチック類			0	
		その他			0	
		再生利用総量	2,240		0	
	一般廃棄物総量		11,828		0	
特別管理一般廃棄物	廃エアコン等に含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)				0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0	
	感染性一般(8号廃棄物)				0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量			11,828		0	
産業廃棄物	燃えがら				0	
	汚泥				0	
	廃油				0	
	廃酸				0	
	廃アルカリ				0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		150		0	
	紙くず				0	
	木くず				0	
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不要物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず		10		0	
	ガラス及び陶磁器くず				0	
	鉱さい				0	
	がれき類				0	
	ばいじん				0	
	その他		180		0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		340		0	
	再生利用	金属類			0	
		プラスチック			0	
		その他			0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量			340		0	
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油				0	
	pH2.0以下の廃酸				0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ				0	
	感染性産業廃棄物				0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃水銀）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃PCB等）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿・廃水銀・廃PCB以外）				0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量			340		0	
全ての廃棄物　排出総量			12,168		0	

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ （東京地区）（2018年度）(14/22)

廃棄物の分類	品名等		排出量〔kg〕	処理業者までの距離（km）	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体（市町村）	可燃物	0			
		不燃物	0			
	外部委託	可燃物	1,766	0	0	
		不燃物	0	0	0	
	自治体及び外部委託の総量		1,766		0	
	再生利用	古紙	0	0	0	
		金属類	0	0	0	
		プラスチック類	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		再生利用総量	0		0	
	一般廃棄物総量		1,766		0	
特別管理一般廃棄物	廃エアコン等に含むPCB使用製品(1号廃棄物)		0	0	0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)		0	0	0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)		0	0	0	
	感染性一般(8号廃棄物)		0	0	0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量			1,766		0	
産業廃棄物	燃えがら		0	0	0	
	汚泥		0	0	0	
	廃油		0	0	0	
	廃酸		0	0	0	
	廃アルカリ		0	0	0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		1,365	24	33	
	紙くず		0	0	0	
	木くず		0	0	0	
	繊維くず		0	0	0	
	動植物性残さ		0	0	0	
	動物系固形不要物		0	0	0	
	ゴムくず		0	0	0	
	金属くず		2,486	24	60	
	ガラス及び陶磁器くず		0	0	0	
	鉱さい		0	0	0	
	がれき類		0	0	0	
	ばいじん		0	0	0	
	その他		860	2	2	廃プラスチック類、金属くず等の混合
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		4,711		94	
	再生利用	金属類	0	0	0	
		プラスチック	0	0	0	
		その他	0	0	0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量			4,711		94	
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油		0	0	0	
	pH2.0以下の廃酸		0	0	0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ		0	0	0	
	感染性産業廃棄物		0	0	0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿）		0	0	0	
	特定有害産業廃棄物（廃水銀）		0	0	0	
	特定有害産業廃棄物（廃PCB等）		0	0	0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿・廃水銀・廃PCB以外）		0	0	0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量			4,711		94	
全ての廃棄物 排出総量			6,477		94	

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ （東京）（2018年度）(15/22)

廃棄物の分類	品名等		排出量〔kg〕	処理業者までの距離（km）	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体（市町村）	可燃物				
		不燃物				
	外部委託	可燃物			0	
		不燃物			0	
	自治体及び外部委託の総量		0		0	
	再生利用	古紙			0	
		金属類			0	
		プラスチック類			0	
		その他			0	
		再生利用総量	0		0	
	一般廃棄物総量		0		0	
特別管理一般廃棄物	廃エアコン等に含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)				0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0	
	感染性一般(8号廃棄物)				0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量			0		0	
産業廃棄物	燃えがら				0	
	汚泥				0	
	廃油				0	
	廃酸				0	
	廃アルカリ				0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		1,365	24	33	
	紙くず				0	
	木くず				0	
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不要物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず		2,486	24	60	
	ガラス及び陶磁器くず				0	
	鉱さい				0	
	がれき類				0	
	ばいじん				0	
	その他				0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		3,851		92	
	再生利用	金属類			0	
		プラスチック			0	
		その他			0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量			3,851		92	
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油				0	
	pH2.0以下の廃酸				0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ				0	
	感染性産業廃棄物				0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃水銀）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃PCB等）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿・廃水銀・廃PCB以外）				0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量			3,851		92	
全ての廃棄物 排出総量			3,851		92	

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ （柏）（2018年度）(16/22)

廃棄物の分類	品名等		排出量〔kg〕	処理業者までの距離（km）	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体（市町村）	可燃物				
		不燃物				
	外部委託	可燃物	1,766	0	0	
		不燃物			0	
	自治体及び外部委託の総量		1,766		0	
	再生利用	古紙			0	
		金属類			0	
		プラスチック類			0	
		その他			0	
		再生利用総量	0		0	
	一般廃棄物総量		1,766		0	
特別管理一般廃棄物	廃エアコン等に含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)				0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0	
	感染性一般(8号廃棄物)				0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量			1,766		0	
産業廃棄物	燃えがら				0	
	汚泥				0	
	廃油				0	
	廃酸				0	
	廃アルカリ				0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)				0	
	紙くず				0	
	木くず				0	
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不要物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず				0	
	ガラス及び陶磁器くず				0	
	鉱さい				0	
	がれき類				0	
	ばいじん				0	
	その他		860	2	2	廃プラスチック類、金属くず等の混合
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		860		2	
	再生利用	金属類			0	
		プラスチック			0	
		その他			0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量			860		2	
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油				0	
	pH2.0以下の廃酸				0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ				0	
	感染性産業廃棄物				0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃水銀）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃PCB等）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿・廃水銀・廃PCB以外）				0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量			860		2	
全ての廃棄物　排出総量			2,626		2	

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ （東濃）（2018年度）(17/22)

廃棄物の分類	品名等		排出量〔kg〕	処理業者までの距離（km）	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体（市町村）	可燃物				該当なし
		不燃物				該当なし
	外部委託	可燃物	9,440	2	19	
		不燃物	1,096	11	12	
	自治体及び外部委託の総量		10,536		31	
	再生利用	古紙	2,800	30	84	
		金属類			0	該当なし
		プラスチック類			0	該当なし
		その他			0	該当なし
		再生利用総量	2,800		84	
	一般廃棄物総量		13,336		115	
特別管理一般廃棄物	廃エアコン等に含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0	該当なし
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)				0	該当なし
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0	該当なし
	感染性一般(8号廃棄物)				0	該当なし
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量			13,336		115	
産業廃棄物	燃えがら				0	
	汚泥		2,962	複数あり	2,463	中和水槽清掃分排出汚泥：2,240kg
	廃油		34	複数あり	32	
	廃酸		118	複数あり	67	
	廃アルカリ		35	複数あり	25	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		7,930	複数あり	163	
	紙くず				0	
	木くず				0	
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不要物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず		1,260	22	27	
	ガラス及び陶磁器くず				0	
	鉱さい				0	
	がれき類				0	
	ばいじん				0	
	その他				0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		12,338		2,777	
	再生利用	金属類			0	
		プラスチック			0	
		その他			0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量			12,338		2,777	
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油		10	複数あり	10	
	pH2.0以下の廃酸		1,894	複数あり	446	
	pHが12.5以上の廃アルカリ				0	
	感染性産業廃棄物				0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃水銀）		26	1,769	46	
	特定有害産業廃棄物（廃PCB等）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿・廃水銀・廃PCB以外）		85	複数あり	80	
	特別管理産業廃棄物排出総量		2,016		582	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量			14,354		3,359	
全ての廃棄物 排出総量			27,690		3,474	

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ （敦賀）（2018年度）(18/22)

廃棄物の分類	品名等		排出量〔kg〕	処理業者までの距離（km）	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体（市町村）	可燃物	15,048			
		不燃物	1,683			
	外部委託	可燃物			0	
		不燃物			0	
	自治体及び外部委託の総量		16,731		0	
	再生利用	古紙	1,630		0	
		金属類			0	
		プラスチック類			0	
		その他			0	
		再生利用総量	1,630		0	
	一般廃棄物総量		18,361		0	
特別管理一般廃棄物	廃エアコン等に含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)				0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0	
	感染性一般(8号廃棄物)				0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量			18,361		0	
産業廃棄物	燃えがら				0	
	汚泥				0	
	廃油				0	
	廃酸				0	
	廃アルカリ				0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		2,670	41	109	
	紙くず				0	
	木くず		3,260	41	134	
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不要物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず		2,850	41	117	
	ガラス及び陶磁器くず				0	
	鉱さい				0	
	がれき類				0	
	ばいじん				0	
	その他				0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		8,780		360	
	再生利用	金属類			0	
		プラスチック			0	
		その他			0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量			8,780		360	
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油				0	
	pH2.0以下の廃酸				0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ				0	
	感染性産業廃棄物				0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃水銀）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃PCB等）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿・廃水銀・廃PCB以外）				0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量			8,780		360	
全ての廃棄物 排出総量			27,141		360	

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ （もんじゅ）（2018年度）(19/22)

廃棄物の分類	品名等		排出量〔kg〕	処理業者までの距離（km）	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体（市町村）	可燃物	0			
		不燃物	0			
	外部委託	可燃物	0	0	0	
		不燃物	0	0	0	
	自治体及び外部委託の総量		0		0	
	再生利用	古紙	20,900	210	4,389	コピー用紙
		金属類	0	0	0	
		プラスチック類	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		再生利用総量	20,900		4,389	
	一般廃棄物総量		20,900		4,389	
特別管理一般廃棄物	廃エアコン等に含むPCB使用製品(1号廃棄物)		0	0	0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)		0	0	0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)		0	0	0	
	感染性一般(8号廃棄物)		0	0	0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量			20,900		4,389	
産業廃棄物	燃えがら		5,540	99	548	埋立処分
	汚泥		15,000	99	1,485	埋立処分
	廃油		500	55	28	産廃業者で混合調整又は油水分離後、スラグ化し再利用
	廃酸		0	0	0	
	廃アルカリ		0	0	0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		5,720	99	566	産廃業者で焼却後、スラグ化し再利用
	紙くず		0	0	0	
	木くず		0	0	0	特になし
	繊維くず		0	0	0	
	動植物性残さ		0	0	0	
	動物系固形不要物		0	0	0	
	ゴムくず		0	0	0	
	金属くず		8,870	55	488	
	ガラス及び陶磁器くず		9,420	55	518	産廃業者で焼却後、埋立処分
	鉱さい		0	0	0	
	がれき類		0	0	0	
	ばいじん		0	0	0	
	その他		0	0	0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		45,050		3,633	
	再生利用	金属類	0	0	0	
		プラスチック	0	0	0	
		その他	0	0	0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量			45,050		3,633	
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油		0	0	0	
	pH2.0以下の廃酸		0	0	0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ		0	0	0	
	感染性産業廃棄物		0	0	0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿）		0	0	0	
	特定有害産業廃棄物（廃水銀）		0	0	0	
	特定有害産業廃棄物（廃PCB等）		0	0	0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿・廃水銀・廃PCB以外）		0	0	0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量			45,050		3,633	
全ての廃棄物　排出総量			65,950		8,022	

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ （ふげん）（2018年度）(20/22)

廃棄物の分類	品名等		排出量〔kg〕	処理業者までの距離（km）	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体（市町村）	可燃物	23,225			
		不燃物	4,819			
	外部委託	可燃物			0	
		不燃物			0	
	自治体及び外部委託の総量		28,043		0	
	再生利用	古紙	6,029		0	
		金属類			0	
		プラスチック類			0	
		その他			0	
		再生利用総量	6,029		0	
	一般廃棄物総量		34,072		0	
特別管理一般廃棄物	廃エアコン等に含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)				0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0	
	感染性一般(8号廃棄物)				0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量			34,072		0	
産業廃棄物	燃えがら				0	
	汚泥		140	90	13	
	廃油				0	
	廃酸				0	
	廃アルカリ				0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		1,050	52	55	
	紙くず				0	
	木くず		170	52	9	
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不要物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず		120	52	6	
	ガラス及び陶磁器くず		330	19	6	
	鉱さい				0	
	がれき類				0	
	ばいじん				0	
	その他				0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		1,810		88	
	再生利用	金属類			0	
		プラスチック			0	
		その他			0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量			1,810		88	
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油				0	
	pH2.0以下の廃酸				0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ		150	52	8	
	感染性産業廃棄物				0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃水銀）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃PCB等）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿・廃水銀・廃PCB以外）		770	250	193	施設内で保管していた廃バッテリーを廃棄した。
	特別管理産業廃棄物排出総量		920		200	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量			2,730		289	
全ての廃棄物 排出総量			36,802		289	

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ （敦総研(白木地区、旧も運研)）（2018年度）(21/22)

廃棄物の分類	品名等		排出量〔kg〕	処理業者までの距離（km）	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体（市町村）	可燃物				
		不燃物				
	外部委託	可燃物			0	
		不燃物			0	
	自治体及び外部委託の総量		0		0	
	再生利用	古紙			0	
		金属類			0	
		プラスチック類			0	
		その他			0	
		再生利用総量	0		0	
	一般廃棄物総量		0		0	
特別管理一般廃棄物	廃エアコン等に含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)				0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0	
	感染性一般(8号廃棄物)				0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量			0		0	
産業廃棄物	燃えがら				0	
	汚泥				0	
	廃油				0	
	廃酸				0	
	廃アルカリ		3,850	53	204	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)				0	
	紙くず				0	
	木くず		1,470	73	107	
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不要物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず		2,510	48	120	
	ガラス及び陶磁器くず				0	
	鉱さい				0	
	がれき類				0	
	ばいじん				0	
	その他		2,250	複数あり	323	混合廃棄物(3ヶ所排出、距離は加重平均) 安定型混合廃棄物(2ヶ所排出、距離は加重平均)
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		10,080		755	
	再生利用	金属類			0	
		プラスチック			0	
		その他			0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量			10,080		755	
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油				0	
	pH2.0以下の廃酸				0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ				0	
	感染性産業廃棄物				0	
	特定有害産業廃棄物(廃石綿)				0	
	特定有害産業廃棄物(廃水銀)				0	
	特定有害産業廃棄物(廃PCB等)				0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿・廃水銀・廃PCB以外）				0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量			10,080		755	
全ての廃棄物 排出総量			10,080		755	

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ （人形）（2018年度）(22/22)

廃棄物の分類	品名等		排出量〔kg〕	処理業者までの距離（km）	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体（市町村）	可燃物	5,805			
		不燃物				
	外部委託	可燃物			0	
		不燃物			0	
	自治体及び外部委託の総量		5,805		0	
	再生利用	古紙			0	
		金属類			0	
		プラスチック類	121		0	
		その他			0	
		再生利用総量	121		0	
	一般廃棄物総量		5,926		0	
特別管理一般廃棄物	廃エアコン等に含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)				0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0	
	感染性一般(8号廃棄物)				0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量			5,926		0	
産業廃棄物	燃えがら				0	
	汚泥		20	232	5	
	廃油		1,000	232	232	
	廃酸		12	232	3	
	廃アルカリ		12	232	3	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		1,220	232	283	
	紙くず				0	
	木くず				0	
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不要物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず		1,038	232	241	
	ガラス及び陶磁器くず		600	232	139	
	鉱さい				0	
	がれき類		200	187	37	
	ばいじん				0	
	その他				0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		4,102		943	
	再生利用	金属類			0	
		プラスチック			0	
		その他			0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量			4,102		943	
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油				0	
	pH2.0以下の廃酸		62	232	14	
	pHが12.5以上の廃アルカリ				0	
	感染性産業廃棄物		16	232	4	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃水銀）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃PCB等）				0	
	特定有害産業廃棄物（廃石綿・廃水銀・廃PCB以外）				0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		78		18	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量			4,180		961	
全ての廃棄物 排出総量			10,106		961	

表2-13-2 拠点別廃棄物分類別集計表（2018年度）

種別＼拠点		幌延	むつ	福島拠点	楢葉	三春	富岡	大熊	本部	原科研(J-PARCを含む)	サイクル研	大洗	NEAT茨城
一般	一般廃棄物	4,905	10,660	11,392					6,075	65,434	24,340	36,957	11,828
					8,290	0	1,370	1,732					
	特別管理一般廃棄物	0	0	0					0	0	0	0	0
					0	0	0	0					
	小計	4,905	10,660	11,392	8,290	0	1,370	1,732	6,075	65,434	24,340	36,957	11,828
産廃	産業廃棄物	2,499	451	9,360					960	40,605	28,928	122,516	340
					0	9,360	0	0					
	特別管理産業廃棄物	196	0	1,140					0	5,251	1,207	4,137	0
					0	1,140	0	0					
	小計	2,695	451	10,500	0	10,500	0	0	960	45,856	30,135	126,653	340
合計(kg)		7,600	11,111	21,892					7,035	111,290	54,475	163,610	12,168
					8,290	10,500	1,370	1,732					
割合(%)		1.33	1.94	3.82					1.23	19.41	9.50	28.53	2.12
					3.20	4.06	0.53	0.67					

種別＼拠点		東京地区	東京	柏	東濃	敦賀	もんじゅ	ふげん	敦総研(白木地区：旧も運研)	人形	合計(kg)	割合(%)
一般	一般廃棄物	1,766			13,336	18,361	20,900	34,072	0	5,926	265,953	46.38
			0	1,766								
	特別管理一般廃棄物	0			0	0	0	0	0	0	0	0.00
			0	0								
	小計	1,766	0	1,766	13,336	18,361	20,900	34,072	0	5,926	265,953	
産廃	産業廃棄物	4,711			12,338	8,780	45,050	1,810	10,080	4,102	292,531	51.01
			3,851	860								
	特別管理産業廃棄物	0			2,016	0	0	920	0	78	14,945	2.61
			0	0								
	小計	4,711	3,851	860	14,354	8,780	45,050	2,730	10,080	4,180	307,475	
合計(kg)		6,477			27,690	27,141	65,950	36,802	10,080	10,106	573,428	100.00
			3,851	2,626								
割合(%)		1.13			4.83	4.73	11.50	6.42	1.76	1.76	100.00	
			0.67	0.46								

表2-13-3 拠点別一般廃棄物集計表(2018年度)

種別＼拠点		幌延	むつ	楢葉	三春	富岡	大熊	本部	原科研(J-PARCを含む)	サイクル研	大洗
市町村	可燃物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不燃物	2,785	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2,785	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外部委託	可燃物	0	10,210	8,040	0	1,370	1,732	6,075	1,395	24,340	35,322
	不燃物	0	450	250	0	0	0	0	10,824	0	0
	小計	0	10,660	8,290	0	1,370	1,732	6,075	12,219	24,340	35,322
再生利用	古紙	1,537	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	金属類	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	プラスチック類	258	0	0	0	0	0	0	11,100	0	1,207
	その他	321	0	0	0	0	0	0	42,115	0	428
	小計	2,120	0	0	0	0	0	0	53,215	0	1,635
合計(kg)		4,905	10,660	8,290	0	1,370	1,732	6,075	65,434	24,340	36,957

(単位:kg)

種別＼拠点		NEAT茨城	東京	柏	東濃	敦賀	もんじゅ	ふげん	敦総研(白木地区:旧も運研)	人形	合計(kg)
市町村	可燃物	0	0	0	0	15,048	0	23,225	0	5,805	44,078
	不燃物	0	0	0	0	1,683	0	4,819	0	0	9,287
	小計	0	0	0	0	16,731	0	28,043	0	5,805	53,364
外部委託	可燃物	9,588	0	1,766	9,440	0	0	0	0	0	109,278
	不燃物	0	0	0	1,096	0	0	0	0	0	12,620
	小計	9,588	0	1,766	10,536	0	0	0	0	0	121,898
再生利用	古紙	2,240	0	0	2,800	1,630	20,900	6,029	0	0	35,136
	金属類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	プラスチック類	0	0	0	0	0	0	0	0	121	12,686
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42,864
	小計	2,240	0	0	2,800	1,630	20,900	6,029	0	121	90,690
合計(kg)		11,828	0	1,766	13,336	18,361	20,900	34,072	0	5,926	265,953

表2-13-4 拠点別特別管理一般廃棄物集計表(2018年度)

種別＼拠点	幌延	むつ	楢葉	三春	富岡	大熊	本部	原科研(J-PARCを含む)	サイクル研	大洗
PCB 使用部品（1号）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水銀等（1号の2及び1号の3）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん、ダイオキシン類含有物(燃え殻等)（2号～7号）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性一般廃棄物（8号）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計(kg)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

種別＼拠点	NEAT茨城	東京	柏	東濃	敦賀	もんじゅ	ふげん	敦総研(白木地区:旧も運研)	人形	合計(kg)
PCB 使用部品（1号）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水銀等（1号の2及び1号の3）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん、ダイオキシン類含有物(燃え殻等)（2号～7号）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性一般廃棄物（8号）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計(kg)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表2-13-5 拠点別産業廃棄物集計表（2018年度）

種別＼拠点	幌延	むつ	楢葉	三春	富岡	大熊	本部	原科研(J-PARCを含む)	サイクル研	大洗	NEAT茨城	東京	柏	東濃	敦賀	もんじゅ	ふげん	敦総研(白木地区：旧も運研)	人形	合計（kg）
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,540	0	0	0	5,540
汚泥	2,395	6	0	50	0	0	0	5,208	303	102,310	0	0	0	2,962	0	15,000	140	0	20	128,394
廃油	4	344	0	10	0	0	0	130	312	1,186	0	0	0	34	0	500	0	0	1,000	3,520
廃酸	0	87	0	0	0	0	0	294	361	0	0	0	0	118	0	0	0	0	12	872
廃アルカリ	0	8	0	360	0	0	0	243	1,072	0	0	0	0	35	0	0	0	3,850	12	5,580
廃プラスチック	0	4	0	4,890	0	0	560	10,260	11,770	1,650	150	1,365	0	7,930	2,670	5,720	1,050	0	1,220	49,239
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,320	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,320
木くず	0	0	0	550	0	0	0	7,020	2,500	580	0	0	0	0	3,260	0	170	1,470	0	15,550
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	100	0	0	3,490	0	0	370	14,770	170	1,400	10	2,486	0	1,260	2,850	8,870	120	2,510	1,038	39,444
ガラス及び陶磁器くず	0	0	0	10	0	0	30	920	1,440	1,640	0	0	0	0	0	9,420	330	0	600	14,390
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類	0	0	0	0	0	0	0	290	280	12,430	0	0	0	0	0	0	0	0	200	13,200
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	3	0	0	0	0	0	1,470	10,720	0	180	0	860	0	0	0	0	2,250	0	15,483
小計（kg）	2,499	451	0	9,360	0	0	960	40,605	28,928	122,516	340	3,851	860	12,338	8,780	45,050	1,810	10,080	4,102	292,531
再生利用 金属類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再生利用 プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再生利用 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再生利用 小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計（kg）	2,499	451	0	9,360	0	0	960	40,605	28,928	122,516	340	3,851	860	12,338	8,780	45,050	1,810	10,080	4,102	292,531

表2-13-6 拠点別特別管理産業廃棄物集計表(2018年度)

種別＼拠点		幌延	むつ	楢葉	三春	富岡	大熊	本部	原科研(J-PARCを含む)	サイクル研	大洗
廃油		38	0	0	300	0	0	0	0	364	697
廃酸		58	0	0	840	0	0	0	1,275	814	20
廃アルカリ		100	0	0	0	0	0	0	1,239	26	1
感染性		0	0	0	0	0	0	0	0	0	79
特定有害産業廃棄物	廃PCB等	0	0	0	0	0	0	0	2,402	0	3,278
	廃石綿等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60
	廃水銀等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	廃PCB・廃石綿・廃水銀以外	0	0	0	0	0	0	0	335	3	2
合計(kg)		196	0	0	1,140	0	0	0	5,251	1,207	4,137

種別＼拠点		NEAT茨城	東京	柏	東濃	敦賀	もんじゅ	ふげん	敦総研(白木地区:旧も運研)	人形	合計(kg)
廃油		0	0	0	10	0	0	0	0	0	1,409
廃酸		0	0	0	1,894	0	0	0	0	62	4,964
廃アルカリ		0	0	0	0	0	0	150	0	0	1,516
感染性		0	0	0	0	0	0	0	0	16	95
特定有害産業廃棄物	廃PCB等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,680
	廃石綿等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60
	廃水銀等	0	0	0	26	0	0	0	0	0	26
	廃PCB・廃石綿・廃水銀以外	0	0	0	85	0	0	770	0	0	1,195
合計(kg)		0	0	0	2,016	0	0	920	0	78	14,945

表2-13-7 産業廃棄物区分別割合（2018年度）

	項目	排出量
特別管理 産業廃棄物	特定有害産業廃棄物（廃PCB等）	5,680.36
	pH2.0以下の廃酸	4,963.58
	pHが12.5以上の廃アルカリ	1,515.50
	燃えやすい廃油	1,409.48
	特定有害産業廃棄物 （廃石綿・廃水銀・廃PCB以外）	1,194.68
	感染性産業廃棄物	95.00
	特定有害産業廃棄物（廃石綿等）	60.00
	特定有害産業廃棄物（廃水銀等）	26.00
	合計（kg）	14,944.59

	項目	排出量
産業廃棄物 （再生利用を除く）	汚泥	128,394.47
	廃プラスチック類（ゴムくずを含む）	49,238.50
	金属くず	39,444.00
	木くず	15,550.00
	ガラス及び陶磁器くず	14,390.00
	がれき類	13,200.00
	廃アルカリ	5,579.75
	燃えがら	5,540.00
	廃油	3,519.63
	紙くず	1,320.00
	廃酸	871.56
	その他	15,482.68
	合計（kg）	292,530.58

	項目	排出量
再生利用		0.00
	合計（kg）	0.00

表2-13-8 産業廃棄物管理票(マニフェスト)の状況(2018年度)

拠点名	マニフェスト交付の有無 *1	産業廃棄物			特別管理産業廃棄物			合計*2(枚)
		年度内に回収した枚数	年度内に未回収	小計	年度内に回収した枚数	年度内に未回収	小計	
幌延	○	5	0	5	5	0	5	10 (0)
むつ	○	543	0	543	9	0	9	552 (0)
楢葉	×	0	0	0	0	0	0	0 (0)
三春	○	19	0	19	2	0	2	21 (0)
富岡	×	0	0	0	0	0	0	0 (0)
大熊	×	0	0	0	0	0	0	0 (0)
本部	○	4	0	4	0	0	0	4 (0)
原科研 (J-PARCを含む)	○	93	0	93	13	0	13	106 (0)
サイクル研	○	41	0	41	33	0	33	74 (0)
大洗	○	38	0	38	26	1	27	65 (0)
NEAT茨城	○	1	0	1	0	0	0	1 (0)
東京	○	3	0	3	0	0	0	3 (0)
柏	○	1	0	1	0	0	0	1 (0)
東濃	○	30	0	30	18	0	18	48 (0)
敦賀	○	7	0	7	0	0	0	7 (0)
もんじゅ	○	22	0	22	0	0	0	22 (0)
ふげん	○	10	0	10	2	0	2	12 (1)
敦総研 (白木地区:旧も運研)	○	7	0	7	0	0	0	7 (0)
人形	○	15	0	15	1	0	1	16 (0)
合計(枚)		839	0	839	109	1	110	949 (1)

*1 有:○、無:×　　*2 ()内の数値は、同時に記入している枚数

表2-13-9 廃棄物増減の理由及び取組内容(2018年度)(1/2)

拠点名	一般廃棄物の増減理由、低減対策	産業廃棄物の増減理由、低減対策	各調査項目の 調査できない項目とその理由
幌延	−	−	−
むつ	−	2017年度は、数年分の不要機器類の処分をまとめて行ったため産業廃棄物が排出されたが、2018年度は廃棄物の分別・リサイクルを推進し廃棄物の低減につとめた。	−
楢葉	自営作業において複数回に渡り草木等の伐採を行ったため、一般廃棄物が発生した。 2018年4月の人事異動に伴い大量の書類整理を行ったため、一般廃棄物が発生した。 楢葉センター施設利用の増加に伴い、一般廃棄物が発生した。	−	−
三春	−	大熊サテライト施設の閉鎖に伴い、使用が終了した物品等の処分を実施したため、廃プラスチック(可燃物を含む)類及び金属くずの処分量が増加した。 試験試薬の使用量が増加したことにより、廃酸、廃アルカリの処分量が増加した。 2018年度は不要機器類の処分をまとめて行ったため、産業廃棄物が排出されたものであり、経常的に排出されるものではない。	一般廃棄物については、清掃業者が一括して回収を行っているため排出量等を把握するのは困難である。
富岡	2017年度に比べ、人員が増加したためと考えられる。	−	−
大熊	大熊分析・研究センター施設管理棟は2018年3月に運用開始	−	−
本部	−	−	−
原科研 (J-PARCを含む)	個別項目としては、微増微減となっているが平年並みの発生量と考えられる。 低減対策:古紙回収、再生利用の徹底	産業廃棄物排出総量については、廃プラスチック類(ゴム屑を含む)、木くず、金属くず、その他の発生量が低下した。 主な理由は、不用となったOA機器類の廃棄や解体工事で金属くずが発生しなかったためである。 特別管理産業廃棄物排出総量については、廃アルカリ及び廃PCBの発生量が増加した。 主な理由は、廃アルカリは実験で使用した廃薬品が例年に比べ多くなったため、廃PCBは諸般の都合により廃棄量を減らしたが、2018年度は計画通りに廃棄できたため増加した。 低減対策 金属・パソコン等の回収の徹底により金属等を再資源化していき、廃プラスチック、金属くずの混合物の分別徹底を今後も継続していく。	−
サイクル研	−	−	−
大洗	2017年度に行った不要な資料等の整理が落ち着いたため減少した。	産業廃棄物の大部分を占める汚泥の量が減少したため、産業廃棄物が減少した。	−

表2-13-9 廃棄物増減の理由及び取組内容（2018年度）（2/2）

拠点名	一般廃棄物の増減理由、低減対策	産業廃棄物の増減理由、低減対策	各調査項目の 調査できない項目とその理由
NEAT茨城	組織改正に伴い人員が増加したことから可燃ゴミ及び古紙の発生量が2017年度と比べ増加している。引き続き廃棄物低減のために注意喚起を行う。	2017年度と比べ大幅に減少した理由は、2017年度に不要機器類の処分をまとめておこなったため産業廃棄物が一時的に大量に排出されたことによる。	－
東京	－	事務所リニューアルに伴う物品の処分が2017年度完了したため	東京事務所が入居する富国生命ビルは、一括して一般廃棄物の収集・管理を行っているため、原子力機構のみの廃棄物量を算出することは不可能
柏	－	居室等のレイアウト変更に伴い、什器類の処分を行ったため、産業廃棄物排出量が2017年度より増加となった。	一般廃棄物のうち、不燃物及び共有部分（廊下、エレベータフロア、給湯室、トイレ）にて発生する可燃物は、フューチャーセンター推進機構が回収し、一括処分を行っているため、回収量が把握できない。 原子力機構が、清掃業者と清掃契約を締結し、回収量を把握している可燃物量について記載した。
東濃	低減対策 引き続き、再生利用可能な缶・ビン・ペットボトルの分別収集を推進する。	増加理由 2018年度は、居室の整備等に伴い不要機器類等が増加したことによるもの。 低減対策 引き続き、スポット的な作業が無い限りは、リサイクルに努め、排出量を削減する。	－
敦賀	2018年4月1日組織改正により、敦賀事業本部の人員が増加したため、排出量も増加したものと推測する。 ダンボール、新聞・雑誌等の古紙については、継続して自治会での古紙回収に出している。 紙廃棄量については、古紙に出せるものを極力分別し、排出量の低減に努める。	2018年度は、敦賀事業本部の倉庫整理、厚生施設の整理を実施したため産業廃棄物排出が発生したものであり、経常的に排出されるものではない。 引き続き、廃棄物の分別・リサイクルを推進し、廃棄物の低減に努める。	－
もんじゅ	会議等は、タブレット等を使用し、ペーパーレスにて実施したため、紙の使用量が減少した。	非管理区域での点検作業等が減少したため	－
ふげん	組織改編に伴う各規則やQMS文書の改訂があったため増加した。	2017年度は放水口清掃・ディーゼル室換気系設備（A系）解体の実施に伴い産業廃棄物発生量が多かった。また、薬品貯槽（硫酸・苛性ソーダ）開放点検の実施に伴い特別管理産業廃棄物発生量が多かった。	－
敦総研 （白木地区：旧も運研）	－	－	－
人形	プラスチック容量包装が増加したため、2017年度より増加した。	廃プラスチック類（塩化ビニール類やOA機器類）の発生が2017年度よりも少なかったため、2017年度より減少した。	－

表2-14 有価物の払い出し量(2018年度)

拠点名	金属類		古紙		ペットボトル		プラスチック		その他		合計(t)	
幌延	0		0		0		0		0		0	
むつ	0		0		0		0		0		0	
福島拠点	0		0		0		0		0		0	
楢葉		0		0		0		0		0		0
富岡		0		0		0		0		0		0
大熊		0		0		0		0		0		0
本部	0		12.5		0		0		0		12.5	
原科研(J-PARCを含む)	130.78		100.3		0		0		0.04		231.12	
サイクル研	118.71		73.82		0.34		0.08		0		192.95	
大洗	213.859		55.204		0		0		0		269.063	
NEAT	0		0		0		0		0		0	
NEAT茨城		0		0		0		0		0		0
NEAT福井		0		0		0		0		0		0
東濃	0		0		0		0		0		0	
もんじゅ	0		0		0		0		0		0	
ふげん	0		0		0		0		0		0	
人形	108.29		4.06		0		0		0.02		112.37	
合計(t)	571.639		245.884		0.34		0.08		0.06		818.003	

表2-15 建設リサイクル集計表（2018年度）

拠点名	発生量（kg）	処理依頼量（現場外搬出量）（kg）	マニュフェスト処理件数（件）	建設リサイクル品目と再生資源利用促進量（単位：kg）									主な件名
				コンクリート塊	%	アスファルト・コンクリート塊	%	建設発生木材	%	その他	%	合計（kg）	
むつ	3,600,822	3,600,822	536	3,502,820	44.58	16,720	46.61	0	0.00	39,842	3.16	3,559,382	大湊施設廃棄物処理棟他解体撤去工事
大熊	130,851	130,720	45	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	28福島　分析・研究施設　第1棟他新築工事
原科研（J-PARCを含む）	4,485,954	4,485,954	749	4,243,873	54.02	0	0.00	60,660	98.22	0	0.00	4,304,533	
サイクル研	45,550	45,550	19	24,900	0.32	16,500	46.00	0	0.00	0	0.00	41,400	「LWSF他　建家周辺陥没復旧工事」、「Pu)テントハウス解体工事」、「エントリー東側駐車場整備工事」、「HAW屋上改修他工事」
大洗	288,660	288,660	98	0	0.00	0	0.00	1,100	1.78	4,510	0.36	5,610	「常陽」東側境界フェンス近傍エリア敷地整備工事
東濃	1,250,140	1,250,140	172	20,080	0.26	0	0.00	0	0.00	1,213,980	96.16	1,234,060	
敦賀	180	180	17	22,580	0.29	0	0.00	0	0.00	2,490	0.20	25,070	30第二ひばりケ丘社宅2号棟室内補修工事
もんじゅ	52	52	17	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	立入制限区域復旧変更工事、水中ポンプ投入口設置工事
ふげん	2,486	2,486	4	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	構内舗装補修工事
敦総研（白木地区：旧も運研）	0	0	2	0	0.00	0	0.00	0	0.00	190	0.02	190	30敦総研センター情報棟屋根改修他工事
人形	46,606	46,606	18	42,570	0.54	2,650	7.39	0	0.00	1,386	0.11	46,606	(1)30人形峠　濃縮工学施設技術管理棟他耐震改修工事、(2)EEF安全対策工事、(3)EEF法面土のう設置工事、(4)EEF系熱水配管更新工事、(5)クリアランス物ストックエリア拡張舗装工事、(6)体育館東側河川改修工事、(7)原型プラント第2・第3貯蔵庫屋根の防水補修工事、(8)坑水処理施設放流水槽周辺アスファルト敷設工事、(9)夜次鉱さいたい積場下流部整備工事、(10)大排水溝坑水ピット建屋更新工事、(11)教育棟屋根防水シート補修工事、(12)旧峠1号坑道陥没箇所補修工事、(13)構内河岸土砂入替え工事、(14)神倉1号坑捨石たい積場地割れ補修及び排水路工事、(15)神倉捨石たい積場鉱山道路排水路整備工事、(16)第5廃棄物貯蔵庫改修工事、(17)見学坑道法面大型土のう設置工事、(18)鉱山施設内道路アスファルト舗装工事
合計	9,851,301	9,851,170	1,677	7,856,823	100	35,870	100	61,760	100	1,262,398	100	9,216,851	

表2-16-1 騒音規制法に基づく測定（2018年度）

拠点名	測定場所 （複数あれば箇所ごとに記載）	特定施設 ※1	測定時間帯 ※2	規制基準 （dB）	実測値 （敷地境界線の最大値） （dB）	規制区域 ※3	法令根拠等
NEAT茨城	騒音発生源から居住までの直線状の敷地境界線を測定	空気圧縮機及び送風機	朝～夜間 (8:00～18:00)	65	45.6 46.8	第3種区域	茨城県生活環境の保全に関する条例
東濃	瑞浪超深地層研究所敷地境界(南)	コンクリートプラント （特定建設作業）	(8:00～翌8:00)	85	71	第1号区域 第2種区域	岐阜県公害防止条例 （騒音規制法の特定建設作業）
もんじゅ	敷地境界	空気圧縮機及び送風機	朝	55	51	その他の区域	福井県公害防止条例
			昼(8:00～19:00)	60	51		
			夕	55	54		
			夜間	55	52		
ふげん	敷地境界	空気圧縮機及び送風機	朝（6:00～8:00)	55	50	その他の区域	福井県公害防止条例
			昼(8:00～19:00)	60	51		
			夕(19:00～22:00)	55	48		
			夜間(22:00～6:00)	55	50		

※1 騒音規制法施行令第1条（特設施設）により、原動機の定格出力が7.5kW以上のものが該当する。
※2 朝・昼・夕方・夜間によって規制基準がそれぞれ異なる。
※3 規制区域について
第1種区域：良好な住居の環境を保全するため、特に静穏の保持を必要とする区域
第2種区域：住居の用に供されているため、静穏の保持を必要とする区域
第3種区域：住居の用にあわせて商業、工業等の用に供されている区域であって、その区域内の住民の生活環境を保全するため、騒音の発生を防止する必要がある区域
第4種区域：主として工業等の用に供されている区域であって、その区域内の住民の生活環境を悪化させないため、著しい騒音の発生を防止する必要がある区域

表2-16-2 振動規制法に基づく測定(2018年度)

拠点名	測定場所 (複数あれば箇所ごとに記載)	特定施設の分類 ※1	測定時間帯	規制基準 (dB)	実測値 (敷地境界線の最大値) (dB)	規制区域 ※2	法令根拠等
東濃	瑞浪超深地層研究所敷地境界(南)	該当なし	昼間	75	26	※3	振動規制法岐阜県公害防止条例
			夜間	45	17		
もんじゅ	港岸壁南端	空気圧縮機及び送風機	昼間	65	<30	※4	福井県公害防止条例
			夜間	60	<30		

※1 振動規制法施行令第1条(特定施設)により、原動機の定格出力が7.5kW以上のものが該当する。
※2 第1種区域:特に静穏の保持を必要とされる区域及び住居の用に供されているため静穏の保持を必要とする区域
第2種区域:住居、商業・工業の用に供されている区域
※3 指定区域に該当せず規制対象外(「第1種区域」の値を自主管理基準としている。)
※4 指定区域に該当せず規制対象外(「第2種区域」の値を自主管理基準としている。)
注1) 振動規制法に係る特定施設について、政令で定める施設としては、1.金属加工機械、2.空気圧縮機及び送風機、3.土石用又は鉱物用の破砕機・磨砕機ふるい及び分級機、4.織機、5.コンクリートブロックマシン・コンクリート管製造機械・コンクリート柱製造機械、6.木材加工機械、7.印刷機械、8.ゴム精錬用または合成樹脂用のロール機、9.合成樹脂用射出成型機、10.鋳型造型機

表2-17 水銀等貯蔵状況(2018年度)

拠点名	水銀(kg)					塩化第一水銀(kg)					酸化第二水銀(kg)					硫酸第二水銀(kg)					硝酸第二水銀及び硝酸第二水銀水和物(kg)				
	年度当初に貯蔵していた量	製造した量と引渡を受けた量の合計	使用した量と引き渡した量の合計	廃棄物となった量	年度末に貯蔵していた量	年度当初に貯蔵していた量	製造した量と引渡を受けた量の合計	使用した量と引き渡した量の合計	廃棄物となった量	年度末に貯蔵していた量	年度当初に貯蔵していた量	製造した量と引渡を受けた量の合計	使用した量と引き渡した量の合計	廃棄物となった量	年度末に貯蔵していた量	年度当初に貯蔵していた量	製造した量と引渡を受けた量の合計	使用した量と引き渡した量の合計	廃棄物となった量	年度末に貯蔵していた量	年度当初に貯蔵していた量	製造した量と引渡を受けた量の合計	使用した量と引き渡した量の合計	廃棄物となった量	年度末に貯蔵していた量
むつ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福島拠点	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原科研 (J-PARCを含む)	681.90	18.20	0.00	11.80	688.30	0.0015	0	0	0	0.0015	0.15	0	0	0	0.15	0	0	0	0	0	0.025	0	0	0	0.025
サイクル研	29.70	0.00	0.00	0.00	29.70	0	0	0	0	0	0.02	0	0	0	0.02	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大洗	156.34	4.05	4.05	0.00	156.34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
もんじゅ	47.00	47.00	47.00	0.00	47.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ふげん	4.47	0.00	0.00	0.00	4.47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人形	1.13	0.00	0.00	0.00	1.13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計(kg)	920.55	69.25	51.05	11.80	926.95	0.0015	0	0	0	0.0015	0.17	0	0	0	0.17	0	0	0	0	0	0.025	0	0	0	0.025

表2-18 環境データ拠点別比較 (1/5)

2018 年度データ

拠点等	①幌延	②むつ	③福島拠点	④本部	⑤原科研	⑥ｻｲｸﾙ研	⑦大洗	⑧NEAT
従業員等概数[*1](人)	60	70	300	350	2,050	1,880	1,160	80
延床面積概数(m^2)	6,400	17,800	22,400	15,200	318,000	394,800	214,300	5,200
総エネルギー投入量(TJ)	6.5	18	27	11	2,800	1,400	660	7.4
水資源投入量(万m^3)	0.21	0.97	0.50	0.35	130	30	34	0.26
コピー用紙投入量(t)	1.2	2	7.7	16	43	43	31	1.6
総温室効果ガス排出量(t-CO_2)	440	910	1,300	520	160,000	79,000	34,000	350
総廃棄物発生量(t)	7.6	11	22	7	110	54	160	12

拠点等	⑨東京地区	⑩東濃	⑪敦賀	⑫もんじゅ	⑬ふげん	⑭敦総研	⑮関西播磨	⑯人形	合計
従業員等概数[*1](人)	160	130	160	460	180	40	30	280	7,390
延床面積概数(m^2)	―	6,400	4,200	104,700	42,800	9,600	1,100	71,000	1,234,500
総エネルギー投入量(TJ)	2.9	14	6.6	720	230	12	3.2	130	6,000
水資源投入量(万m^3)	―[*2]	0.34	0.29	4.9	7.9	0.15	―[*2]	2.5	210
コピー用紙投入量(t)	4.8	1.7	6.8	24	6.3	1.2	0.41	6.8	200
総温室効果ガス排出量(t-CO_2)	140	590	360	45,000	14,000	540	140	9,300	340,000
総廃棄物発生量(t)	6.5	28	27	66	37	10	―[*2]	10	570

*1:従業員等概数は、職員、常駐年間請負業者等の合計を示す。
*2:データなし。

表2-18 環境データ拠点別比較 (2/5)

(参考) 2017 年度データ

拠点等	①幌延	②むつ	③福島拠点	④本部	⑤原科研	⑥ｻｲｸﾙ研	⑦大洗	⑧NEAT
従業員等概数*1(人)	60	80	260	310	2,200	1,880	1,070	70
延床面積概数(m^2)	6,400	17,800	22,400	14,700	323,800	395,400	214,300	5,200
総エネルギー投入量(TJ)	6.8	20	19	11	2,900	1,400	640	7.1
水資源投入量(万m^3)	0.21	1.3	0.45	0.35	140	30	28	0.61
コピー用紙投入量(t)	1.1	5.1	7.8	16	45	41	32	1.1
総温室効果ガス排出量(t-CO_2)	450	5,400	920	470	160,000	78,000	33,000	320
総廃棄物発生量(t)	7.4	20	8.4	6.3	410	81	170	16

拠点等	⑨東京地区	⑩東濃	⑪敦賀	⑫もんじゅ	⑬ふげん	⑭も運研	⑮関西播磨	⑯人形	合計
従業員等概数*1(人)	160	130	110	530	180	120	30	270	7,460
延床面積概数(m^2)	―	6,500	3,600	104,700	42,800	9,600	1,100	71,000	1,240,000
総エネルギー投入量(TJ)	2.7	14	6.1	800	240	18	3.2	130	6,200
水資源投入量(万m^3)	―*2	0.33	0.18	5.3	9.7	0.29	―*2	2.9	220
コピー用紙投入量(t)	7.4	1.6	5.8	29	6.8	3.4	0.44	6.7	210
総温室効果ガス排出量(t-CO_2)	130	590	470	54,000	16,000	1,200	170	9,200	360,000
総廃棄物発生量(t)	51	27	22	84	95	10	―*2	13	1,000

*1:従業員等概数は、職員、常駐年間請負業者等の合計を示す。
*2:データなし。

表2-18 環境データ拠点別比較 (3/5)

（参考）2016 年度データ

拠点等	①幌延	②むつ	③福島拠点	④本部	⑤原科研	⑥ｻｲｸﾙ研	⑦大洗	⑧NEAT
従業員等概数*1(人)	60	80	250	340	2,180	1,800	1,190	60
延床面積概数(m^2)	6,400	17,800	14,700	15,000	319,100	394,600	214,300	5,200
総エネルギー投入量(TJ)	6.3	20	13	12	2,700	1,500	660	7.5
水資源投入量(万m^3)	0.2	0.93	0.29	0.33	140	29	20	0.22
コピー用紙投入量(t)	1.3	6.4	6.9	17	45	38	29	0.82
総温室効果ガス排出量(t-CO_2)	430	1,000	730	570	160,000	81,000	35,000	410
総廃棄物発生量(t)	6.4	13	6.5	15	280	60	230	11

拠点等	⑨東京地区	⑩東濃	⑪敦賀	⑫もんじゅ	⑬ふげん	⑭も運研	⑮関西播磨	⑯人形	合計
従業員等概数*1(人)	170	130	120	560	190	120	30	290	7,550
延床面積概数(m^2)	―	7,300	3,600	104,700	52,500	9,600	1,000	71,000	1,237,500
総エネルギー投入量(TJ)	3.3	15	6	790	230	14	2.5	140	6,100
水資源投入量(万m^3)	―*2	0.36	0.15	5.2	7.6	0.22	―*2	2.9	200
コピー用紙投入量(t)	6.9	1.8	5.4	30	6	3	1.3	7.3	200
総温室効果ガス排出量(t-CO_2)	160	720	380	51,000	15,000	990	130	11,000	360,000
総廃棄物発生量(t)	14	48	14	62	32	13	―*2	21	830

*1： 従業員等概数は、職員、常駐年間請負業者等の合計を表す。
*2： データなし。

表2-18 環境データ拠点別比較 (4/5)

(参考) 2015 年度データ

拠点等	①幌延	②青森	③福島	④本部	⑤原科研	⑥ｻｲｸﾙ研	⑦大洗	⑧那珂	⑨NEAT
従業員等概数*1(人)	70	190	260	320	2,160	2,000	1,190	440	50
延床面積概数(m^2)	6,400	30,500	15,000	15,000	319,400	398,400	214,300	100,900	5,200
総エネルギー投入量(TJ)	6.2	230	5.8	11	2,700	1,400	680	390	6.8
水資源投入量(万m^3)	0.2	1.5	0.16	0.37	140	28	27	5	0.2
コピー用紙投入量(t)	1.3	6.3	7.7	17	45	39	30	8.8	0.95
総温室効果ガス排出量(t-CO_2)	430	14,000	330	470	160,000	80,000	35,000	21,000	380
総廃棄物発生量(t)	8.5	22	2.7	37	310	68	210	230	9.9

拠点等	⑩高崎	⑪東京地区	⑫東濃	⑬敦賀	⑭もんじゅ	⑮ふげん	⑯も運研	⑰関西研	⑱人形	合計
従業員等概数*1(人)	220	190	140	120	550	180	140	200	280	8,740
延床面積概数(m^2)	48,800	-	7,300	3,600	104,700	52,500	9,600	26,600	71,000	1,429,800
総エネルギー投入量(TJ)	150	3.8	14	6.6	810	240	15	80	160	6,900
水資源投入量(万m^3)	6.7	—*2	0.38	0.47	5.3	7.7	0.28	1	3.2	230
コピー用紙投入量(t)	3.1	7.6	2.3	5.5	34	5.2	4.1	3.5	7.1	230
総温室効果ガス排出量(t-CO_2)	9,100	190	720	430	55,000	16,000	940	4,500	11,000	410,000
総廃棄物発生量(t)	74	3.9	55	14	78	44	11	67	58	1,300

*1： 従業員等概数は、職員、常駐年間請負業者等の合計を表す。
*2： 東京はビルオーナー側で管理、柏は駅前サテライトに移転後は水道データは共益費に含まれるためデータなし。

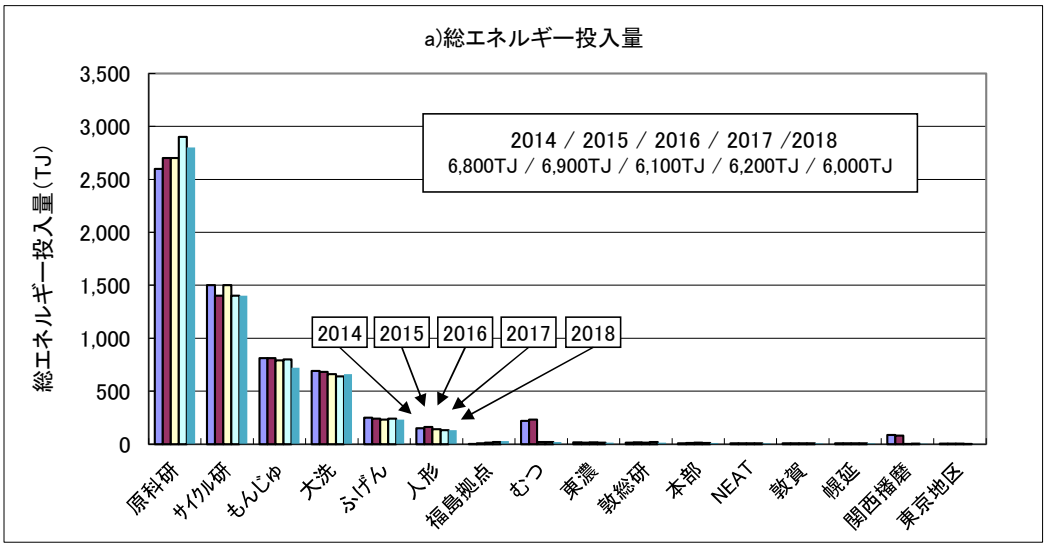
表2-18 環境データ拠点別比較 (5/5)

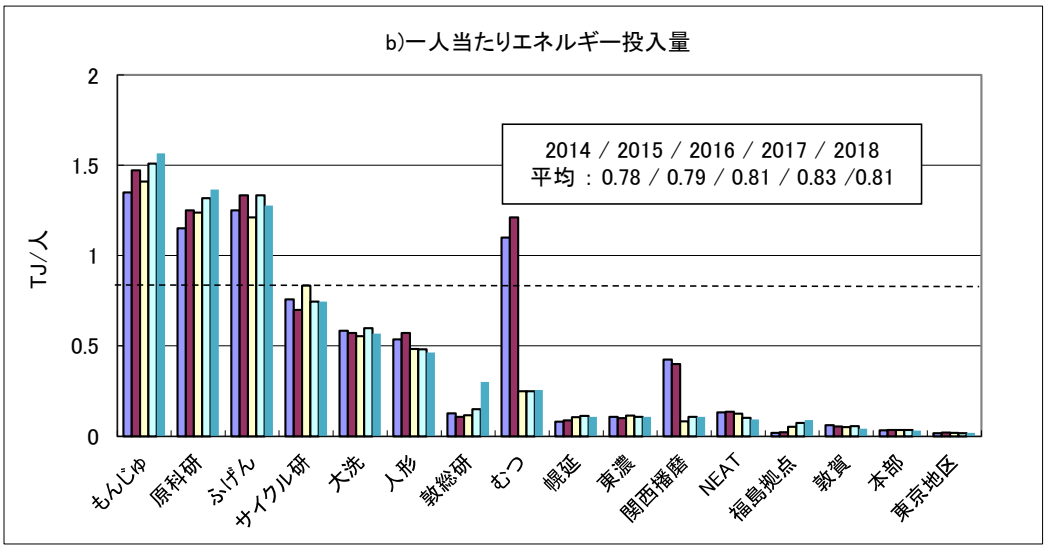
(参考) 2014 年度データ

拠点等	①幌延	②青森	③福島	④本部	⑤原科研	⑥ｻｲｸﾙ研	⑦大洗	⑧那珂	⑨NEAT
従業員等概数*1(人)	70	200	110	240	2,260	1,980	1,180	480	50
延床面積概数(m^2)	6,400	27,600	1,700	5,600	316,400	401,400	214,300	100,900	5,200
総エネルギー投入量(TJ)	5.7	220	2	7.8	2,600	1,500	690	300	6.6
水資源投入量(万m^3)	0.19	1.7	0.027*2	0.28	140	29	37	4.2	0.28
コピー用紙投入量(t)	1.6	6.5	2.2	12	53	47	32	12	1.3
総温室効果ガス排出量(t-CO_2)	390	13,000	120	430	160,000	85,000	38,000	17,000	380
総廃棄物発生量(t)	9.5	17	1.1	18	230	120	170	120	10

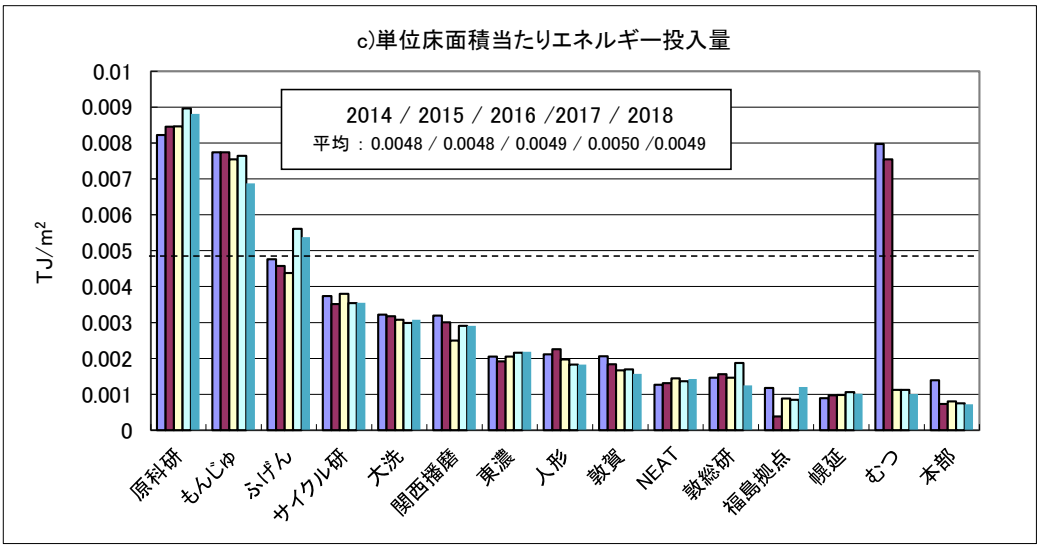
拠点等	⑩高崎	⑪東京地区	⑫東濃	⑬敦賀	⑭もんじゅ	⑮ふげん	⑯も運研 (旧国際セ)	⑰関西研	⑱人形	合計
従業員等概数*1(人)	240	250	140	120	600	200	110	200	280	8,690
延床面積概数(m^2)	48,800	-	7,300	3,600	104,700	52,500	9,600	26,600	71,000	1,404,500
総エネルギー投入量(TJ)	140	4.1	15	7.4	810	250	14	85	150	6,800
水資源投入量(万m^3)	7.7	0.011*3	0.44	0.31	5.4	8.5	0.31	1	2.7	240
コピー用紙投入量(t)	3.6	11	2.5	6.1	35	6	4.6	3.5	7.5	250
総温室効果ガス排出量(t-CO_2)	15,000	220	780	460	53,000	16,000	870	4,600	11,000	420,000
総廃棄物発生量(t)	99	7.9	96	22	75	40	10	49	15	1,100

*1： 従業員等概数は、職員、常駐年間請負業者等の合計を表す。
*2： 笹木野分析所のみの水資源投入量。
*3： 柏のみの数値であり、東京はビルオーナー側で管理している。



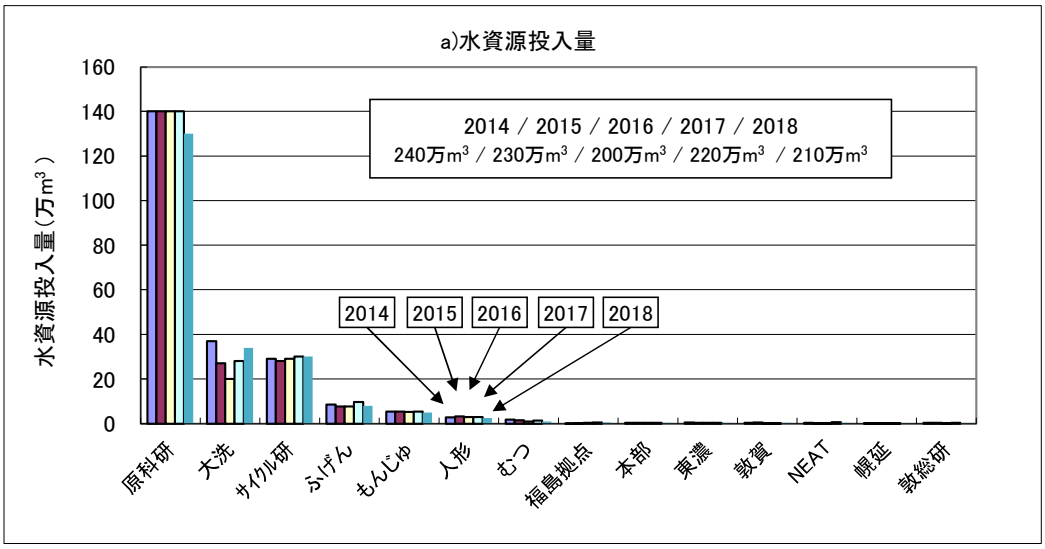


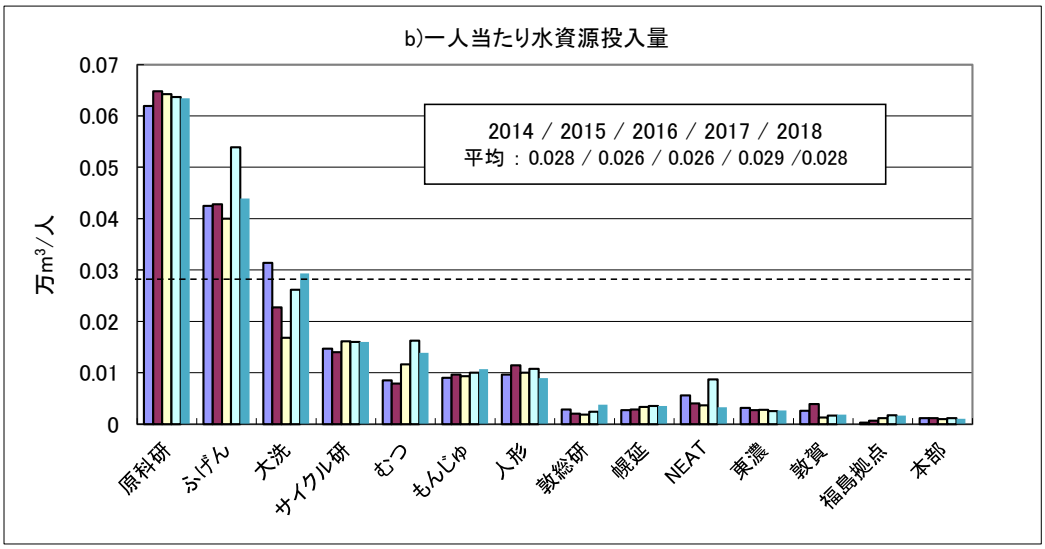
注）図中の点線＝（2018年度の原子力機構の総エネルギー投入量）／（2018年度の原子力機構の総従業員数）



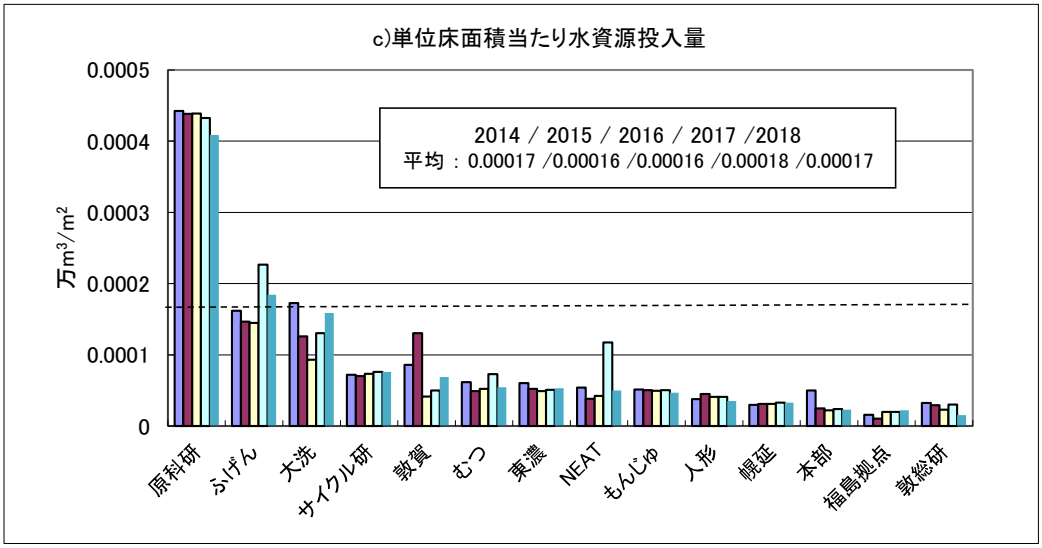
注）図中の点線＝（2018年度の原子力機構の総エネルギー投入量）／（2018年度の原子力機構の総床面積）

図2-1　総エネルギー投入量の拠点別比較（2018年度）



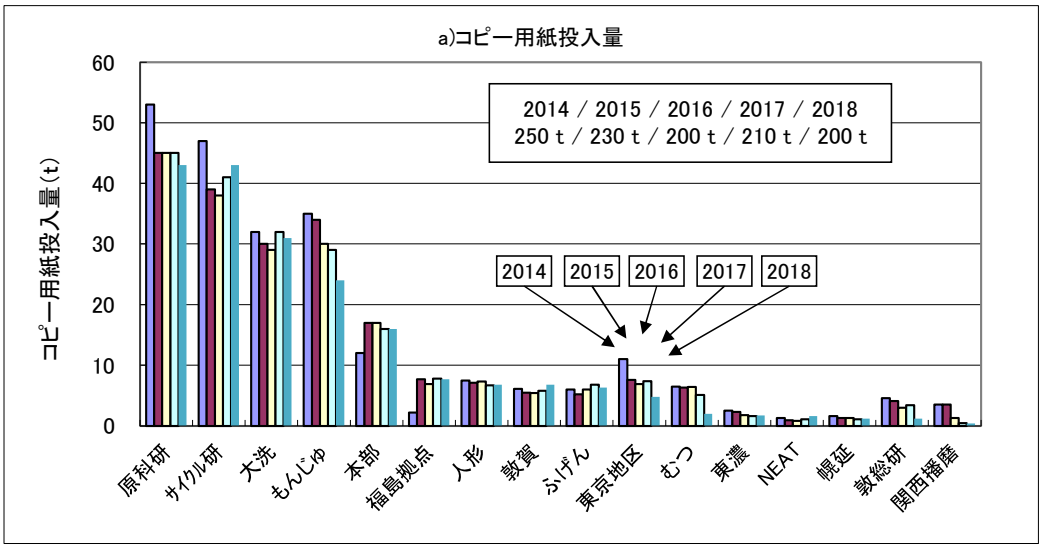


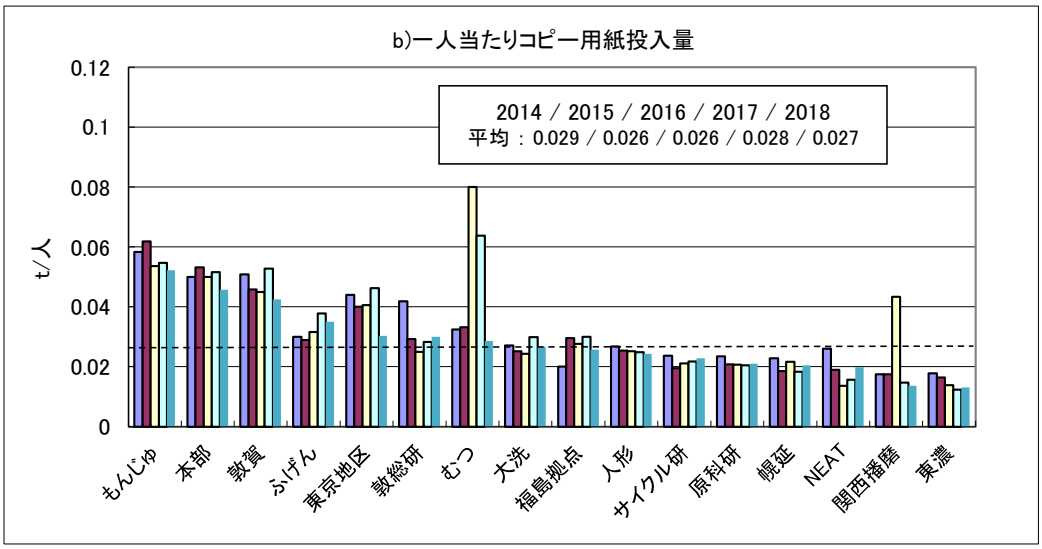
注）図中の点線＝（2018年度の原子力機構の水資源投入量）／（2018年度の原子力機構の総従業員数）



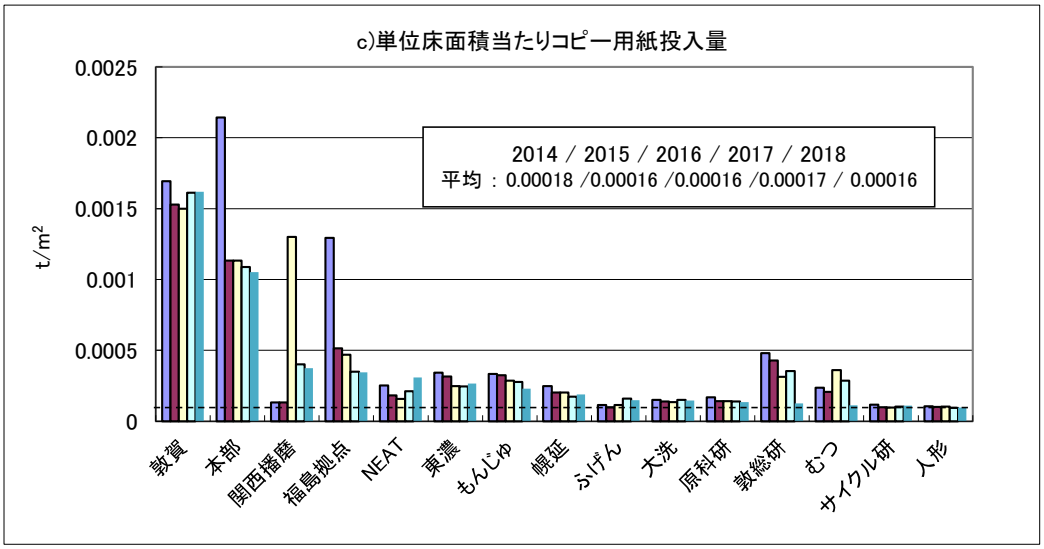
注）図中の点線＝（2018年度の原子力機構の水資源投入量）／（2018年度の原子力機構の総床面積）

図2-2　水資源投入量の拠点別比較（2018年度）



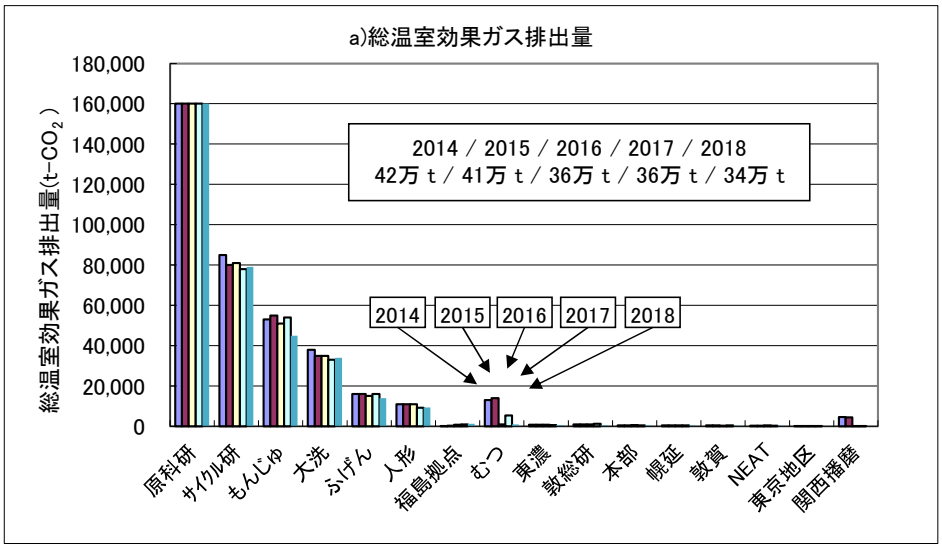


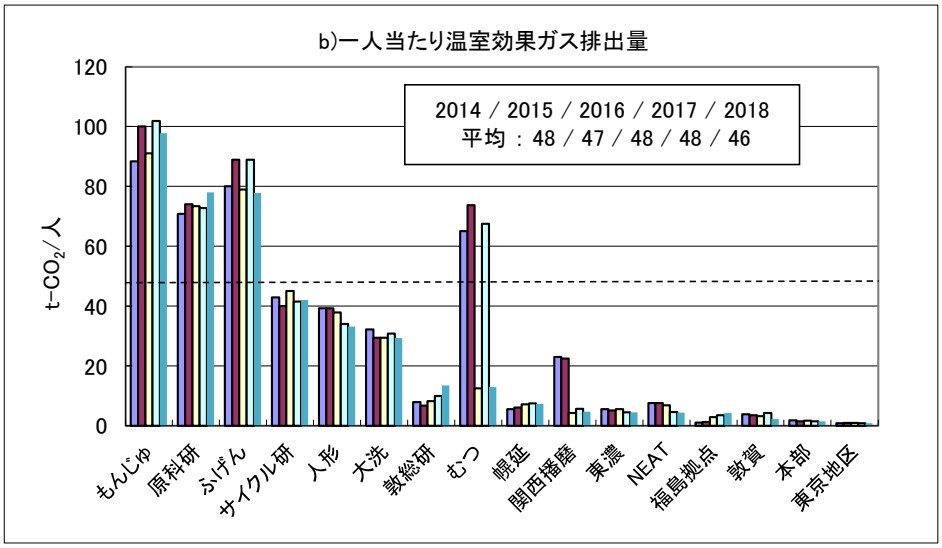
注）図中の点線＝（2018年度の原子力機構のコピー用紙投入量）／（2018年度の原子力機構の総従業員数）



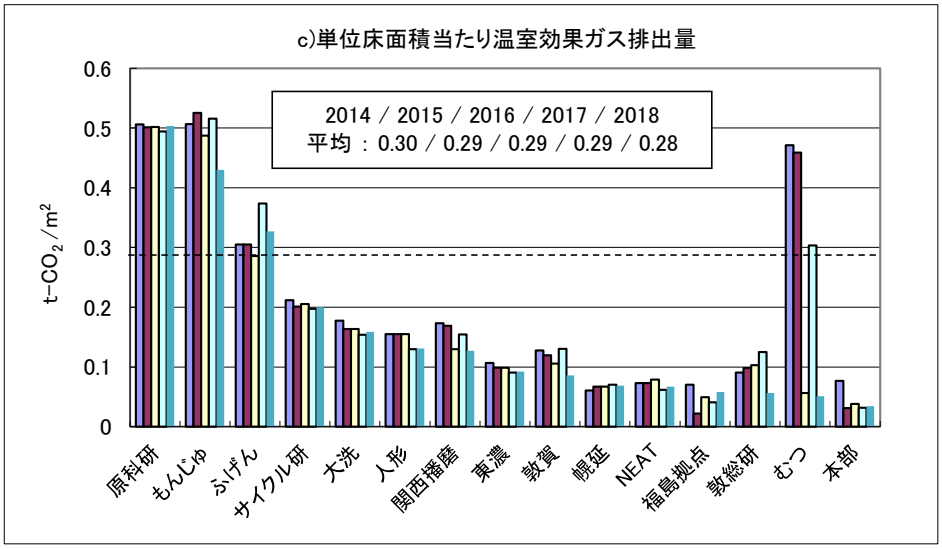
注）図中の点線＝（2018年度の原子力機構のコピー用紙投入量）／（2018年度の原子力機構の総床面積）

図2-3 コピー用紙投入量の拠点別比較（2018年度）



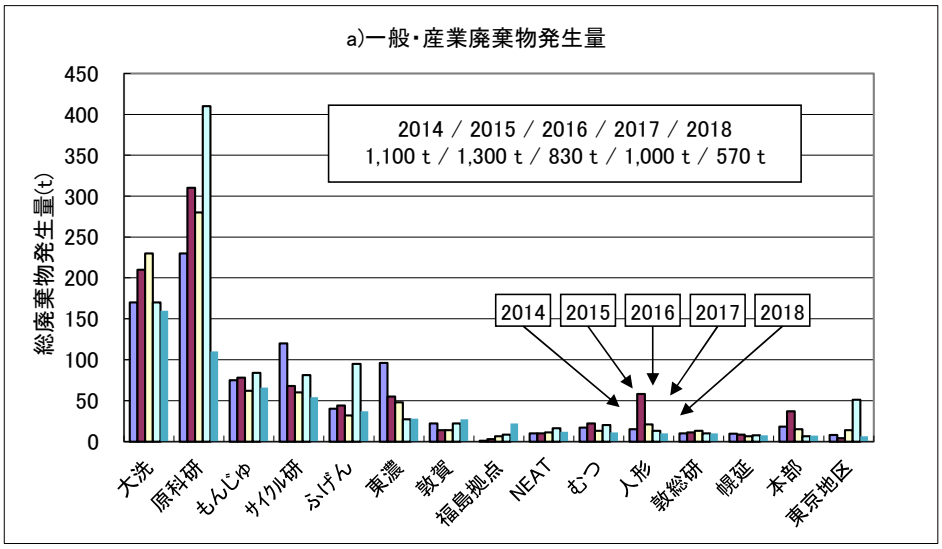


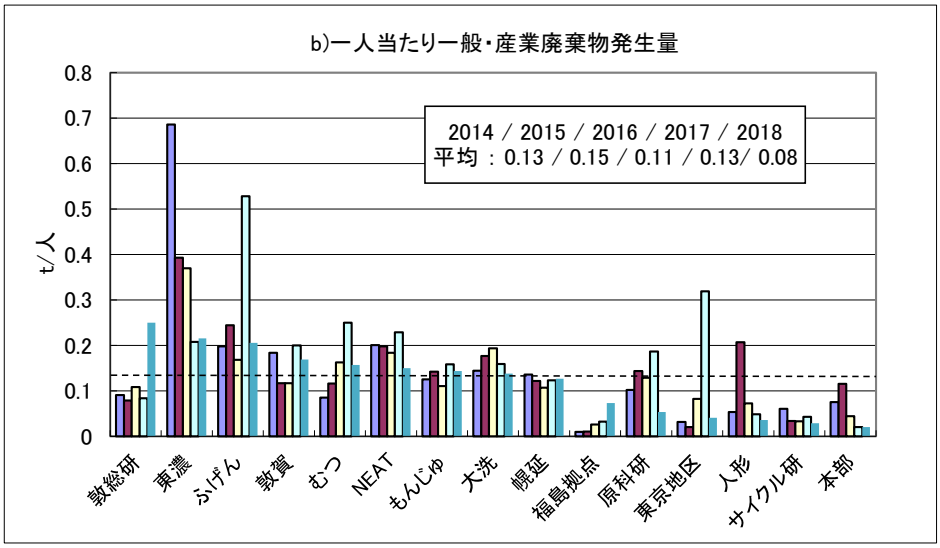
注）図中の点線＝（2018年度の原子力機構の総温室効果ガス排出量）／（2018年度の原子力機構の総従業員数）



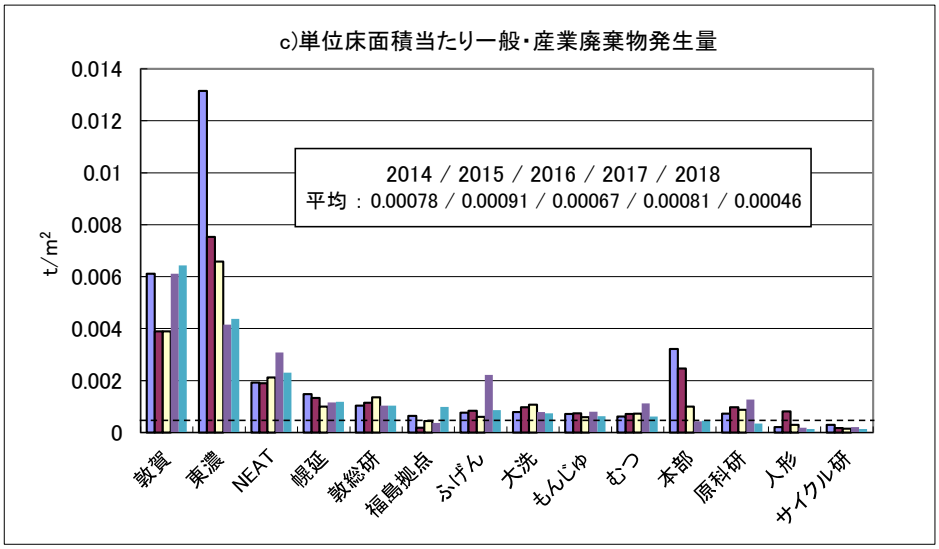
注）図中の点線＝（2018年度の原子力機構の総温室効果ガス排出量）／（2018年度の原子力機構の総床面積）

図2-4　総温室効果ガス排出量の拠点別比較（2018年度）





注）図中の点線＝（2018年度の原子力機構の一般・産業廃棄物発生量）／（2018年度の原子力機構の総従業員数）



注）図中の点線＝（2018年度の原子力機構の一般・産業廃棄物発生量）／（2018年度の原子力機構の総床面積）

図2-5　一般・産業廃棄物発生量の拠点別比較（2018年度）

This is a blank page.

付録：電気事業者別の CO_2 排出係数

付録：電気事業者別のCO_2排出係数（2017年度実績）（2018年12月27日環境省公表）（1/8）

2019年7月22日一部追加・修正（下線部は追加・修正箇所）

【小売電気事業者】

登録番号	電気事業者名	基礎排出係数 ($t\text{-}CO_2/kWh$)	調整後排出係数 ($t\text{-}CO_2/kWh$)		各事業者の把握率(%)	把握できなかった理由
A0001	(株)F-Power	0.000502	メニューA	0.000000	96.18	係数を公表していない事業者からの受電のため
			(参考値)事業者全体	0.000513		
A0002	イーレックス(株)	0.000539	メニューA	0.000000	98.34	係数を公表していない事業者からの受電のため
			(参考値)事業者全体	0.000765		
A0003	リエスパワー(株)	0.000521		0.000000	100.00	
A0004	イーレックス・スパーク・マーケティング(株)	0.000501		0.000460	100.00	
A0005	イーレックス・スパーク・エリアマーケティング(株)	0.000501		0.000459	100.00	
A0007	(株)SEウイングズ	0.000453		0.000438	100.00	
A0008	(株)イーセル	0.000584		0.000592	100.00	
A0009	(株)エネット	0.000423	メニューA	0.000000	100.00	
			メニューB	0.000000		
			メニューC(残差)	0.000442		
			(参考値)事業者全体	0.000442		
A0011	須賀川瓦斯(株)	0.000426		0.000499	100.00	
A0012	出光興産(株)(旧:昭和シェル石油(株))	0.000359	メニューA	0.000000	100.00	
			メニューB	0.000438		
			メニューC	0.000450		
			(参考値)事業者全体	0.000476		
A0013	(株)ケイ・オプティコム	0.000593		0.000574	100.00	
A0014	エネサーブ(株)	0.000410		0.000645	100.00	
A0015	(株)サイサン	0.000476		0.000518	100.00	
A0016	ミツウロコグリーンエネルギー(株)	0.000337	メニューA	0.000000	100.00	
			メニューB	0.000194		
			メニューC	0.000390		
			メニューD(残差)	0.000493		
			(参考値)事業者全体	0.000493		
A0017	(株)Shared Energy(旧:(株)パワーアットクラウド)	0.000847		0.000908	100.00	
A0018	ネクストパワーやまと(株)	0.000487		0.000545	100.00	
A0019	日本テクノ(株)	0.000366		0.000416	100.00	
A0020	中央電力エナジー(株)	0.000547		0.000538	100.00	
A0021	(株)Looop	0.000513	メニューA	0.000000	100.00	
			メニューB	0.000349		
			メニューC(残差)	0.000601		
			(参考値)事業者全体	0.000601		
A0023	(株)ナンワエナジー	0.000461		0.000465	96.99	係数を公表していない事業者からの受電のため
A0024	静岡ガス＆パワー(株)	0.000360		0.000458	100.00	
A0025	荏原環境プラント(株)	0.000192	メニューA	0.000000	100.00	
			メニューB	0.000232		
			メニューC	0.000310		
			メニューD	0.000312		
			メニューE	0.000353		
			メニューF	0.000302		
			メニューG	0.000362		
			メニューH	0.000450		
			メニューI	0.000250		
			メニューJ(残差)	0.000584		
			(参考値)事業者全体	0.000456		
A0026	東京エコサービス(株)	0.000098		0.000111	100.00	
A0027	ダイヤモンドパワー(株)	0.000481		0.000547	100.00	
A0028	出光グリーンパワー(株)	0.000326		0.000619	100.00	
A0029	プレミアムグリーンパワー(株)	0.000044	メニューA	0.000000	100.00	
A0031	(株)新出光	0.000492		0.000459	100.00	
A0032	中央セントラルガス(株)	0.000325		0.000283	100.00	
A0033	にちほクラウド電力(株)	0.000535		0.000568	100.00	
A0034	(一財)泉佐野電力	0.000475		0.000526	100.00	
A0035	総合エネルギー(株)	0.000614		0.000591	100.00	
A0036	(株)グリーンサークル	0.000020		0.000540	100.00	
A0037	(株)ウエスト電力	0.000546		0.000560	100.00	
A0039	北海道瓦斯(株)	0.000504		0.000605	100.00	
A0042	新エネルギー開発(株)	0.000587		0.000566	100.00	
A0043	伊藤忠エネクス(株)	0.000527	メニューA	0.000199	100.00	
			メニューB	0.000355		
			メニューC(残差)	0.000611		
			(参考値)事業者全体	0.000610		
A0045	(株)V-Power	0.000434		0.000548	100.00	
A0046	大和エネルギー(株)	0.000515		0.000474	100.00	
A0048	大阪瓦斯(株)	0.000371		0.000389	100.00	
A0049	エフビットコミュニケーションズ(株)	0.000566		0.000562	81.23	バランシンググループ内の融通受電のため、係数を公表していない事業者からの受電のため
A0050	JXTGエネルギー(株)(旧:JXエネルギー(株))	0.000522		0.000509	100.00	
A0051	真庭バイオエネルギー(株)	0.000037		0.000565	100.00	
A0052	三井物産(株)	0.000033		0.000278	94.72	係数を公表していない事業者からの受電のため
A0053	オリックス(株)	0.000557	メニューA	0.000399	100.00	
			メニューB(残差)	0.000680		
			(参考値)事業者全体	0.000678		

付録：電気事業者別のCO_2排出係数（2017年度実績）（2018年12月27日環境省公表）（2/8）

2019年7月22日一部追加・修正（下線部は追加・修正箇所）

【小売電気事業者】

登録番号	電気事業者名	基礎排出係数 ($t\text{-}CO_2/kWh$)	調整後排出係数 ($t\text{-}CO_2/kWh$)		各事業者の把握率(%)	把握できなかった理由
A0054	(株)エネサンス関東	0.000325		0.000283	100.00	
A0055	みんな電力(株)	0.000206	メニューA	0.000000	100.00	
			メニューB	0.000259		
			(参考値)事業者全体	0.000510		
A0056	シン・エナジー(株)(旧：(株)洸陽電機)	0.000390		0.000400	98.94	係数を公表していない事業者からの受電のため
A0057	(株)サニックス	0.000433		0.000462	100.00	
A0058	(株)コンシェルジュ	0.000380		0.000551	98.58	バランシンググループ内の融通受電のため
A0060	(株)アイ・グリッド・ソリューションズ	0.000606		0.000594	100.00	
A0061	サミットエナジー(株)	0.000517	メニューA	0.000000	100.00	
			(参考値)事業者全体	0.000524		
A0062	リコージャパン(株)	0.000520	メニューA	0.000000	100.00	
			メニューB	0.000370		
			メニューC(残差)	0.000499		
			(参考値)事業者全体	0.000494		
A0063	(株)エネルギア・ソリューション・アンド・サービス	0.000385		0.000586	100.00	
A0064	東京ガス(株)	0.000400		0.000371	100.00	
A0065	テス・エンジニアリング(株)	0.000267		0.000453	98.42	バランシンググループ内の融通受電のため
A0066	青梅ガス(株)	0.000578		0.000562	100.00	
A0067	(株)イーネットワークシステムズ	0.000371		0.000329	100.00	
A0068	(株)エネアーク関東(旧：伊藤忠エネクスホームライフ関東(株))	0.000513		0.000471	100.00	
A0069	(株)東急パワーサプライ	0.000586		0.000549	100.00	
A0070	王子・伊藤忠エネクス電力販売(株)	0.000343		0.000599	100.00	
A0071	伊藤忠商事(株)	0.000512	メニューA	0.000000	※	
			(参考値)事業者全体	0.000665		
A0072	(株)エコスタイル	0.000404		0.000559	100.00	
A0073	入間ガス(株)	0.000578		0.000562	100.00	
A0074	テプコカスタマーサービス(株)	0.000578	メニューA	0.000000	100.00	
			メニューB(残差)	0.000596		
			(参考値)事業者全体	0.000596		
A0075	(株)とんでんホールディングス(旧：(株)とんでん)	0.000379		0.000523	99.09	バランシンググループ内の融通受電のため
A0076	新日鉄住金エンジニアリング(株)	0.000544		0.000562	100.00	
A0077	KDDI(株)	0.000567		0.000577	98.84	バランシンググループ内の融通受電のため
A0079	イワタニ関東(株)	0.000627		0.000623	100.00	
A0080	イワタニ首都圏(株)	0.000619		0.000611	100.00	
A0081	サーラeエナジー(株)	0.000243		0.000409	100.00	
A0082	(株)地球クラブ	0.000256		0.000533	100.00	
A0083	(株)エコア	0.000565		0.000523	96.26	係数を公表していない事業者からの受電のため
A0084	西部瓦斯(株)	0.000570		0.000540	100.00	
A0085	東邦ガス(株)	0.000718	メニューA	0.000430	100.00	
			(参考値)事業者全体	0.000709		
A0086	シナネン(株)	0.000540	メニューA	0.000000	100.00	
			メニューB	0.000288		
			メニューC	0.000362		
			メニューD	0.000390		
			メニューE	0.000490		
			メニューF(残差)	0.000571		
			(参考値)事業者全体	0.000570		
A0087	(株)シナジアパワー	0.000522		0.000481	100.00	
A0088	川重商事(株)	0.000552		0.000546	100.00	
A0089	大一ガス(株)	0.000561		0.000563	91.69	新規参入事業者からの受電のため
A0090	(株)リミックスポイント	0.000546		0.000542	87.59	バランシンググループ内の融通受電のため、新規参入事業者からの受電のため
A0091	大阪いずみ市民生活協同組合	0.000535		0.000494	100.00	
A0092	(株)中海テレビ放送	0.000433		0.000468	100.00	
A0093	パシフィックパワー(株)	0.000376		0.000627	97.97	新規参入事業者からの受電のため
A0094	(株)いちたかガスワン	0.000562		0.000611	97.99	バランシンググループ内の融通受電のため
A0095	(株)ジェイコム足立	0.000516		0.000595	100.00	
A0096	(株)ジェイコムイースト	0.000516		0.000595	100.00	
A0097	(株)ジェイコム市川	0.000516		0.000595	100.00	
A0098	(株)ジェイコムウエスト	0.000520		0.000600	100.00	
A0099	(株)ジェイコム大田	0.000516		0.000595	100.00	
A0101	(株)ジェイコム川口戸田	0.000516		0.000595	100.00	
A0102	(株)ジェイコム北関東	0.000516		0.000595	100.00	
A0103	(株)ジェイコムさいたま	0.000516		0.000595	100.00	
A0104	(株)ジェイコム札幌	0.000525		0.000606	100.00	
A0105	(株)ジェイコム湘南	0.000516		0.000595	100.00	
A0106	(株)ジェイコム多摩	0.000516		0.000595	100.00	
A0107	(株)ジェイコム千葉	0.000516		0.000595	100.00	
A0108	(株)ジェイコム千葉セントラル	0.000516		0.000595	100.00	
A0109	(株)ジェイコム東葛葛飾	0.000516		0.000595	100.00	
A0110	(株)ジェイコム東京	0.000516		0.000595	100.00	
A0111	(株)ジェイコム東京北	0.000516		0.000595	100.00	
A0112	(株)ジェイコム中野	0.000516		0.000595	100.00	
A0113	(株)ジェイコム八王子	0.000516		0.000595	100.00	
A0114	(株)ジェイコム日野	0.000516		0.000595	100.00	

付録：電気事業者別のCO_2排出係数（2017年度実績）（2018年12月27日環境省公表）（3/8）

2019年7月22日一部追加・修正（下線部は追加・修正箇所）

【小売電気事業者】

登録番号	電気事業者名	基礎排出係数 ($t\text{-}CO_2/kWh$)	調整後排出係数 ($t\text{-}CO_2/kWh$)		各事業者の把握率(%)	把握できなかった理由
A0116	(株)ジェイコム港新宿	0.000516		0.000595	100.00	
A0117	(株)ジェイコム南横浜	0.000516		0.000595	100.00	
A0118	(株)ジェイコム武蔵野三鷹	0.000516		0.000595	100.00	
A0119	土浦ケーブルテレビ(株)	0.000516		0.000595	100.00	
A0120	鹿児島電力(株)	0.000569		0.000542	97.59	バランシンググループ内の融通受電のため
A0121	太陽ガス(株)	0.000526		0.000536	100.00	
A0122	アーバンエナジー(株)	0.000290	メニューA	0.000000	100.00	
			メニューB	0.000292		
			メニューC	0.000337		
			メニューD	0.000074		
			メニューE	0.000450		
			メニューF(残差)	0.000482		
			(参考値)事業者全体	0.000467		
A0123	パワーシェアリング(株)	0.000128		0.000087	80.49	バランシンググループ内の融通受電のため、新規参入事業者からの受電のため
A0124	合同会社北上新電力	0.000232		0.000573	100.00	
A0125	パーパススマートパワー(株)	0.000594		0.000553	100.00	
A0126	(株)タクマエナジー	0.000218	メニューA	0.000000	98.05	バランシンググループ内の融通受電のため
			メニューB(残差)	0.000442		
			(参考値)事業者全体	0.000305		
A0127	(株)スマートテック	0.000562		0.000557	92.08	バランシンググループ内の融通受電のため
A0128	水戸電力(株)	0.000479		0.000467	95.29	バランシンググループ内の融通受電のため
A0130	丸紅新電力(株)	0.000409		0.000522	100.00	
A0133	奈良電力(株)	0.000584		0.000593	100.00	
A0134	日立造船(株)	0.000213	メニューA	0.000000	100.00	
			メニューB(残差)	0.000192		
			(参考値)事業者全体	0.000191		
A0135	大東ガス(株)	0.000578		0.000562	100.00	
A0136	パナソニック(株)	0.000458	メニューA	0.000000	100.00	
			(参考値)事業者全体	0.000708		
A0137	アストモスエネルギー(株)	0.000596		0.000567	100.00	
A0138	(株)関電エネルギーソリューション	0.000549	メニューA	0.000000	100.00	
			メニューB(残差)	0.000617		
			(参考値)事業者全体	0.000615		
A0140	MCリテールエナジー(株)	0.000581		0.000565	100.00	
A0141	(株)北九州パワー	0.000276		0.000255	100.00	
A0142	武州瓦斯(株)	0.000578		0.000562	100.00	
A0143	(株)みらい電力	0.000390		0.000514	94.65	係数を公表していない事業者からの受電のため
A0144	大垣ガス(株)	0.000223		0.000400	100.00	
A0145	(株)藤田商店	0.000544		0.000519	100.00	
A0146	(株)ケーブルネット下関	0.000527		0.000608	100.00	
A0147	(株)ジェイコム九州	0.000524		0.000606	100.00	
A0149	(株)グローバルエンジニアリング	0.000465		0.000516	100.00	
A0150	九州エナジー(株)	0.000568		0.000549	100.00	
A0151	(株)トヨタエナジーソリューションズ(旧:(株)トヨタタービンアンドシステム)	0.000501		0.000469	100.00	
A0152	(株)S-CORE	0.000058		0.000000	98.82	バランシンググループ内の融通受電のため
A0153	(株)エナリス・パワー・マーケティング	0.000491	メニューA	0.000081	98.59	バランシンググループ内の融通受電のため
			メニューB	0.000000		
			(参考値)事業者全体	0.000558		
A0154	歌舞伎エナジー(株)(旧:(株)エヌパワー南九州)	0.000597		0.000571	100.00	
A0155	みやまスマートエネルギー(株)	0.000428		0.000475	99.81	係数を公表していない事業者からの受電のため
A0157	(株)生活クラブエナジー	0.000236		0.000416	100.00	
A0158	生活協同組合コープこうべ	0.000278		0.000402	100.00	
A0159	(株)シーエナジー	0.000395		0.000478	100.00	
A0160	角栄ガス(株)	0.000578		0.000562	100.00	
A0161	京葉瓦斯(株)	0.000515		0.000538	98.75	バランシンググループ内の融通受電のため
A0162	凸版印刷(株)	0.000527		0.000515	100.00	
A0163	伊勢崎ガス(株)	0.000578		0.000562	100.00	
A0164	キヤノンマーケティングジャパン(株)	0.000567		0.000557	100.00	
A0165	(株)とっとり市民電力	0.000552		0.000593	100.00	
A0166	(株)イーエムアイ	0.000582		0.000575	100.00	
A0167	佐野瓦斯(株)	0.000578		0.000562	100.00	
A0168	桐生瓦斯(株)	0.000578		0.000562	100.00	
A0169	森の電力(株)	0.000146		0.000575	100.00	
A0170	大和ハウス工業(株)	0.000583	メニューA	0.000000	100.00	
			メニューB	0.000268		
			メニューC(残差)	0.000571		
			(参考値)事業者全体	0.000571		
A0171	(株)早稲田環境研究所	0.000550		0.000508	100.00	
A0172	HTBエナジー(株)	0.000486		0.000543	100.00	
A0173	(株)アシストワンエナジー	0.000575		0.000558	100.00	
A0174	(株)サン・ビーム	0.000552		0.000552	100.00	
A0175	(株)フソウ・エナジー	0.000561		0.000539	100.00	
A0176	(株)日本エコシステム	0.000439		0.000398	100.00	
A0177	湘南電力(株)	0.000483		0.000523	98.77	バランシンググループ内の融通受電のため

付録：電気事業者別のCO_2排出係数（2017年度実績）（2018年12月27日環境省公表）（4/8）

2019年7月22日一部追加・修正（下線部は追加・修正箇所）

【小売電気事業者】

登録番号	電気事業者名	基礎排出係数 ($t\text{-}CO_2/kWh$)	調整後排出係数 ($t\text{-}CO_2/kWh$)		各事業者の把握率(%)	把握できなかった理由
A0178	大東エナジー(株)	0.000593		0.000606	100.00	
A0179	アンフィニ(株)	0.000528		0.000531	97.48	新規参入事業者からの受電のため
A0180	(株)J-POWERサプライアンドトレーディング(旧:(株) ベイサイドエナジー)	0.000607		0.000613	100.00	
A0181	鈴与商事(株)	0.000507	メニューA	0.000406	100.00	
			メニューB(残差)	0.000560		
			(参考値)事業者全体	0.000536		
A0183	(株)バランスハーツ	0.000548		0.000533	100.00	
A0184	ワタミファーム＆エナジー(株)	0.000521		0.000494	100.00	
A0185	(株)パルシステム電力	0.000105		0.000582	100.00	
A0186	SBパワー(株)	0.000498		0.000559	100.00	
A0187	NFパワーサービス(株)	0.000519		0.000499	100.00	
A0188	ひおき地域エネルギー(株)	0.000494	メニューA	0.000385	100.00	
			メニューB	0.000390		
			(参考値)事業者全体	0.000460		
A0189	和歌山電力(株)	0.000578		0.000587	100.00	
A0190	(株)エナジードリーム	0.000519		0.000496	100.00	
A0191	(株)トドック電力	0.000467		0.000588	100.00	
A0193	九電みらいエナジー(株)	0.000715		0.000512	100.00	
A0194	(株)ミツウロコヴェッセル(旧:(株)ミツウロコ)	0.000649		0.000607	100.00	
A0195	(株)フォレストパワー	0.000057		0.000697	100.00	
A0196	日高都市ガス(株)	0.000578		0.000562	100.00	
A0197	(株)アドバンテック	0.000635		0.000594	100.00	
A0199	ローカルエナジー(株)	0.000433		0.000548	100.00	
A0200	エネックス(株)	0.000530		0.000556	100.00	
A0202	(株)G-Power	0.000000		0.000000	100.00	
A0203	(株)地域電力	0.000550		0.000541	100.00	
A0204	なでしこ電力(株)(旧:佐伯森林資源(株))	0.000303		0.000286	100.00	
A0205	NECファシリティーズ(株)	0.000534		0.000524	100.00	
A0206	日田グリーン電力(株)	0.000043		0.000561	100.00	
A0207	(株)津軽あっぷるパワー	0.000051		0.000538	100.00	
A0208	(株)花巻銀河パワー	0.000082		0.000518	100.00	
A0209	埼玉ガス(株)	0.000578		0.000562	100.00	
A0210	宮崎パワーライン(株)	0.000032		0.000586	100.00	
A0211	(株)パワー・オプティマイザー(旧:緑新電力(株))	0.000527		0.000518	100.00	
A0213	(株)USEN NETWORKS(旧:(株)U-NEXT)	0.000695		0.000653	100.00	
A0214	(株)TTSパワー	0.000543		0.000501	100.00	
A0215	(株)パネイル	0.000438		0.000511	100.00	
A0216	(株)岩手ウッドパワー	0.000112		0.000475	100.00	
A0217	里山パワーワークス(株)	0.000048		0.000677	100.00	
A0218	(株)中之条パワー	0.000345		0.000557	100.00	
A0219	(株)TOSMO	0.000552		0.000542	100.00	
A0220	日産トレーディング(株)	0.000416		0.000472	98.82	バランシンググループ内の融通受電のため
A0221	JAG国際エナジー(株)	0.000547		0.000583	100.00	
A0222	Next Power(株)(旧:(株)長谷工アネシス)	0.000500		0.000514	100.00	
A0223	伊藤忠エネクスホームライフ西日本(株)	0.000605		0.000564	100.00	
A0224	(株)エネコープ	0.000528		0.000486	100.00	
A0225	東芝エネルギーシステムズ(株)(旧:(株)東芝)	0.000418		0.000580	97.44	バランシンググループ内の融通受電のため
A0226	ネクストエナジー・アンド・リソース(株)	0.000510		0.000000	100.00	
A0227	はりま電力(株)	0.000552		0.000548	98.28	バランシンググループ内の融通受電のため
A0228	(株)浜松新電力	0.000175		0.000496	100.00	
A0229	ゼロワットパワー(株)	0.000004	メニューA	0.000000	100.00	
			(参考値)事業者全体	0.000406		
A0231	(株)やまがた新電力	0.000105		0.000589	100.00	
A0232	(一社)東松島みらいとし機構	0.000551		0.000535	100.00	
A0233	志賀高原リゾート開発(株)	0.000000		0.000457	100.00	
A0234	(株)グリーンパワー大東	0.000310		0.000390	100.00	
A0235	(株)Kenesエネルギーサービス	0.000399		0.000582	100.00	
A0236	愛知電力(株)	0.000377		0.000474	93.15	係数を公表していない事業者からの受電のため
A0237	御所野縄文電力(株)	0.000059		0.000537	100.00	
A0238	御所野縄文パワー(株)	0.000027		0.000523	100.00	
A0239	宮古新電力(株)	0.000439		0.000457	100.00	
A0240	長崎地域電力(株)	0.000488		0.000571	100.00	
A0241	(株)エネアーク関西(旧:伊藤忠エネクスホームライフ関西(株))	0.000536		0.000495	100.00	
A0242	(株)NTTファシリティーズ	0.000928	メニューA	0.000363	100.00	
			メニューB(残差)	0.000903		
			(参考値)事業者全体	0.000886		
A0243	近畿電力(株)	0.000563		0.000564	92.50	バランシンググループ内の融通受電のため、係数を公表していない事業者からの受電のため
A0245	新電力おおいた(株)	0.000335		0.000503	100.00	
A0246	(株)日本セレモニー	0.000582	メニューA	0.000471	97.30	バランシンググループ内の融通受電のため
			(参考値)事業者全体	0.000596		
A0247	(株)リレボ	0.000503		0.000461	100.00	
A0248	(株)池見石油店	0.000641		0.000621	100.00	
A0249	滋賀電力(株)	0.000545		0.000551	100.00	
A0250	芝浦電力(株)	0.000329	メニューA	0.000568	100.00	

付録：電気事業者別のCO$_2$排出係数（2017年度実績）（2018年12月27日環境省公表）（5/8）

2019年7月22日一部追加・修正（下線部は追加・修正箇所）

【小売電気事業者】

登録番号	電気事業者名	基礎排出係数 (t-CO$_2$/kWh)	調整後排出係数 (t-CO$_2$/kWh)		各事業者の把握率(%)	把握できなかった理由
A0251	本田技研工業(株)	0.000512		0.000493	100.00	
A0253	いこま電力(株)	0.000587		0.000587	100.00	
A0254	スズ力電工(株)	0.000553		0.000553	100.00	
A0256	(株)エーコープサービス	0.000159		0.000516	100.00	
A0257	サンリン(株)	0.000604		0.000563	100.00	
A0258	(株)宮崎ガスリビング	0.000354		0.000480	100.00	
A0259	山陰エレキ・アライアンス(株)	0.000761		0.000719	100.00	
A0260	(株)リエゾンエナジー(旧：昭和商事(株))	0.000551		0.000510	100.00	
A0261	ミライフ東日本(株)	0.000591		0.000550	100.00	
A0263	(株)ウッドエナジー	0.000000		0.000450	100.00	
A0264	山陰酸素工業(株)	0.000600		0.000558	100.00	
A0265	武陽ガス(株)	0.000578		0.000562	100.00	
A0266	ツネイシCバリューズ(株)	0.000499		0.000547	61.33	係数を公表していない事業者からの受電のため、バランシンググ ループ内の融通受電のため
A0267	北海道電力(株)	0.000666		0.000678	100.00	
A0268	東北電力(株)	0.000521	メニューA	0.000000	100.00	
			(参考値)事業者全体	0.000523		
A0269	東京電力エナジーパートナー(株)	0.000475	メニューA	0.000000	100.00	
			メニューB	0.000000		
			メニューC(残差)	0.000462		
			(参考値)事業者全体	0.000462		
A0270	中部電力(株)	0.000476	メニューA	0.000000	100.00	
			(参考値)事業者全体	0.000472		
A0271	北陸電力(株)	0.000593	メニューA	0.000000	100.00	
			(参考値)事業者全体	0.000574		
A0272	関西電力(株)	0.000435	メニューA	0.000000	100.00	
			(参考値)事業者全体	0.000418		
A0273	中国電力(株)	0.000669		0.000677	100.00	
A0274	四国電力(株)	0.000514	メニューA	0.000000	100.00	
			メニューB	0.000000		
			(参考値)事業者全体	0.000535		
A0275	九州電力(株)	0.000438	メニューA	0.000000	100.00	
			(参考値)事業者全体	0.000463		
A0276	沖縄電力(株)	0.000786		0.000772	100.00	
A0277	北日本石油(株)	0.000607		0.000589	100.00	
A0278	千葉電力(株)	0.000539		0.000548	100.00	
A0279	(株)坊っちゃん電力	0.000523		0.000522	100.00	
A0280	やめエネルギー(株)(旧：(株)アズマ)	0.000529		0.000539	100.00	
A0281	(株)アースインフィニティ(旧：(株)ネオインターナショナル)	0.000532		0.000524	100.00	
A0282	(株)エナジー北海道	0.000570		0.000528	100.00	
A0283	足利ガス(株)	0.000578		0.000562	100.00	
A0284	(株)Misumi	0.000412		0.000370	100.00	
A0285	米子瓦斯(株)	0.000600		0.000558	100.00	
A0286	(株)エルピオ	0.000625		0.000604	100.00	
A0287	浜田ガス(株)	0.000600		0.000558	100.00	
A0288	(株)アメニテイ電力	0.000535		0.000532	100.00	
A0289	新電力フロンティア(株)	0.000569		0.000568	100.00	
A0290	ふくのしま電力(株)	0.000618		0.000624	100.00	
A0292	岡田建設(株)	0.000628		0.000602	100.00	
A0293	出雲ガス(株)	0.000600		0.000558	100.00	
A0294	富山電力(株)	0.000613		0.000596	100.00	
A0295	(一社)グリーン・市民電力	0.000362		0.000320	100.00	
A0296	公益財団法人東京都環境公社	0.000106		0.000552	100.00	
A0300	(株)ファミリーネット・ジャパン	0.000533		0.000516	100.00	
A0303	MKステーションズ(株)(旧：マンション高圧化ステーションズ(株))	0.000541		0.000509	100.00	
A0305	フラワー電力(株)	0.000559		0.000565	100.00	
A0306	(株)JTBコミュニケーションデザイン	0.000525		0.000501	100.00	
A0308	積水化学工業(株)	0.000324		0.000508	100.00	
A0309	(株)ユーミーエナジー	0.000589		0.000600	100.00	
A0310	全農エネルギー(株)	0.000615		0.000582	100.00	
A0311	(株)ハルエネ	0.000611		0.000602	100.00	
A0312	三愛石油(株)	0.000526		0.000484	100.00	
A0313	(株)リケン工業	0.000537		0.000536	96.62	係数を公表していない事業者からの受電のため
A0314	(株)ピピット	0.000518		0.000476	100.00	
A0315	(株)おおた電力	0.000578		0.000562	100.00	
A0317	伊藤忠プランテック(株)	0.000567		0.000555	100.00	
A0318	(株)オカモト	0.000558		0.000554	100.00	
A0320	熊本電力(株)	0.000637		0.000649	100.00	
A0323	キタコー(株)	0.000662		0.000620	100.00	
A0324	生活協同組合コープしが	0.000535		0.000494	100.00	
A0327	東海電力(株)	0.000602		0.000560	100.00	
A0328	西日本電力(株)	0.000599		0.000557	100.00	
A0329	福岡電力(株)	0.000685		0.000644	100.00	
A0330	香川電力(株)	0.000580		0.000579	76.10	バランシンググループ内の融通受電のため
A0331	札幌電力(株)	0.000599		0.000557	100.00	

付録：電気事業者別のCO_2排出係数（2017年度実績）（2018年12月27日環境省公表）（6/8）

2019年7月22日一部追加・修正（下線部は追加・修正箇所）

【小売電気事業者】

登録番号	電気事業者名	基礎排出係数 ($t\text{-}CO_2/kWh$)	調整後排出係数 ($t\text{-}CO_2/kWh$)		各事業者の把握率(%)	把握できなかった理由
A0332	(株)PinT(旧：せとうち電力(株))	0.000499		0.000457	100.00	
A0333	東日本電力(株)	0.000607		0.000565	100.00	
A0334	広島電力(株)	0.000599		0.000557	100.00	
A0335	宮城電力(株)	0.000599		0.000557	100.00	
A0336	(株)沖縄ガスニューパワー	0.000473		0.000664	100.00	
A0337	諏訪瓦斯(株)	0.000223		0.000400	100.00	
A0338	(株)アイキューフォーメーション	0.000593		0.000552	100.00	
A0339	(株)ナカシマ	0.000561		0.000558	100.00	
A0340	(株)エージーピー	0.000385		0.000348	100.00	
A0342	(株)いちき串木野電力	0.000483		0.000456	100.00	
A0343	四つ葉電力(株)	0.000543		0.000549	100.00	
A0344	西武ガス(株)	0.000578		0.000562	100.00	
A0345	松本ガス(株)	0.000223		0.000400	100.00	
A0346	(株)日本省電(旧：グリーンテック(株))	0.000617		0.000570	100.00	
A0347	FTエナジー(株)	0.000559		0.000560	100.00	
A0348	南部だんだんエナジー(株)	0.000388		0.000432	100.00	
A0349	(株)エフエネ(旧：(株)エフティエナジー)	0.000632		0.000637	92.27	バランシンググループ内の融通受電のため、係数を公表していない事業者からの受電のため
A0350	こなんウルトラパワー(株)	0.000466		0.000480	100.00	
A0351	(株)CHIBAむつざわエナジー	0.000306		0.000479	100.00	
A0352	(株)関西空調	0.000348		0.000306	100.00	
A0353	奥出雲電力(株)	0.000315		0.000466	100.00	
A0354	清水建設(株)	0.000552		0.000569	100.00	
A0355	中央電力(株)	0.000561		0.000568	100.00	
A0356	(株)成田香取エネルギー	0.000382		0.000490	100.00	
A0358	三光(株)	0.000339		0.000401	100.00	
A0359	東罐商事(株)	0.000562		0.000521	100.00	
A0360	グローバルソリューションサービス(株)	0.000544		0.000502	100.00	
A0362	(株)CWS	0.000463		0.000485	100.00	
A0364	ふくしま新電力(株)	0.000585		0.000592	100.00	
A0365	ズームエナジージャパン合同会社	0.000543		0.000549	100.00	
A0366	(株)エネクスライフサービス	0.000570		0.000528	100.00	
A0367	ネイチャーエナジー小国(株)	0.000428		0.000455	100.00	
A0368	リエスパワーネクスト(株)	0.000586		0.000419	100.00	
A0369	京都生活協同組合	0.000535		0.000494	100.00	
A0371	関西エネルギーパワー(株)	0.000579		0.000597	100.00	
A0372	(株)グリムスパワー	0.000620		0.000623	97.89	バランシンググループ内の融通受電のため
A0373	日本ファシリテイ・ソリューション(株)	0.000525		0.000483	100.00	
A0374	(株)登米電力	0.000570		0.000541	100.00	
A0376	自然電力(株)	0.000325	メニューA	0.000000	84.98	バランシンググループ内の融通受電のため
			メニューB	0.000178		
			メニューC	0.000401		
			(参考値)事業者全体	0.000000		
A0377	(株)オノブロックス	0.000581		0.000629	100.00	
A0378	本庄ガス(株)	0.000578		0.000562	100.00	
A0379	(株)フィット	0.000596		0.000592	100.00	
A0380	青森県民エナジー(株)	0.000279		0.000593	100.00	
A0381	国際航業(株)	0.000539		0.000541	100.00	
A0382	ローカルでんき(株)	0.000563		0.000555	100.00	
A0383	(株)明治産業	0.000503		0.000464	100.00	
A0385	岡山電力(株)	0.000561		0.000561	88.68	バランシンググループ内の融通受電のため、係数を公表していない事業者からの受電のため
A0386	ミライブ(株)	0.000590		0.000589	100.00	
A0387	(株)翠光トップライン	0.000599		0.000598	100.00	
A0388	楽天モバイル(株)(旧：楽天(株))	0.000573		0.000531	100.00	
A0389	うすきエネルギー(株)	0.000526		0.000518	100.00	
A0390	(株)トーヨーエネルギーファーム(旧：(株)Toyo Electric Power)	0.000565		0.000608	100.00	
A0391	森のエネルギー(株)(旧：富士見森のエネルギー(株))	0.000570		0.000561	67.80	バランシンググループ内の融通受電のため、係数を公表していない事業者からの受電のため
A0392	岐阜電力(株)	0.000679		0.000696	100.00	
A0393	格安電力(株)	0.000694		0.000712	100.00	
A0395	テクノエフアンドシー(株)	0.000505		0.000463	100.00	
A0396	(株)エスケーエナジー	0.000473		0.000469	100.00	
A0397	名南共同エネルギー(株)	0.000701		0.000681	94.45	バランシンググループ内の融通受電のため、新規参入事業者からの受電のため
A0398	Apaman Energy(株)(旧：(株)ASエナジー)	0.000673		0.000685	100.00	
A0399	ファミリーエナジー合同会社	0.000726		0.000734	100.00	
A0400	AG Energy(株)	0.000662		0.000668	93.10	バランシンググループ内の融通受電のため
A0401	アンビソト・エナジー・ジャパン合同会社	0.000664		0.000622	100.00	
A0402	(株)TOKYO油電力	0.000629		0.000643	100.00	
A0403	大分ケーブルテレコム(株)	0.000525		0.000606	100.00	
A0405	Just Energy Japan合同会社(旧：オールエナジー合同会社)	0.000515		0.000473	100.00	
A0406	生活協同組合コープみらい	0.000533		0.000491	100.00	
A0407	寝屋川電力(株)	0.000656		0.000671	100.00	
A0408	(株)広島一電力	0.000596		0.000594	100.00	
A0409	大阪府民電力(株)	0.000661		0.000677	100.00	
A0410	石川電力(株)	0.000525		0.000530	100.00	

付録：電気事業者別のCO$_2$排出係数（2017年度実績）（2018年12月27日環境省公表）（7/8）

2019年7月22日一部追加・修正（下線部は追加・修正箇所）

【小売電気事業者】

登録番号	電気事業者名	基礎排出係数 (t-CO$_2$/kWh)	調整後排出係数 (t-CO$_2$/kWh)		各事業者の把握率(%)	把握できなかった理由
A0411	福井電力(株)	0.000509		0.000547	100.00	
A0414	(株)Optimized Energy	0.000512		0.000470	※	
A0415	エネラボ(株)(旧：せと電力(株))	0.000532		0.000535	99.39	バランシンググループ内の融通受電のため
A0416	(株)ネクシィーズ・ゼロ	0.000541		0.000546	100.00	
A0417	地元電力(株)	0.000543		0.000549	100.00	
A0418	横浜ウォーター(株)	0.000342		0.000545	100.00	
A0419	スマートエナジー磐田(株)	0.000396	メニューA	0.000000	100.00	
			(参考値)事業者全体	0.000354		
A0420	そうまグリッド合同会社	0.000401		0.000471	100.00	
A0424	新潟県民電力(株)	0.000543		0.000549	100.00	
A0425	エネトレード(株)	0.000512		0.000512	※	
A0427	Myシティ電力(株)	0.000599		0.000610	100.00	
A0428	(株)トーセキ	0.000651		0.000667	100.00	
A0430	(株)さくら新電力	0.000594		0.000646	100.00	
A0431	(株)グローアップ	0.000512		0.000466	100.00	
A0433	あくびコミュニケーションズ(株)	0.000675		0.000662	100.00	
A0435	いこま市民パワー(株)	0.000436		0.000412	100.00	
A0436	(株)コープでんき東北	0.000362		0.000321	100.00	
A0437	おもてなし山形(株)	0.000549		0.000561	100.00	
A0438	長野都市ガス(株)	0.000223		0.000400	100.00	
A0439	上田ガス(株)	0.000223		0.000400	100.00	
A0440	日本瓦斯(株)(旧：(株)エネカット)	0.000674		0.000632	100.00	
A0441	(株)内藤工業所	0.000549		0.000556	100.00	
A0442	(株)シグナストラスト	0.000496		0.000467	46.97	係数を公表していない事業者からの受電のため
A0443	ゲーテハウス(株)	0.000548		0.000571	100.00	
A0444	おまかせ電力(株)(旧：(株)コデンエナジーバンク)	0.000517		0.000557	100.00	
A0445	岩手電力(株)	0.000629		0.000684	100.00	
A0446	JPエネルギー(株)	0.000617		0.000659	92.04	係数を公表していない事業者からの受電のため
A0447	兵庫電力(株)	0.000543		0.000517	100.00	
A0448	大和ライフエナジア(株)	0.000846		0.000800	100.00	
A0449	京都新電力(株)	0.000643		0.000701	100.00	
A0451	Cocoテラスたがわ(株)	0.000484		0.000468	100.00	
A0452	東北電力エナジートレーディング(株)	0.000500		0.000505	※	
A0453	(株)横浜環境デザイン	0.000179		0.000226	100.00	
A0454	(株)まち未来製作所	0.000134		0.000092	100.00	
A0455	TRENDE(株)	0.000604		0.000727	100.00	
A0456	(株)どさんこパワー	0.000599		0.000631	100.00	
A0458	(株)地方創生テクノロジーラボ	0.000523		0.000561	100.00	
A0459	みなとみらい電力(株)	0.000646		0.000705	100.00	
A0460	日本電灯電力販売(株)	0.000585		0.000634	100.00	
A0461	(株)LIXIL TEPCO スマートパートナーズ	0.000641		0.000595	100.00	
A0464	三菱瓦斯化学(株)	0.000540		0.000518	100.00	
A0465	(株)ユビニティー	0.000517		0.000555	100.00	
A0466	(株)宮交シティ	0.000501		0.000455	100.00	
A0467	(株)アルファライズ	0.000517		0.000555	100.00	
A0468	おおすみ半島スマートエネルギー(株)	0.000466		0.000420	100.00	
A0470	おきなわコープエナジー(株)	0.000809		0.000784	100.00	
A0471	久慈地域エネルギー(株)	0.000557		0.000572	100.00	
A0472	弘前ガス(株)	0.000575		0.000529	100.00	
A0473	(株)フォーバルテレコム	0.000486		0.000440	100.00	
A0475	信州電力(株)	0.000546		0.000589	100.00	
A0476	(株)ひまわりでんき(旧：山口電力(株))	0.000517		0.000555	100.00	
A0477	くるめエネルギー(株)	0.000424		0.000378	100.00	
A0478	(株)はまエネ	0.000640		0.000701	100.00	
A0479	(株)ホープ	0.000568		0.000390	100.00	
A0480	松阪新電力(株)	0.000220		0.000431	100.00	
A0481	ヒューリックプロパティソリューション(株)	0.000462		0.000582	100.00	
A0482	宮崎電力(株)(旧：(株)盛和)	0.000475		0.000497	100.00	
A0483	みの市民エネルギー(株)	0.000554		0.000591	100.00	
A0484	三友エンテック(株)	0.000486		0.000440	100.00	
A0486	府中・調布まちなかエナジー(株)	0.000542		0.000578	100.00	
A0487	伊勢志摩電力(株)	0.000649		0.000688	100.00	
A0488	(一社)塩尻市森林公社	0.001071		0.001238	87.82	バランシンググループ内の融通受電のため
A0489	九州スポーツ電力(株)	0.000747		0.000794	100.00	
A0490	(株)CDエナジーダイレクト	0.000476		0.000430	100.00	
A0491	ジニーエナジー合同会社(旧：スマイルエナジー合同会社)	0.000500		0.000454	※	
A0493	(株)ぶんごおおのエナジー	0.000531		0.000558	100.00	
A0494	ヴィジョナリーパワー(株)	0.000624		0.000676	100.00	
A0495	有明エナジー(株)	0.000486		0.000448	100.00	
A0498	Ethos合同会社	0.000816		0.000770	100.00	
A0499	厚木瓦斯(株)	0.000578		0.000556	100.00	
A0500	(株)エネ・ビジョン	0.000471		0.000425	100.00	
A0501	イワタニ三重(株)	0.000223		0.000386	100.00	
A0502	(株)マルキ	0.000556		0.000510	100.00	

付録：電気事業者別のCO$_2$排出係数（2017年度実績）（2018年12月27日環境省公表）（8/8）

2019年7月22日一部追加・修正（下線部は追加・修正箇所）

【小売電気事業者】

登録番号	電気事業者名	基礎排出係数 (t-CO$_2$/kWh)	調整後排出係数 (t-CO$_2$/kWh)		各事業者の把握率(%)	把握できなかった理由
A0503	大多喜ガス(株)	0.000512		0.000466	100.00	
A0505	那上エネルギー(株)	0.000606		0.000645	100.00	
A0506	鈴与電力(株)	0.000538		0.000437	100.00	
A0507	コープ電力(株)	0.000201		0.000594	100.00	
A0508	生活協同組合コープぐんま	0.000441		0.000395	100.00	
A0509	とちぎコープ生活協同組合	0.000441		0.000395	100.00	
A0510	いばらきコープ生活協同組合	0.000441		0.000395	100.00	
A0511	亀岡ふるさとエナジー(株)	0.000388		0.000523	100.00	
A0513	(株)織戸組	0.000546		0.000500	100.00	
A0514	ふかやeパワー(株)	0.000609		0.000596	100.00	
A0515	(株)Link Life	0.000500		0.000500	※	
A0519	日本エネルギー総合システム(株)	0.000465		0.000000	100.00	
A0520	イワタニ東海(株)	0.000223		0.000386	100.00	
A0525	(株)ところざわ未来電力	0.000035		0.000253	100.00	
A0526	朝日ガスエナジー(株)	0.000223		0.000386	100.00	
A0528	(株)エネファント	0.000517		0.000555	100.00	
A0534	みよしエナジー(株)	0.000544		0.000590	100.00	
A0536	東日本ガス(株)	0.000500		0.000454	※	
A0537	東彩ガス(株)	0.000500		0.000454	※	
A0539	(株)karch	0.000167		0.000480	100.00	
A0543	(株)かみでん里山公社	0.000539		0.000558	100.00	
A0548	北日本ガス(株)	0.000465		0.000419	100.00	
A0552	イワタニ長野(株)	0.000223		0.000386	100.00	
A0554	(株)クボタ	0.000443		0.000397	100.00	

（※）通達に定める方法によって算出した結果、異常値となった基礎排出係数または調整後排出係数に代替値を適用

【一般送配電事業者】

番号	電気事業者名	基礎排出係数 (t-CO$_2$/kWh)	調整後排出係数 (t-CO$_2$/kWh)		各事業者の把握率(%)	把握できなかった理由
1	北海道電力(株)	0.000496		0.000496	ー	ー
2	東北電力(株)	0.000496		0.000496	ー	ー
3	東京電力パワーグリッド(株)	0.000496		0.000496	ー	ー
4	中部電力(株)	0.000496		0.000496	ー	ー
5	北陸電力(株)	0.000496		0.000496	ー	ー
6	関西電力(株)	0.000496		0.000496	ー	ー
7	中国電力(株)	0.000496		0.000496	ー	ー
8	四国電力(株)	0.000496		0.000496	ー	ー
9	九州電力(株)	0.000496		0.000496	ー	ー
10	沖縄電力(株)	0.000759		0.000744	100.00	

※【一般送配電事業者】の係数は、最終保障供給又は離島供給を受けている場合に使用する係数

※沖縄電力以外の一般送配電事業者は全国平均係数を代用して報告・公表

代替値	0.000500

※「電気事業者別排出係数（特定排出者の温室効果ガス排出量算定用）ー平成29年度実績ー H30.12.27環境省・経済産業省公表、R1.7.22一部追加・修正」（環境省）（https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/h31_coefficient_rev.pdf）を編集して作成

付録：（参考） 電気事業者別CO_2排出係数年度推移（t-CO_2/kWh）

使用年度 / 電気事業者	2014年度版 実排出	2014年度版 調整後排出	2015年度版 実排出	2015年度版 調整後排出	2016年度版 実排出	2016年度版 調整後排出	2017年度版 基礎排出	2017年度版 調整後排出	2018年度版 基礎排出	2018年度版 調整後排出	2018/2017 基礎排出	2018/2017 調整後排出
北海道電力(株)	0.000678	0.000681	0.000683	0.000688	0.000669	0.000676	0.000632	0.000640	0.000666	0.000678	105.4%	105.9%
東北電力(株)	0.000591	0.000589	0.000571	0.000573	0.000556	0.000559	0.000545	0.000548	0.000521	0.000523	95.6%	95.4%
東京電力エナジーパートナー(株)	0.000531	0.000522	0.000505	0.000496	0.000500	0.000491	0.000486	0.000474	0.000475	0.000462	97.7%	97.5%
中部電力(株)	0.000513	0.000509	0.000497	0.000494	0.000486	0.000482	0.000485	0.000480	0.000476	0.000472	98.1%	98.3%
北陸電力(株)	0.000630	0.000628	0.000647	0.000640	0.000627	0.000615	0.000640	0.000624	0.000593	0.000574	92.7%	92.0%
関西電力(株)	0.000522	0.000516	0.000531	0.000523	0.000509	0.000496	0.000509	0.000493	0.000435	0.000418	85.5%	84.8%
中国電力(株)	0.000719	0.000717	0.000706	0.000709	0.000697	0.000700	0.000691	0.000694	0.000669	0.000677	96.8%	97.6%
丸紅新電力(株)	0.000389	0.000418	0.000482	0.000487	0.000411	0.000493	0.000362	0.000485	0.000409	0.000522	113.0%	107.6%
(株)エネット	0.000423	0.000443	0.000454	0.000462	0.000418	0.000441	0.000405	0.000441	0.000423	0.000442	104.4%	100.2%
エネサーブ(株)	0.000617	0.000245	0.000634	0.000206	0.000364	0.000130	0.000493	0.000500	0.000410	0.000645	83.2%	129.0%
(株)F-Power	0.000491	0.000401	0.000454	0.000398	0.000480	0.000358	0.000476	0.000467	0.000502	0.000513	－	－
パネイル	－	－	－	－	0.000499	0.000159	0.000599	0.000563	0.000438	0.000511	－	－
日本ロジテック協同組合	0.000405	0.000290	0.000386	0.000552	－	－	－	－	－	－	－	－
平均(合計/当該電気事業者数)	0.000555	0.000558	0.000538	0.000547	0.000520	0.000495	0.000525	0.000538	0.000501	0.000536	95.5%	99.7%

※網掛けの部分は、その年度に原子力機構では契約していない電気事業者である。

国際単位系（SI）

表１．SI 基本単位

基本量	SI 基本単位	
	名称	記号
長さ	メートル	m
質量	キログラム	kg
時間	秒	s
電流	アンペア	A
熱力学温度	ケルビン	K
物質量	モル	mol
光度	カンデラ	cd

表２．基本単位を用いて表されるSI組立単位の例

組立量	SI 組立単位	
	名称	記号
面積	平方メートル	m^2
体積	立方メートル	m^3
速さ，速度	メートル毎秒	m/s
加速度	メートル毎秒毎秒	m/s^2
波数	毎メートル	m^{-1}
密度，質量密度	キログラム毎立方メートル	kg/m^3
面積密度	キログラム毎平方メートル	kg/m^2
比体積	立方メートル毎キログラム	m^3/kg
電流密度	アンペア毎平方メートル	A/m^2
磁界の強さ	アンペア毎メートル	A/m
量濃度(a)，濃度	モル毎立方メートル	mol/m^3
質量濃度	キログラム毎立方メートル	kg/m^3
輝度	カンデラ毎平方メートル	cd/m^2
屈折率(b)	（数字の） 1	1
比透磁率(b)	（数字の） 1	1

(a) 量濃度（amount concentration）は臨床化学の分野では物質濃度（substance concentration）ともよばれる。
(b) これらは無次元量あるいは次元１をもつ量であるが、そのことを表す単位記号である数字の１は通常は表記しない。

表３．固有の名称と記号で表されるSI組立単位

組立量	SI 組立単位			
	名称	記号	他のSI単位による表し方	SI基本単位による表し方
平面角	ラジアン(b)	rad	1(b)	m/m
立体角	ステラジアン(b)	sr(c)	1(b)	m^2/m^2
周波数	ヘルツ(d)	Hz		s^{-1}
力	ニュートン	N		m kg s^{-2}
圧力，応力	パスカル	Pa	N/m^2	m^{-1} kg s^{-2}
エネルギー，仕事，熱量	ジュール	J	N m	m^2 kg s^{-2}
仕事率，工率，放射束	ワット	W	J/s	m^2 kg s^{-3}
電荷，電気量	クーロン	C		s A
電位差（電圧），起電力	ボルト	V	W/A	m^2 kg s^{-3} A^{-1}
静電容量	ファラド	F	C/V	m^{-2} kg^{-1} s^4 A^2
電気抵抗	オーム	Ω	V/A	m^2 kg s^{-3} A^{-2}
コンダクタンス	ジーメンス	S	A/V	m^{-2} kg^{-1} s^3 A^2
磁束	ウエーバ	Wb	Vs	m^2 kg s^{-2} A^{-1}
磁束密度	テスラ	T	Wb/m^2	kg s^{-2} A^{-1}
インダクタンス	ヘンリー	H	Wb/A	m^2 kg s^{-2} A^{-2}
セルシウス温度	セルシウス度(e)	℃		K
光束	ルーメン	lm	cd sr(c)	cd
照度	ルクス	lx	lm/m^2	m^{-2} cd
放射性核種の放射能(f)	ベクレル(d)	Bq		s^{-1}
吸収線量，比エネルギー分与，カーマ	グレイ	Gy	J/kg	m^2 s^{-2}
線量当量，周辺線量当量，方向性線量当量，個人線量当量	シーベルト(g)	Sv	J/kg	m^2 s^{-2}
酸素活性	カタール	kat		s^{-1} mol

(a)SI接頭語は固有の名称と記号を持つ組立単位と組み合わせても使用できる。しかし接頭語を付した単位はもはやコヒーレントではない。
(b)ラジアンとステラジアンは数字の１に対する単位の特別な名称で、量についての情報をつたえるために使われる。実際には、使用する時には記号radおよびsrが用いられるが、習慣として組立単位としての記号である数字の１は明示されない。
(c)測光学ではステラジアンという名称と記号srを単位の表し方の中に、そのまま維持している。
(d)ヘルツは周期現象についてのみ、ベクレルは放射性核種の統計的過程についてのみ使用される。
(e)セルシウス度はケルビンの特別な名称で、セルシウス温度を表すために使用される。セルシウス度とケルビンの単位の大きさは同一である。したがって、温度差や温度間隔を表す数値はどちらの単位で表しても同じである。
(f)放射性核種の放射能（activity referred to a radionuclide）は、しばしば誤った用語で"radioactivity"と記される。
(g)単位シーベルト（PV,2002,70,205）についてはCIPM勧告2（CI-2002）を参照。

表４．単位の中に固有の名称と記号を含むSI組立単位の例

組立量	SI 組立単位		
	名称	記号	SI 基本単位による表し方
粘度	パスカル秒	Pa s	m^{-1} kg s^{-1}
力のモーメント	ニュートンメートル	N m	m^2 kg s^{-2}
表面張力	ニュートン毎メートル	N/m	kg s^{-2}
角速度	ラジアン毎秒	rad/s	m m^{-1} s^{-1}=s^{-1}
角加速度	ラジアン毎秒毎秒	rad/s^2	m m^{-1} s^{-2}=s^{-2}
熱流密度，放射照度	ワット毎平方メートル	W/m^2	kg s^{-3}
熱容量，エントロピー	ジュール毎ケルビン	J/K	m^2 kg s^{-2} K^{-1}
比熱容量，比エントロピー	ジュール毎キログラム毎ケルビン	J/(kg K)	m^2 s^{-2} K^{-1}
比エネルギー	ジュール毎キログラム	J/kg	m^2 s^{-2}
熱伝導率	ワット毎メートル毎ケルビン	W/(m K)	m kg s^{-3} K^{-1}
体積エネルギー	ジュール毎立方メートル	J/m^3	m^{-1} kg s^{-2}
電界の強さ	ボルト毎メートル	V/m	m kg s^{-3} A^{-1}
電荷密度	クーロン毎立方メートル	C/m^3	m^{-3} s A
表面電荷	クーロン毎平方メートル	C/m^2	m^{-2} s A
電束密度，電気変位	クーロン毎平方メートル	C/m^2	m^{-2} s A
誘電率	ファラド毎メートル	F/m	m^{-3} kg^{-1} s^4 A^2
透磁率	ヘンリー毎メートル	H/m	m kg s^{-2} A^{-2}
モルエネルギー	ジュール毎モル	J/mol	m^2 kg s^{-2} mol^{-1}
モルエントロピー，モル熱容量	ジュール毎モル毎ケルビン	J/(mol K)	m^2 kg s^{-2} K^{-1} mol^{-1}
照射線量（X線及びγ線）	クーロン毎キログラム	C/kg	kg^{-1} s A
吸収線量率	グレイ毎秒	Gy/s	m^2 s^{-3}
放射強度	ワット毎ステラジアン	W/sr	m^4 m^{-2} kg s^{-3}=m^2 kg s^{-3}
放射輝度	ワット毎平方メートル毎ステラジアン	$W/(m^2 sr)$	m^2 m^{-2} kg s^{-3}=kg s^{-3}
酵素活性濃度	カタール毎立方メートル	kat/m^3	m^{-3} s^{-1} mol

表５．SI 接頭語

乗数	名称	記号	乗数	名称	記号
10^{24}	ヨタ	Y	10^{-1}	デシ	d
10^{21}	ゼタ	Z	10^{-2}	センチ	c
10^{18}	エクサ	E	10^{-3}	ミリ	m
10^{15}	ペタ	P	10^{-6}	マイクロ	μ
10^{12}	テラ	T	10^{-9}	ナノ	n
10^9	ギガ	G	10^{-12}	ピコ	p
10^6	メガ	M	10^{-15}	フェムト	f
10^3	キロ	k	10^{-18}	アト	a
10^2	ヘクト	h	10^{-21}	ゼプト	z
10^1	デカ	da	10^{-24}	ヨクト	y

表６．SIに属さないが、SIと併用される単位

名称	記号	SI 単位による値
分	min	1 min=60 s
時	h	1 h =60 min=3600 s
日	d	1 d=24 h=86 400 s
度	°	1°=(π/180) rad
分	’	1’=(1/60)°=(π/10 800) rad
秒	”	1”=(1/60)’=(π/648 000) rad
ヘクタール	ha	1 ha=1 hm^2=$10^4$$m^2$
リットル	L, l	1 L=1 l=1 dm^3=$10^3$$cm^3$=$10^{-3}$$m^3$
トン	t	1 t=10^3 kg

表７．SIに属さないが、SIと併用される単位で、SI単位で表される数値が実験的に得られるもの

名称	記号	SI 単位で表される数値
電子ボルト	eV	1 eV=1.602 176 53(14)×10^{-19}J
ダルトン	Da	1 Da=1.660 538 86(28)×10^{-27}kg
統一原子質量単位	u	1 u=1 Da
天文単位	ua	1 ua=1.495 978 706 91(6)×10^{11}m

表８．SIに属さないが、SIと併用されるその他の単位

名称	記号	SI 単位で表される数値
バール	bar	1 bar=0.1MPa=100 kPa=10^5Pa
水銀柱ミリメートル	mmHg	1 mmHg≈133.322Pa
オングストローム	Å	1 Å=0.1nm=100pm=10^{-10}m
海里	M	1 M=1852m
バーン	b	1 b=100fm^2=(10^{-12}cm)^2=$10^{-28}$$m^2$
ノット	kn	1 kn=(1852/3600)m/s
ネーパ	Np	SI単位との数値的な関係は、対数量の定義に依存。
ベル	B	
デシベル	dB	

表９．固有の名称をもつCGS組立単位

名称	記号	SI 単位で表される数値
エルグ	erg	1 erg=10^{-7} J
ダイン	dyn	1 dyn=10^{-5}N
ポアズ	P	1 P=1 dyn s cm^{-2}=0.1Pa s
ストークス	St	1 St =1cm^2 s^{-1}=$10^{-4}$$m^2$ s^{-1}
スチルブ	sb	1 sb =1cd cm^{-2}=10^4cd m^{-2}
フォト	ph	1 ph=1cd sr cm^{-2} =10^4lx
ガル	Gal	1 Gal =1cm s^{-2}=$10^{-2}$$ms^{-2}$
マクスウエル	Mx	1 Mx = 1G cm^2=10^{-8}Wb
ガウス	G	1 G =1Mx cm^{-2} =10^{-4}T
エルステッド(a)	Oe	1 Oe ≙ (10^3/4π)A m^{-1}

(a) ３元系のCGS単位系とSIでは直接比較できないため、等号「 ≙ 」は対応関係を示すものである。

表10．SIに属さないその他の単位の例

名称	記号	SI 単位で表される数値
キュリー	Ci	1 Ci=3.7×10^{10}Bq
レントゲン	R	1 R = 2.58×10^{-4}C/kg
ラド	rad	1 rad=1cGy=10^{-2}Gy
レム	rem	1 rem=1 cSv=10^{-2}Sv
ガンマ	γ	1 γ=1 nT=10^{-9}T
フェルミ		1 フェルミ=1 fm=10^{-15}m
メートル系カラット		1 メートル系カラット= 0.2 g = 2×10^{-4}kg
トル	Torr	1 Torr = (101 325/760) Pa
標準大気圧	atm	1 atm = 101 325 Pa
カロリー	cal	1 cal=4.1858J（「15℃」カロリー），4.1868J（「IT」カロリー），4.184J（「熱化学」カロリー）
ミクロン	μ	1 μ =1μm=10^{-6}m

（第8版，2006年）